MultiWriter 2650/2650E/2250/2050
ユーザーズマニュアル

808-895178-001-A
第2版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。
このユーザーズマニュアルには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠ 警告　指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

⚠ 注意　指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

△	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。**（注意の喚起）**	 （感電注意）
⃠	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。**（行為の禁止）**	 （接触禁止）
●	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。**（行為の強制）**	 （プラグを抜け）

ユーザーズマニュアルおよび警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります

行為の強制

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。

商標について

NMPS、PrintAgent、MOPYINGは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Netscapeは米国Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HP 7550は米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Incの登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
TranXitはPuma Technology, Incの登録商標です。
Adobe、AcrobatおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated社（アドビシステムズ社）の商標です。
DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation 2000

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

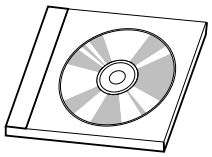
MultiWriter 2650/2650E/2250/2050は高性能CPUを搭載し、より高速な印刷を可能にしたプリンターです。また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただけるPrintAgentを採用しています。この機能により、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適にMOPYINGすることができます。

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050にはプリンターのマニュアルとして、ユーザーズマニュアルとオンラインマニュアルが添付されています。（枠内が本書です。）

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050　ユーザーズマニュアル

プリンターを箱から取り出して印刷するまでの手順やプリンターソフトウエアのインストール、より進んだ使い方、および日常の保守、正しく動作しない場合の対処方法をこの1冊で説明しています。



オンラインマニュアル

オンラインマニュアルは、プリンターに添付されているプリンターソフトウエアCD-ROMの[MANUAL]のフォルダーの中に入っています。オンラインマニュアルは、フォルダー内の「Adobe Acrobat Reader」を使って閲覧してください。
オンラインマニュアルは、下記の2種類に分かれています。

- プリンターの設定と技術情報
- プリンターソフトウエアの詳細

それぞれの内容については、オンラインマニュアルの読み方（viiiページ）をご覧ください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

プリンタードライバーをはじめ、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050で使われるプリンターソフトウエア、オンラインマニュアルが収録されています。
詳細は「プリンターソフトウエアCD-ROMについて」（28ページ）をご覧ください。

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMにより行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに入っているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスク作成の手順については「FD作成」(53ページ)をご覧ください。

もし「CD-ROMドライブを持っていない」等でフロッピーディスクにコピーできない場合は、あらかじめ以下の内容をお調べいただき、最寄りのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。ご希望のフロッピーディスクを無償にてお送りします。

あらかじめお調べいただく内容

① プリンター品名	「MultiWriter 2650」、「MultiWriter 2650E」、「MultiWriter 2250」、または「MultiWriter 2050」
② プリンターの製造番号	保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
③ フロッピーディスクタイプ	3.5インチ型の1.44MBタイプ*1、または3.5インチ型の1.2MBタイプ*2
④ ご住所	
⑤ ご氏名	
⑥ ご連絡先	昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記してください。

*1 PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT100%互換機(DOS/V対応機)に対応

*2 PC-9800シリーズに対応

本書の読み方

安全にお使いいただくために

プリンターを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

プリンティングスタイル「MOPYING」とは

NECが提唱するMOPYINGの概念、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050を使ったMOPYINGについて説明しています。

1章　プリンターの設置

プリンターを箱から取り出して、コンピューターにつなぐまでの手順を説明しています。

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアのインストール手順について説明しています。

3章　操作の基本

プリンターの操作パネル(ディスプレイ／ランプ／スイッチ)の機能や、用紙のセット方法について説明しています。

4章　より進んだ使い方

PrintAgentなどを使った便利な機能の使い方を説明しています。

5章　日常の保守

プリンターの日常的な保守(EPカートリッジの交換、清掃など)の方法について説明しています。

6章　故障かな？と思ったら

プリンターが思うように動作しなかった場合の原因および対処方法について説明しています。

7章　オプション

プリンターの機能をさらに活用していただくため、豊富に用意されたオプション品および使用できるコンピューターとプリンターケーブルについて説明しています。オプション品の取り付け方から設定方法までより詳しく説明しています。

付録　技術情報

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の仕様、用紙の規格について説明しています。

本文中で使用の記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピューターシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない可能性があることを示しています。

オンラインマニュアルの読み方

プリンターの設定と技術情報

第1章　メニューモード

操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。

第2章　制御コード

制御コードの一覧およびそれぞれの機能について説明しています。

第3章　技術情報

印刷範囲、文字コード表について説明しています。

付録

使用できるプリンターケーブルおよびメニューツリーについて説明しています。

プリンターソフトウエアの詳細

第1章　プリンタードライバー

一般的な印刷の手順、印刷のプロパティダイアログボックスの概要を説明しています。

第2章　PrintAgent

PrintAgentを構成するソフトウエアの概要と、それらソフトウエアを使って実現する便利なプリンター管理機能を説明しています。

目　次

安全にかかわる表示について
ユーザーズマニュアルおよび警告ラベルで使用する記号とその内容

はじめに v
マニュアルの種類と使い方 v
本書の読み方 vii
オンラインマニュアルの読み方 viii

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて 1
安全上のご注意 2

プリンティングスタイル「MOPYING」とは

1章　プリンターの設置

1 設置に必要なスペースを用意する 12
設置してはいけない場所 13
2 箱の中身を確認する 14
3 固定用部材を取り外す 15
4 各部の名称を確認する 16
5 EPカートリッジを取り付ける 17
6 用紙をセットする 19
7 電源コードを接続する 21
8 テスト印刷をする 22
9 コンピューターに接続する 24

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアCD-ROMについて 28
ハードディスク容量について 29
インストール方法の選択 30
CD-ROMからのインストール 32
Windows 2000/98/95/NT 4.0 日本語版 32
Windows NT 3.51 日本語版 36
「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール 42
Windows 2000 日本語版 42
Windows 98 日本語版 44
Windows 95 日本語版 45
プリンター管理者向けインストール 47
Windows 2000/98/95/NT 4.0 日本語版 48
パスワードの設定 52
FD作成（インストール媒体の作成） 53
プリンタードライバーのみのインストール 56
Windows 2000 日本語版 56
Windows 98/95 日本語版 59
Windows NT 4.0 日本語版 61
Windows NT 3.51 日本語版 63
Windows 3.1 日本語版 64
印刷先の変更 66
Windows 2000 日本語版 66
Windows 98/95 日本語版 67
Windows NT 4.0 日本語版 68
Windows NT 3.51 日本語版 69
MultiWriterを共有プリンターに設定する 70
Windows 2000 日本語版 70
Windows 98/95 日本語版 71
Windows NT 4.0 日本語版 73
Windows NT 3.51 日本語版 73
プリンターソフトウエアを削除する 75
プリンタードライバーの削除 75
Windows 2000 日本語版 75
Windows 98/95 日本語版 76
Windows NT 4.0 日本語版 77
Windows NT 3.51 日本語版 77
Windows 3.1 日本語版 78
PrintAgentの追加・削除 79
Windows 2000 日本語版 79
Windows 98/95 日本語版 81
Windows NT 4.0 日本語版 82
Windows NT 3.51 日本語版 83
その他のOS環境 84
Windows NT 3.5 日本語版/日本語MS-DOS環境 84
プリンターを選択する 84
プリンターを設定する 85
MS-DOS環境での両面印刷設定 85
PC-PTOS環境でプリンターを選択する 87

目　次（続き）

ESC/Pエミュレーションでプリンターを選択する 89
IBM DOS J5.0/Vでの設定 90

3章　操作の基本

操作パネルについて 91
ディスプレイ 92
ランプ 93
スイッチ 94
通常のスイッチ機能 94
メニューモード時のスイッチ機能 97
シフト時のスイッチ機能 98
メニューモード 99
メニューモードでの設定変更のしかた 99
メニューモード設定項目一覧 100
メモリースイッチの内容 102
メニューツリー 104
ESC/Pエミュレーションでの機能 107
PC-PTOS環境での機能 108
用紙のセットについて 109
用紙の種類 109
ホッパーに用紙をセットする 110
トレーに用紙をセットする 113
はがき、往復はがきをセットするときの注意 114
OHPフィルム、ラベル紙をセットするときの注意 114
封筒をセットするときの注意 115
定形外用紙をセットするときの注意 115

4章　より進んだ使い方

機能の紹介 118
機能の解説 120
プロパティダイアログボックス 127
Windows 2000の場合 127
Windows 98/95の場合 129
Windows NT 4.0の場合 130
Windows NT 3.51の場合 132
Windows 3.1の場合 134
「PrintAgent」ツールバー 135
設定方法 136
リプリント機能 136
仕分け印刷の設定 142
ジョブセパレート機能 142
丁合い機能 145
両面印刷の設定 148
リレー給紙の設定 150
拡大・縮小印刷 152
複数ページ印刷 155
印刷位置の調整 156
定形外用紙サイズの設定 158
ユーザー名の表示 162
プリンタステータスウィンドウ 163
リモート電源制御 166
プリンタ管理ユーティリティ 168
プリンタ自動切替 170
保守情報のメール通知 177
Web PrintAgent 180
印刷ログの出力 181
リモートパネル 185

5章　日常の保守

EPカートリッジの交換 191
交換する前に 191
EPカートリッジの回収と購入 192
EPカートリッジの交換手順 193
清　掃 195
清掃箇所と清掃時期 195
プリンターの清掃手順 196

6章　故障かな？と思ったら

印刷がおかしいときは 199
思うように印刷できないとき 199
印刷に異常が見られるとき 204
印刷できないとき 206
アラーム表示が出ているときは 207
PrintAgentがおかしいときは 209
PrintAgentを正しく動作させるために 209
正しく動作しないときは 213
紙づまりのときは 219

目　次（続き）

紙づまりの処理 219
紙づまり処理後の確認 224
ユーザーサポートについて 225
お客様登録申込書について 225
保証について 225
修理に出される前に 226
保守サービスについて 227
プリンターの寿命について 228
補修用部品について 228
ユーザーズマニュアルの再購入について 228
情報サービスについて 228
プリンターを運搬するときは 229
プリンター・消耗品を廃棄するときは 229

7章 オプション

オプション品の紹介 233
ホッパー、カセット 233
インターフェースオプション 235
ネットワークオプション 236
メモリー 238
両面印刷ユニット 238
リファレンスマニュアル 238
増設ホッパー 239
増設ホッパーの設置に必要な高さ 239
増設ホッパーの取り付け 240
増設ホッパーへの用紙のセット .. 241
プリンターの設定 242
ホッパーの切り替え 243
リレー給紙について 244
テスト印刷 245
増設ホッパーの取り外し 246
増設カセット 247
増設カセットの取り付け 247
増設カセットの取り外し 247
赤外線通信インタフェースボード（型番 PC-PR-R01） 248
インターフェースボードの取り付け 248
インターフェースボードの取り外し 249
赤外線通信インタフェースアダプタ（型番 PC-CA291） 250
インターフェースアダプターの取り付け 250
インターフェースアダプターの取り外し 251
プロッターエミュレーションボード 252
プロッターエミュレーションボードの取り付け 252
テスト印刷 254
プロッターエミュレーションボードの取り外し 254
LANボード 255
LANボードの取り付け 256
LANボードの取り外し 256
LANアダプター 257
LANアダプターの取り付け 257
LANアダプターの取り外し 258
増設RAMサブボード 259
増設RAMサブボードの取り付け 259
テスト印刷 261
増設RAMサブボードの取り外し 261
両面印刷ユニット（MultiWriter 2650E/2250/2050のオプション） 262
両面印刷ユニットの取り付け 262
テスト印刷 264
両面印刷ユニットの取り外し 264
使用できるコンピューターとプリンターケーブル 265

付録　技術情報

仕　様 267
用紙の規格 273
通常印刷（片面印刷）時 273
両面印刷時 274
印刷範囲 275
定形用紙 275
文字コード表 281
1バイト系コード表 281
2バイト系コード表 282

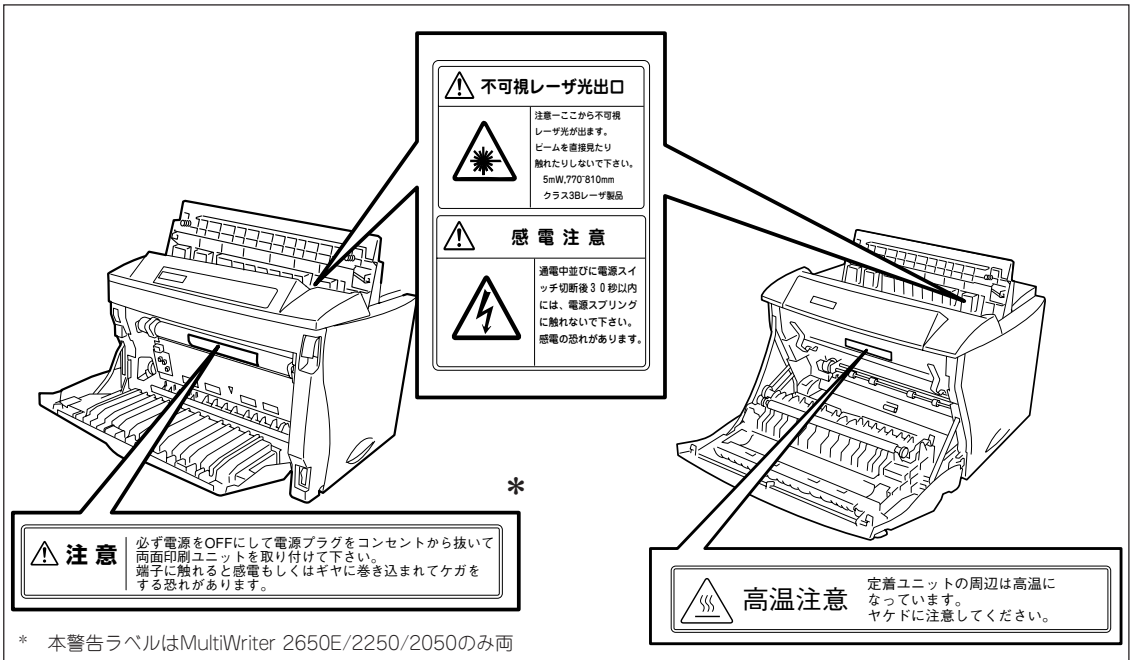
用語解説 289
索引 298

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店にご連絡ください。



* 本警告ラベルはMultiWriter 2650E/2250/2050のみ両面印刷ユニットの取り付け位置にあります。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

⚠ 警告

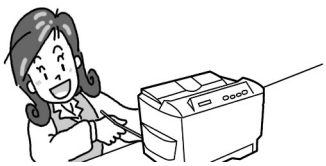
プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら使わない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜かない

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注 意

こわれた液晶ディスプレイには触らない

操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が発生しそうなときは装置に触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に水や異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店に連絡してください。

プラグの抜き差しは電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

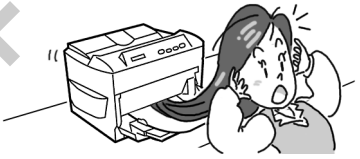
損傷した電源コードは使わない

損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

高温注意

プリンターの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

巻き込み注意

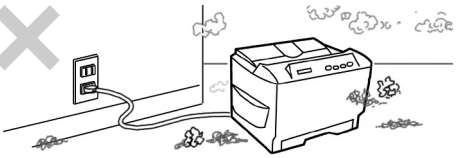


プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

お子様に注意

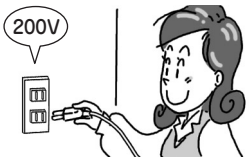
トナーカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。トナーカートリッジに入っているトナーが、目や口などに入ると健康を損なうおそれがあります。

ほこり・湿気の多い場所を避ける



プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

指定外のコンセントに差し込まない



電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

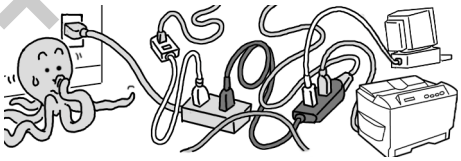
日の当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

指定以外の電源コードは使わない

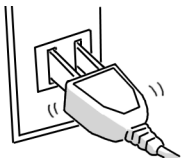
プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源をたこ足配線にしない



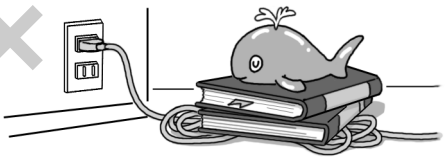
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災になるおそれがあります。

電源コードは曲げたり、ねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

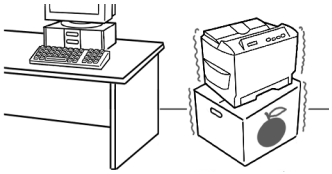
プリンターを一人で持ち上げない

プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです（EPカートリッジ含まず）。

- MultiWriter 2650：約20kg
- MultiWriter 2650E：約19kg
- MultiWriter 2250/2050：約18kg

装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて二人以上で運んでください。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

不安定な場所に置かない



プリンターを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

プリンティングスタイル「MOPYING」とは

～MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！～

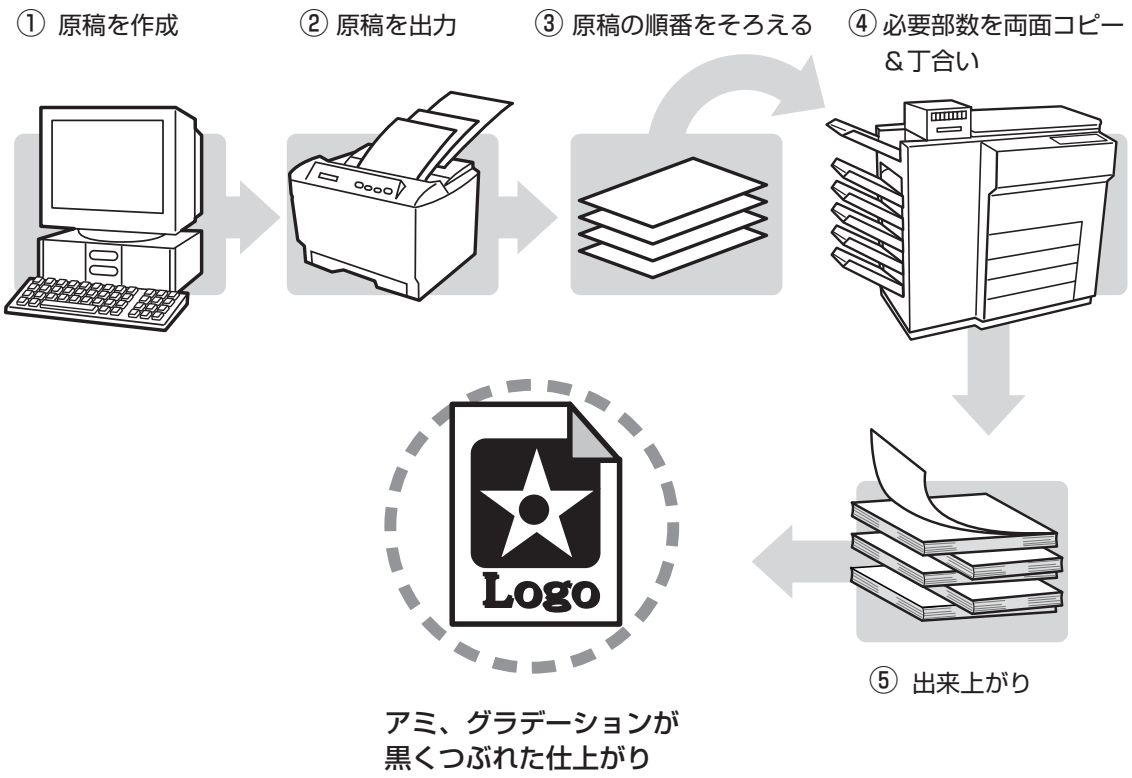
NEC MultiWriter 2650/2650E/2250/2050に搭載されているPrintAgentの機能を使うと従来は机上で行っていた作業やコピー機を使っていた仕事がすべてパソコン上で処理できるようになります。

同機能を持ったコピー機と比較した場合、導入コストやランニングコストを低く押さえることができます。

コピーを使わず必要部数をそのまま印刷（MOPYING）

会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなくMultiWriterで必要部数を直接印刷することをお勧めします。MultiWriterはコピー機なみの印刷速度、両面印刷機能、丁合い機能、仕分け機能を備えています。

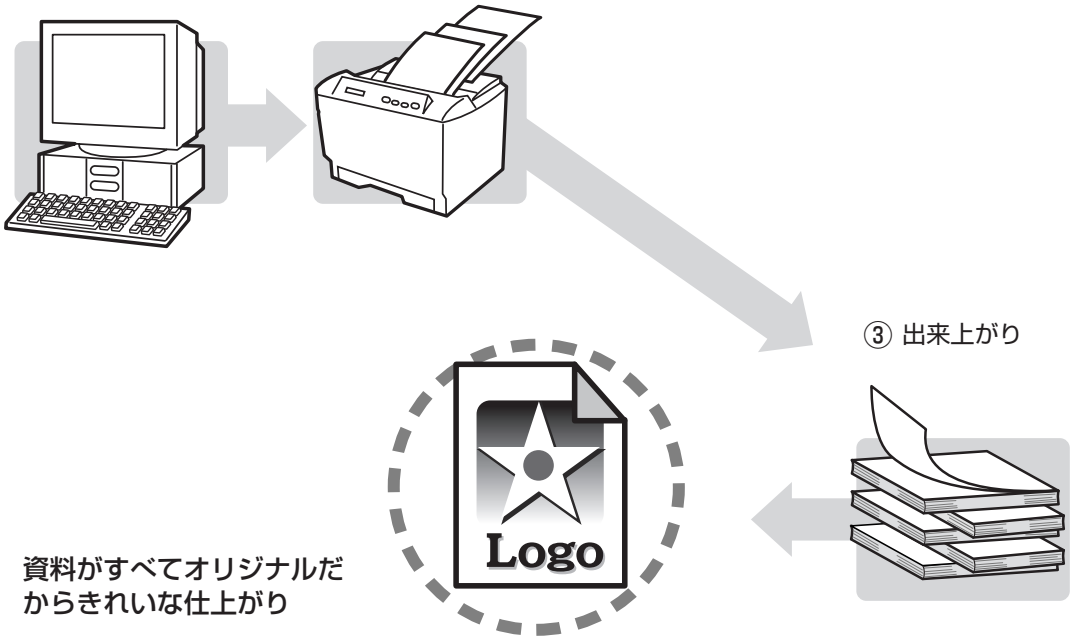
コピー機を使った複写出力



MOPYINGによるオリジナル出力

① 原稿を作成・順番をそろえる

② 必要部数を両面印刷＆丁合い＆ジョブセパレート



③ 出来上がり

資料がすべてオリジナルだからきれいな仕上がり

原稿に合わせて、いちいちコピー機のように濃度調整をする必要がなく写真やグラフの網かけ、グラデーションが黒くなりません。600dpi(23.6ドット/mm)の解像度で資料が必要部数そろいます。

コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、MultiWriter 2650/2650Eに対応している約14,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L2650-12)は1枚あたり約3円*2、MultiWriter 2250/2050に対応している約12,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR2200X-12)は1枚あたり約4.5円*2と低コスト。MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが約2/3以下になります。

*1 A4画像面積比5%の場合
*2 平成11年11月現在

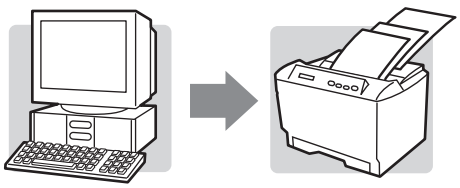
一度印刷した文書なら、すぐリプリント(再印刷)

「リプリント機能」を使うと一度でも印刷したデータなら設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えばいちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷できます。

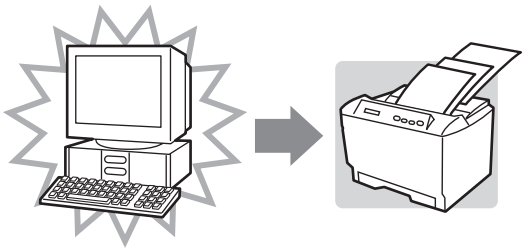
しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

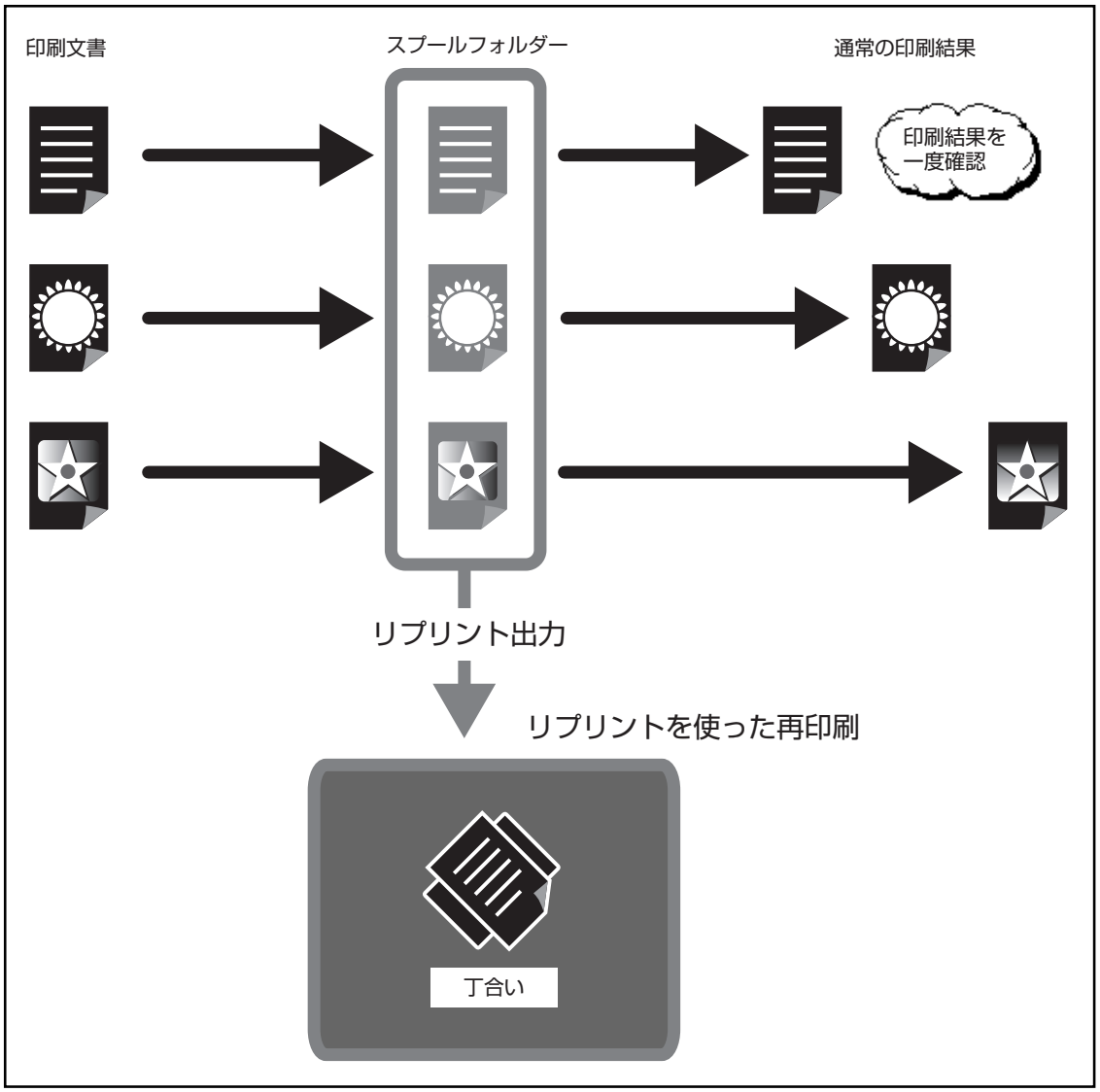
① 一度印刷したデータなら．．．



② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷



リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」が提供します。

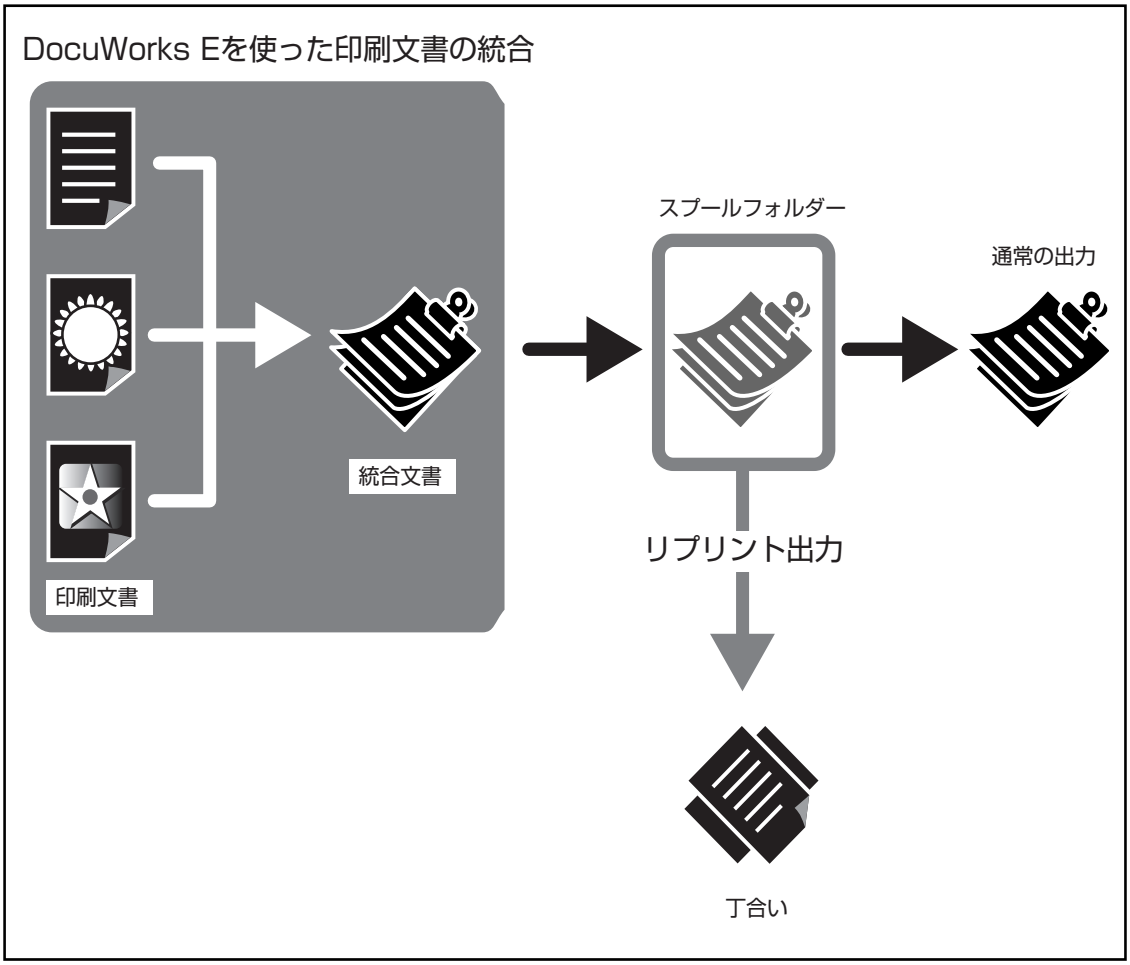


DocuWorks Eでさらに快適なMOPYING環境を

MultiWriterに標準添付されているドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「富士ゼロックスDocuWorks Ver.3.0E」(NECバンドル版)を使うと、さらに便利なMOPYING環境がご利用になれます。

DocuWorks Eはそれぞれの文書のアプリケーションをいちいち立ち上げることなく、あたかも「ダブルクリップで原稿を束ねる」ように希望文書をページ単位で編集し、ひとまとめ(異種文書の統合)にすることができます。

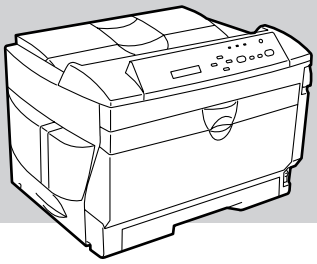
さらに文書統合したデータに対してはページ順の入れ替え、見出し・ページ番号付け、出力用紙サイズに合わせた拡大・縮小なども自由自在です。DocuWorks Eを使ったMOPYINGのフローは以下のとおりです。



DocuWorks Ver. 3.0E(NECバンドル版)は、富士ゼロックス(株)が販売しているDocuWorks(製品版)の機能限定版であり、NEC製品において印刷動作を確認したものです。DocuWorksに関するお問い合わせは、以下のとおりです。

Xerox Direct Information Service Center　0120-81-2209
ホームページ　http://www.fujixerox.co.jp/soft/docuworks

1章 プリンターの設置

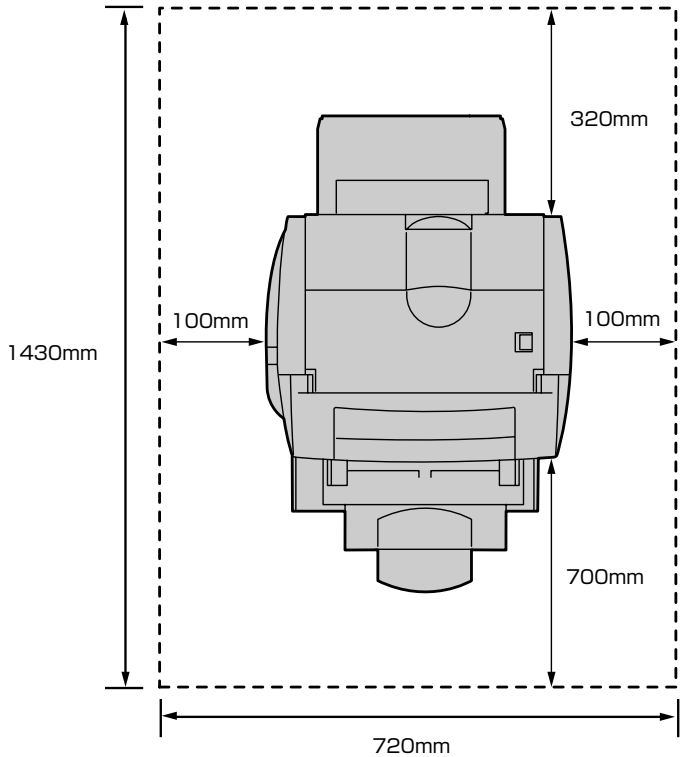


この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、コンピューターに接続するまでを次のような手順で説明します。

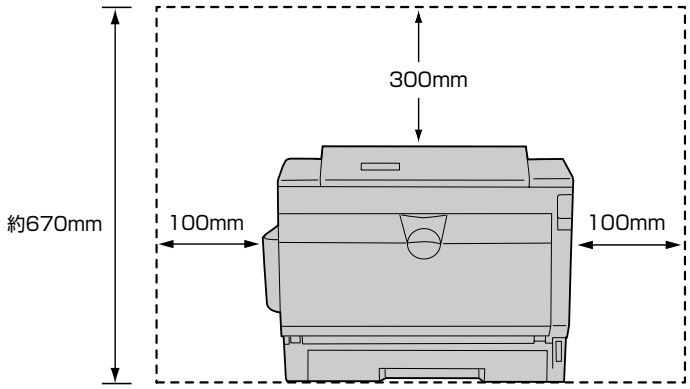
1 設置に必要なスペースを用意する
↓
2 箱の中身を確認する
↓
3 固定用部材を取り外す
↓
4 各部の名称を確認する
↓
5 EPカートリッジを取り付ける
↓
6 用紙をセットする
↓
7 電源コードを接続する
↓
8 テスト印刷をする
↓
9 コンピューターに接続する

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050を安全、快適にご使用いただくためには次のスペースを確保してください。設置にあたって注意すべき事柄を次ページに示します。



プリンター上面



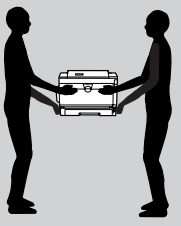
プリンター正面

⚠ 注意

プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです。（EPカートリッジ含まず）

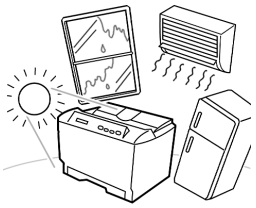
- MultiWriter 2650：約20kg
- MultiWriter 2650E：約19kg
- MultiWriter 2250：約18kg
- MultiWriter 2050：約18kg

装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて二人以上で運んでください。装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

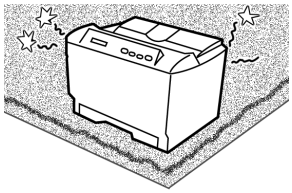


設置してはいけない場所

次のような場所には設置しないでください。



直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。また温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

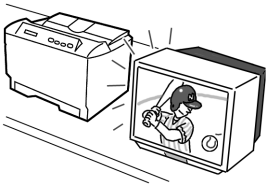


じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

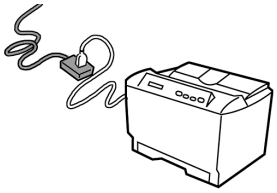
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。

上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。



ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

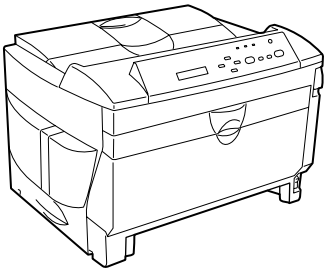


添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

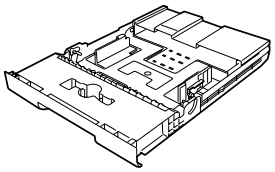
2 箱の中身を確認する

箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。
梱包材料(箱や緩衝材など)はプリンターを運搬するときに必要となります。大切に保存しておいてください。

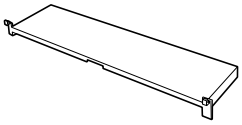
☐ MultiWriter 本体



☐ 用紙カセット



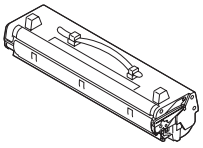
☐ キャノピー*1



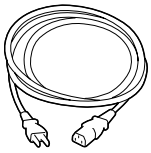
*1 MultiWriter 2050のみ

☐ ケーブルクランプ*2 (1個)

☐ EPカートリッジ

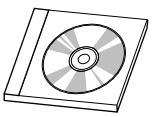


☐ 電源コード



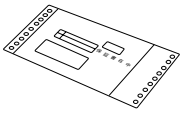
*2 MultiWriter 2050のみ2個

☐ プリンターソフトウエア CD-ROM

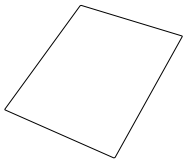


☐ ユーザーズマニュアル(本書)

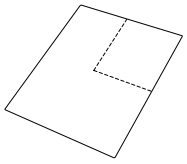
☐ 保証書



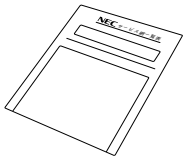
☐ ソフトウエアのご使用条件



☐ お客様登録申込書



☐ NECサービス網一覧表



● プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください

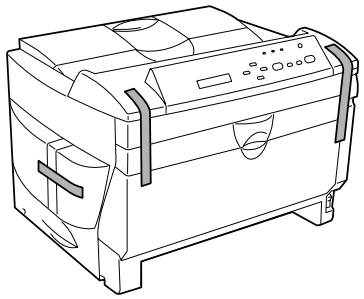
1 お客様登録申込書に所定事項を記入して投函する。
(FAXでも受け付けております。詳しくはお客様登録申込書をお読みください。)

2 保証書、NECサービス網一覧表、ソフトウエアのご使用条件をなくさないよう大切に保管する。

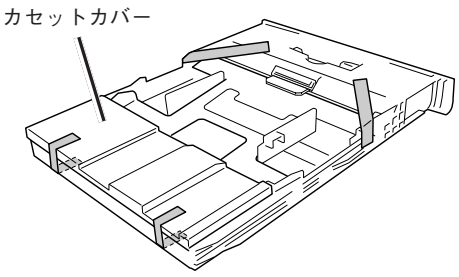
3 固定用部材を取り外す

プリンターは輸送中の損傷を防ぐために、動きやすい、あるいは外れやすい箇所をテープで固定してあります。次の手順に従ってテープを取り除きます。

❶ プリンターの外側に貼り付けてあるテープ(3か所)をはがす。

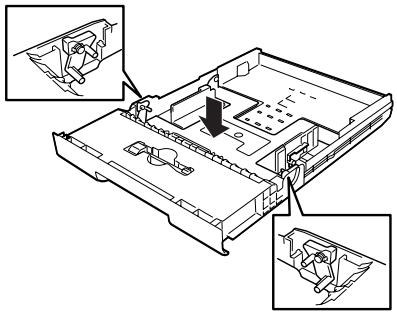


❷ 用紙カセットに貼り付けてあるテープ(4か所)をはがし、カセットカバーを取り外す。

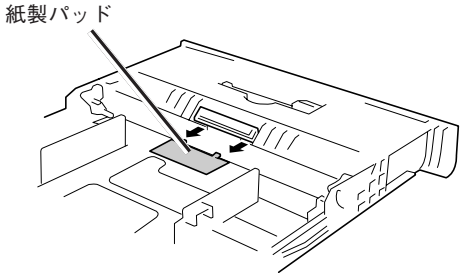


❸ 用紙カセット内のリフトプレートを押し、確実に下がることを確認する。

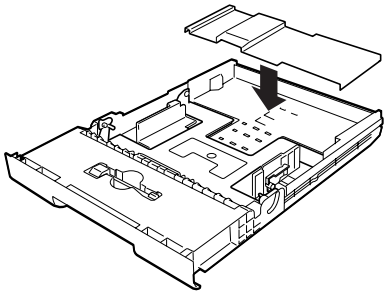
リフトプレートが完全に下がらないと用紙カセットをホッパーに取り付けることはできません。



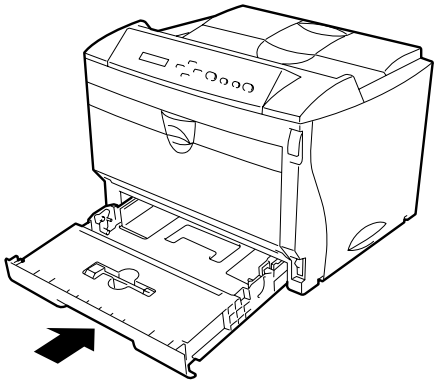
❹ 紙製パッドを取り外す。



❺ カセットカバーを取り付ける。

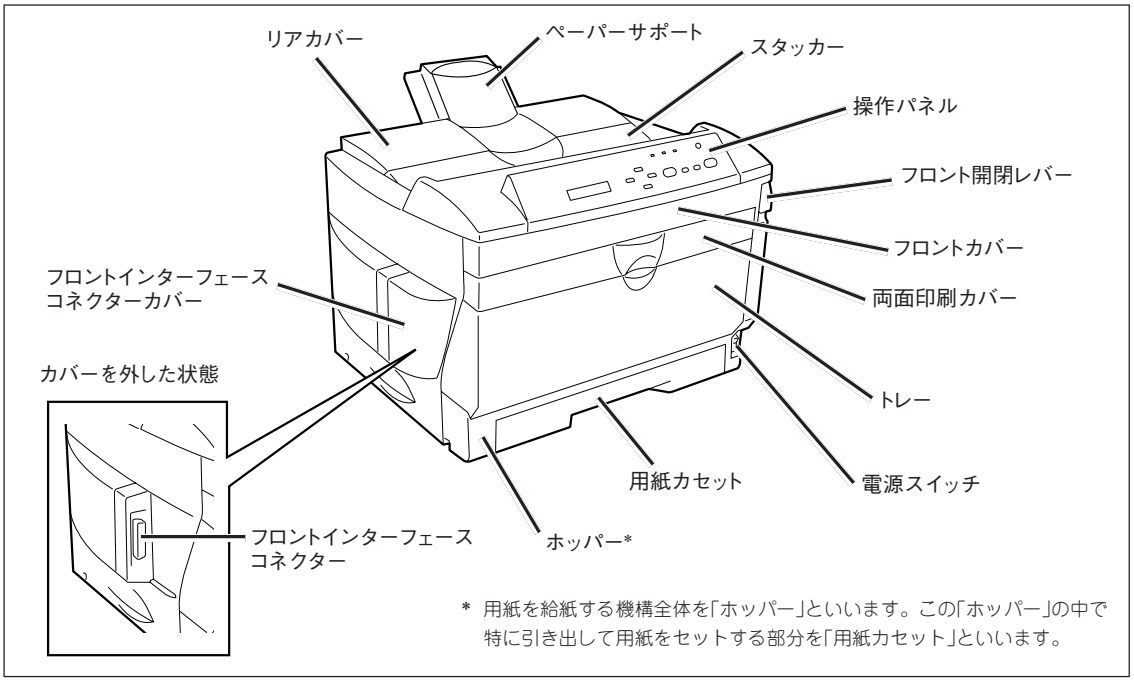


❻ 用紙カセットを取り付ける。

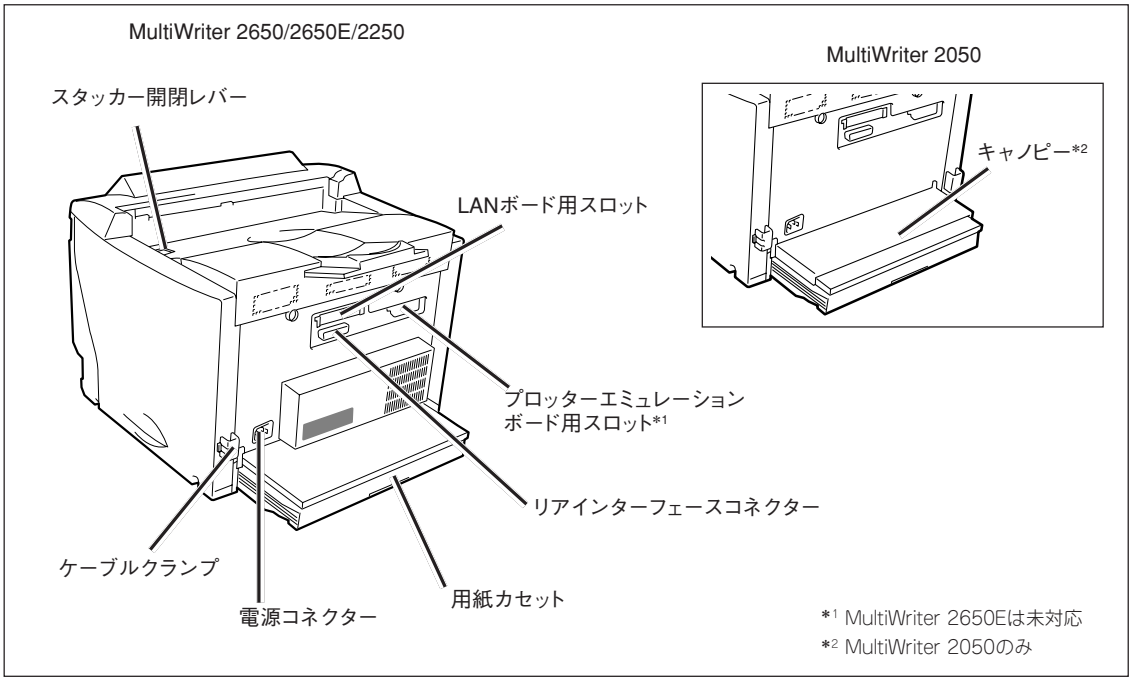


4 各部の名称を確認する

プリンターの各部の名称について説明します。プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



プリンター前面



プリンター背面

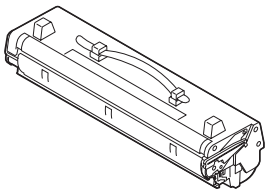
5 EPカートリッジを取り付ける

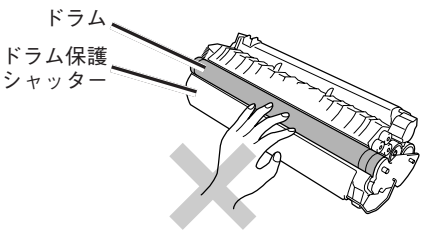
EPカートリッジはトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、印刷が薄くなったら交換します。このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。ご使用後はお買い上げの販売店、または添付の「サービス網一覧表」に記載されているサービスステーションまでお持ち寄りください。

❶ EPカートリッジを袋から取り出す。

重要

EPカートリッジのドラム保護シャッターおよびドラムには触らないようにしてください。

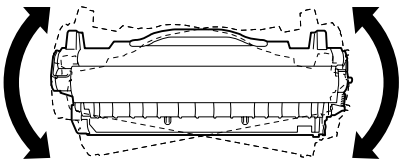




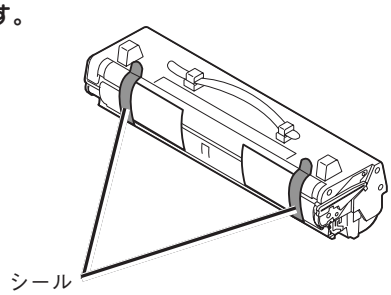
❷ トナーを均一にするため、水平に持って10回程度、図に示す方向にゆっくり振る。

チェック

この時、取っ手を持って振らないでください。



❸ EPカートリッジの両端に付いているシールをはがす。

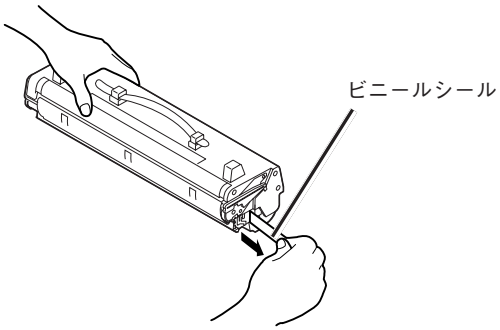


EPカートリッジの外観は上のイラストと異なる形状のものもありますが、互換性、性能面については問題なくご使用いただけます。

❹ EPカートリッジの取っ手を上にして、机など水平な面に置いて、側面にとめられているビニールシールの端を持ち、ゆっくり引き抜く。

重要

- ビニールシールを引き抜くとき少量のトナーが出ることがあります。手や衣服などを汚さないように気をつけてください。
- 万一、トナーが手や衣服についたら、すぐに水で洗い流してください。

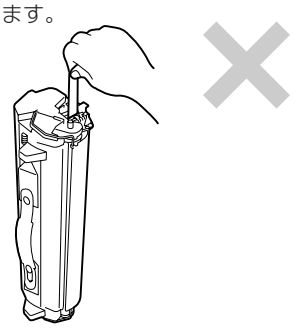


重要

EPカートリッジを立てた状態でビニールシールを引き抜かないでください。

EPカートリッジを立てた状態でビニールシールを引くと途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。

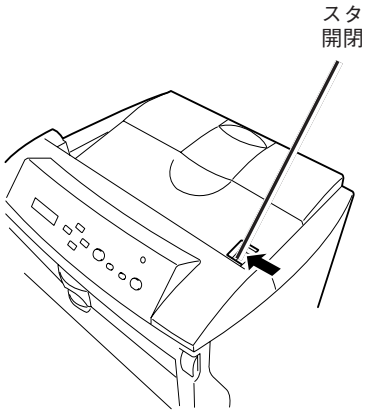
もしビニールシールが途中で引き抜けなくなった状態、あるいは途中で切れた状態のままセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンター自身に障害が生じることがあります。



チェック

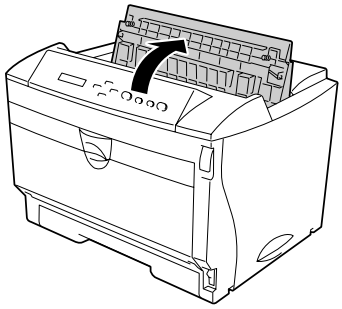
正常に引き抜けた場合、約60cmの長さになり、シールの端は"のこぎり歯状"となっています。正常に引き抜けなかった場合は、プリンターを購入された販売店に連絡してください。

❺ スタッカー開閉レバーを左側に押してロックを解除する。



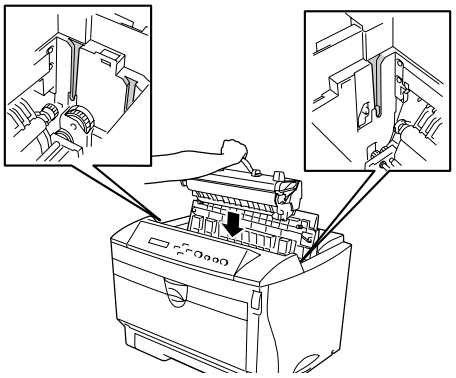
❻ スタッカーをゆっくりと開ける。

スタッカー開閉レバー付近のくぼみに指を引っ掛けてスタッカーを開けてください。



❼ EPカートリッジ上部に書いてある矢印の方向をプリンター正面に向けて、図のようにEPカートリッジの取っ手を持ち、カートリッジの両側の金属部(銀色、3か所)をプリンターの内側の溝に合わせてセットする。

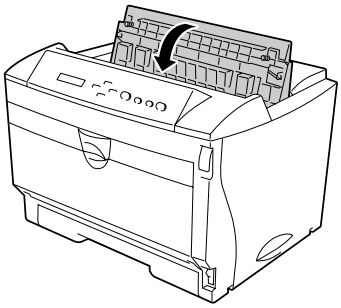
EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせず、確実に下までセットされていることを確認してください。



❽ スタッカーを閉じる。

チェック

カチッと音がするまでしっかり押し下げます。スタッカーが確実に閉まったことを確認してください。



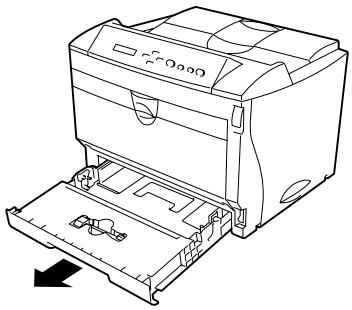
6 用紙をセットする

ここではまず、テスト印刷する(22ページ)ためにA4サイズの用紙をホッパーにセットします。その他の用紙のセット方法については、「ホッパーに用紙をセットする」(110ページ)を、またMultiWriter 2650/2650E/2250/2050で使用できる用紙については「付録　技術情報」(267ページ)をご覧ください。

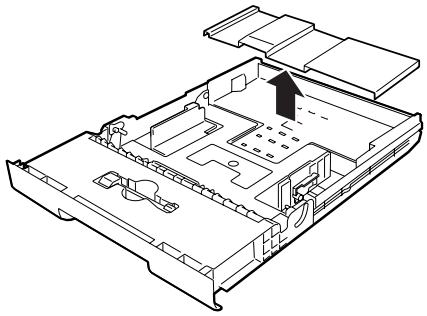
重要

ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙をホッパーにセットしないでください。片面印刷してある用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。

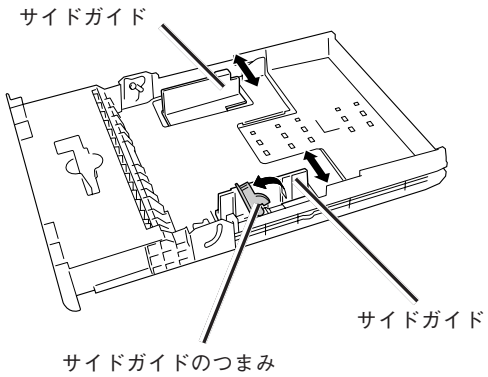
❶ 用紙カセットをゆっくり引き出す。



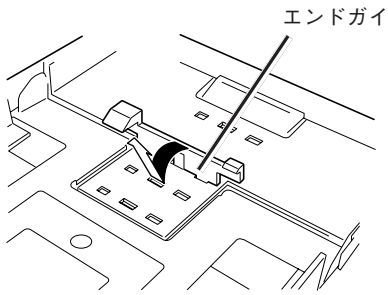
❷ カセットカバーを取り外す。



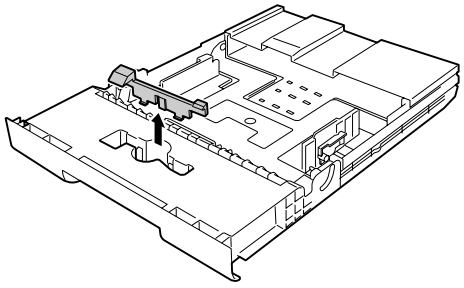
❸ サイドガイドのつまみを引き上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。



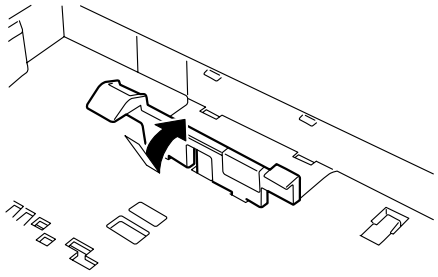
❹ エンドガイドのつまみ中央部を押しながら手前に倒し、カセットからエンドガイドを引き抜く。



お買い上げ時、エンドガイドは用紙カセットの手前に入っています。



❺ 使用する用紙サイズの溝に合わせてエンドガイドをはめ込む。

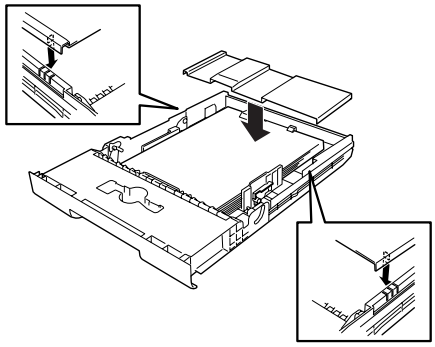


❻ 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットする。

チェック

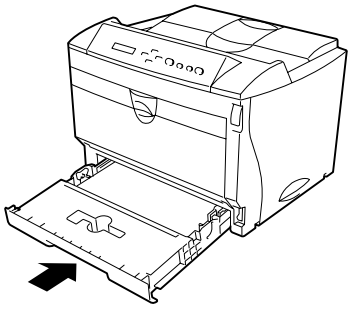
- 用紙はエンドガイド側から入れます。
- 用紙を入れた後サイドガイドを再セットします。
- 用紙はエンドガイドの積載量制限マーク(▼)を越えないようにセットしてください。

❼ カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。



❽ 用紙カセットをプリンターに差し込む。

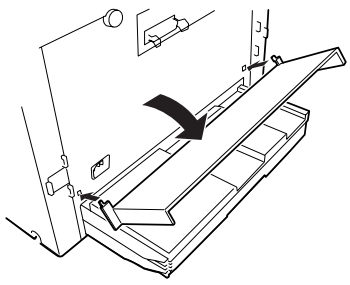
用紙カセットはゆっくり差し込んでください。



❾ キャノピーをプリンター背面に取り付ける。(MultiWriter 2050のみ)

チェック

キャノピーの上には何も物を載せないでください。破損の原因になります。

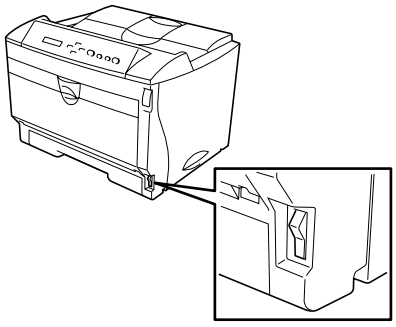


7 電源コードを接続する

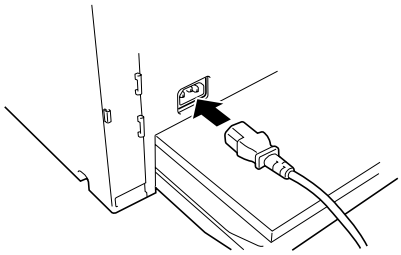
⚠注意

電源コードは、添付されているものを使用してください。定格に満たない電源コードを使うと火災や感電、故障のおそれがあります。

❶ プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

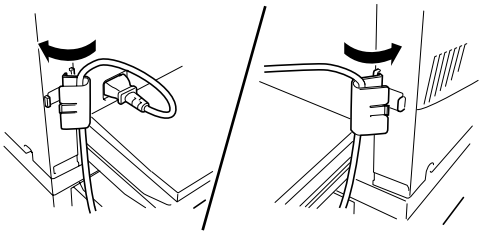


❷ 電源コードの三極プラグをプリンター背面の電源コネクターに差し込む。



❸ 電源コードをケーブルクランプで固定する。

ケーブルクランプを取り付ける場所はプリンター背面に用意されていますので、設置場所に応じて左右どちらかに取り付けてください。

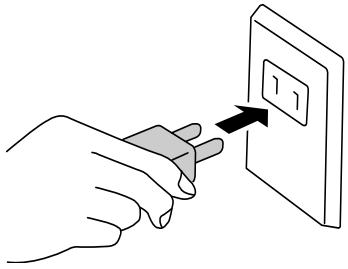


背面左側に取り付ける場合　背面右側に取り付ける場合

❹ もう一方の電源プラグを壁付きコンセント（電流容量10A以上）に差し込む。

✔チェック

プリンターの電源プラグは、コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。



8 テスト印刷をする

コンピューターに接続する前に、プリンターが正常に動作することを確かめるテスト印刷を行います。「6　用紙をセットする」(19ページ)で、A4サイズの用紙をホッパーにセットしてから行ってください。このテスト印刷は、「6章　故障かな？と思ったら」の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。

重要

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

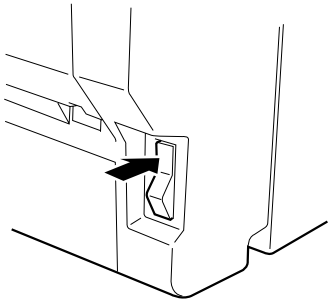
チェック

A4サイズの用紙がセットされている事を確認してください。

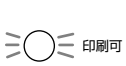
❶ 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップ”



❷ ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。



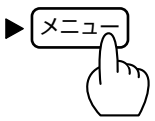
ホッパ゛　　A4 ポ゛ート
NPDL

❸ [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❹ [▶]スイッチを押す。

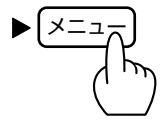
ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。



テストメニュー　→

❺ [▶]スイッチを押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。



テストメニュー
←ステータスインサツジ゛ッコウ→

❻ [▼]スイッチを2回押す。

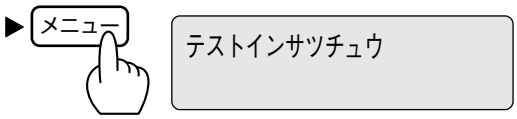
ディスプレイ下段には“←レンゾクインサツ ジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←レンゾ゛クインサツジ゛ッコウ→

❼ [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。

テスト印刷の結果については、プリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル(プリンターの設定と技術情報)の「テスト印刷のプリント結果」をご覧ください。

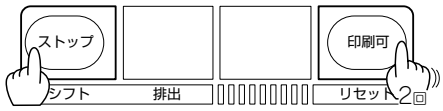


❽ テスト印刷を停止させる。

本テスト印刷は自動的には止まらないので、[ストップ]スイッチを押してください。

[シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回押します。

ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯します。



これでテスト印刷は終了です。

9 コンピューターに接続する

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050にはプリンターケーブルが添付されていません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類がわからない場合は、「使用できるコンピューターとプリンターケーブル」(265 ページ)をご覧になり、ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

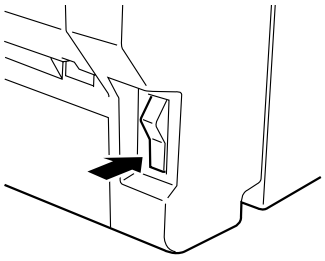
重要

パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

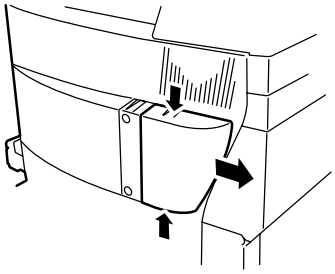
前面、背面のインターフェース用コネクターについて

- MulitiWriter 2650/2650E/2250/2050には前面と背面の2か所にインターフェースコネクターがあります。プリンターの設置環境に応じて、いずれかのコネクターをお使いください。ただしオプションのLANボード接続時は背面のインターフェースは使用できません。
- 前面と背面のインターフェースコネクターを使用すると、プリンターケーブルのつなぎ替えを行わずに、2台のパーソナルコンピューターのデータを印刷することができます。この場合、2つのインターフェースの切り替えは自動で行われます。

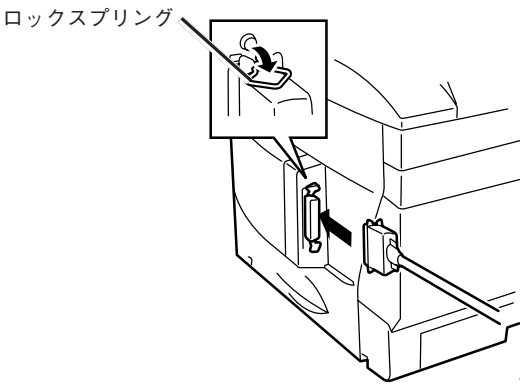
❶ プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。



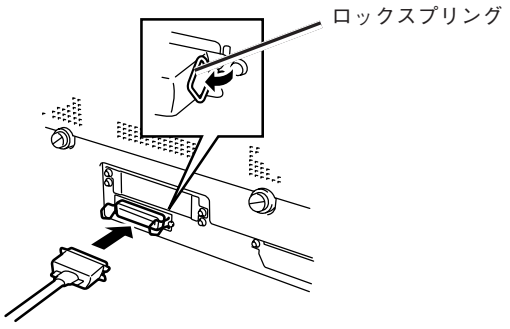
❷ 前面のインターフェースコネクターを使用する場合は、側面にあるインターフェースカバーの上下を押しながら手前に取り外す。



❸ プリンターケーブルのコネクターを前面または背面のコネクターに差し込み、コネクター両端のロックスプリングで固定する.



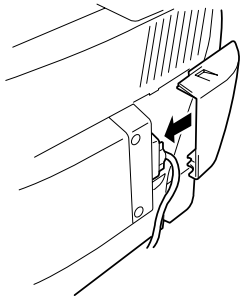
前面



背面

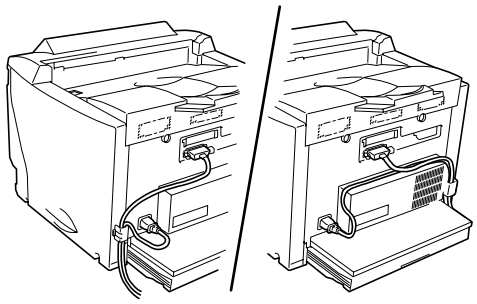
前面のコネクターに差し込んだ場合

そのまま前面のインターフェースカバーを取り付けることができます。



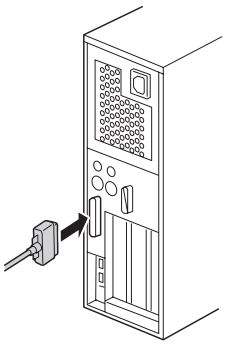
背面のコネクターに差し込んだ場合

背面のコネクターにプリンターケーブルを差し込んだ場合、設置場所に応じてプリンター背面に用意されているケーブルクランプの取り付ける場所を選んでプリンターケーブルを固定することができます。



❹ プリンターケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続する。

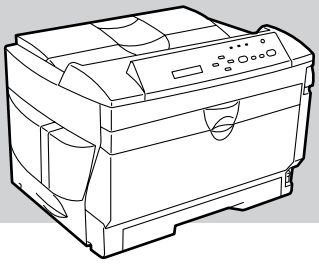
コンピューターのインターフェースコネクターの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。



これでコンピューターへの接続は終わりです。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(27ページ)に進み、ソフトウエアをインストールしてください。

2章 プリンターソフトウエアのインストール



この章では、さまざまな接続方法から、Windows 2000*1 日本語版、Windows 98*2/95 日本語版、Windows NT 4.0/3.51 日本語版、Windows 3.1 日本語版、そしてその他のOS環境にプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。

*1 MultiWriter 2650/2250はOS標準のプリンタードライバーが使用できます。
*2 以下Windows 98 Second Editionを含みます

チェック

- MultiWriterのプリンターソフトウエアを正しくインストールするために、プリンターソフトウエアをインストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」(209ページ)をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

●フロッピーディスクでインストールする場合

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

● MultiWriter 2650/2250/2050をお使いのお客様へ

本書中にMultiWriter 2650/2250/2050の記述がない場合は2650Eの記述を2650/2250/2050と読み替えてください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050に添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows 2000、Windows 98/95/3.1、Windows NT 4.0/3.51のコンピューター環境に対し、次のようなソフトウエアを提供しています。本プリンターソフトウエアをご使用になる前に、必ずメニュープログラム内の「はじめにお読みください」をお読みください。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。MacintoshでこのCD-ROMを見るためには、ISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体、またはOSのマニュアルをご覧ください。CD-ROMは以下のような構成になっています。

□ メニュープログラム

- はじめにお読みください
- プリンタソフトウエアのインストール
  - ー Windows 2000/98/95/3.1/NT 4.0/NT 3.51に対応したMultiWriter 2650E/2050用のプリンターソフトウエアのインストールができます。

  - ー Windows 2000*/98/95/3.1/NT 4.0/NT 3.51に対応したMultiWriter 2650/2250用のプリンターソフトウエアのインストールができます。

    *Windows 2000に対応したプリンターソフトウエアについては、平成12年5月の提供を予定しています。
- オンラインマニュアルを読む
  メニューモードを使って設定できるプリンターの設定内容などの技術情報とプリンター管理ユーティリティーの使い方を納めたマニュアルです。「Adobe Acrobat Reader」を使って閲覧できます。詳細については本ディレクトリー内のReadme、または「オンラインマニュアルの読み方」(viiiページ)を参照してください。
- 付属ユーティリティー
  - ー ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.3.0E (NECバンドル版)」

  - ー NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。このソフトウエアをインストールすることによりWindows環境でバーコードフォント(5種類)の印刷をすることができます。

    1. Industrial 2 of 5(モジュール比2.2、3.0)
    2. NW-7(モジュール比2.2、3.0)
    3. CODE39(モジュール比2.2、3.0)
    4. JAN
    5. カスタマーバーコード(郵便バーコード)

  - ー NEC Font Avenue TrueTypeフォント3書体
    1. FA　丸ゴシックM
    2. FA　教科書体M
    3. FA　端筆行書M

  - ー 帳票エディタ「帳楽」お試し版

その他に、Windows 2000/98/95/NT 4.0/NT 3.51に対応したMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれに収録されているソフトウエアに関連するフォルダー内にある「はじめにお読みください」(Readme.txt)をご覧ください。

ハードディスク容量について

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows 2000 日本語版	Windows 98/95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 3.51 日本語版	Windows 3.1 日本語版
PrintAgentを含む標準でのインストール	約6MB	約5MB	約6MB	約4MB	−
PrintAgentを含む一般でのインストール	最大 約8MB	最大 約7MB	最大 約8MB	最大 約4.5MB	−
PrintAgentを含む管理者でのインストール	最大 約9.5MB	最大 約8.5MB	最大 約9.5MB	−	−
プリンタードライバーのみのインストール	約2.5MB	約1.5MB	約2.5MB	約1.5MB	約0.6MB

チェック

PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)は、インストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更すると、アンインストールが正常に行えません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。

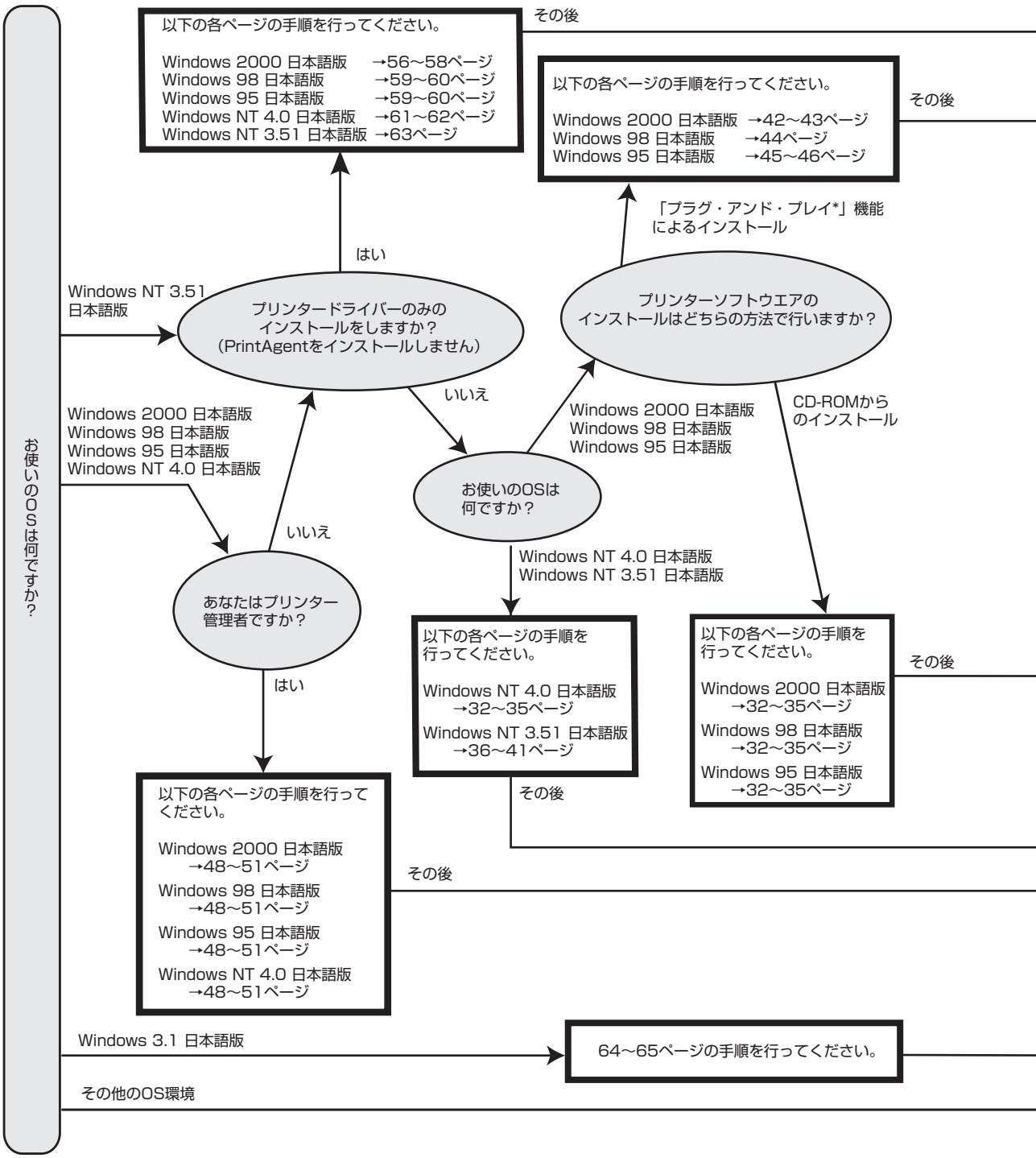
重要

ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のソフトウエアを組み込んでおく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

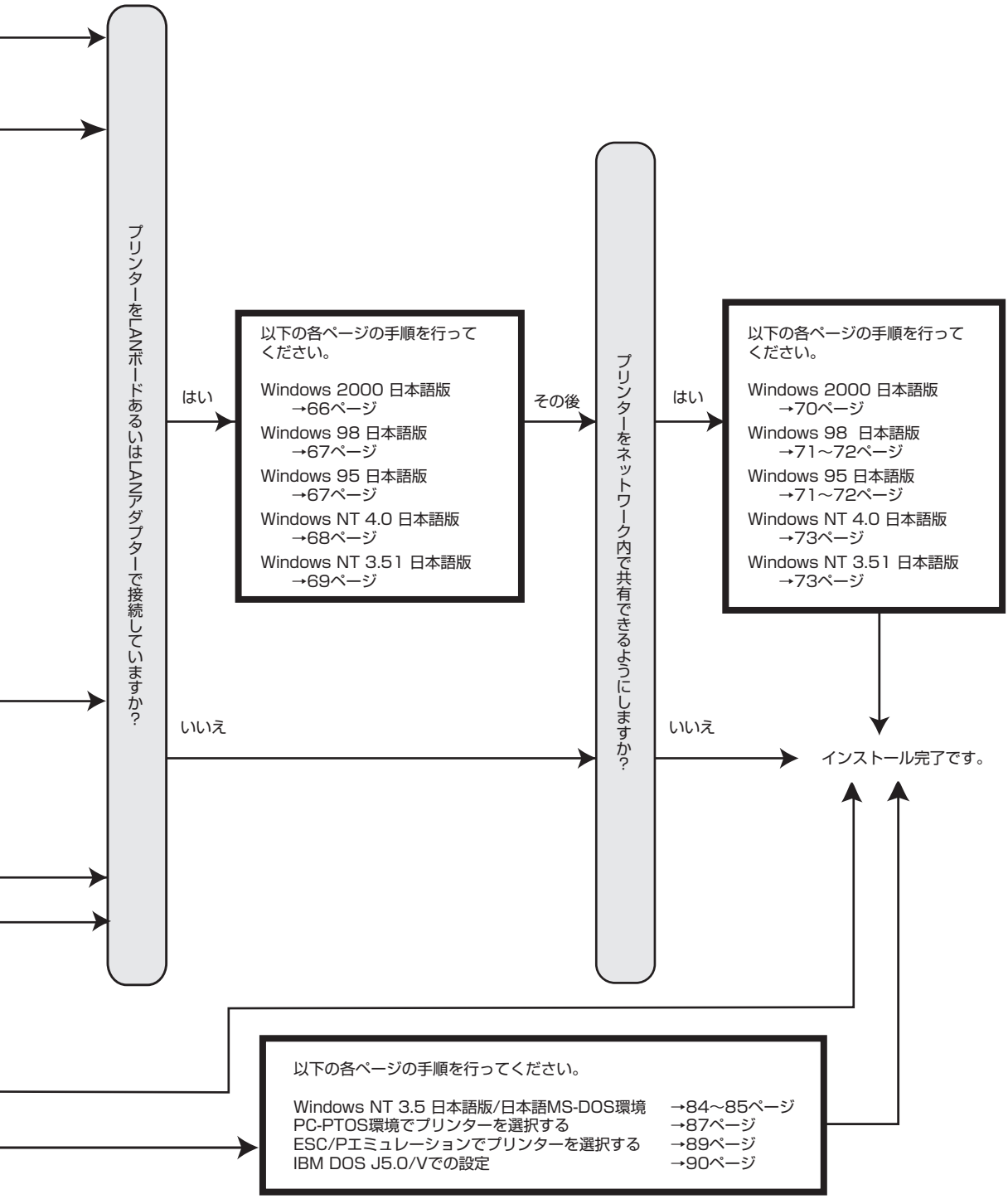
- Windows 2000の場合：　「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
- Windows 98/95の場合：　「Microsoft ネットワーク共有サービス」
- Windows NT 4.0/3.51の場合：　「サーバー」

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールします。
お使いになるコンピューターの条件に従って下のフローチャートの矢印に進み、それぞれのページに進んでください。



* プラグ・アンド・プレイ機能とは、Windows 2000/98/95 がインストールされているコンピューターに新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターが起動時にその周辺機器を検出し、自動的にセットアップを実行する機能です。


プリンターをLANボードあるいはLANアダプターで接続していますか?
はい
以下の各ページの手順を行ってください。
Windows 2000 日本語版
→66ページ
Windows 98 日本語版
→67ページ
Windows 95 日本語版
→67ページ
Windows NT 4.0 日本語版
→68ページ
Windows NT 3.51 日本語版
→69ページ
その後
プリンターをネットワーク内で共有できるようにしますか?
はい
以下の各ページの手順を行ってください。
Windows 2000 日本語版
→70ページ
Windows 98 日本語版
→71～72ページ
Windows 95 日本語版
→71～72ページ
Windows NT 4.0 日本語版
→73ページ
Windows NT 3.51 日本語版
→73ページ
いいえ
いいえ
インストール完了です。
以下の各ページの手順を行ってください。
Windows NT 3.5 日本語版/日本語MS-DOS環境 →84～85ページ
PC-PTOS環境でプリンターを選択する →87ページ
ESC/Pエミュレーションでプリンターを選択する →89ページ
IBM DOS J5.0/Vでの設定 →90ページ

CD-ROMからのインストール

お使いのコンピューターでMultiWriterをご利用になるために、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使って、プリンターソフトウエアをインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROMをドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。お使いのコンピューターによっては自動的にメニュープログラムが起動しない場合があります。その場合、プリンターソフトウエアCD-ROMの中にある「MWSETUP.exe」を実行してください。Windows NT 3.51では自動起動は行われません。

Windows 2000/98/95/NT 4.0 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。

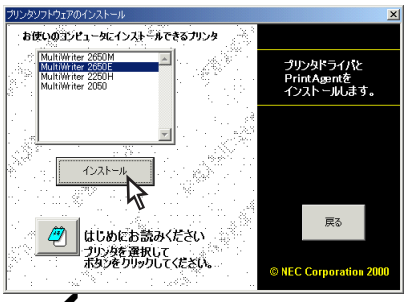
❶ Windows 2000 日本語版を起動する。

❷ プリンターソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]が起動します。

❸ [プリンタソフトウェアのインストール]ボタンをクリックする。

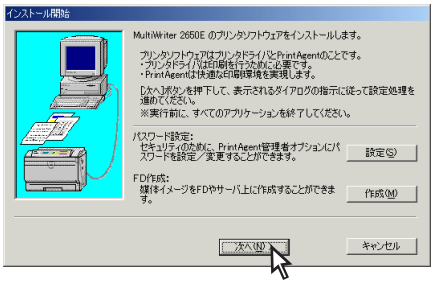
❹ [MultiWriter 2650E]を選んで[インストール]をクリックする。（MultiWriter 2650Eの場合）



✔チェック

お使いのOSにインストール可能なプリンターが表示されます。

❺ [次へ]をクリックする。



❻ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだときは、手順❾へ進んでください。

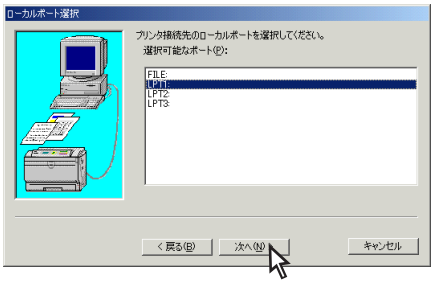
❼ プリンターの接続先を選ぶ。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の手順「[ローカルポート]を選んだときは」へ進んでください。

- [ローカルポート]を選ぶのは、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときです。
- [ネットワーク共有プリンタ]を選ぶのは、本プリンターがプリントサーバー上に共有されているときです。
- [NEC TCP/IP Port]を選ぶのは、プリンターがLANボードまたはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときです。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。



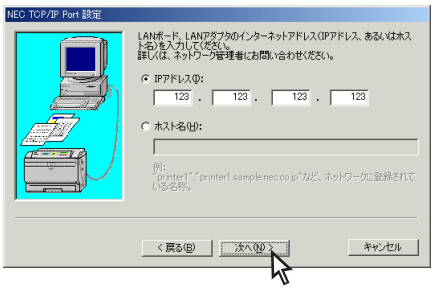
<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして現れる一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

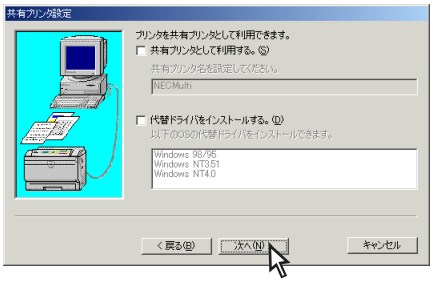
<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。



❽ [次へ]をクリックする。

ネットワーク接続されていない場合は、このダイアログボックスは表示されません。また、Windows 98/95をご使用の場合もこのダイアログボックスは表示されません。
次の手順❾へ進んでください。



チェック

本ダイアログボックスの詳細は、49ページ手順❽を参照してください。

❾ [PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは手順⓬へ進んでください。

❿ 使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。

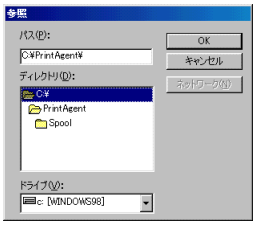
[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとチェックがすべて外れます。

MultiWriter 2650E/2050の場合

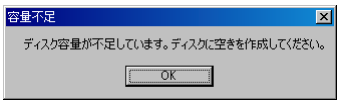
⓫ PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。

すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときは、このダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。

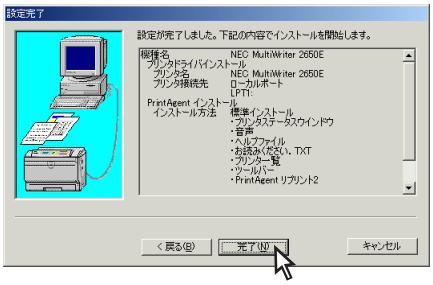
- 作成先のフォルダーを変更したいときは[参照]をクリックするか直接パスを入力してください。



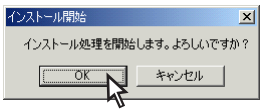
- 次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更してください。



⓬ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。



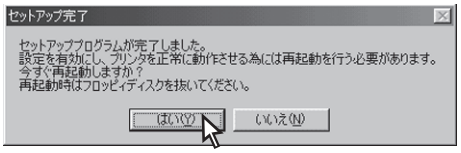
⓭ [OK]をクリックする。



⓮ インストールが終了したら[OK]をクリックする。

✔チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。



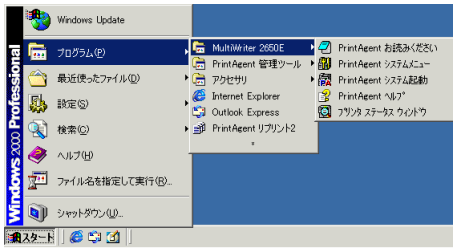
⓯ プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

カスタムインストールを行った場合、選択されているオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

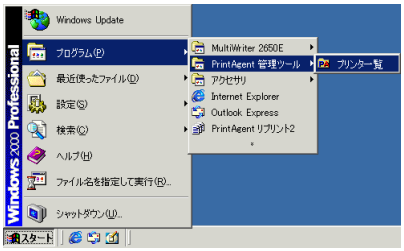
□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 2650E]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

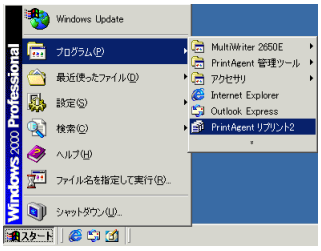
□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 2650E]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。（MultiWriter 2650Eの場合）



□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター一覧]が登録されている。



□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent リプリント2]が登録されている。



Windows NT 3.51日本語版

ここでは、Windows NT 3.51にプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。

チェック

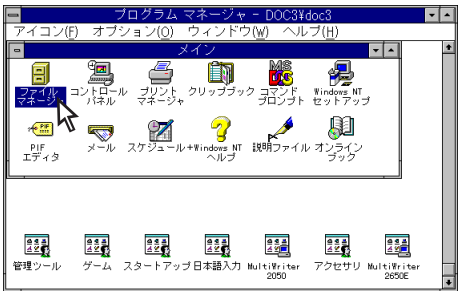
下記手順❷でプリンタードライバーとは別に「CTL3D32.DLL」モジュールのインストール方法を説明しています。このモジュールは、[プリンタ]ダイアログボックスを立体表示させるもので、プリンタードライバーの機能になんら影響はありません。立体表示をする必要がない場合は、インストールしなくてもかまいません。

❶ Windows NT 3.51 日本語版を起動する。

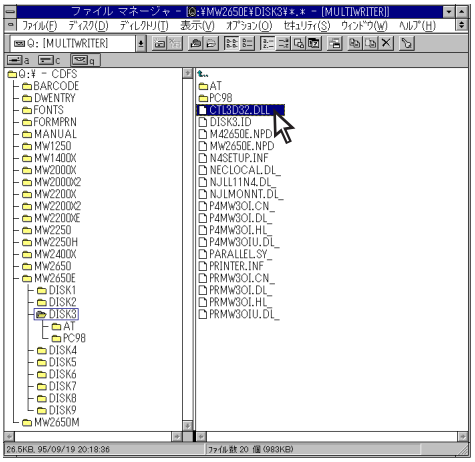
❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

「CTL3D32.DLL」モジュールをインストールする場合は手順❸へ、このモジュールをインストールする必要がない場合は、手順❼へ進んでください。

❸ プログラムマネージャの中の[メイン]グループから[ファイルマネージャ]をダブルクリックする。

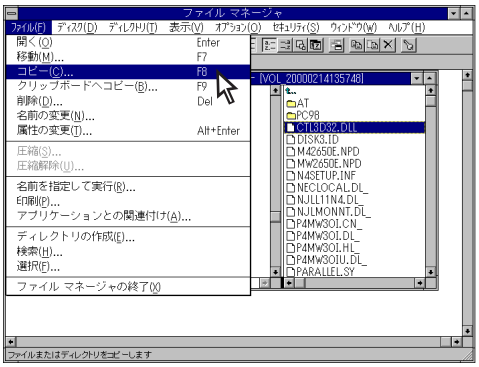


❹ CD-ROMを挿入したドライブを選択し、[MW2650E]ディレクトリー内の[Disk3]の中から[CTL3D32. DLL]を選ぶ。



❺ [ファイル]メニューから[コピー]をクリックする。

[ファイル／ディレクトリのコピー]ダイアログボックスが表示されます。



❻ コピー先を入力して、[OK]をクリックする。

[コピー先]ボックスにWindows NT 3.51をインストールしたドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)、Windows NT 3.51をインストールしたディレクトリー名、円記号(¥)、「SYSTEM32」、円記号(¥)、「CTL3D32.DLL」と入力します。

チェック

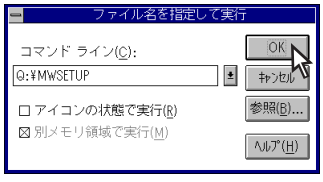
すでに「CTL3D32.DLL」がシステム中にある場合は、このモジュールをコピーできない場合があります。この場合は、このモジュールをシステムにコピーする必要はありません。

❼ [アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスが表示されます。

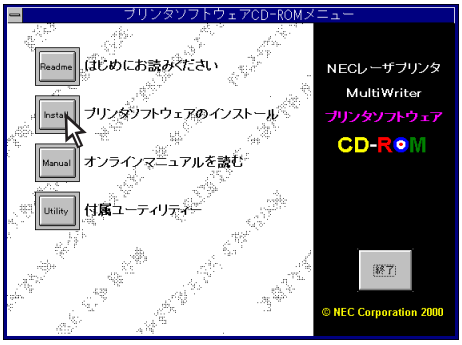
❽ セットアッププログラムを起動する。

[コマンドライン]ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MWSETUP」と入力し、[OK]をクリックします。

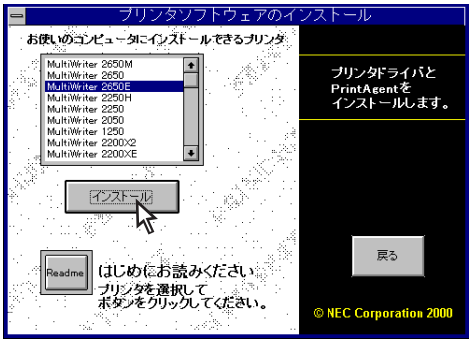


ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

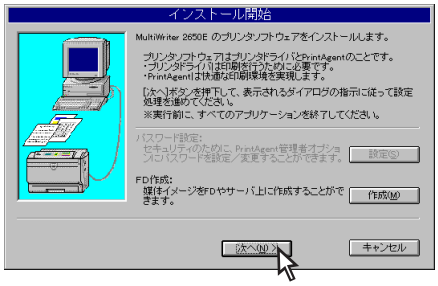
❾ [プリンタソフトウェアのインストール]ボタンをクリックする。



❿ [MultiWriter 2650E]を選んで[インストール]をクリックする。



⓫ [次へ]をクリックする。



チェック

Windows NT 3.51環境ではパスワード設定はできません。

⓬ [プリンタドライバのインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだときは手順⓰へ進んでください。

⓭ プリンターの接続先を選ぶ。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の手順[ローカルポート]を選んだときはへ進んでください。

- [ローカルポート]を選ぶのは、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときです。
- [ネットワーク共有プリンタ]を選ぶのは、本プリンターがプリントサーバー上に共有されているときです。
- [NEC TCP/IP Port]を選ぶのは、プリンターがLANボードまたはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に`接続されているときです。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]ボックスに入力するか[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。

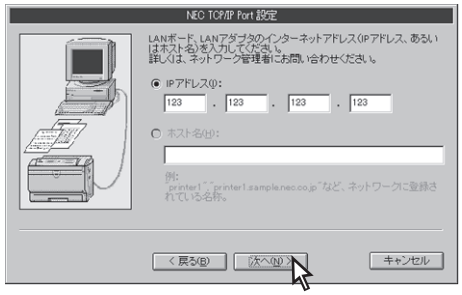
手順⓯へ進んでください。

＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスを設定して、[次へ]をクリックする。

チェック

Windows NT 3.51環境ではホスト名の設定はできません。



⓮ [次へ]をクリックする。

[共有プリンタとして利用する]をチェックし、共有プリンター名を設定することでこのプリンターをネットワークプリンターとして利用することができます。

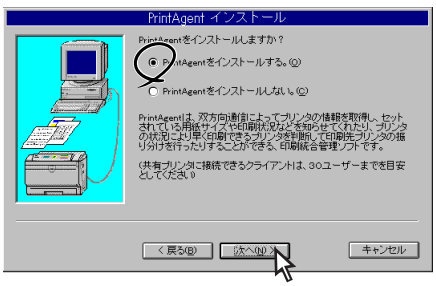
ネットワーク接続されていない場合は、このダイアログボックスは表示されません。
次の手順⓯へ進んでください。

チェック

Windows NT3.51環境では代替ドライバーをインストールすることはできません。

⓯ [PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

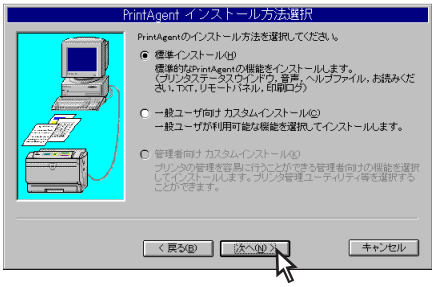
[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは手順⓲へ進んでください。



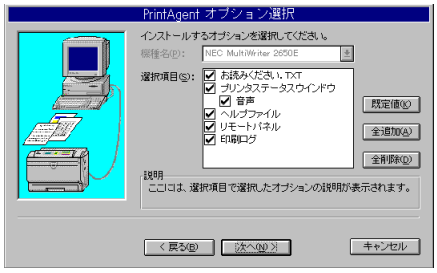
⓰ 使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。

チェック

Windows NT 3.51環境では管理者向けのインストールはできません。

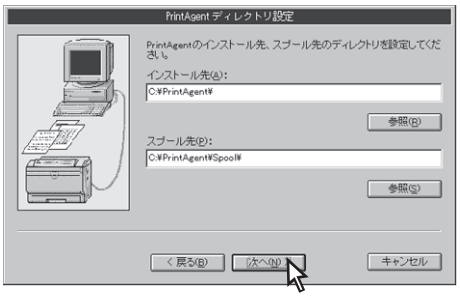


[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]を選ぶとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとチェックがすべて外れます。

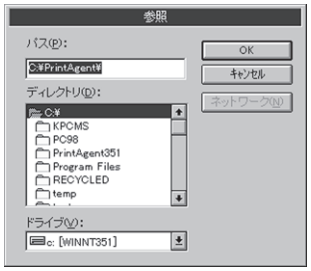


⑰ PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。

すでにPrintAgentのフォルダーが作成されているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⑱へ進んでください。

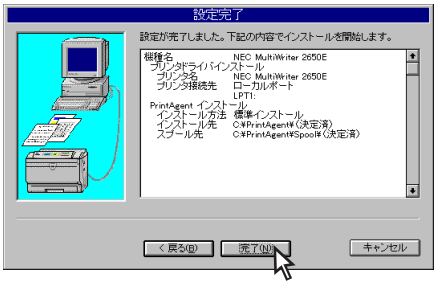


- 作成先のフォルダーを変更したいときは[参照]をクリックするか直接パスを入力してください。

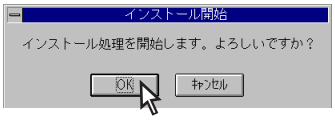


- 以下のようなメッセージが出たときは、インストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更してください。

⑱ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。



⑲ [OK]をクリックする。

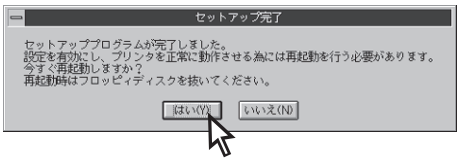


ソフトウエアのインストールが開始されます。

⑳ インストールが終了したら、[OK]をクリックする。

✔チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

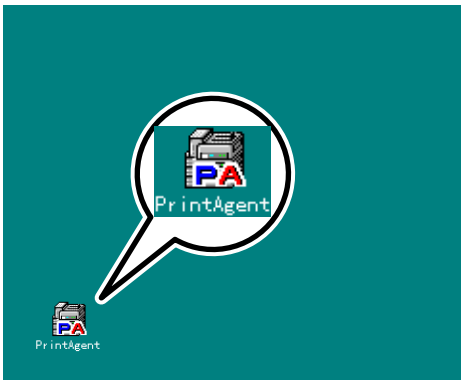


㉑ プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

> 一般ユーザ向けカスタムインストールを行った場合、選択されているオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ [プリントマネージャー]内に、[MultiWriter 2650E]アイコンが登録されている。

□ デスクトップ上に、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。



□ プログラムマネージャーに[MultiWriter 2650E]というグループが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(MultiWriter 2650Eの場合)

「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版においてプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。

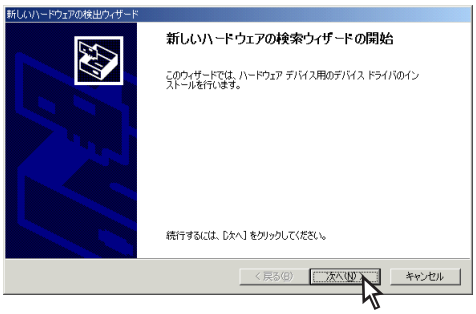
❶ MultiWriter 2650Eの電源をONにする。

❷ コンピューターの電源をONにする。

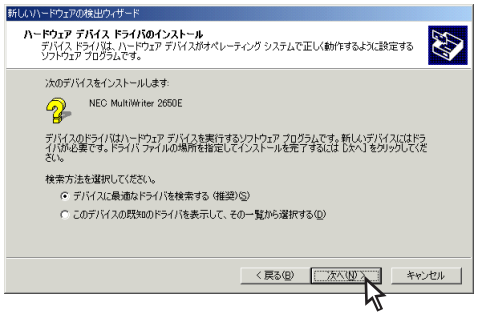
Windows 2000 日本語版を起動します。

❸ [次へ]をクリックする。

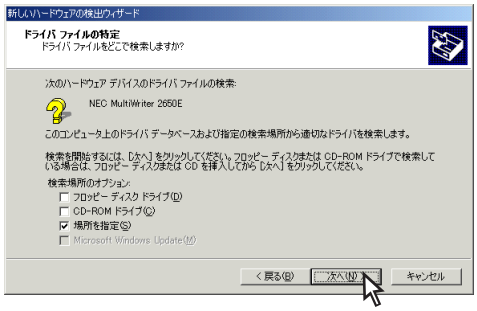
このダイアログボックスが表示されなかったら、32ページの「CD-ROMからのインストール」を行ってください。



❹ [デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。



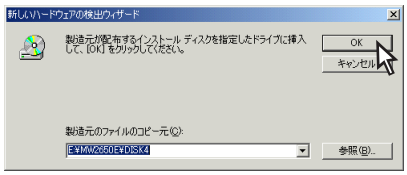
❺ [場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。



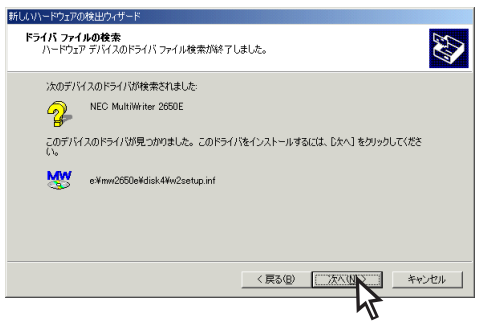
❻ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

❼ ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2650E¥DISK4」と入力します。

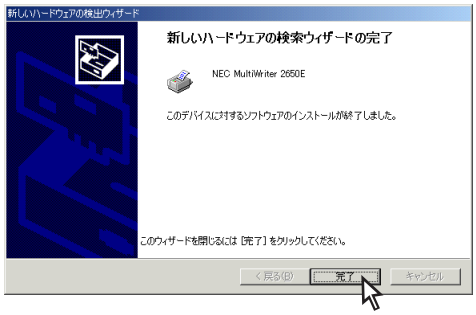


❽ 内容を確認して、[次へ]をクリックする。



❾ [完了]をクリックする。

インストールを開始します。



✔チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]というメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている、MultiWriter 2650Eのプリンターソフトウエアは弊社により正常に動作することを確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]をクリックすると、インストールが中止されます。

これでプリンタドライバーのインストール完了です。

次に、PrintAgentをインストールするには、「CD-ROMからのインストール(32ページ)」の手順で「プリンタードライバーをインストールしない」を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版において、プリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。

❶ MultiWriter 2650Eの電源をONにする。

❷ コンピューターの電源をONにする。

Windows 98 日本語版を起動します。

❸ [次へ]をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかったら、32ページの「CD-ROMからのインストール」を行ってください。

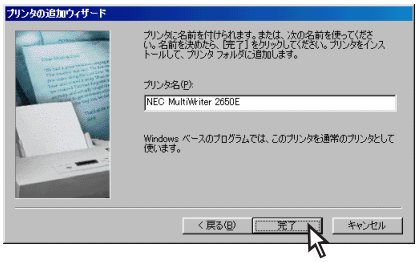
❹ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

❺ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

❻ 選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。

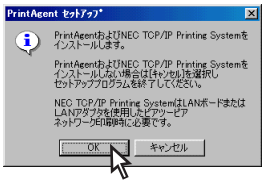
❼ [次へ]をクリックする。

❽ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。



❾ [完了]をクリックする。

❿ PrintAgentをインストールする場合は、[OK]をクリックする。



このあとは32ページの手順❺からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックしインストールを終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95日本語版において、プリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。

❶ MultiWriter 2650Eの電源をONにする。

❷ コンピューターの電源をONにする。

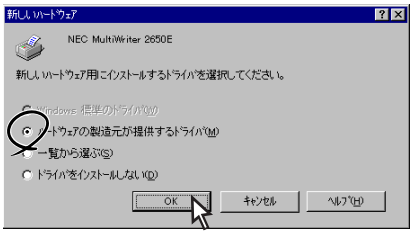
Windows 95 日本語版を起動します。

<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

手順❸へ進んでください。

<[新しいハードウエア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウエアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。



手順❾へ進んでください。

❸ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[次へ]をクリックする。

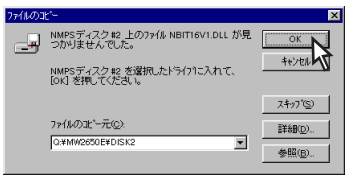
❹ [完了]をクリックする。

❺ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

❻ [OK]をクリックする。

❼ プリンターソフトウエアの[配付ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2650E¥DISK2」と入力します。



プリンタードライバーがインストールされます。

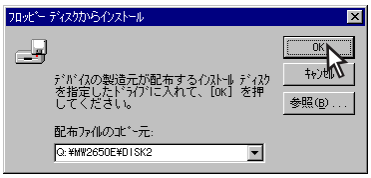
❽ PrintAgentをインストールする場合は、[OK]をクリックする。

このあとは32ページの手順❺からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックしインストールを終了します。

❾ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❿ 配付ファイルのコピー元を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて、「MW2650E¥DISK2」と入力します。



⓫ プリンターの名前を確認し、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ PrintAgentをインストールする場合は、[OK]をクリックする。

このあとは32ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、ここで[キャンセル]をクリックします。その場合、これでインストールは終了します。

プリンター管理者向けインストール

MultiWriter 2650/2250/2050をお使いのお客様へ

本書中にMultiWriter 2650/2250/2050の記述がない場合は2650Eの記述を2650/2250/2050と読み替えてください。

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする場合の手順を説明します。なお、Windows NT 3.51では、プリンター管理者としてインストールすることはできません。

プリンター管理者向けのインストールを行うと、以下の機能を利用することができます。

- **Web PrintAgent**
- **プリンタ管理ユーティリティーによるLANボード、LANアダプターのリモート設定、プリンタ自動切替機能、保守情報のメール通知機能**
- **印刷ログ**
- **リモートパネル**

また、プリンターを管理する方に、以下のような機能をご利用いただけます。

- **インストール用フロッピーディスクの作成**

  プリンターソフトウエアCD-ROMからインストール用のフロッピーディスクを作成します。また、ハードディスクなど任意の媒体にコピーすることができます。ハードディスクなどにコピーしたとき複数台のコンピューターにプリンターソフトウエアを指定した内容で短時間にインストールしたい場合などに便利です。

- **セキュリティのためのパスワード設定**

  プリンター管理者以外の人に「プリンタ管理ユーティリティ」、「リモートパネル」の使用、「Web PrintAgent」からのプリンター設定やプリンターソフトウエアの削除を保護するためにパスワード設定が可能です。

Windows 2000/98/95/NT 4.0 日本語版

❶ Windows 2000/98/95/NT 4.0 日本語版を起動する。

MultiWriter 2650Eの電源をONにしてから、コンピューターの電源をONにしてください。

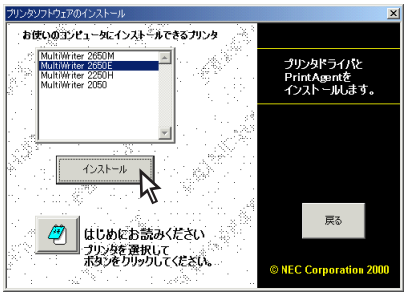
❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

❸ [プリンタソフトウェアのインストール]ボタンをクリックする。

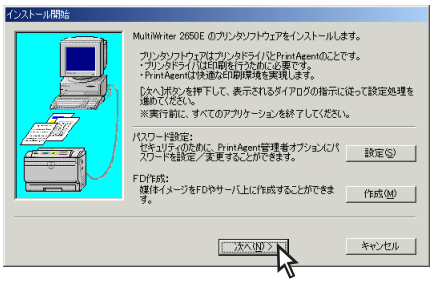
❹ [MultiWriter 2650E]を選んで[インストール]をクリックする。(MultiWriter 2650Eの場合)

✔チェック

お使いのOSにインストール可能なプリンターが表示されます。



❺ [次へ]をクリックする。



❻ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだときは手順❾へ進んでください。

❼ プリンターの接続先を選ぶ。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の手順[ローカルポート]を選んだときはへ進んでください。

- [ローカルポート]を選ぶのは、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときです。
- [ネットワーク共有プリンタ]を選ぶのは、本プリンターがプリントサーバー上に共有されているときです。
- [NEC TCP/IP Port]を選ぶのは、プリンターがLANボードまたはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときです。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。

<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

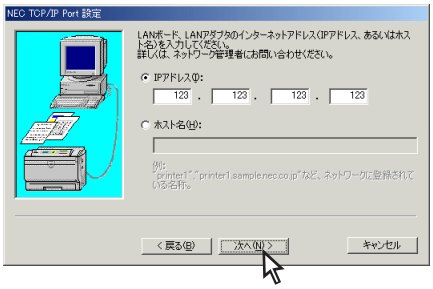
プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]ボックスに入力するか[参照]をクリックして現れる一覧から指定します。

手順❾へ進んでください。

<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

LANボード、LANアダプターのIPアドレス、あるいはホスト名を設定して[次へ]をクリックする。



❽ [次へ]をクリックする。

[共有プリンタを利用する]：共有プリンター名を設定することでこのプリンターをネットワーク共有プリンターとして利用することができます。

[代替ドライバをインストールする]：リストからOS名を選択することで、選択したOSを使用するネットワークユーザーが接続した際に、自動的にドライバーがインストールされます。

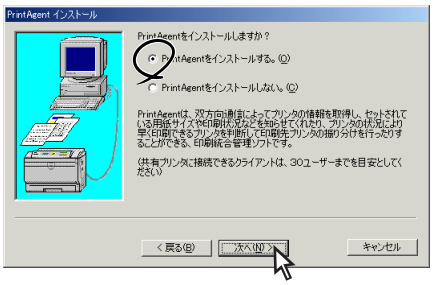
ネットワークに接続されていない場合は、このダイアログボックスは表示されません。また、Windows 98/95をご使用の場合もこのダイアログボックスは表示されません。次の手順❾へ進んでください。

✔チェック

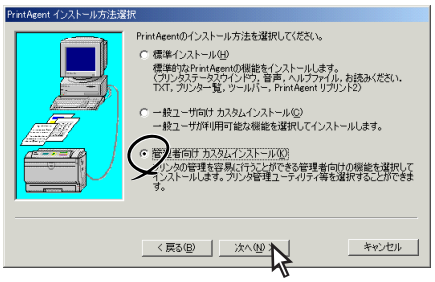
既に代替ドライバーがインストールされている場合は、リストに表示されません。

❾ [PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは手順⓭へ進んでください。



❿ [管理者向けカスタムインストール]を選び、[次へ]をクリックする。



⓫ 任意の機能を選び、[次へ]をクリックする。

[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとチェックがすべて外れます。

チェック

すでにMultiWriter 2650Eがインストールされているとオプションにチェックがついて表示される場合があります。

以下の機能が選択可能です。

■ MultiWriter 2650E/2050の例

- ☐ PrintAgent リプリント2*1
- ☐ Web PrintAgent*2
- ☐ お読みください.TXT
- ☐ ツールバー*1
- ☐ プリンタステータスウィンドウ
  - ☐ 音声
- ☐ プリンター覧
- ☐ プリンタ管理ユーティリティ
  - ☐ プリンタ自動切替
  - ☐ メール通知*3
- ☐ ヘルプファイル
- ☐ リモートパネル
- ☐ 印刷ログ*4

*1 MultiWriter 2650E/2050のみ選択可能です。

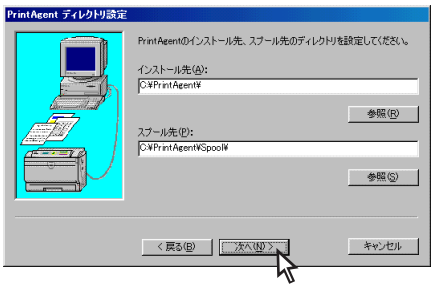
*2 プリントサーバーにWeb Serverがインストールされている必要があります。

*3 ネットワーク設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。詳しくはOSの取扱説明書を参照してください。

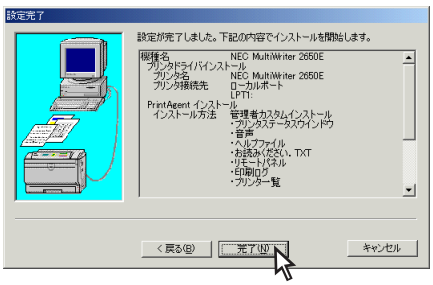
*4 Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51のみ選択できます。

⓬ PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。

すでにPrintAgentのフォルダーが作成されているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓭へ進んでください。

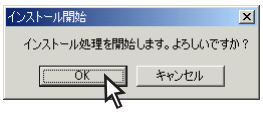


⓭ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。



⓮ [OK]をクリックする。

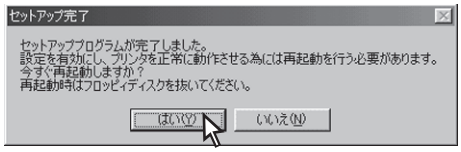
ソフトウエアがインストールされます。



⓯ インストールが終了したら[OK]をクリックする。

✔チェック

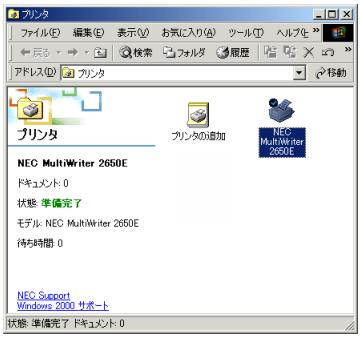
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。



⓰ プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

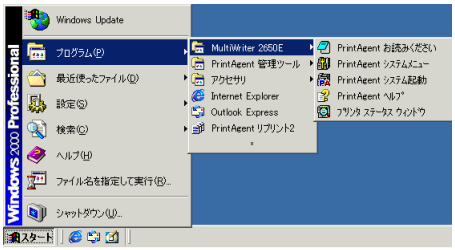
カスタムインストールを行った場合、選択されているオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 2650E]アイコンが登録されている。(MultiWriter 2650Eの場合)

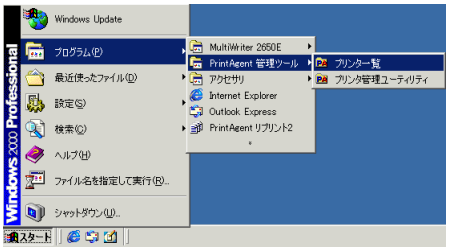


□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

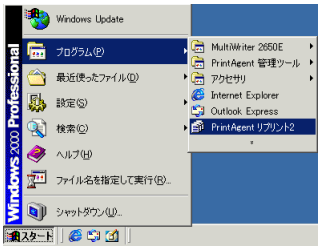
□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 2650E]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(MultiWriter 2650Eの場合)



□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンタ管理ユーティリティ]と[プリンター覧]が登録されている。



□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent リプリント2]が登録されている。



パスワードの設定

管理者としてソフトウエアをインストールした場合パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。

チェック

パスワードで保護される機能は、「プリンタ管理ユーティリティ」、「リモートパネル」の起動、「Web PrintAgent」からのプリンター設定、プリンターソフトウエアの削除です。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

[MultiWriter 2650E]を選んで[インストール]をクリックします。

チェック

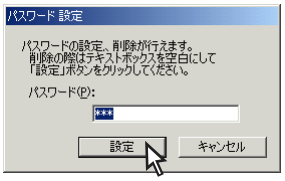
お使いのOSにインストール可能なプリンターが表示されます。

❷ パスワード設定の[設定]をクリックする。

❸ パスワードを入力し[設定]をクリックする。

半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードを設定しない場合は空白のまま[設定]をクリックします。すでに入力してあるパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、[設定]をクリックします。



FD作成(インストール媒体の作成)

「FD作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

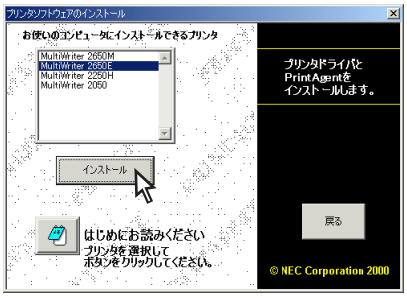
- マスターとして　MultiWriter 2650E用プリンターソフトウエアをすべてコピーします。(1.44MBまたは、1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが9枚が必要です)
- 「カスタム」インストール用として　機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウエアをコピーします。(1.44MBまたは、1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが9枚が必要です)

プリンターソフトウエアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターでも共有できるようにしておけば、プリンターソフトウエアCD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

[MultiWriter 2650E]を選んで[インストール]をクリックします。



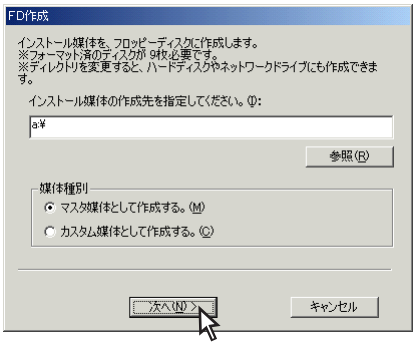
❷ FD作成の[作成]をクリックする。

❸ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。

[マスタ媒体として作成する]を選ぶと、CD-ROMと同様の内容をすべてコピーします。

インストール媒体作成先は、ハードディスク、ネットワークパスも指定することができます。



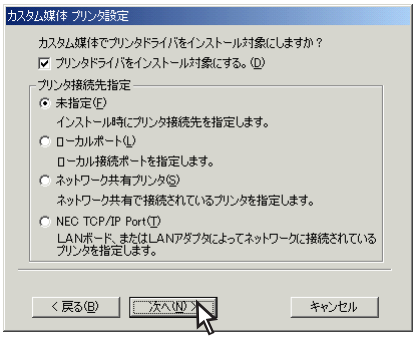
<[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❼へ進んでください。

<[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❹で接続方法を選んでください。

❹ プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

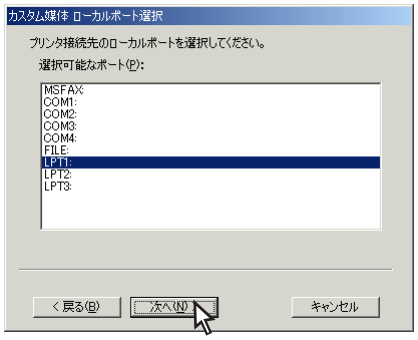


＜[未指定]を選んだ場合＞

手順❺へ進んでください。

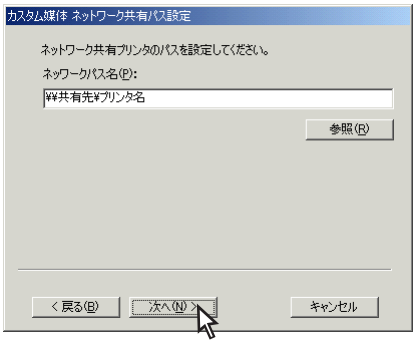
＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

[次へ]をクリックする。



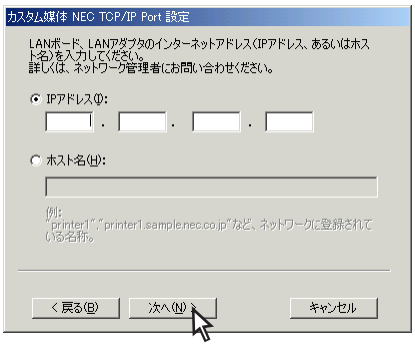
＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだとき＞

[次へ]をクリックする。



＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

[次へ]をクリックする。

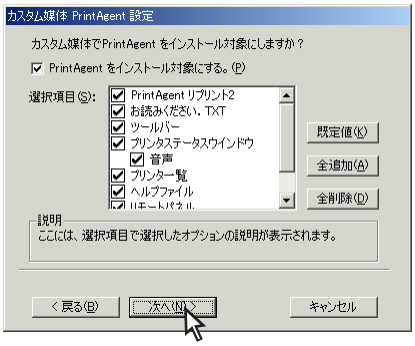


❺ 任意の機能を選ぶ。

[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとチェックがすべて外れます。

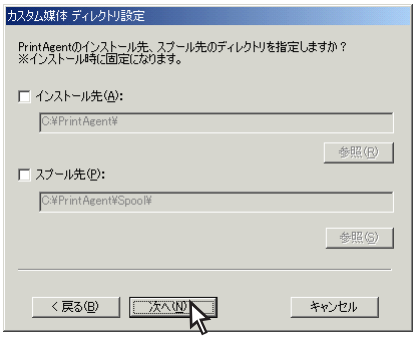
チェック

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールしたあとクライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

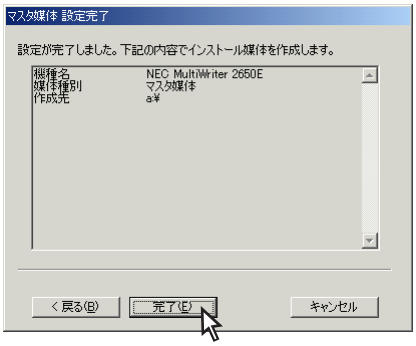


❻ インストール時に固定する設定を指定し、[次へ]をクリックする。

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。



❼ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。



❽ [OK]をクリックする。

インストール媒体の作成が開始します。

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。FD作成の途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフォーマット済みのフロッピーディスクを入れ替えてください。

❾ [OK]をクリックする。

✔チェック

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk 1　インストールプログラム

Disk 2　Windows 98/95プリンタードライバー

Disk 3　Windows NT 4.0/3.51プリンタードライバー

Disk 4　Windows 2000プリンタードライバー

Disk 5
Disk 6
Disk 7
Disk 8
Disk 9
　PrintAgentソフトウエア

作成したフロッピーディスクでのプリンターソフトウエアのインストールには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

また、Windows 3.1のプリンタードライバーはコピーされません。別途フロッピーディスクにコピーが必要です。プリンターソフトウエアCD-ROMのプリンター名のフォルダーの下にある¥Win31のすべてのフロッピーディスクにコピーしてください。

プリンタードライバーのみのインストール

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。MultiWriter 2650/2050は、OS標準のプリンタードライバーをご利用ください。

Windows 2000 日本語版

❶ **Windows 2000 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

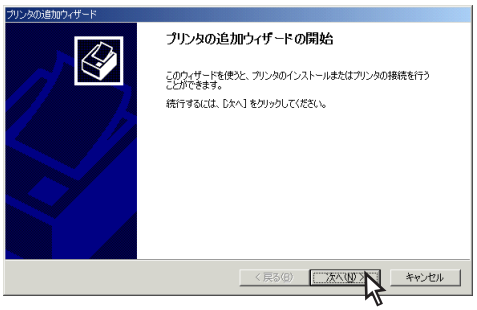
ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

❸ **[終了]をクリックする。**

❹ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

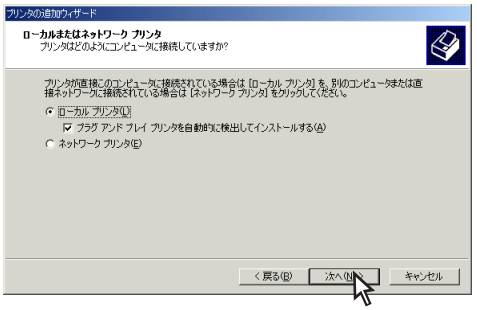
❺ **[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。**

❻ **[次へ]をクリックする。**



❼ **プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。**

[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。

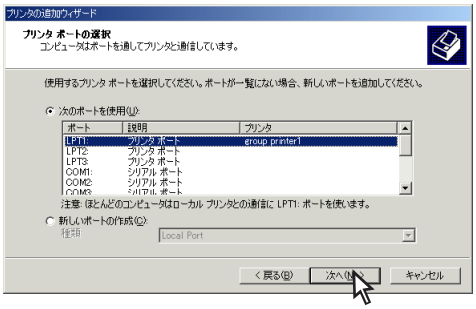


[プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする]を選んだ場合、プリンターの電源はONにするだけでコンピューターはプリンターを自動的に検出します。42ページの手順を参照してください。

✔チェック

印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに変更するには、このままインストールを行い、66ページを参照して印刷先を変更してください。

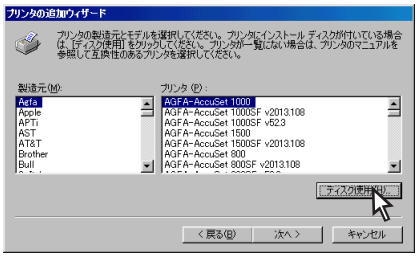
❽ [使用するプリンタポート]を選び、[次へ]をクリックする。



❾ [ディスク使用]をクリックする。

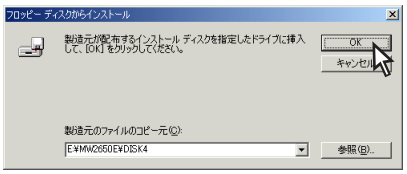
チェック

MultiWriter 2650/2250は、プリンタの追加ウィザードより選択してください。

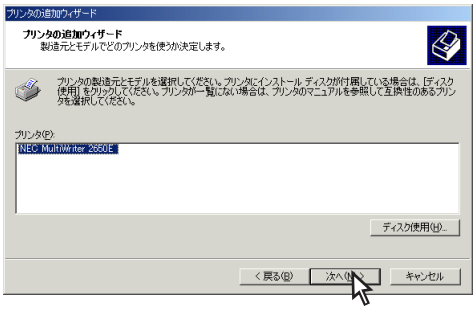


❿ [製造元のファイルをコピー]を入力して。[OK]をクリックする。

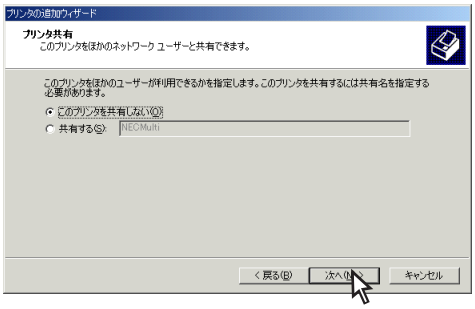
[製造元のファイルをコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2650E¥DISK4」と入力します。



⓫ プリンターの名前を確認して、[次へ]をクリックする。

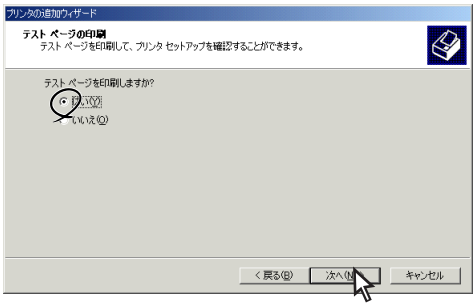


⓬ [このプリンタを共有しない]を選び、[次へ]をクリックする。

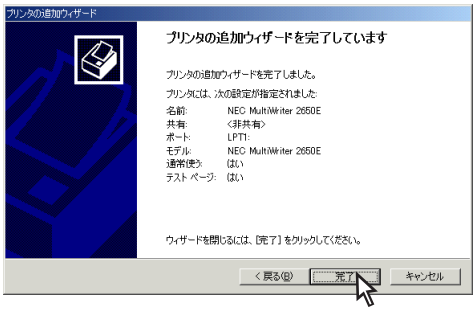


⓭ [テストページの印刷]で[はい]を選び、[次へ]をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。



⓮ **[完了]をクリックする。**

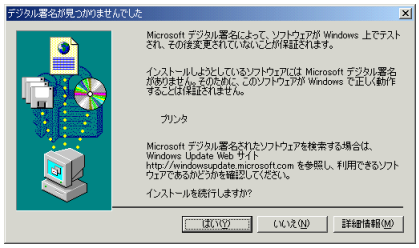


チェック

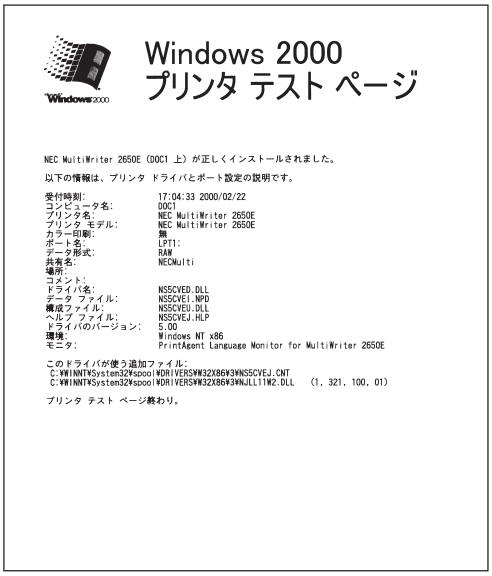
[デジタル署名が見つかりませんでした]というメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているMultiWriter 2650Eのプリンターソフトウエアは、弊社により正常に動作することを確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

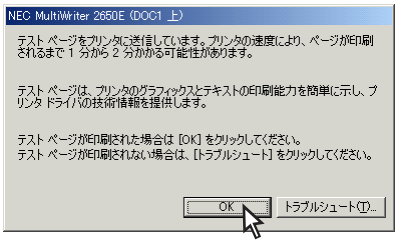
[いいえ]をクリックすると、インストールが中止されます。



テストページが印刷されます。



⓯ **テストページが正しく印刷されたら、[OK]をクリックする。**



Windows 98/95 日本語版

❶ Windows 98/95 日本語版を起動する。

❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

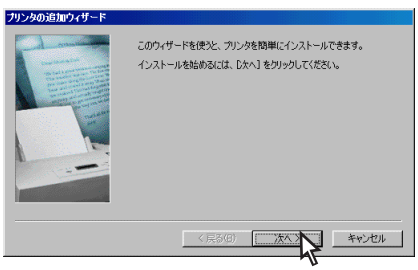
ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

❸ [終了]をクリックする。

❹ [プリンタ]フォルダーを開く。

❺ [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

❻ [次へ]をクリックする。

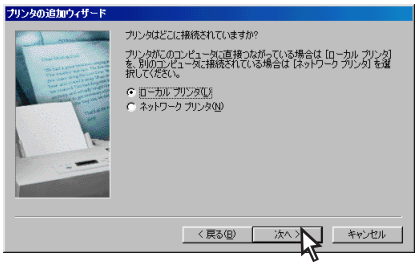


❼ [ローカルプリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。

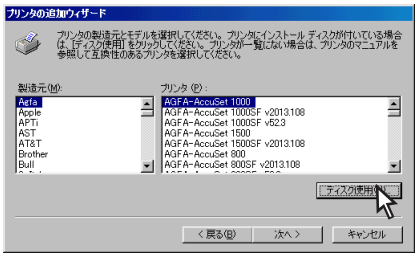
[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。

✔チェック

印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに接続するには、このままインストールを行った後、「印刷先の変更」(67ページ)を参照して印刷先を変更してください。

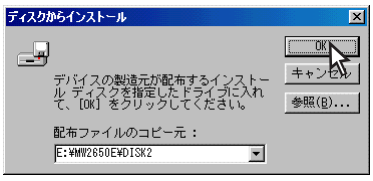


❽ [ディスク使用]をクリックする。

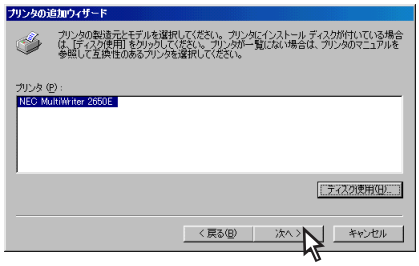


❾ 配付ファイルのコピー元を入力して、[OK]をクリックする。

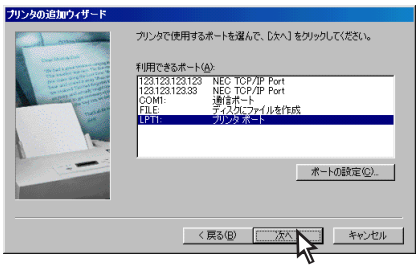
[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2650E¥DISK2」と入力します。



⑩ 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。

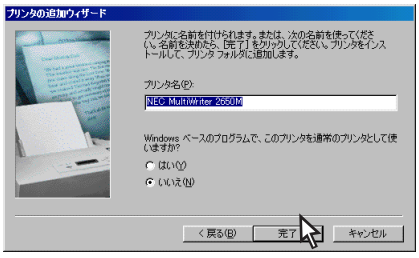


⑪ 使用するポートを選び、[次へ]をクリックする。

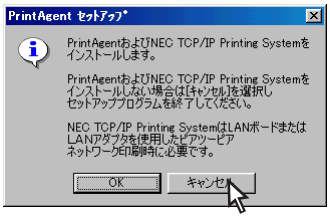


⑫ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

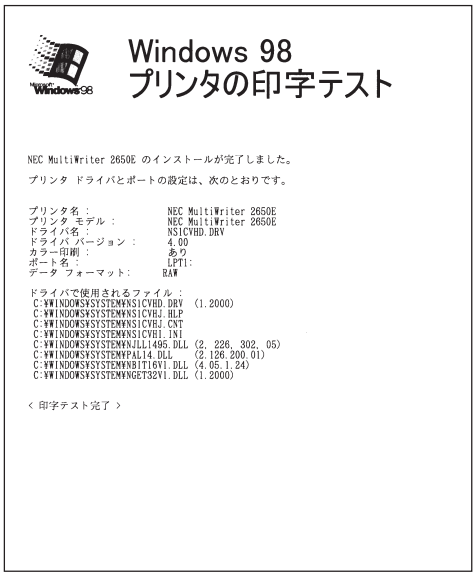


⑬ [キャンセル]をクリックする。



この後テストページを印刷するに場合は、[プリンターのプロパティ]の[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてください。テストページが印刷されます。

テストページが印刷されます。



Windows 98
プリンタの印字テスト

NEC MultiWriter 2650E のインストールが完了しました。

プリンタ ドライバとポートの設定は、次のとおりです。

プリンタ名 :	NEC MultiWriter 2650E
プリンタ モデル :	NEC MultiWriter 2650E
ドライバ名 :	NSICVHD.DRV
ドライバ バージョン :	4.00
カラー印刷 :	あり
ポート名 :	LPT1:
データ フォーマット :	RAW

ドライバで使用されるファイル :
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NSICVHD.DRV (1.2000)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NSICVHJ.HLP
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NSICVHJ.CNT
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NSICVHI.INI
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NJLI49S.DLL (2, 226, 302, 05)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥PAL14.DLL (2.126.200.01)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NBIT16VI.DLL (4.05.1.24)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NGET32VI.DLL (1.2000)

< 印字テスト完了 >

Windows NT 4.0 日本語版

❶ **Windows NT 4.0 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

❸ **[終了]をクリックする。**

❹ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

❺ **[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。**

❻ **[このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックする。**

[ネットワークプリンタ サーバー]を選択する場合は、OSの取扱説明書をご覧ください。

❼ **[使用するポート]をチェックして、[次へ]をクリックします。**

[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。

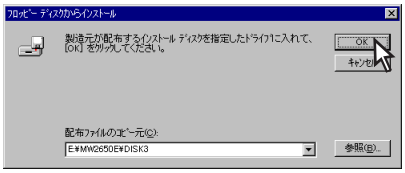
チェック

印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに接続するには、このままインストールを行った後、「印刷先の変更」(68ページ)を参照して印刷先を変更してください。

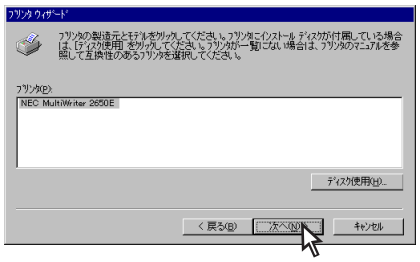
❽ **[ディスク使用]をクリックする。**

❾ **[配付ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。**

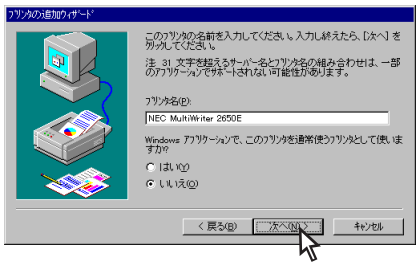
[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2650E¥DISK3」と入力します。



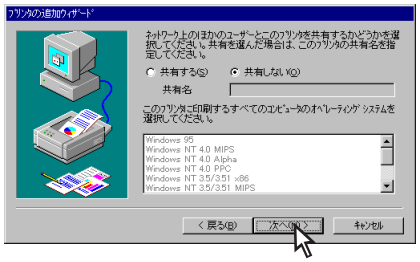
⑩ 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。



⑪ プリンターの名前を確認して、[次へ]をクリックする。

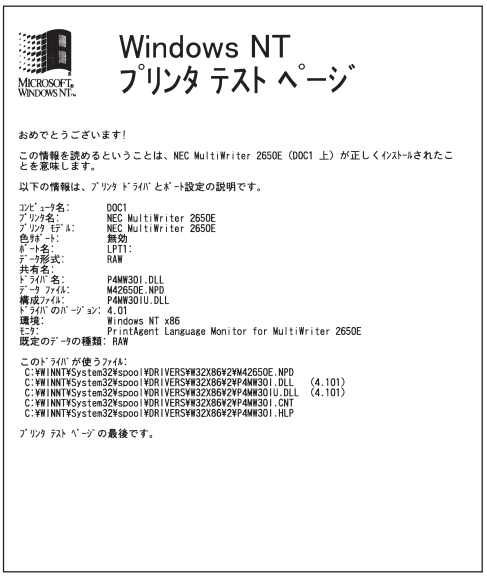


⑫ [次へ]をクリックする。



⑬ [完了]をクリックする。

テストページが印刷されます。


Windows NT
プリンタ テスト ページ

おめでとうございます!

この情報を読めるということは、NEC MultiWriter 2650E (DOC1 上) が正しくインストールされたことを意味します。

以下の情報は、プリンタ ドライバとポート設定の説明です。

コンピュータ名: DOC1
プリンタ名: NEC MultiWriter 2650E
プリンタ モデル: NEC MultiWriter 2650E
色対応: 無効
ポート名: LPT1:
データ形式: RAW
共有名:
ドライバ名: P4MW30I.DLL
データ ファイル: M42650E.NPD
構成ファイル: P4MW30IU.DLL
ドライバのバージョン: 4.01
環境: Windows NT x86
モニタ: PrintAgent Language Monitor for MultiWriter 2650E
既定のデータの種類: RAW

このドライバが使うファイル:
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥M42650E.NPD
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥P4MW30I.DLL (4.101)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥P4MW30IU.DLL (4.101)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥P4MW30I.CNT
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥P4MW30I.HLP

プリンタ テスト ページの最後です。

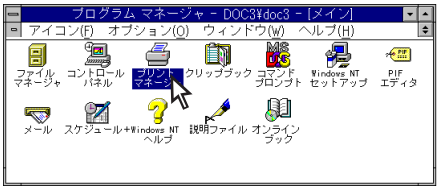
Windows NT 3.51 日本語版

❶ Windows NT 3.51 日本語版を起動する。

❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

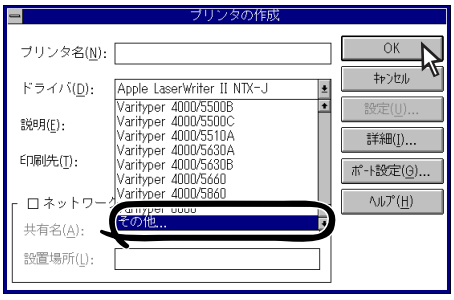
❸ [プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。



❹ [プリンタ]メニューの[プリンタの作成]をクリックする。

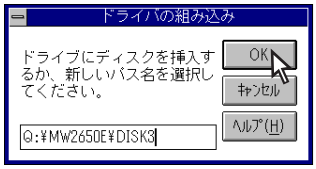
共有設定されているプリンターに接続する場合は、OSの取扱説明書をご覧ください。

❺ [ドライバ]ボックスから、一番下の「その他」を選択し、[OK]をクリックする。



❻ パス名を入力し、[OK]をクリックする。

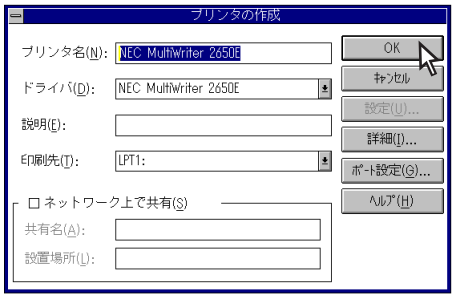
ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(：)、円記号(¥)に続けて「MW2650E¥DISK3」と入力します。



プリンタードライバーがインストールされます。

[NEC MultiWriter 2650E]が選択されます。

❼ プリンター名を入力して、[OK]をクリックする。



プロパティダイアログボックスが表示されます。

❽ [OK]をクリックする。

Windows 3.1 日本語版

❶ Windows 3.1 日本語版を起動する。

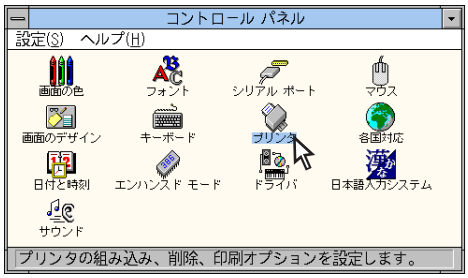
MultiWriter 2650Eの電源をONにしてから、コンピューターの電源をONにしてください。

❷ プログラムマネージャ中の[メイン]グループ内の[コントロールパネル]をダブルクリックする。

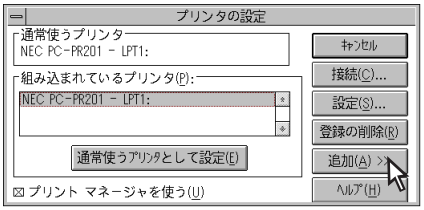
[コントロールパネル]ダイアログが開きます。

❸ [プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

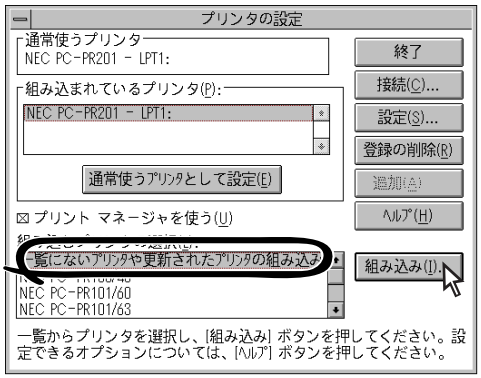
[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。



❹ [追加]をクリックする。



❺ [組み込むプリンタの選択]一覧から[一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み]を選択し、[組み込み]をクリックする。



[プリンタの組み込み]ダイアログボックスが表示されます。

❻ プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

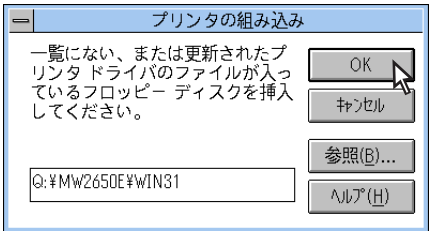
❼ ドライバーファイルを指定する。

テキストボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)に続けて「¥MW2650E¥WIN31」と入力し、[OK]をクリックします。

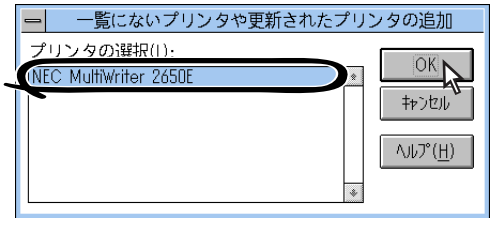
または[参照]をクリックしてCD-ROMを挿入したドライブを指定し、[ディレクトリ]の中から[MW2650E]の下にある[WIN31]を指定し、[OK]をクリックします。

チェック

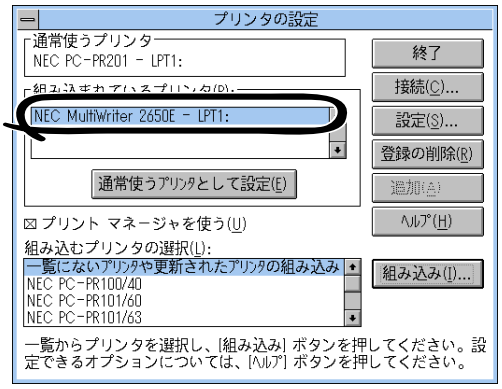
- MultiWriter 2650の場合、指定するディレクトリーは「¥MW2650¥WIN31」と入力してください。
- MultiWriter 2650Eの場合、指定するディレクトリーは「¥MW2650E¥WIN31」と入力してください。
- MultiWriter 2250の場合、指定するディレクトリーは「¥MW2250¥WIN31」と入力してください。
- MultiWriter 2050の場合、指定するディレクトリーは「¥MW2050¥WIN31」と入力してください。



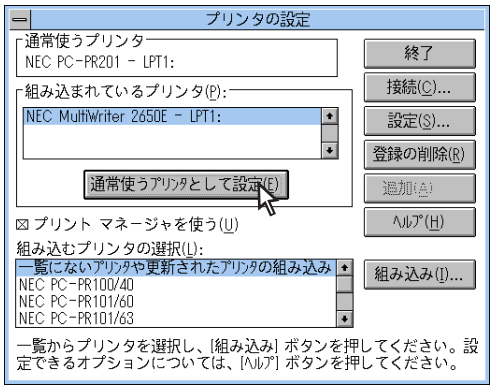
❽ [プリンタの選択]一覧から「NEC MultiWriter 2650E」を選択し、[OK]をクリックする。



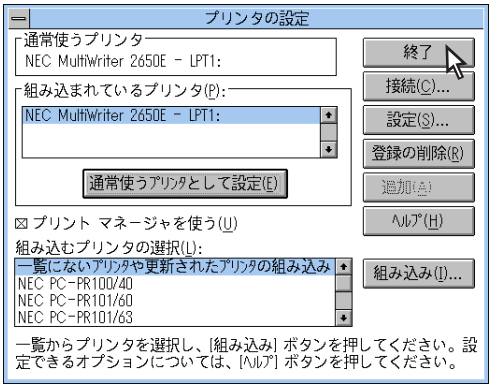
❾ [組み込まれているプリンタ]に「NEC MultiWriter 2650E」が表示されていることを確認する。



❿ [通常使うプリンタとして設定]をクリックする。



⓫ [終了]をクリックする。



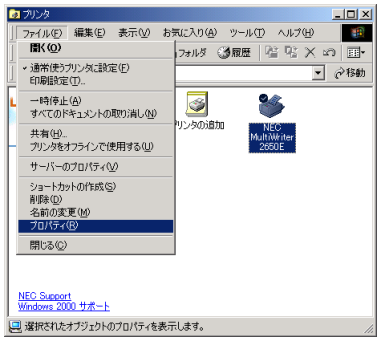
印刷先の変更

次にLANボード、またはLANアダプターによってネットワークに接続されているプリンターを指定する方法を説明します。NEC Network Portおよび、NEC TCP/IP Printing systemを選択し、ポートを追加する場合には、PrintAgentがインストールされている必要があります。

Windows 2000 日本語版

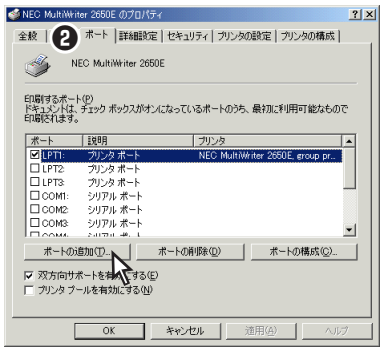
❶ [MultiWriter 2650Eのプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダーの「NEC MultiWriter 2650E」アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。(MultiWriter 2650Eの場合)

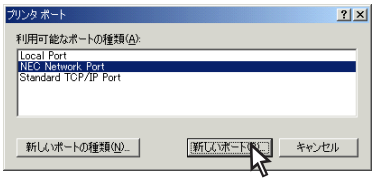


❷ [ポート]タブをクリックする。

❸ [ポートの追加]をクリックする。

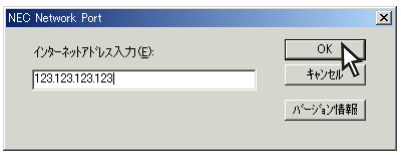


❹ [NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。



❺ LANボードまたはLANアダプターの「インターネットアドレス」を入力し、[OK]をクリックする。

インターネットアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。



❻ [閉じる]をクリックする。

[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。

❼ [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2650Eのプロパティ]のダイアログボックスを閉じます。

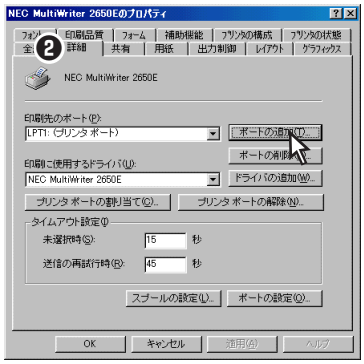
Windows 98/95 日本語版

❶ [MultiWriter 2650Eのプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

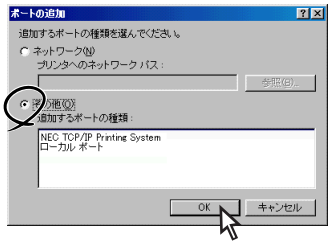
[プリンタ]フォルダーの「NEC MultiWriter 2650E」アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。(MultiWriter 2650Eの場合)

❷ [詳細]タブをクリックする。

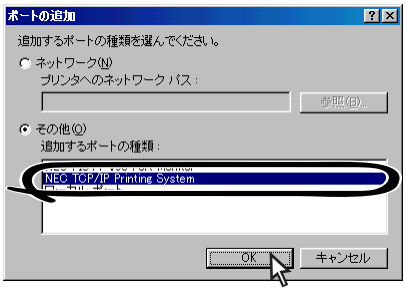
❸ [ポートの追加]をクリックする。



❹ [その他]を選ぶ。

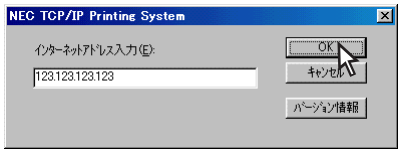


❺ [NEC TCP/IP Printing System]を選んで、[OK]をクリックする。



❻ LANボードまたはLANアダプターの「インターネットアドレス」を入力し、[OK]をクリックする。

インターネットアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。



❼ [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2650Eのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

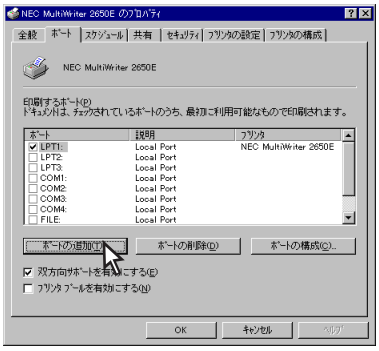
Windows NT 4.0 日本語版

❶ [MultiWriter 2650Eのプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダーの[MultiWriter 2650E]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

❷ [ポート]タブを開く。

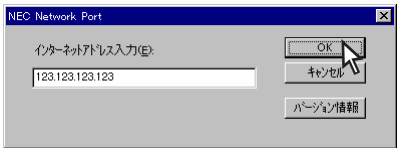
❸ [ポートの追加]をクリックする。



❹ [NEC Network Port]を選んで、[新しいポート]をクリックする。

❺ LANボードまたはLANアダプターの「インターネットアドレス」を入力し、[OK]をクリックする。

インターネットアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。



❻ [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2650Eのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

Windows NT 3.51 日本語版

❶ [プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

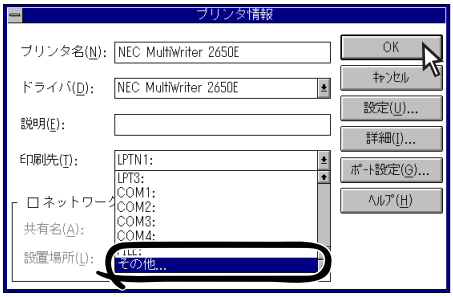
[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter 2650E]アイコンをクリックする。

❸ [プリンタ]メニューの[プリンタ情報]をクリックする。

[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示されます。

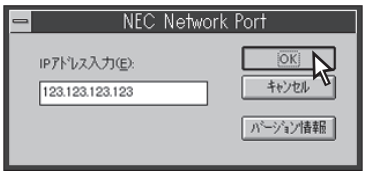
❹ [印刷先]から「その他」を選び、[OK]をクリックする。



❺ [利用可能な印刷モニタ]から[NEC Network Port]を選び、[OK]をクリックする。

❻ LANボードまたはLANアダプターの「IPアドレス」を入力する。

インターネットアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。



❼ [OK]をクリックします。

[プリンタ情報]ダイアログボックスを閉じます。

MultiWriterを共有プリンターに設定する

ここでは、ネットワークで接続されているMultiWriter 2650/2650E/2250/2050を共有プリンターとして設定します。

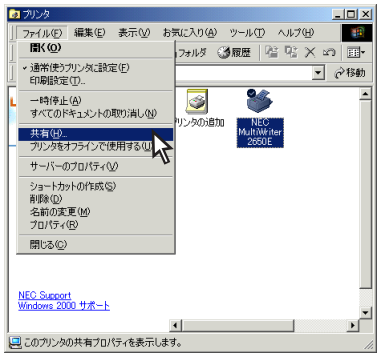
Windows 2000 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

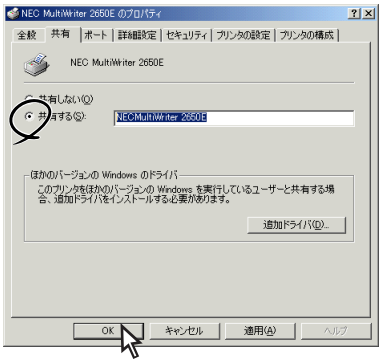
❷ [NEC MultiWriter 2650E]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[共有]をクリックする。

[NEC MultiWiter 2650Eのプロパティ]ダイアログボックスが開きます。



❹ [共有する]をチェックし、そのプリンターの共有名を設定し、[OK]をクリックする。



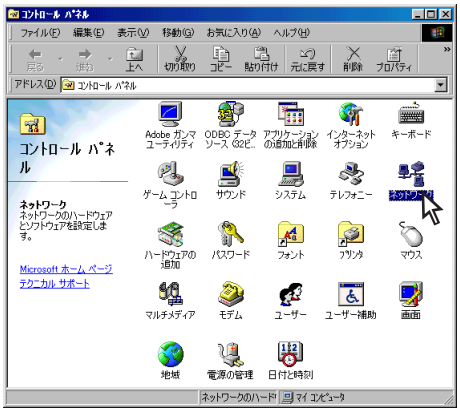
ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめクライアントソフトウエアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

Windows 98/95 日本語版

❶ **[コントロールパネル]を開く。**

❷ **[ネットワーク]アイコンをダブルクリックする。**

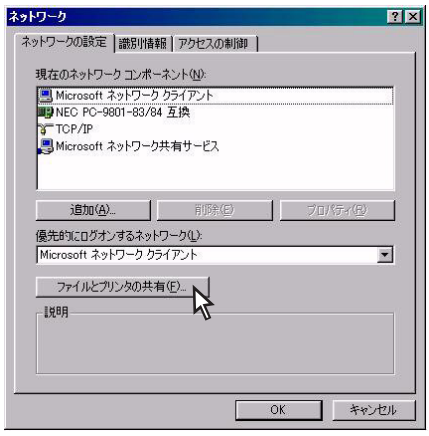
[ネットワーク]ダイアログボックスが開きます。



❸ **[ファイルとプリンタの共有]をクリックする。**

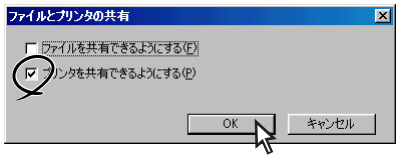
チェック

- ネットワーク構成にNetBEUIプロトコルもしくはＴＣＰ/ＩＰプロトコル、Microsoftネットワーク共有サービスが必要です。
- PrintAgentを動作させるためには、ネットワーク構成にTCP/IPプロトコルのインストールが必要です。



❹ **[プリンタを共有できるようにする]をチェックし、[OK]をクリックする。**

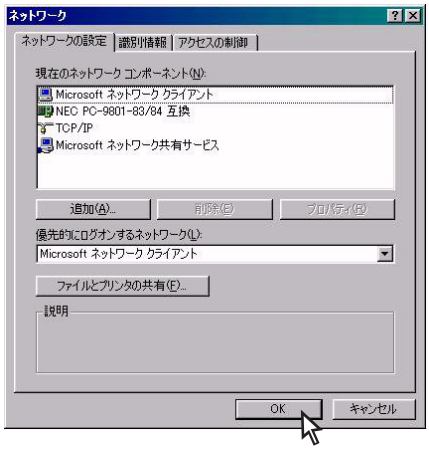
[ネットワーク]ダイアログボックスが表示されます。



❺ **[OK]をクリックする。**

チェック

ネットワークの構成を変更した場合は、必ずWindowsを再起動してください。



❻ **[プリンタ]フォルダー内の[NEC MultiWriter 2650E]アイコンをクリックする。(MultiWriter 2650Eの場合)**

[プリンタ]フォルダーは[スタート]から[設定]-[プリンタ]をクリックすると開きます。

❼ **[ファイル]メニューの[共有]をクリックする。**

[NEC MultiWriter 2650Eのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。(MultiWriter 2650Eの場合)

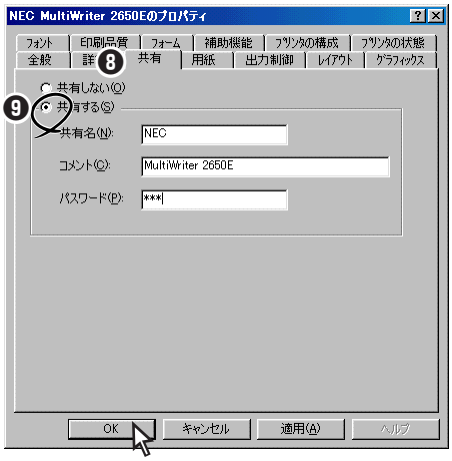
❽ **[共有]タブをクリックする。**

❾ **[共有]シートの設定をする。**

[共有する]を選び、そのプリンターに対して、共有名を設定します(コメント、パスワードは必要に応じて設定します)。

❿ **[OK]または[適用]をクリックする。**

ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ「Microsoft ネットワーク共有サービス」などクライアントソフトウエアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。



Windows NT 4.0 日本語版

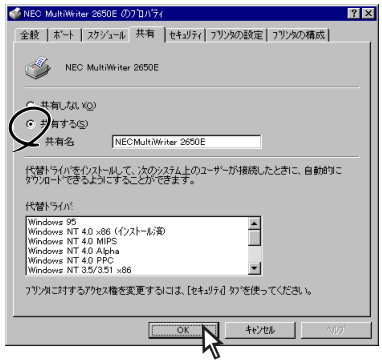
❶ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

❷ **[NEC MultiWriter 2650E]アイコンをクリックする。**

❸ **[ファイル]メニューの[共有]をクリックする。**

[NEC MultiWriter 2650Eのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❹ **[共有する]をチェックし、そのプリンターの共有名を設定し、[OK]をクリックする。**



ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめクライアントソフトウエアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOS の取扱説明書をご覧ください。

Windows NT 3.51 日本語版

❶ **[プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。**

[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されます。

❷ **[NEC MultiWriter 2650E]アイコンをクリックする。**

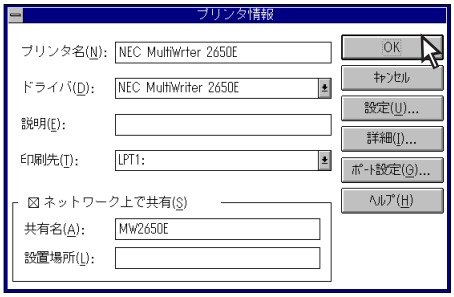
❸ **[プリンタ]メニューの[プリンタ情報]をクリックする。**

[プリンタの情報]ダイアログボックスが表示されます。

❹ ネットワークの設定をする。

[ネットワーク上で共有]をチェックし、[共有名]テキストボックスにネットワーク上で参照されるプリンターの名前(例：MW2650E)を入力し、[OK]をクリックします。

[設定場所]テキストボックスは、必要に応じて入力してください。



ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめクライアントソフトウエアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

プリンターソフトウエアを削除する

必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンターやPrintAgentが正常に動かなくなったときおよび、プリンターソフトウエアを再インストールした方がよい場合があります。ソフトウエアを再インストールするには、一度既存のソフトウエアを削除(アンインストール)してから行います。ここではこれらの削除の方法を説明します。

プリンタードライバーの削除 75ページ
PrintAgentの追加・削除 79ページ

プリンタードライバーの削除

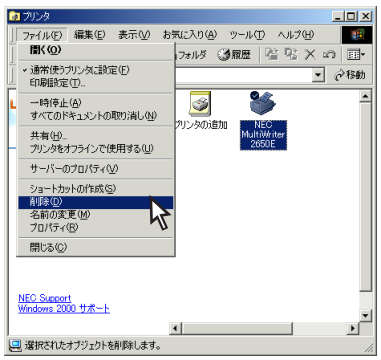
Windows 2000 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter 2650E]アイコンをクリックする。(MultiWriter 2650Eの場合)

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

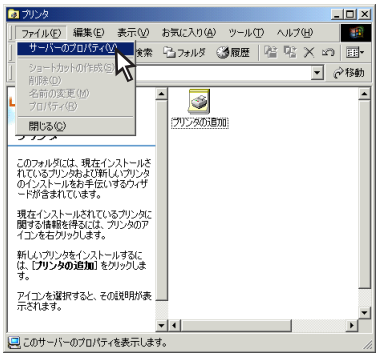


❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 2650Eのプリンタードライバーが削除されます。(MultiWriter 2650Eの場合)

❺ [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。

[サーバーのプロパティ]ダイアログボックスが開きます。



❻ [ドライバ]タブをクリックする。

❼ [インストールされたプリンタドライバ]から[NEC MultiWriter 2650E]を選び、[削除]をクリックする。

❽ [はい]をクリックする。

❾ [インストールされたプリンタドライバ]から[NEC MultiWeiter 2650E]が削除されたのを確認し、[閉じる]をクリックする。

Windows 98/95 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter 2650E]アイコンをクリックする。(MultiWriter 2650Eの場合)

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 2650Eのプリンタードライバーが削除されます。(MultiWriter 2650Eの場合)

Windows NT 4.0 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

❷ [NEC MultiWriter 2650E]アイコンをクリックする。（MultiWritert 2650Eの場合）

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 2650Eプリンタードライバーが削除されます。

Windows NT 3.51 日本語版

❶ [プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されます。

❷ [MultiWriter 2650E]アイコンをダブルクリックする。

❸ [プリンタ]メニューの[プリンタの削除]をクリックする。

MultiWriter 2650Eプリンタードライバーが削除されます。

Windows 3.1 日本語版

重要

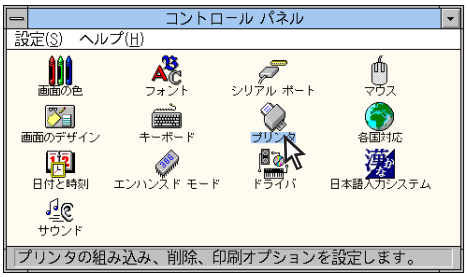
MultiWriter 2650Eが通常使うプリンターに設定されている場合は、すべてのアプリケーションを終了してから削除を行ってください。

❶ [プログラムマネージャ]の[メイン]ウィンドウ内の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする。

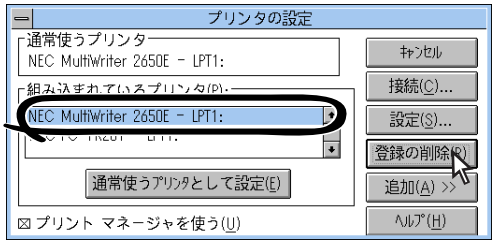
[コントロールパネル]フォルダーが開きます。

❷ [コントロールパネル]内の[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。



❸ [組み込まれているプリンタ]リストボックス内の[NEC MultiWriter 2650E]を選んで、[登録の削除]をクリックする。



❹ [はい]をクリックする。

これでMultiWriter 2650Eプリンタードライバーは削除されます。

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050のプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに追加と削除をすることができます。これによって使用目的に合わせたプリンターソフトウエアのインストールが行えます。
ここでは、PrintAgentの追加と削除の方法を説明します。

重要

- インストールプログラムを実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- すでに他のMultiWriterをお使いの場合

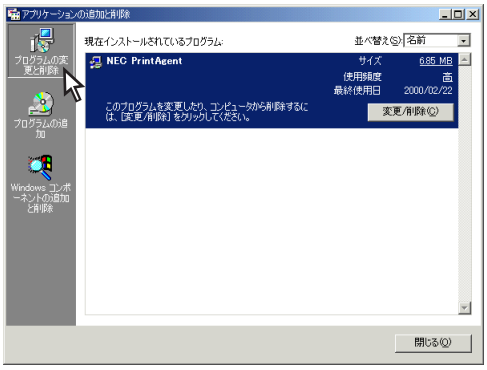
  すでに他のMultiWriterのプリンターソフトウエアをインストールしてお使いの場合、そのソフトウエアを削除しないと正常に動作しなくなる場合があります。詳しくは「PrintAgentを正しく動作させるために」(209ページ)をご覧ください。
- PrintAgentのインストール時に指定したPrintAgentモジュールのフォルダー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)を変更している場合、ソフトウエアの削除は正常に行えません。変更されているフォルダー名をインストール時のフォルダー名に戻してからソフトウエアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウエアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 2650/2650E/2250/2050が印刷中はソフトウエアの削除を行えません。印刷が終了してから行ってください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態でMultiWriter 2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また、MultiWriter 2200XのPrintAgentをアンインストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合は、まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから、MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

Windows 2000 日本語版

❶ [コントロールパネル]フォルダーを開く。

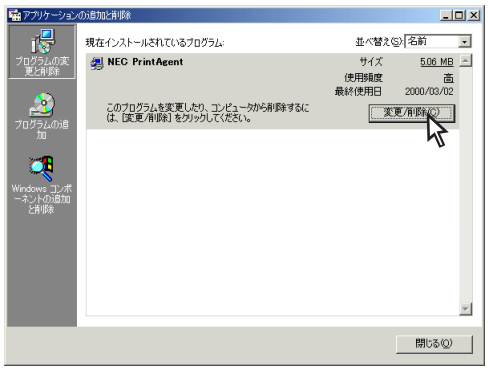
❷ [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

❸ 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。



❹ [NEC PrintAgent]を選んで、[変更／削除]をクリックする。

[PrintAgentオプション選択]ダイアログボックスが表示されます。



❺ 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

✔チェック

- MultiWriter 2050など他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❻ 変更する項目を確認して、[完了]をクリックする。

管理者向けインストールされていて、削除を行う場合は、パスワードの入力が必要です。

❼ [OK]をクリックする。

❽ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❾ すべてのオプションを削除した場合は、[現在インストールされているプログラム]から[NEC　PrintAgent]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

Windows 98/95 日本語版

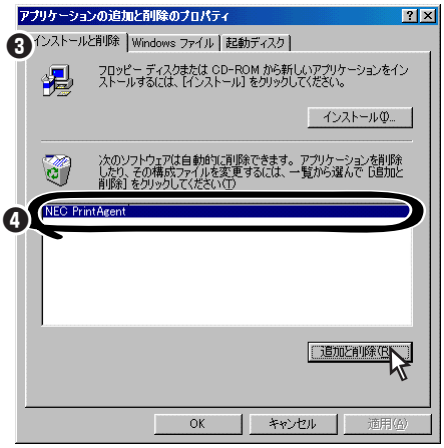
❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

❷ **[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。**

❸ **[インストールと削除]シートを開く。**

❹ **自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。**

PrintAgentオプション選択ダイアログボックスが表示されます。



❺ **対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。**

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

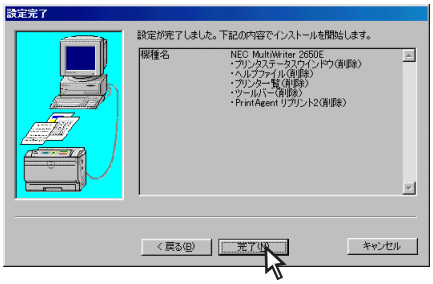
管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

チェック

- 他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❻ **[完了]をクリックする。**

管理者向けインストールされていて、削除を行う場合は、パスワードの入力が必要です。



❼ **[OK]をクリックする。**

❽ **追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❾ **すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。**

Windows NT 4.0 日本語版

❶ [コントロールパネル]フォルダーを開く。

❷ [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❸ [インストールと削除]シートを開く。

❹ 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

PrintAgentオプション選択ダイアログが表示されます。

❺ [MultiWriter 2650E]を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

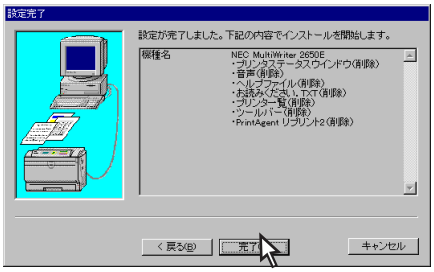
管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

チェック

- MultiWriter 2050など他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❻ [完了]をクリックする。

管理者向けインストールされていて、削除を行う場合は、パスワードの入力が必要です。



❼ [OK]をクリックする。

❽ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

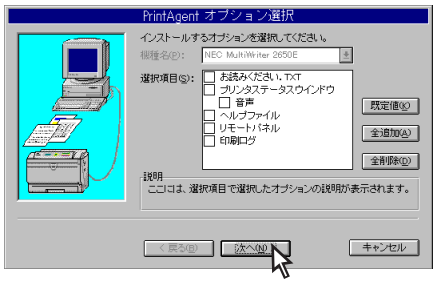
❾ すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

Windows NT 3.51の場合

❶ プログラムマネージャ中の[MultiWriter 2650E]グループ内の[PrintAgentセットアップ]アイコンをダブルクリックする。

❷ [NEC MultiWriter 2650E]を選択してからチェックを変更して[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

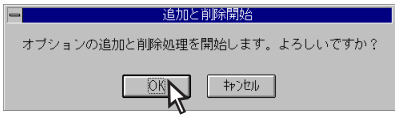


✔チェック

- 他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❸ [完了]をクリックする。

❹ [OK]をクリックする。



❺ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

その他のOS環境

Windows NT 3.5 日本語版/日本語MS-DOS環境

ここではWindows NT 3.5 日本語版、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050をWindows NT 3.5 環境で使用する場合は、OSにバンドル(添付)されているドライバーを次の表に示す優先順位で指定してください。
MultiWriter 2650/2650E/2250/2050をMS-DOSで使用する場合は、使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称「NEC MultiWriter 2650」、「NEC MultiWriter 2650E」、「NEC MultiWriter 2250」、もしくは「NEC MultiWriter 2050」を指定します。MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の名称が指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。(ただしアプリケーションによってはMultiWriter 2650/2650E/2250/2050の機能の一部が使用できないことがあります。)

優先順位	プリンター名称	動作モード*3
1	MultiWriter 2650/2650E/2250/2050	ページプリンタ（もしくは、レーザープリンター）
2	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2	
3	MultiWriter 2200X	
4	MultiWriter 2000X	
5	MultiWriter 2000FW	
6	MultiWriter 2200NW2、PC-PR2000/6W	
7	MultiWriter 2200NW、MultiWriter 2000E	
8	PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W	
9	PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
10	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4あるいはNPDL Level 2	
11	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
12	PC-PR2000あるいはNPDL	
13	PC-PR602R*1, *2	
14	PC-PR602*1, *2	
15	PC-PR601*1, *2	
16	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60 PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A PC-PR101/60あるいは201PL	201PLエミュレーション
17	PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS PC-PR201/45、PC-PR101GS	
18	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2 PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
19	上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンター（PC-PR201、PC-PR201F2、PC-PR201H2、PC-PR101、PC-PR101F2、PC-PR101E、PC-PR101E2など）	

*1　A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。
*2　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を優先順位の12、13または15の機種に変更してください。
*3　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは201PLエミュレーションモード(お買い上げ時の設定)のままご使用になれます。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、プリンターの設定はメニューモードを使って行います。メニューモードの操作方法、メニューツリーについてはユーザーズマニュアルの「メニューツリー」104〜106ページに、各設定項目についてはプリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル（プリンターの設定と技術情報）を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションとMultiWriter 2650/2650E/2250/2050を次のような設定にするのが標準的です。

ソフトウエア：　シートフィーダー付き、単票（カット紙）、連続送り
プリンター：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモードおよび操作パネルの両面スイッチにより設定します。

両面印刷の設定

MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、32MB以上のメモリーの増設をお勧めいたします。

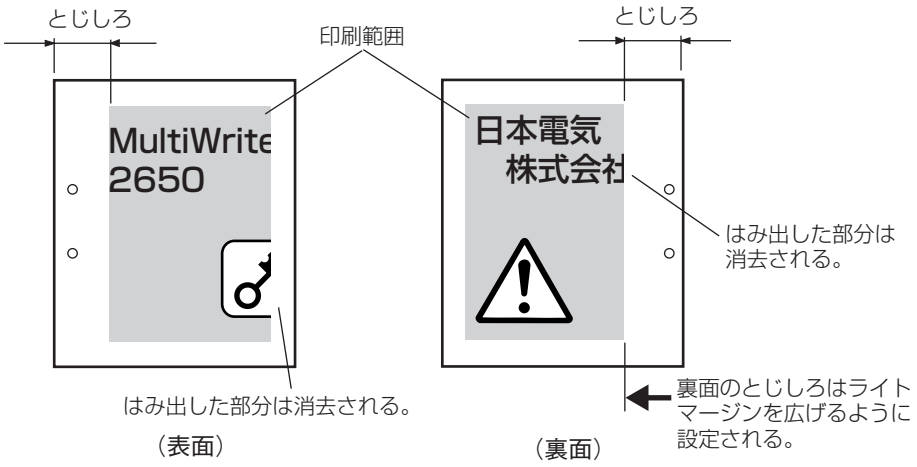
両面印刷のために必要な設定項目

メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー ・表面微調整 ・裏面微調整	表面、裏面ともに TM: +3.9 〜 -3.9ミリ LM: +3.9 〜 -3.9ミリ
両面印刷メニュー ・初期設定ON ・初期設定OFF	MultiWriter 2650E/2250/2050の場合、オプション装着時に有効になります。
両面印刷メニュー ・とじしろロング1 ・とじしろショート1 ・とじしろロング2 ・とじしろショート2	プリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル、プリンターの設定と技術情報を参照してください
両面印刷メニュー：余白	0 〜 20ミリ
両面印刷メニュー ・クリップON ・クリップOFF	余白を多くとりすぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定する

クリッピング機能について

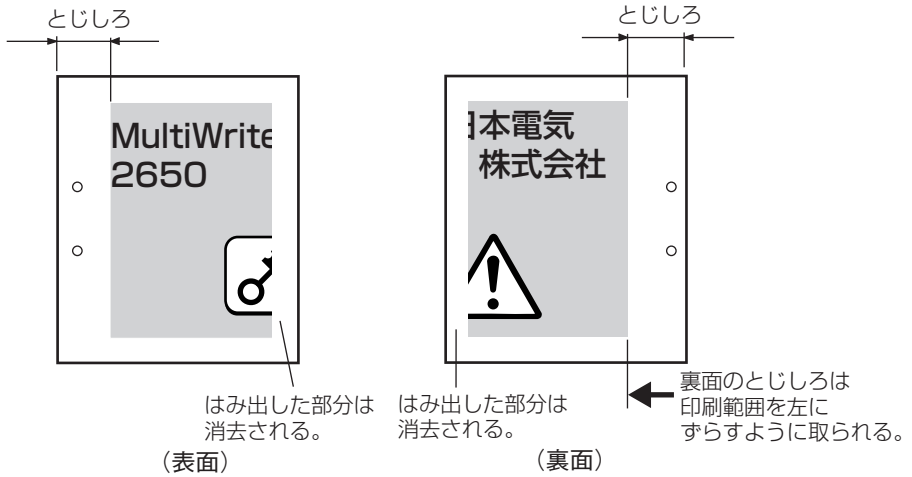
とじしろ(とじ側の余白)を多く取り過ぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能を利用すると、印刷範囲からはみ出した文字を次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのデータを印刷するかを選択できます。クリッピング機能はメニューモード(99ページ参照)で設定できます。

- [クリップ]を「OFF」にすると印刷範囲をはみ出した部分が消去されます。両面印刷時の裏面は、とじしろにかかった右側部分が消去されます。MS-DOSプロンプト上の印刷やアプリケーションによっては、印刷結果が異なる場合があります。



クリッピングOFF

- [クリップ]を「ON」にすると、やはり印刷範囲をはみ出した部分は消去されます。しかし両面印刷時の裏面は、とじしろが印刷範囲を左にずらすように設定されるので、レフトマージンにかかった部分が消去されます。



クリッピングON

PC-PTOS環境でプリンターを選択する

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050は、PC-9800シリーズのPTOSインストールモデルなどのPC-PTOSに対応しています。PC-PTOSで同期コード制御を行うアプリケーションを使用する場合は、メモリースイッチ5-1を有効にする必要があります。次の手順でプリンターを選択してください。

チェック

アプリケーションが同期コード制御を行っているかどうかは、アプリケーションの製造元に確認してください。

❶ プリンターのメニューモードでメモリースイッチ5-1「同期コードの有効／無効の切り替え」を「有効(ON)」にします。

チェック

このスイッチをONにしないとPTOSとの同期が取れないため、アプリケーションによっては用紙切れ、紙づまり等の処理が正常に行えない場合があります。

なお、このスイッチをONにしたままでもMS-DOS、Windows等の他のOSからの印刷は可能ですがOFFに比べて性能が若干低下する場合があります。

❷ OSの設定で「PC-PR2200NW2」を指定する。

PC-PTOS VER.2.4よりも前のバージョンで使用する場合には「PTOS IV プリンタOS支援パッケージPX」が必要です。
なお、制御コード、文字コード、印刷範囲等については「PC-PR PTOS入出力装置説明書」をご覧ください。(PC-PTOS出入力装置説明書の入手については、PTOS関連商品取り扱い店にお問い合わせください。)

重要

- PC-PTOSから使用する場合、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050はNPDLモードの拡張モードである「PTOS対応モード」で動作します。このモード切り替えは、PTOSが自動的に行いますので切り替えのための操作は必要ありません。
- プリンターのモード切り替えは自動的に行なわれますが、使い方によってこの切り替えが正しく行なわれないときがあります。PC-PTOSでお使いの場合は下記の点にご注意ください。
  - プリンターケーブルは指定のものを使用してください。正しいプリンターケーブルを使用していない場合、モードの切り替えが正しく行なわれないことがあります。
  - 上位装置とプリンターの間にプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンターネットワーク等を接続していると、モードの切り替えが正しく行なわれません。上位装置とプリンターは指定のケーブルで直接接続してください。
  - 一部の上位装置で本体およびプリンターの電源を入れたままOSの変更を行うとプリンターのモードの切り替えが正しく行なわれないことがあります。この場合はプリンターの電源を入れ直すか、プリンターの操作パネルからリセット操作(シフトを押しながらリセットを2回押す)を行うと復旧させることができます。

– MultiWriter 2650/2650E/2250/2050はNPDL、ESC/Pの各言語をサポートしています。「PTOS対応モード」への自動切り替えが可能ですが、PC-PTOSから使用する場合はそのインターフェースにはNPDLを設定しておいてください。詳しくはプリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル(プリンターの設定と技術情報)を参照してください。

- プリンターへのデータ送信の速度が速すぎて、PC-PTOSからのデータ受信が間に合わなくなり、印刷が正常に行われない場合があります。このような場合は、データストローブのデータラッチタイミング(メモリースイッチ7-1、7-2)を後縁ラッチに変更したり、アクノリッジの幅(メモリースイッチ8-3、8-4、8-7、8-8)を広げてください。詳細については、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録してあるオンラインマニュアル(プリンターの設定と技術情報)をご覧ください。
- 両面印刷はアプリケーションによっては正しく印刷されない場合があります。
- プリンターのメニューモードの「セントロセッテイメニュー」、「ドウサ　ソウホウコウ」を「ニブル」または「ナシ」に設定してください。設定の変更を行った場合は、プリンターの電源の再投入が必要です。

ESC/Pエミュレーションでプリンターを選択する

ESC/P エミュレーションで使用する場合、次の手順で設定してください。

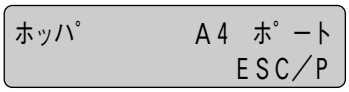
❶ プリンターのメニューモード(106ページ)で「エミュレーション」を「ESC/Pエミュレーション」にする。

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/PエミュレーションとNPDLエミュレーションを切り替えることができます。

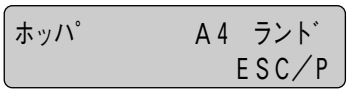
“ドウサジドウ”は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、“ドウサエミュレーション”で設定し直してください。

❷ 操作パネルの液晶ディスプレイは、ESC/Pエミュレーションを選択している表示にする。

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。



ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。



❸ アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンターを指定する。

セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンターのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンター名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンター
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンター

その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかを「ESC/Pエミュレーションでの機能」(107ページ)にまとめてあります。参照してください。

IBM DOS J5.0/Vでの設定

IBM社製のDOSでWindows 3.1を使用する場合、正常に印刷されないことがあります。その場合、以下の手順でDOS上のプリンター設定を「なし」にしてください。（Windows上では使用するプリンターを設定します。）

❶ コンピューターの電源を入れる。

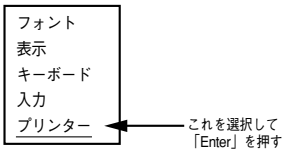
❷ PC DOSを起動する。

設定の仕方については、コンピューターの取扱説明書を参照してください。
WindowsのDOSプロンプトモードからの設定は操作が複雑となりますのでお勧めできません。

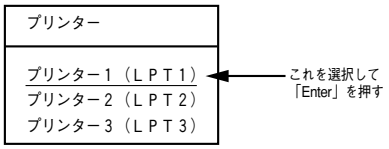
❸ 次のコマンドを入力し、セットアッププログラムを立ち上げる。

>setupv Enter

❹ 「プリンター」を選択する。

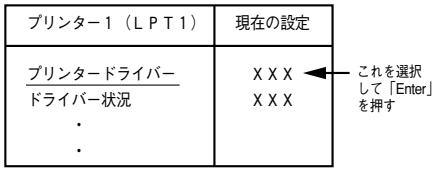


❺ 「プリンター１（LPT1）」を選択する。

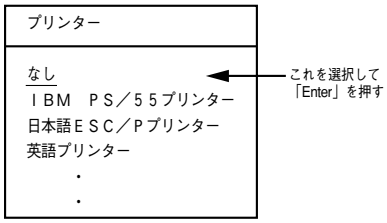


❻ 「プリンタードライバー」を選択する。

ここで、現在の設定が「なし」になっている場合は、設定を変える必要はありません。F3を押して、操作を終了してください。



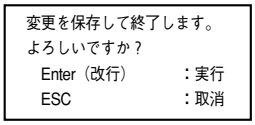
❼ 「なし」を選択する。



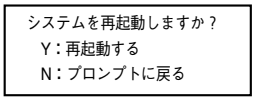
❽ 次のような表示が出るので、プリンタードライバーが「なし」になっていることを確認し、F10 を押す。

プリンター１（ＬＰＴ１）	現在の設定
プリンタードライバー	なし

❾ Enterを押して、変更を保存する。

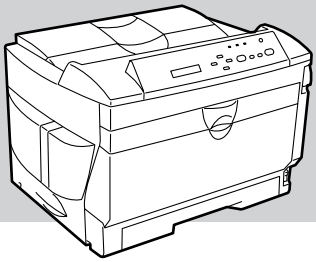


❿ Y を押して、システムを再始動させる。



これで、設定は終了です。

3章
操作の基本



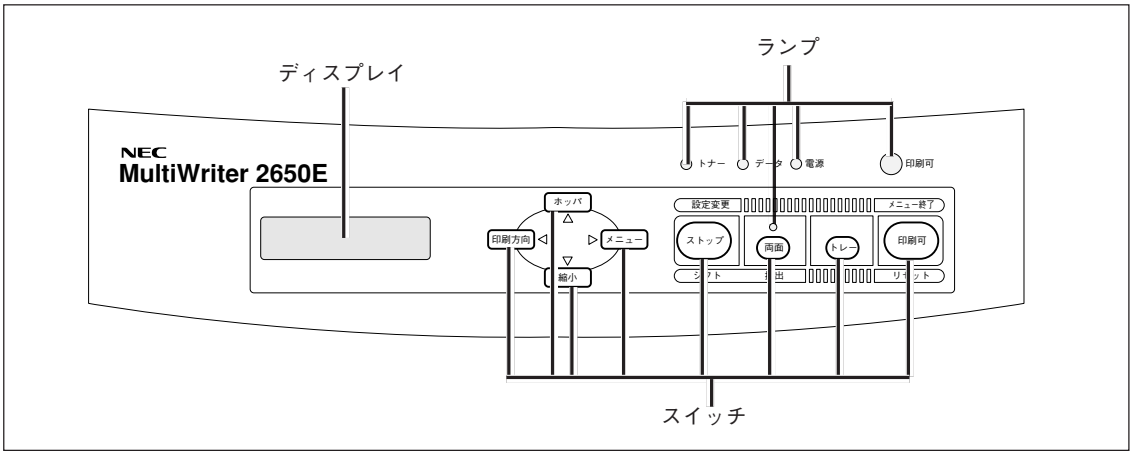
この章では操作パネル、用紙のセット方法などのプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルについて

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。

ここでは主にNPDL（Level 2）で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

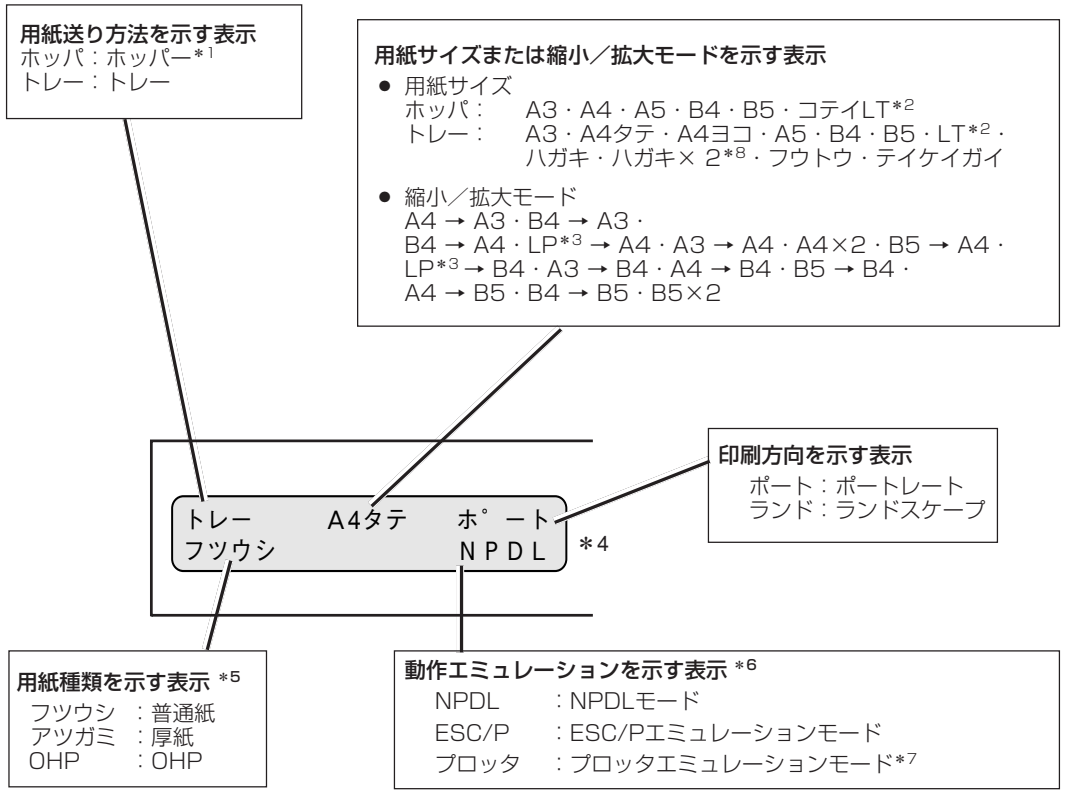
ESC/Pエミュレーションでは一部機能が異なります。詳しくは107ページで説明します。



操作パネル（MultiWriter 2650Eの場合）

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。



*1 ホッパ 1：上から1段目のホッパー
ホッパ 2：上から2段目のホッパー（オプション）
ホッパ 3：上から3段目のホッパー（オプション）

*2 LT（コテイLT）= レターサイズであることを示しています。

*3 LP = 帳票であることを示しています。

*4 下段はセレクト状態（印刷可ランプ点灯）の時のみ表示されます。

*5 トレーから用紙を送る時に表示されます。

*6 双方向通信をしている時は表示されません。

*7 オプションのプロッターエミュレーションボードを装着しているときのみ表示されます。
（MultiWriter 2650/2250/2050に対応）

*8 ハガキ×2 = 往復はがきであることを示しています。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については本書の「アラーム表示が出ているときは」（207ページ）、「メニューツリー」（104～106ページ）あるいはプリンターソフトウエアCD-ROMにあるオンラインマニュアル（プリンターの設定と技術情報）の「ディスプレイ表示一覧」をご覧ください。

ランプ

印刷可ランプ(緑／赤)

点灯(緑)　プリンターがセレクト状態(印刷データを受信できる状態)になっています。

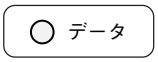
点滅(赤)　点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。
カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については本書の「アラーム表示が出ているときは」(207ページ)をご覧ください。

消灯　プリンターがディセレクト状態(印刷データを受信できない状態)になっています。

電源ランプ(緑)

点灯　プリンターの電源がONになっています。

消灯　プリンターの電源がOFFになっています。

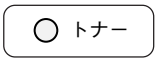


データランプ(橙)

点灯　プリンター内に印刷データが残っています。

点滅　プリンターが印刷データを受信中です。

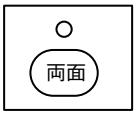
消灯
- プリンター内にデータが残っていません。
- プリンターはデータを受信中ではありません。



トナーランプ(赤)

点灯　EPカートリッジのトナーの残量が少なくなっています。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については「EPカートリッジの交換」(191ページ)をご覧ください。

消灯　EPカートリッジのトナーの残量が十分にあります。



両面ランプ(緑) *

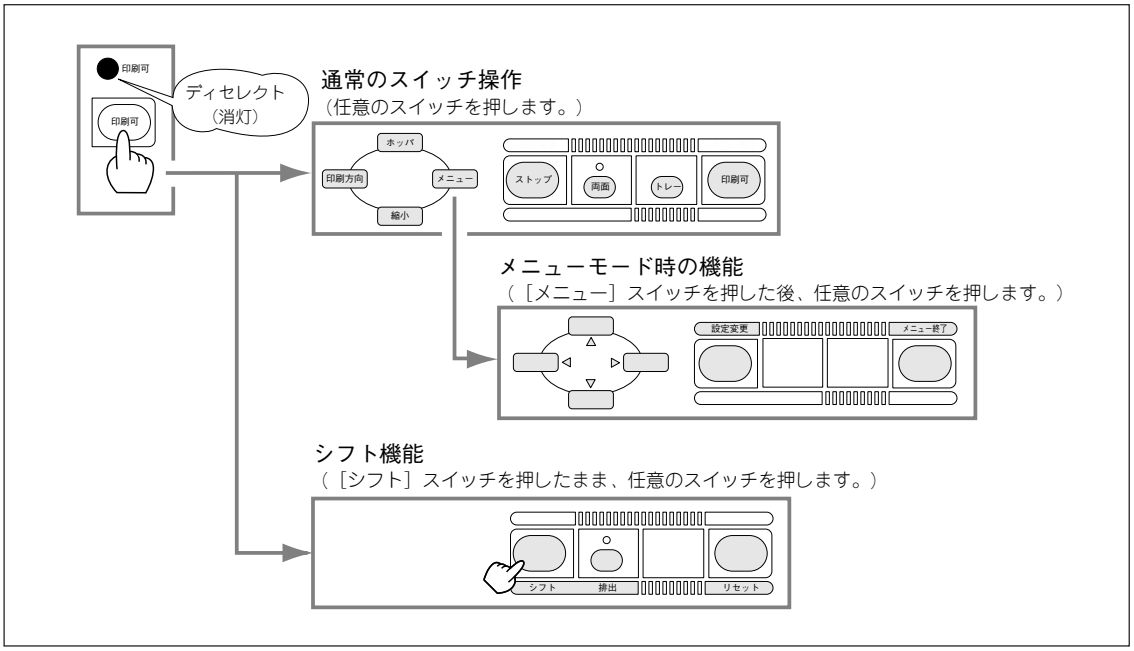
点灯　両面印刷モードに設定されています。

消灯　両面印刷モードではありません。

* MultiWriter 2650E/2250/2050では両面ユニット装着時に有効

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能を持っています。



スイッチのモード

通常のスイッチ機能 — ［印刷可］スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になっているとき機能します（［ストップ］スイッチを除く）。

メニューモード時のスイッチ機能 — ［メニュー］スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。

シフト時のスイッチ機能 — ［シフト］スイッチを押しながら押すと働く機能です。

チェック

- アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」（207ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルにおいて、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

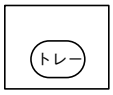
通常のスイッチ機能

［印刷可］スイッチ

このスイッチはプリンターが初期設定中およびテスト印刷中以外に機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプが緑色に点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。



[トレー]スイッチ

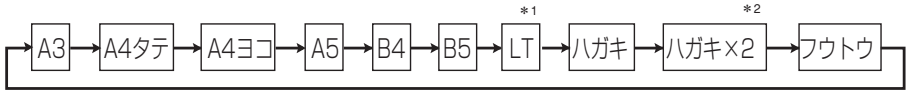
このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

トレー給紙にする。

ホッパーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、トレーから用紙を給紙する状態に切り替わります。

トレー給紙の用紙サイズを変更する。

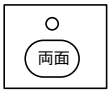
トレーに用紙をセットしたら、用紙サイズを設定してください。トレー給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



重要

トレーに用紙をセットしたら、[トレー]スイッチを操作して用紙サイズを変更してください。

＊1「LT」は「レター」を意味します。
＊2「ハガキ×2」は「往復はがき」を意味します。



[両面]スイッチ*

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

* MultiWriter 2650E/2250/2050では両面印刷ユニット（オプション）装着時に機能します。

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。

両面ランプが消灯している状態で、このスイッチを押すと、両面印刷モードになります。このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。次の場合両面ランプが点灯していても、印刷は片面で行われます。

- 用紙サイズがA3、A4、A5、B4、B5、レター以外の場合
- トレー給紙で「厚紙」または「OHP」を指定した場合
- 定形外用紙に印刷した場合

[ストップ]スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。

アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。

[メニュー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。
このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

ホッパ

[ホッパ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときやオプションの増設ホッパーを装着しているときに機能します。

ホッパー給紙に切り替える。

トレーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、ホッパーから用紙を送る状態に切り替わります。

ホッパーを選択する(ホッパーを使用しているとき)。

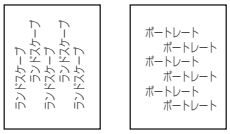
ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパーの設定が変わります。(選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。オプションの増設ホッパーを装着しているときに機能します。)

印刷方向

[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。



このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。
用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

縮小

[縮小]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

縮小/拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小/拡大印刷ができます。
印刷する用紙サイズによって、次の順序でモード選択されます。

●A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

●A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 → A3→A4 → A4×2 → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

●B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

●B5サイズに印刷する

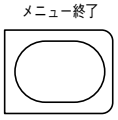
B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 → B5 → (繰り返し)

— LPは帳票サイズ(136桁×66行)を意味します。
— A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。
— B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c1c2c3)によってA3、B4または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の『NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル』をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

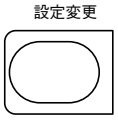
メニューモード時のスイッチ機能



[メニュー終了]スイッチ

メニューモードを終了させる。

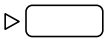
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。



[設定変更]スイッチ

設定変更したい項目(レベル3)を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。
なお、メニューモードのレベルについては、104ページのメニューツリーを参考にしてください。



[▶]スイッチ

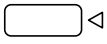
ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([→]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。

[▲]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↑]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。



[◀]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([←]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。

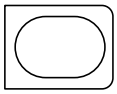
[▼]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↓]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(104〜106ページ)をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能


リセット

[リセット]スイッチ

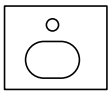
このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

チェック

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細はプリンターソフトウエアCD-ROMにあるオンラインマニュアル(プリンターの設定と技術情報)の「NPDLの初期状態」をご覧ください。


排出

[排出]スイッチ

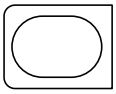
このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中、および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。

チェック

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。


シフト

[シフト]スイッチ

このスイッチが押されている間、[両面]スイッチ、[印刷可]スイッチの2つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

メニューモードでの設定変更のしかた

❶ [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

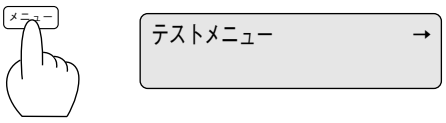
印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”を表示します。



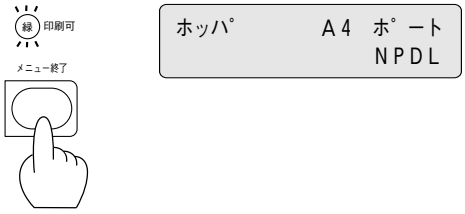
❹ メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および104～106ページの「メニューツリー」を参照してください。
メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、[▶]、[▲]スイッチ	このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。
[設定変更]スイッチ	押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

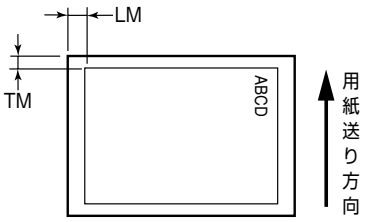


メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。
また、これらの設定はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。
詳細については、プリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル(プリンターの設定と技術情報)を参照してください。

メニューモード設定項目一覧(1/2)

○：有効　　×：無効

設定項目		説　明	メニューモード	メモリースイッチ(MSW)
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	○	×
	サンプル印刷	サンプル印刷を行います。	○	×
	連続印刷	連続印刷（テスト印刷）を行います。	○	×
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	○	×
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	○	×
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	○	×
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、トレー設定を選択します。	○	×
	用紙サイズ設定	ホッパー給紙時の用紙サイズ設定を選択します。	○	×
	トレー用紙種別	トレーで使用する用紙の種別を選択します。	○	×
	トレー定形外用紙	トレーで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	○	×
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整	ホッパー、トレー、両面印刷時の表面・裏面の印刷位置を調整します。 	○	×
	ホッパ2微調整		○	×
	ホッパ3微調整		○	×
	トレー微調整		○	×
	表面微調整		○	×
	裏面微調整		○	×
両面印刷メニュー	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	○	×
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	○	×
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	○	×
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行／改ページするかを設定します。	○	×

メニューモード設定項目一覧(2/2)

設定項目		説　明	メニューモード	メモリースイッチ(MSW)
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	自動排出*1	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	○	×
	メモリー設定	プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。	○	×
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	×
	ANK	1バイトコード系のフォントのANK文字を選択します。	○	×
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	○	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	○	×
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○
動作メニュー	動作エミュレーション	前面、背面のインターフェースで個別にプリンターの動作モードを設定します。	○	×
	動作自動切り替え	エミュレーションの自動切り替えを設定します。	○	×
NPDL設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	○
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○
プロッタ設定メニュー*2	ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出などの選択をします。		○	×
セントロ設定メニュー*3	動作双方向を設定をします。（ニブルモード、ECPモード、なし）		○	×
LAN設定メニュー*4	LANボード、LANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。		○	×
RS-232C設定*2メニュー	RS-232Cインターフェースの通信速度、通信プロトコル、通信データのパリティ、データビット、ストップビットの選択をします。		○	×
設定初期化メニュー	初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	○	×
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	○	×
	記憶	メニューモード内の各種機能設定とトレースイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	○	×
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。		○	○

*1 コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大30秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

*2 プロッターエミュレーションボード（オプション）装着時に表示されます。（MultiWriter 2650/2250/2050に対応。）

*3 セントロ設定メニューを変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。

*4 メニューのセントロ設定の動作双方向が「ECPモード」に設定されているときに有効になります。対応するLANボード、LANアダプターは型番 PR-NP-01T2、型番 PR-NP-02T2、型番 PR-NP-03TR2になります（MultiWriter 2650/2650E/2250に対応）。

メモリースイッチの内容

メモリースイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。

メモリースイッチは1-1から8-8まであります（未使用のスイッチもあります）。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの機能
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。（オンラインマニュアル（プリンターの設定と技術情報）参照） **すべて0（日本語）**		○
1-2				
1-3				
1-4	グレースケールの網点の切り替え	**粗い**	細い	×
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○
2-1	1バイトコード系のゼロの字形の切り替え	**0**	Ø	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PLエミュレーション**	ページプリンタ（NPDL）	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×
2-4～2-5	（未使用）			−
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位）（オンラインマニュアル（プリンターの設定と技術情報）参照） **すべて0（0インチ）**		○
3-2				
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	×
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
4-1	解像度の選択	**600dpi**	400dpi	○
4-2	（未使用）			−
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	○
4-6～4-8	（未使用）			−

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容(続き)

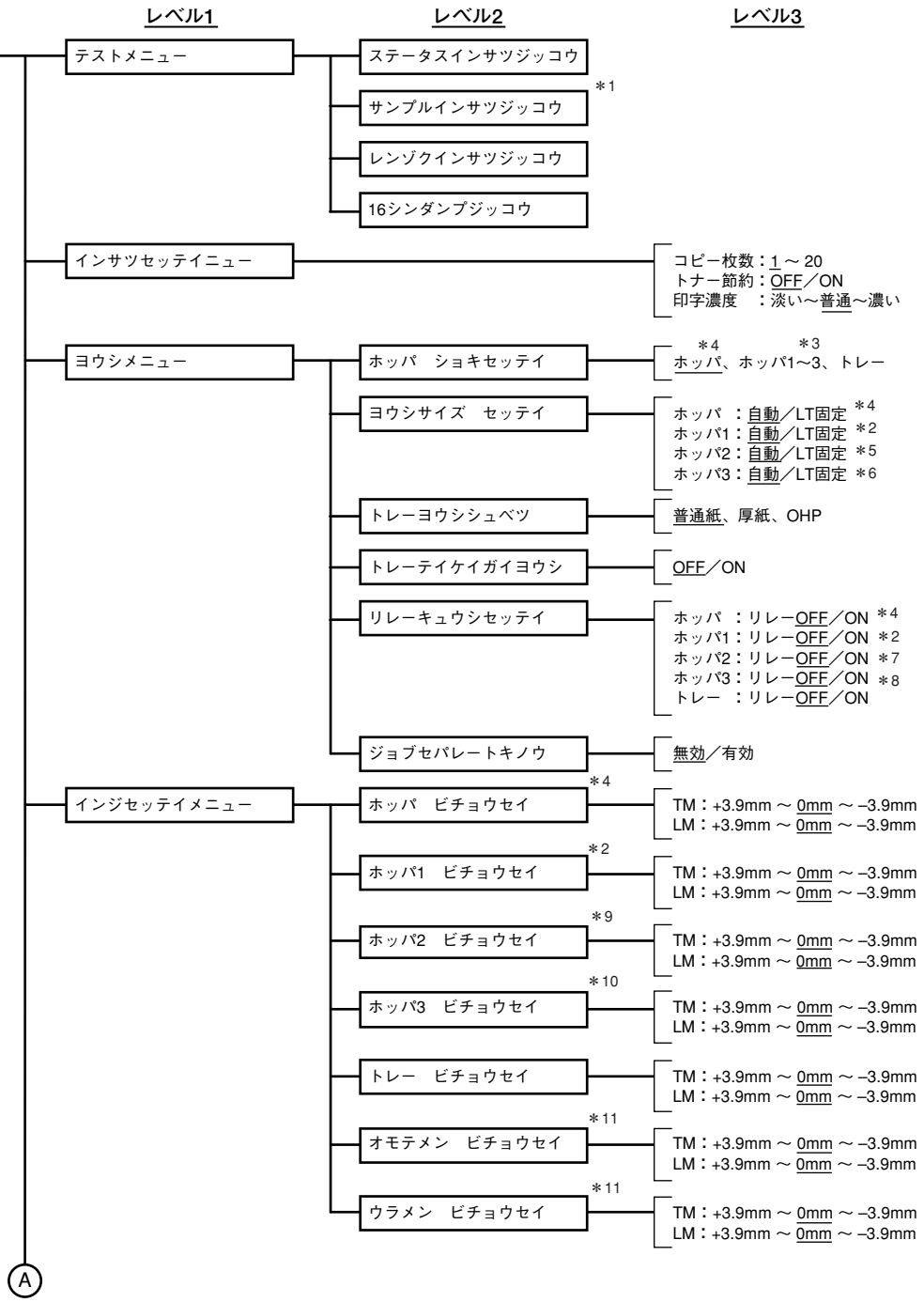
○：有効　　×：無効

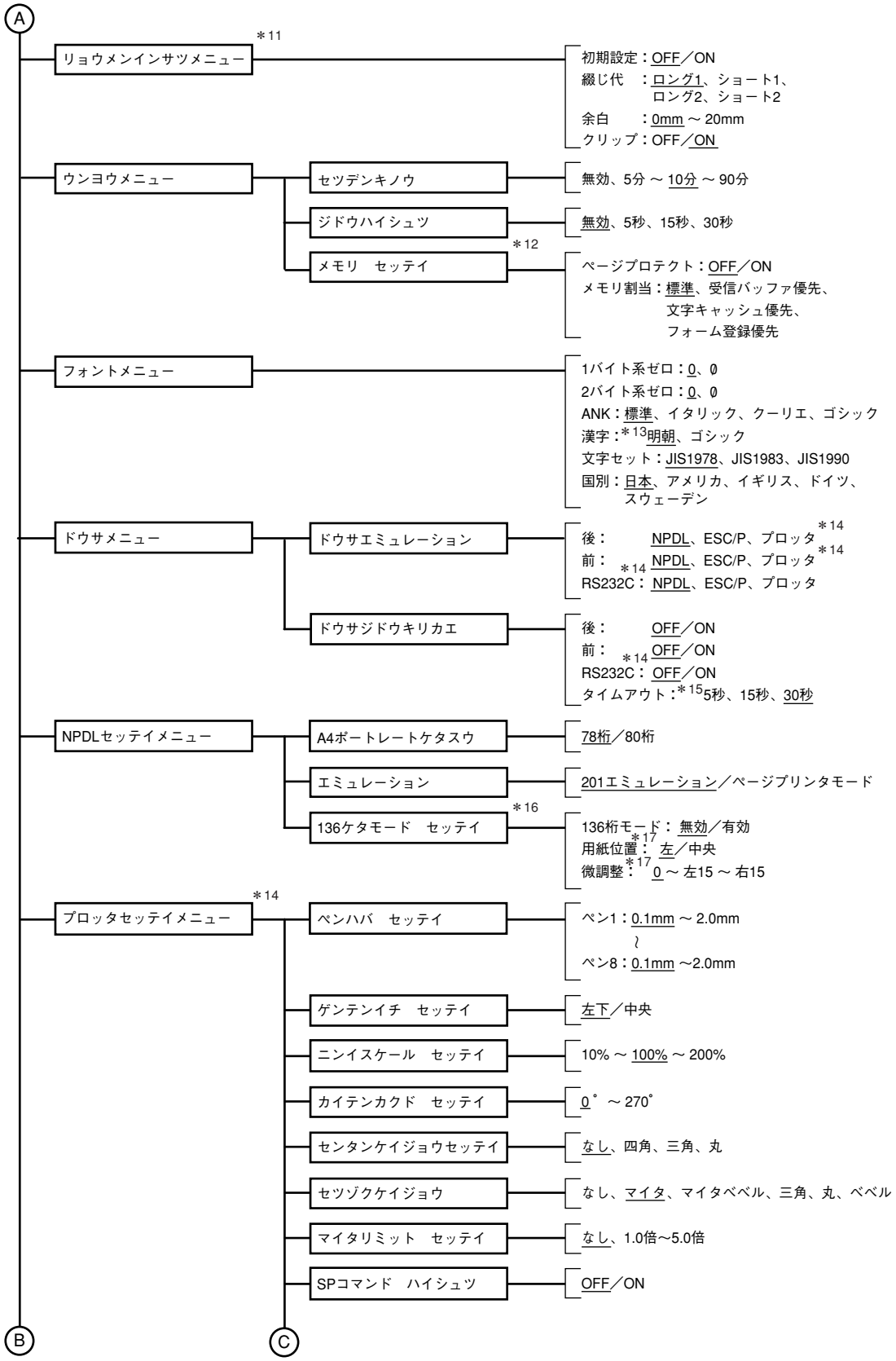
番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの機能
5-1	同期コードの有効／無効の切り替え*	**無効**	有効	×
5-2〜5-8	（未使用）			−
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	**停止する**	解像度を落として印刷	○
6-3〜6-6	（未使用）			−
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-8	（未使用）			−
7-1	データストローブのデータラッチタイミング（前面のセントロニクスインターフェース）	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○
7-2	データストローブのデータラッチタイミング（背面のセントロニクスインターフェース）	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○
7-3	（未使用）			−
7-4	ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○
7-5	ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○
7-6	（未使用）			−
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×
8-1 8-2	ビジィアクノリッジ（BUSY−$\overline{\text{ACK}}$）のタイミング（前面のセントロニクスインターフェース）（組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY−$\overline{\text{ACK}}$のタイミングを切り替えます。 **タイミングA**（8-1：0、8-2：0）		○
8-3 8-4	アクノリッジ（$\overline{\text{ACK}}$）の幅（前面のセントロニクスインターフェース）（組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、$\overline{\text{ACK}}$の幅を切り替えます。 **1μs**（8-3：0、8-4：0）		○
8-5 8-6	ビジィアクノリッジ（BUSY−$\overline{\text{ACK}}$）のタイミング（背面のセントロニクスインターフェース）（組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY−$\overline{\text{ACK}}$のタイミングを切り替えます。 **タイミングA**（8-5：0、8-6：0）		○
8-7 8-8	アクノリッジ（$\overline{\text{ACK}}$）の幅（背面のセントロニクスインターフェース）（組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、$\overline{\text{ACK}}$の幅を切り替えます。 **1μs**（8-7：0、8-8：0）		○

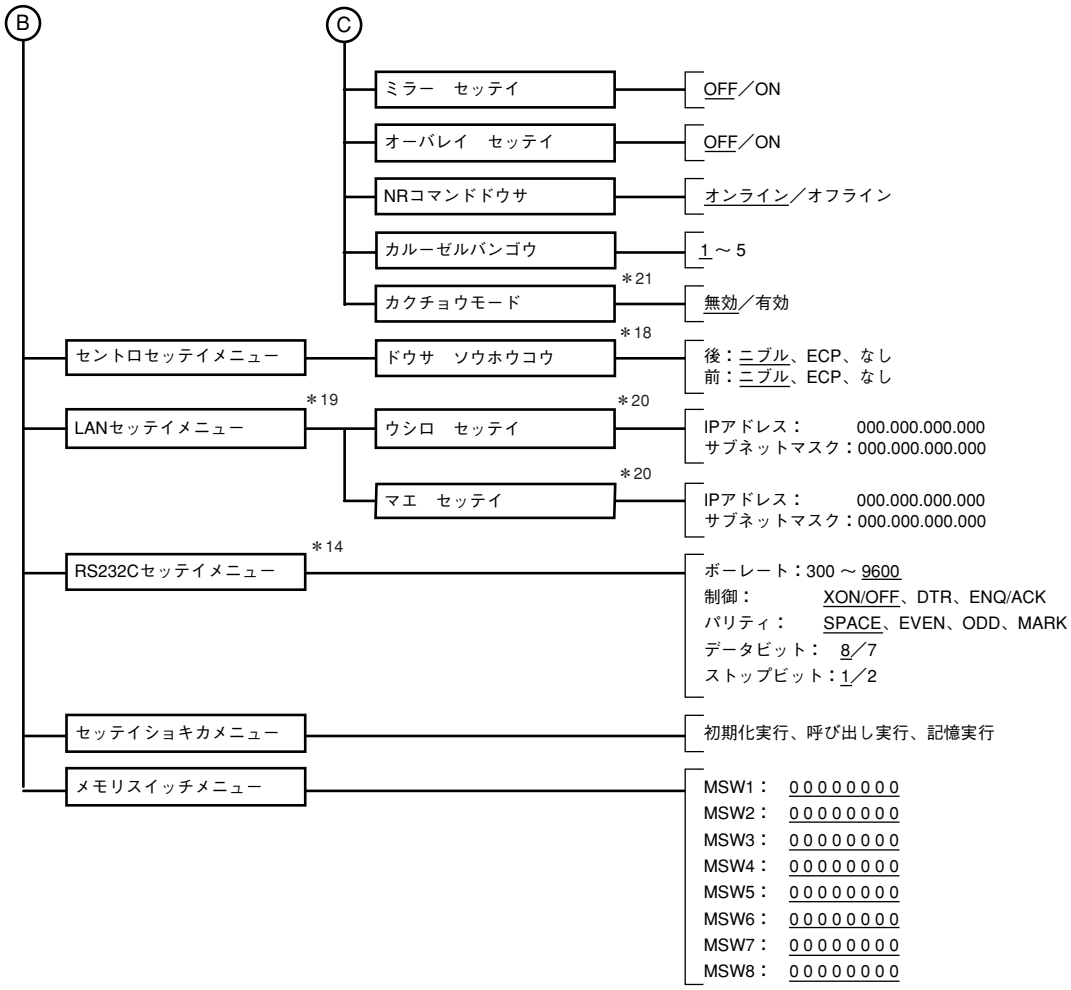
* PC-PTOSから印刷を行う場合は、MSW5-1をONにする必要があります。詳しくは108ページをご覧ください。

メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（下線部分は出荷時の設定値です。）
「＊」で示す補足的な説明は106ページにあります。




A
リョウメンインサツメニュー
＊11
初期設定：OFF／ON
綴じ代　：ロング1、ショート1、
ロング2、ショート2
余白　　：0mm ～ 20mm
クリップ：OFF／ON
ウンヨウメニュー
セツデンキノウ
無効、5分 ～ 10分 ～ 90分
ジドウハイシュツ
無効、5秒、15秒、30秒
メモリ　セッテイ
＊12
ページプロテクト：OFF／ON
メモリ割当：標準、受信バッファ優先、
文字キャッシュ優先、
フォーム登録優先
フォントメニュー
1バイト系ゼロ：0、Ø
2バイト系ゼロ：0、Ø
ANK：標準、イタリック、クーリエ、ゴシック
漢字：＊13明朝、ゴシック
文字セット：JIS1978、JIS1983、JIS1990
国別：日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、
スウェーデン
ドウサメニュー
ドウサエミュレーション
後：　　NPDL、ESC/P、プロッタ ＊14
前：　＊14 NPDL、ESC/P、プロッタ ＊14
RS232C：NPDL、ESC/P、プロッタ
ドウサジドウキリカエ
後：　　OFF／ON
前：　＊14 OFF／ON
RS232C：OFF／ON
タイムアウト：＊15 5秒、15秒、30秒
NPDLセッテイメニュー
A4ポートレートケタスウ
78桁／80桁
エミュレーション
201エミュレーション／ページプリンタモード
136ケタモード　セッテイ
＊16
136桁モード：無効／有効
用紙位置：＊17 左／中央
微調整：＊17 0 ～ 左15 ～ 右15
プロッタセッテイメニュー
＊14
ペンハバ　セッテイ
ペン1：0.1mm ～ 2.0mm
〜
ペン8：0.1mm ～2.0mm
ゲンテンイチ　セッテイ
左下／中央
ニンイスケール　セッテイ
10% ～ 100% ～ 200%
カイテンカクド　セッテイ
0° ～ 270°
センタンケイジョウセッテイ
なし、四角、三角、丸
セツゾクケイジョウ
なし、マイタ、マイタベベル、三角、丸、ベベル
マイタリミット　セッテイ
なし、1.0倍～5.0倍
SPコマンド　ハイシュツ
OFF／ON
B
C



＊1　設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
＊2　ホッパーが2段以上のときのみ表示されます。
＊3　装着されているホッパーのみ表示されます。
＊4　ホッパーが1段のときのみ表示されます。
＊5　ホッパ2ーが装着されていて、MSW7-4＝0のときのみ表示されます。
＊6　ホッパ3ーが装着されていて、MSW7-5＝0のときのみ表示されます。
＊7　ホッパ2ーが装着されているときのみ表示されます。
＊8　ホッパ3ーが装着されているときのみ表示されます。
＊9　ホッパ2ーが装着されているときのみ表示されます。MSW7-4＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4＝0で250枚用の値を表示・設定します。
＊10　ホッパ3ーが装着されているときのみ表示されます。MSW7-5＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5＝0で250枚用の値を表示・設定します。
＊11　MultiWriter 2650E/2250/2050では両面印刷ユニット（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
＊12　増設されているメモリー量により表示・設定できる項目が異なります。
＊13　MultiWriter 2650/2650E/2250に対応。MultiWriter 2050は[漢字：明朝、漢字1、漢字2]、[漢字1：ゴシック]、[漢字2：ゴシック]
＊14　プロッターエミュレーションボード（オプション）が装着されているときのみ表示されます（MultiWriter 2650/2250/2050に対応）。
＊15　動作自動切り替えでいずれかの設定がONのときのみ表示されます。
＊16　201エミュレーションモード時のみ表示されます。
＊17　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。
＊18　[ドウサソウホウコウ]の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
＊19　後ろまたは前にLANボード／アダプター（オプション）が装着されているときのみ表示されます（MultiWriter 2650/2650E/2250に対応）。
＊20　本設定メニューは[セントロセッテイメニュー]の[ドウサソウホウコウ]が「ECP」に設定されているときに有効となります（MultiWriter 2650/2650E/2250に対応）。
＊21　MultiWriter 2650/2250に対応。

ESC/Pエミュレーションでの機能

プリンターのメニューモードの設定項目のうち、一部の項目はESC/Pエミュレーションでは無効となります。ESC/Pエミュレーションで有効なもの、無効なものは次の表のとおりです。（無効とは、そのときのエミュレーションの印刷に影響を与えないということで、メニュー、メモリースイッチの切り替えは可能です。）

メモリースイッチのESC/Pエミュレーションでの有効なもの、無効なものは、「メモリースイッチの内容」（102～103ページ）をご覧ください。

機　能	ESC/P
テストインサツメニュー	
ステータスインサツジッコウ	○
サンプルインサツジッコウ	○
レンゾクインサツジッコウ	○
16シンダンプジッコウ	○
インサツセッテイメニュー	
コピーマイスウセッテイ	○
トナーセツヤク	○
インジノウド	○
ヨウシメニュー	
ホッパショキセッテイ	○
ヨウシサイズセッテイ	○
トレーヨウシシュベツ	○
トレーテイケイガイヨウシ	○
リレーキュウシセッテイ	○
ジョブセパレートキノウ	○
インジイチセッテイメニュー	
ホッパ1ビチョウセイ	○
ホッパ2ビチョウセイ	○
ホッパ3ビチョウセイ	○
トレービチョウセイ	○
オモテメンビチョウセイ	○
ウラメンビチョウセイ	○
リョウメンインサツメニュー	○
ウンヨウメニュー	
セツデンキノウ	○
ジドウハイシュツ	○
メモリセッテイ	○
フォントメニュー	
1バイトケイゼロ	○
1バイトケイゼロ（斜線付き）	○
2バイトケイゼロ	○
2バイトケイゼロ（斜線付き）	○
ANK　ヒョウジュン	○
ANK　イタリック	○
ANK　クーリエ	○
ANK　ゴシック	○

機　能	ESC/P
フォントメニュー（続き）	
カンジ　ミンチョウ	○
カンジ　ゴシック	○
モジセット　JIS1978	1983固定
モジセット　JIS1983	○
モジセット　JIS1990	1983固定
クニベツ　ニッポン	○
クニベツ　アメリカ	○
クニベツ　イギリス	○
クニベツ　ドイツ	○
クニベツ　スウェーデン	○
ドウサメニュー	
ドウサエミュレーション	○
ドウサジドウキリカエ	○
NPDLセッテイメニュー	
A4ポートレートケタスウ	○
エミュレーション	×
136ケタモードセッテイ	○*
136ケタモード　ユウコウ	○*
ヨウシイチ	○
ビチョウセイ	○
プロッタセッテイメニュー	×
セントロセッテイメニュー	○
LANセッテイメニュー	○
RS232Cセッテイメニュー	○
セッテイショキカメニュー	○
メモリスイッチメニュー	102～103ページ参照

○：有効　　×：無効　　*136桁モード固定

- 「ミンチョウ」と「ゴシック」は、ESC/Pコマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。
- ESC/Pエミュレーションでは、文字セットは常に“JIS1983”になります。
- 「ジドウハイシュツ」の設定では、アプリケーションによっては設定時間以上にデータの送信が停止すると印刷が正常に行えない場合があります。この場合には、「ムコウ」に設定してください。

PC-PTOS環境での機能

PC-PTOSから使用する場合は、メモリースイッチ5-1を「有効(ON)」にし(本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。)、それ以外のメニュー、メモリースイッチの各種設定はすべて出荷時設定のままでお使いください。メニューの出荷時設定はプリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル(プリンターの設定と技術情報)をご覧ください。メモリースイッチの出荷時設定は「メモリースイッチの内容」(102～103ページ)をご覧ください。

設定の内容によっては印刷結果が不正になる場合があります。ただし、以下の項目についてはPC-PTOSからの印刷でも設定を変えて使用することができます。

メニューの設定

- 各種テスト印刷／16進ダンプの実行
- 各種環境の設定*1
- 用紙の設定*1
- 印字位置微調整の設定
- 運用環境の設定
- フォント環境の設定*2
- 動作環境の設定
- NPDL環境の設定
  - A4ポートレート桁数
  - 136桁モード設定
- RS-232C環境の設定
- メニュー項目の設定

*1　印刷環境の設定中のコピー枚数設定、用紙の設定中のホッパー初期設定に関しては、使用するアプリケーションによってはアプリケーションでの指定が優先されます。

*2　PC-PTOSで規定した字形で印字する場合は、出荷時設定のままで使用してください。

メモリースイッチの設定(メニューで設定できるものを除く)

(1-5)	DC1、DC3の有効／無効の切り替え
(1-6)	自動復帰改行の切り替え
(1-7)	印刷指令の切り替え
(1-8)	CR機能の切り替え
(2-3)	グラフィックモードの切り替え
(2-6)	7ビット／8ビットデータの切り替え
(2-8)	B4→A4縮小の縮小率
(3-8)	ブザーの有効／無効の切り替え
(4-1)	解像度の選択
(4-3)	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え
(4-4)	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え
(4-5)	ランドスケープの方向の切り替え
(5-1)	同期コードの有効／無効の切り替え
(6-1)	SETを使用する／しないの設定
(6-2)	メモリーオーバー時の動作指定
(7-1、7-2)	データストローブのデータラッチタイミングの設定
(7-4)	ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類
(7-5)	ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類
(7-7、7-8)	FS fコマンドの動作に関する設定
(8-1、8-2、8-5、8-6)	ビジィアクノリッジのタイミングの設定
(8-3、8-4、8-7、8-8)	アクノリッジの幅の設定

PC-PTOS環境でプリンターをご使用になる前には、87ページの「PC-PTOS環境でプリンターを選択する」をお読みください。

用紙のセットについて

ここでは、ホッパーやトレーにセットできる用紙の種類、セット方法について説明します。

用紙の種類

標準ホッパー、増設ホッパーおよびトレーにセットできる用紙の種類は次のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については「付録　技術情報」(267ページ)を参照してください。

給紙先	使用できる用紙種別	
	片面印刷	両面印刷
標準ホッパー	普通紙 (A3、B4、A4、B5、A5、レター) : 250枚 ラベル紙 (A4、B4) : 30枚	普通紙 (A3、B4、A4、B5、A5、レター)
トレー	普通紙 (A3、B4、A4、B5、A5、レター) : 100枚 ラベル紙 (A4、B4) : 30枚 はがき、往復はがき : 30枚 OHPフィルム : 30枚 封筒 (洋形4号) : 10枚 厚紙* 定形外用紙	普通紙 (A3、B4、A4、B5、A5、レター)
増設ホッパ (250)	普通紙 (A3、B4、A4、B5、A5、レター) : 250枚	普通紙 (A3、B4、A4、B5、A5、レター)
増設ホッパ (500)	普通紙 (A3、B4、A4) : 500枚	普通紙 (A3、B4、A4)

*　坪量81.4g/m²～128g/m² (連量70～110kg) の用紙です。

重要

次の様な用紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、故障の原因になります。

- 無塵紙
- 裏移り防止用の白粉 (ミクロパウダー) が塗布された用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- シワがある、折れている、破れている、湿っている、濡れている、長時間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりがついているなどの用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどがついている用紙
- のりがついている封筒
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
- 次のような状態のラベル紙

  台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
- すでに一度印刷されている用紙

チェック

普通紙 (定形用紙) 以外の用紙は両面印刷できません。

ホッパーに用紙をセットする

ホッパーには普通紙やラベル紙をセットすることができます。ホッパーの容量は普通紙の坪量64.0g/m²（連量55kg）なら250枚まで、ラベル紙なら30枚までセットすることができます。

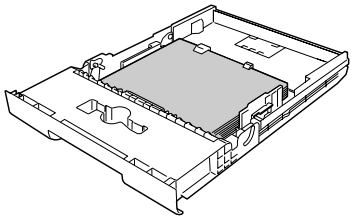
用紙のセット方向

A4サイズの用紙は横置き、縦置きどちらの方向でもセットできます。

横置き

右図のように横置きにセットできる用紙は次の4種類です。

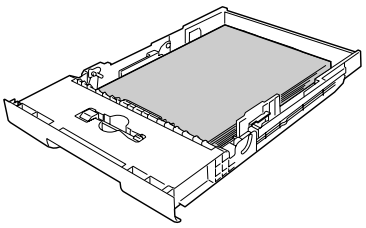
B5、A5、レター、A4



縦置き

右図のように縦置きにセットできる用紙は次の3種類です。

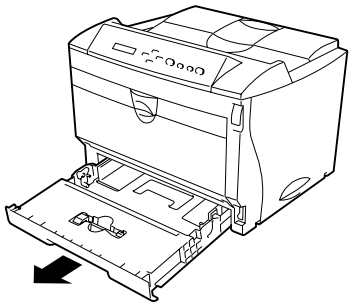
A3、B4、A4



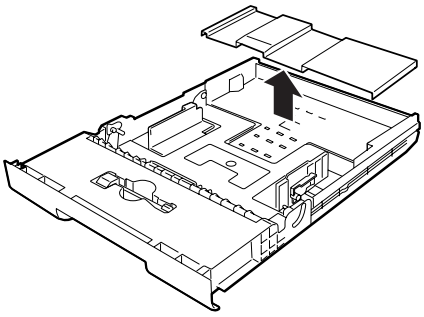
重要

- レターサイズの用紙をセットする場合は、メニューモードの「ヨウシメニュー」で用紙サイズを設定してから印刷してください。プリンターはレターサイズを自動に検出しないため、設定を変更しないと紙づまりの原因となる場合があります。（メニューモードについては99ページをご覧ください。）
- ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙をホッパーにセットしないでください。
  片面印刷してある用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。
- 用紙カセット前側のコルク部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

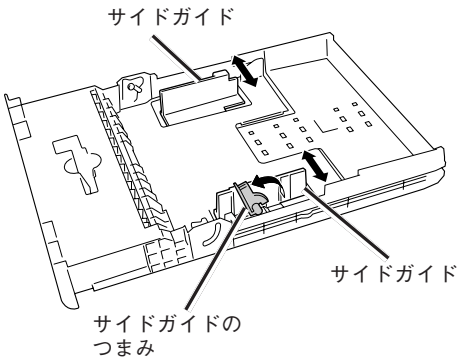
❶ **用紙カセットをゆっくり引き出す。**



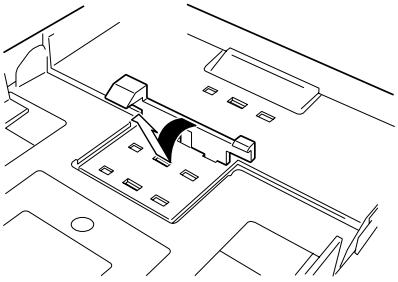
❷ **カセットカバーを取り外す。**



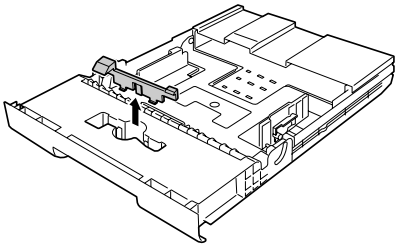
❸ **サイドガイドのつまみを引き上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。**



❹ **エンドガイドのつまみ中央部を押しながら手前に倒し、上に引き抜く。**

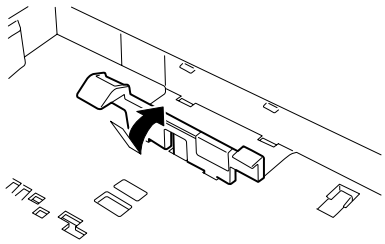


お買い上げ時、エンドガイドは用紙カセット手前に入っています。

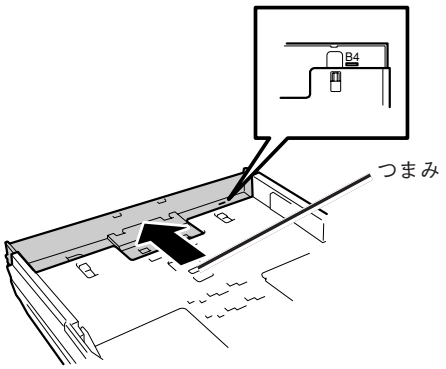


❺ **使用する用紙サイズに合わせる。**

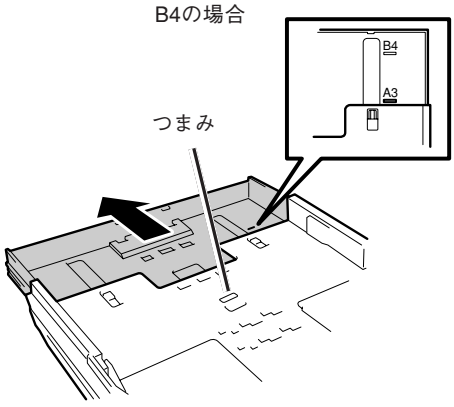
<B5、A5、レター、A4サイズの場合>
エンドガイドを任意の場所にはめ込みます。



<B4サイズ、A3サイズの場合>
用紙カセットのつまみを右に動かし各用紙サイズに合わせて用紙カセットを引き伸ばし、用紙カセットのつまみを左に動かします。



B4の場合



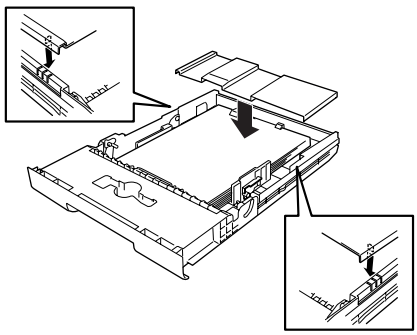
A3の場合

❻ 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットする。

チェック

- 新しく袋から出した用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙はエンドガイド側から入れてください。
- 用紙を入れた後、サイド ガイドを再セットしてください。
- 用紙はエンドガイドの積載量制限マーク（▼）を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

❼ カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。

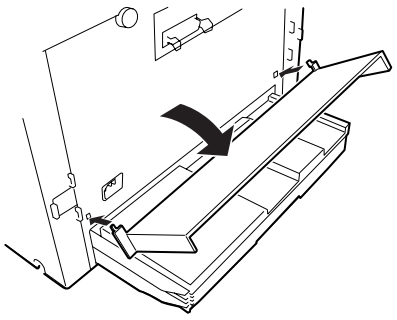


❽ 用紙カセットをプリンターに差し込む。

用紙カセットはゆっくり差し込んでください。

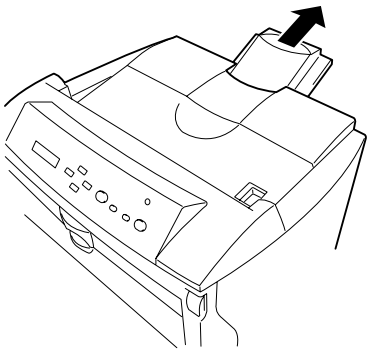
❾ キャノピーをプリンター背面に取り付ける（MultiWriter2050のみ）。

キャノピーの上には何も物を載せないでください。破損の原因になります。

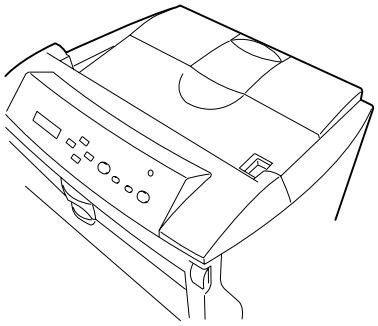


❿ ペーパーサポートを引き出す。

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。



A4、B5、A5、レターサイズの場合、そのままお使いください。



残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなどがつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

トレーに用紙をセットする

トレーには普通紙やラベル紙をはじめ、ホッパーにセットできない厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

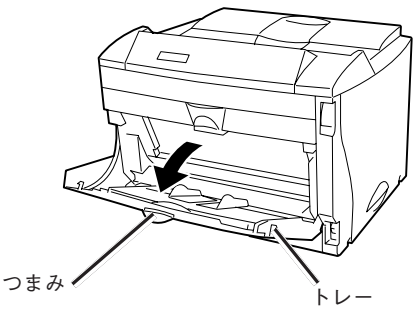
トレーの容量は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベルは約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。
厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」ー「トレー　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は「メニューツリー」(104〜106ページ)を参照してください。

重要

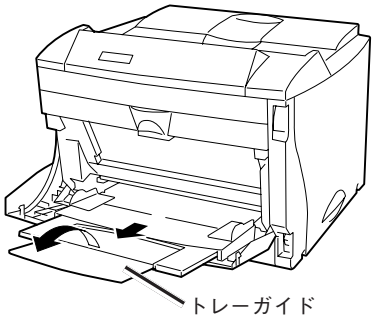
- トレーにセットする用紙は両面とも印刷していない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙をトレーにセットすることはできません。片面印刷した用紙をセットし、その用紙の裏に印刷しようとすると給紙できなかったり、紙づまりになったりするばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- トレーに用紙をセットした時は、トレーの用紙サイズを設定する必要があります。詳細は95ページの「操作パネル　[トレー]スイッチ」で設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど設定を行ってください。
- トレーに用紙以外の物や、手を載せないでください。トレーの破損の原因となる場合があります。

❶ トレーを開く。

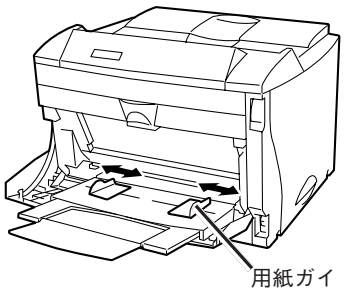
トレーのつまみを持ち、手前に引きます。



❷ トレーガイドをカチッと音がするまで伸ばし、さらに1段手前に開く。



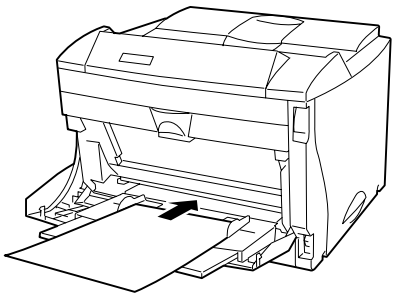
❸ 印刷したい用紙のサイズに用紙ガイドを合わせる。



❹ 印刷したい面を下にして、用紙を用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入する。

A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズ、往復はがきは横置きでセットしてください。

A4サイズは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットすることができます。

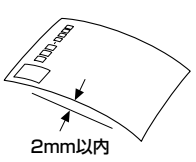


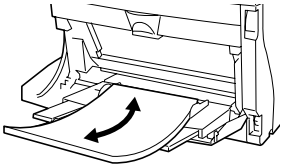
はがき、往復はがきをセットするときの注意

重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

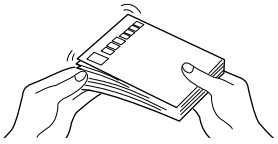
- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるようにし、反りの方向が右の図のようになるように反りを直してからセットしてください。



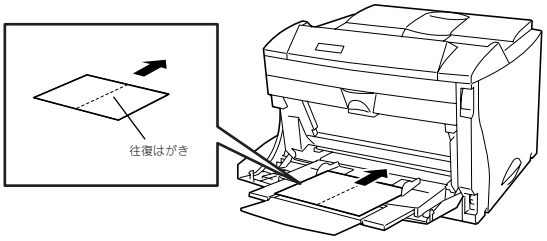


- 印刷所で印刷を施された官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。

- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。



- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。



OHPフィルム、ラベル紙をセットするときの注意

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。

- OHPフィルムは使用環境、使用OHPフィルムによって静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

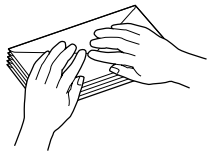
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。

封筒をセットするときの注意

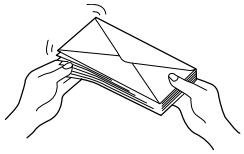
重要

フラップ(封筒の折り返し部分)面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

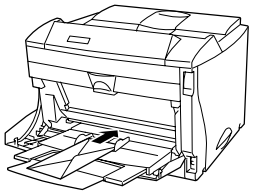
- トレーにセットする封筒は、洋形4号(LIFE洋封筒E506 ライフ(株)製)をご使用ください。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。



- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。



- 印刷する面を下にして、封筒を用紙ガイドに沿って奥に突き当たるまで挿入してください。



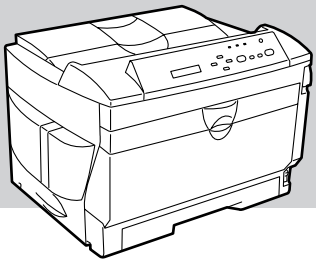
定形外用紙をセットするときの注意

重要

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- 対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定形用紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- メニューモードの「ヨウシメニュー」で「テイケイガイヨウシ」を「ON」にする必要があります。詳細は104〜106ページのメニューツリーを参照してください。

4章
より進んだ使い方



この章ではMultiWriter 2650/2650E/2250/2050の便利な機能やそれらの使い方について説明しています。

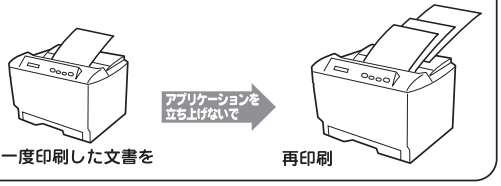
- 機能の紹介 118ページ
- 機能の解説 120ページ
- プロパティダイアログボックス 127ページ
- 「PrintAgent」ツールバー 135ページ
- 設定方法 136ページ

機能の紹介

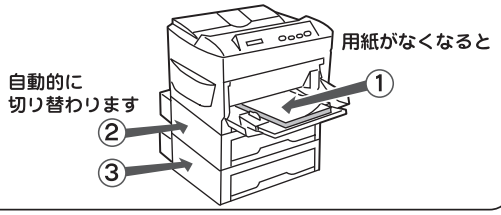
ここでは、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の便利な機能を紹介します。
各機能の設定方法については記載のページをご覧ください。

再印刷する 136ページ

便利な機能 リプリント機能



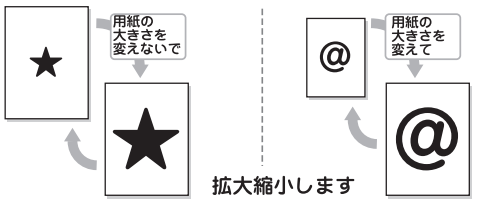
リレー給紙する 150ページ



文書を結合する 122ページ

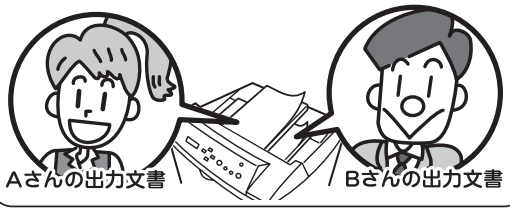
便利な機能 DocuWorks E

拡大・縮小印刷する 152ページ

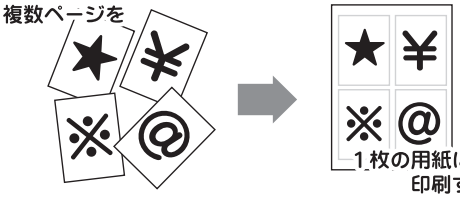


仕分け印刷する 142ページ

便利な機能 ジョブセパレート、丁合い

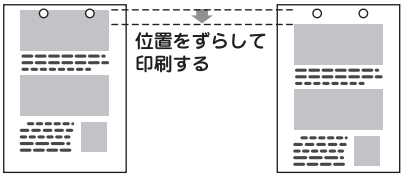


複数ページ印刷する 155ページ



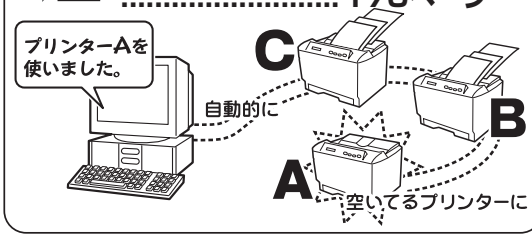
両面印刷する 148ページ

印刷位置をずらす 156ページ



定形外サイズの用紙に印刷する 158ページ

プリンターを自動切り替えする 170ページ



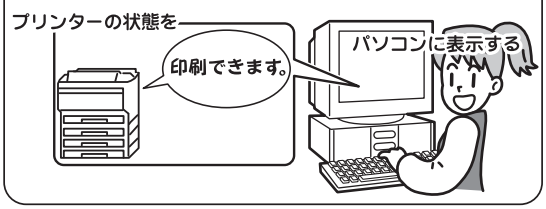
印刷中にユーザー名を表示させる 162ページ

保守情報をメール通知する 177ページ

便利な機能 NEC e-mailメンテナンス

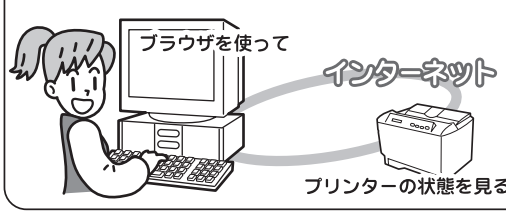
プリンターの状態や印刷状況を見る 163ページ

便利な機能 プリンタステータスウィンドウ



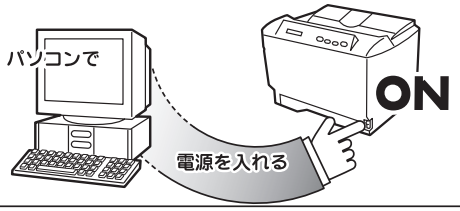
プリンターの状況を見る 180ページ

便利な機能 Web PrintAgent



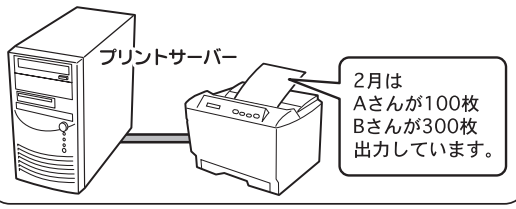
パソコンから電源を入れる ... 166ページ

便利な機能 リモート電源



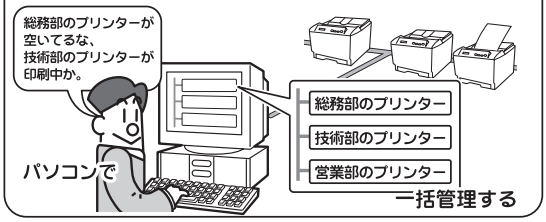
印刷履歴状況を出力する 181ページ

便利な機能 印刷ログ出力

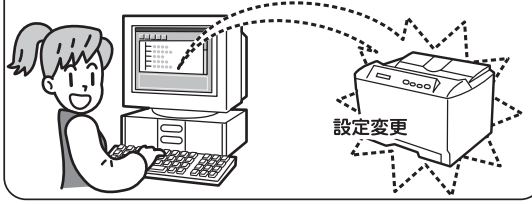


プリンターを一元管理する 168ページ

便利な機能 プリンタ管理ユーティリティ



リモートパネルを利用する 185ページ



機能の解説

ここでは、リプリント、仕分け印刷、拡大・縮小印刷、プリンタステータスウィンドウ、プリンターの自動切替の機能について解説します。詳細についてはヘルプまたはオンラインマニュアル(プリンターソフトウエアの詳細)をご覧ください。

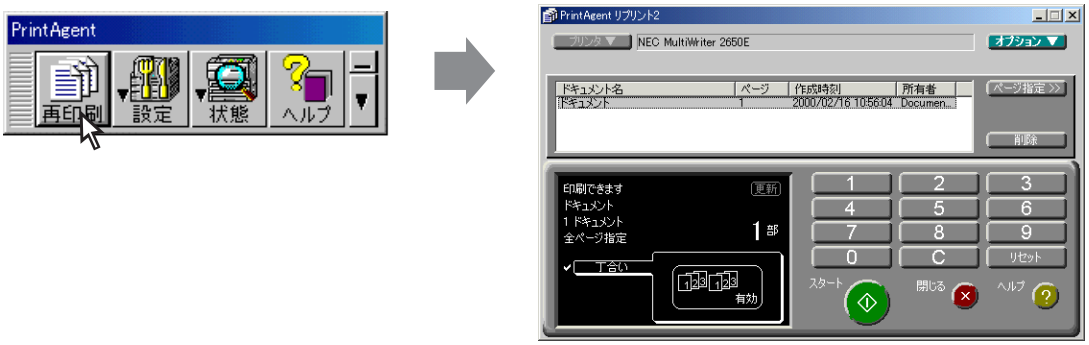
リプリント

リプリント(再印刷)は、PrintAgent リプリント2を操作することにより再印刷をする機能です*。なお、MultiWriter 2650/2250をお使いの場合、およびMultiWriter 2650E/2050でWindows NT 3.51をお使いの場合はプリンタステータスウィンドウの[リプリント]ボタンから再印刷します。

PrintAgent リプリント2

この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされていることが必要です。(インストール方法については、79ページを参照してください)。これを使えば、「PrintAgent」ツールバー*からPrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し再印刷することができます。

PrintAgent リプリント2を起動するには、「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックします。



*「PrintAgent」ツールバー、PrintAgent リプリント2はMultiWriter 2650E/2050に対応しています。

[リプリント]ボタン

Windows NT 3.51をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウの[リプリント]ボタンをクリックし、[リプリント機能]ダイアログを開き、その後スプールファイルのリストから希望の文書を選んで再印刷します。

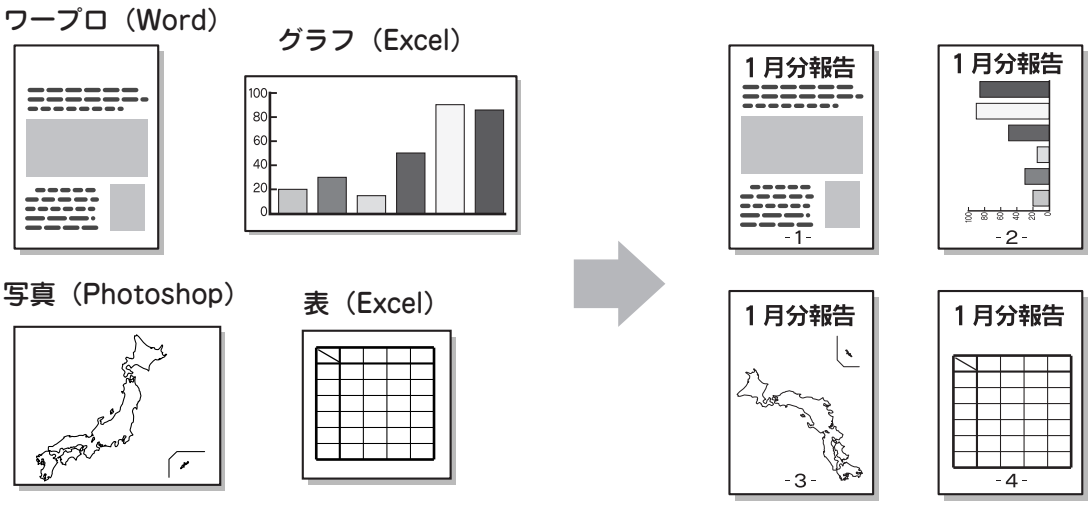
使用条件

PrintAgentのプリンタステータスウィンドウおよびPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。PrintAgentのプリンタステータスウィンドウは、Windows 2000/98*/95/NT 4.0/NT 3.51で利用でき、PrintAgentをインストールする際にプリンタステータスウィンドウのオプションをチェックしておく必要があります。PrintAgent リプリント2はWindows 2000/98/95/NT 4.0でのみ利用でき、PrintAgentをインストールする際にPrintAgent リプリント2オプションをチェックしておく必要があります。

*以下、Windows 98 Second Editionを含みます。

文書統合(DocuWorks E)

ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.3.0E」は文書作りをさらに便利にします。DocuWorks Eはパソコン上の文書ファイルをページ単位で組み合わせるアプリケーションです。組み合わせる文書はアプリケーションの種類を問いません。文書の内容がわかっていれば、いちいちアプリケーションを立ち上げなくても希望のページを抜き出してページ単位で編集することができます。(DocuWorks Eの詳細についてはプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているDocuWorks Eに添付の「ユーザーズマニュアル」をご覧ください。)



仕分け印刷

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050では印刷時の仕分け機能として、丁合い機能およびジョブセパレート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。ここではそれぞれの機能と、丁合い機能およびジョブセパレート機能を組み合わせた場合の便利な使い方について説明します。

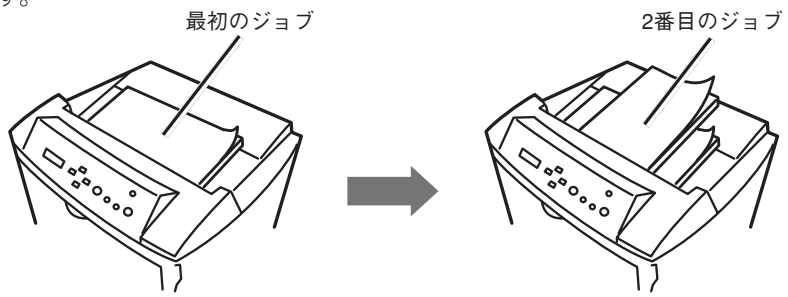
丁合い機能

丁合い機能とは、部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ)に印刷する機能です。MultiWriter 2650/2650E/2250/2050のプリンタードライバーは標準で丁合い機能が有効になっています。

ジョブセパレート機能

A4サイズの用紙をお使いの場合、印刷ジョブ(ひとつの文書)ごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、排出される用紙をスタッカ上で仕分けする機能です。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ便利です。

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050のプリンタードライバーは標準でジョブセパレート機能が有効になっています。



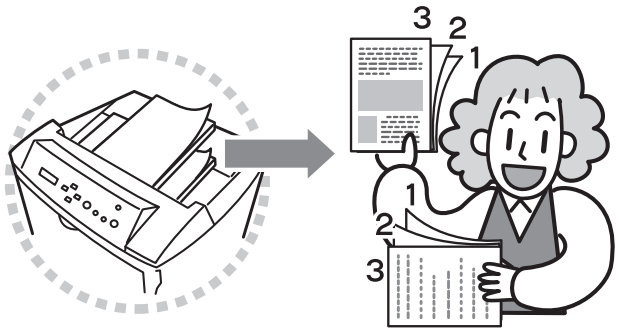
印刷ジョブごとに交互に排出

ジョブセパレートを使った仕分け印刷

ジョブセパレートを使った仕分け印刷とは、ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた場合の使い方です。ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使用すると、部単位ごとに用紙を印刷するとともに、縦置き、横置きと交互にスタッカー上に仕分けて排出します。

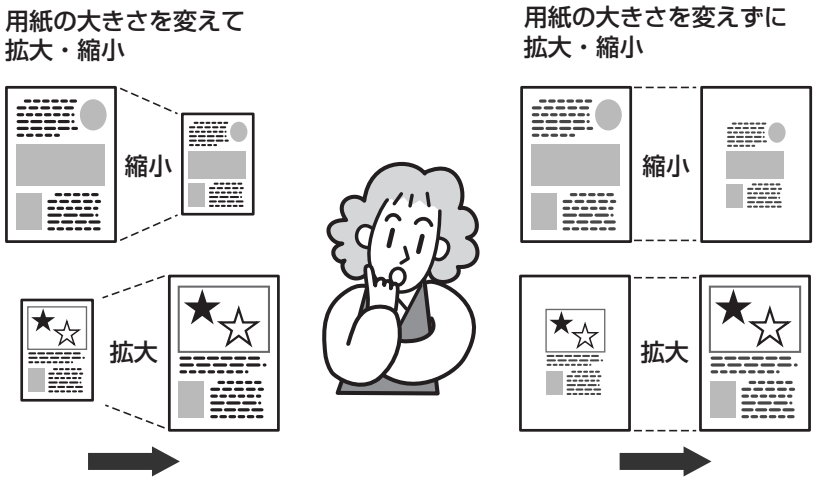
なお、本機能を使用するにはスプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっている必要があります。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は部単位ごとの仕分け印刷をすることはできません。

たくさん印刷しても区別できる



拡大・縮小印刷

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050には、用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。



用紙の大きさを変えて拡大・縮小

- 出力用紙サイズを指定する（MultiWriter 2650/2650E/2250に対応） 152ページ

  Windows 2000/98/95/NT 4.0をお使いの方がご利用できます。
  アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。

- 拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する 154ページ

  Windows 2000/98/95/3.1/NT 4.0/NT 3.51をお使いの方がご利用できます。
  アプリケーションの用紙サイズを拡大・縮小印刷対応用紙サイズ（「A4×2→A4」など）に指定します。この設定はプリンターの機能を利用して印刷を行います。

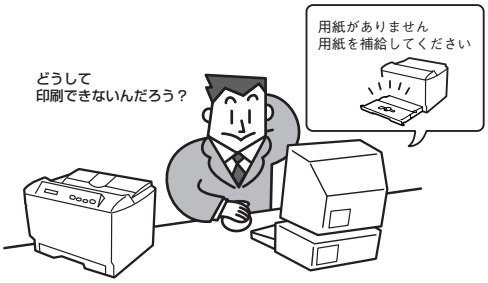
用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

- 拡大・縮小率を指定する（MultiWriter 2650/2650E/2250に対応） 153ページ

  Windows 2000/98/95/NT 4.0をお使いの方がご利用できます。
  任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。
  前述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声によるメッセージで通知します。



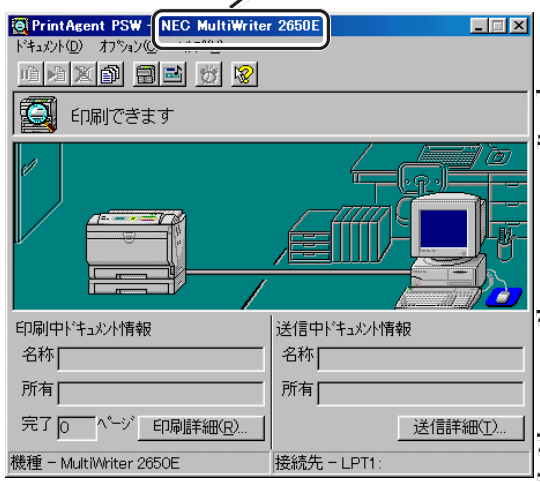
通常プリンターが印刷を開始したり印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。起動する方法は次の3種類です。

- 「PrintAgent」ツールバーから起動する(MultiWriter 2650E/2050に対応)
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

メニュー＆ツールバー
送信中ドキュメントを中止したり、リプリント機能、ウォームアップ開始機能が利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

プリンター名
プリンターに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは「プリンタ」フォルダーや「プリントマネージャ」で設定した名前です。



ステータス情報エリア
アイコンとメッセージでプリンターの状態などを表示します。

ビジュアル情報エリア
プリンターの構成、接続状態、印刷状況、障害の状況などをアニメーションで表示します。

ドキュメント情報エリア
印刷中、送信中のドキュメント情報を表示します。

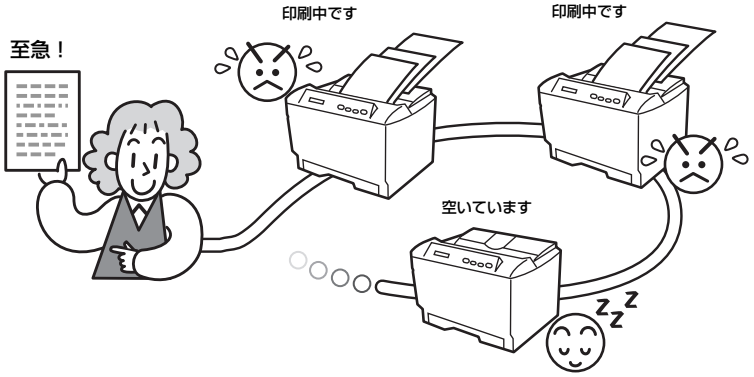
ステータスバー
プリンターの機種名とそのプリンターが接続されているポート名またはネットワークパス名を表示します。メニューを選択しているときはメニューの情報が表示されます。

[ツールバー]

一時停止ボタン
印刷再開ボタン
印刷中止ボタン　リプリントボタン　構成情報ボタン　通知形式ボタン　ウォームアップボタン
ヘルプボタン

プリンターの自動切替

複数のプリンターをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントが利用することができます。
なお、グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriter系のプリンターです。下記の表を参照してください。



使用条件

- プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには自動切替オプションをインストールする必要があります。
- プリンター管理者が複数のMultiWriterをグループプリンタとして登録することが必要です。グループプリンタとして設定可能なプリンターの機種は以下の表のとおりです。
- MultiWriter 2650/2650E/2250/2050やグループ可能なMultiWriterを複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows 98/95をお使いの場合、グループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。
- Windows NT 3.51の場合、プリントサーバーとしてグループプリンタを登録することはできません。ネットワーク内に共有されているグループプリンタをクライアントとして利用できます。

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
MultiWriter 2650E	MultiWriter 2650M/2250H MultiWriter 2650E/2650/2250 MultiWriter 2050
MultiWriter 2650	MultiWriter 2650M/2250H MultiWriter 2650E/2650/2250 MultiWriter 2050
MultiWriter 2250	MultiWriter 2650M/2250H MultiWriter 2650E/2650/2250 MultiWriter 2050
MultiWriter 2050	MultiWriter 2650M/2250H MultiWriter 2650E/2650/2250 MultiWriter 2050

平成12年3月現在

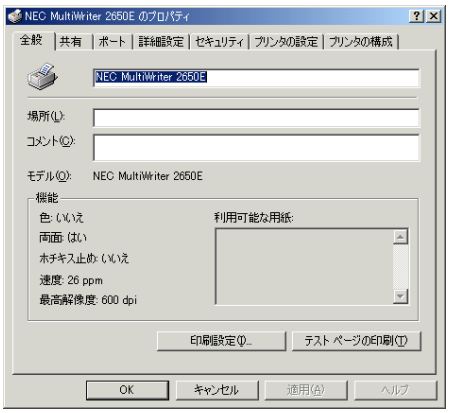
プロパティダイアログボックス

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050では[プロパティダイアログボックス]と呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの開き方をOS毎に分けて説明します。

Windows 2000の場合

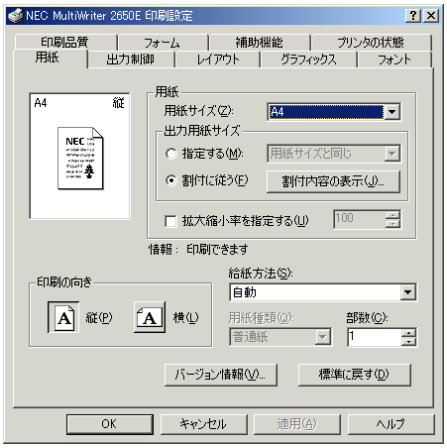
Windows 2000では、印刷の詳細設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。
各シートの詳細については添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル(プリンターソフトウエアの詳細)またはヘルプをご覧ください。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス



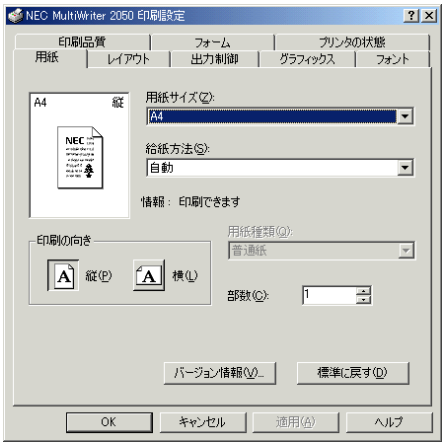
このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。左図の7枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

[印刷設定]ダイアログボックス
＜MultiWriter 2650/2650E/2250の場合＞



このダイアログボックスは印刷の詳細設定を行うものです。左図の9枚のプロパティシートで構成されています。

＜MultiWriter 2050の場合＞



このダイアログボックスは印刷の詳細設定を行うものです。左図の8枚のプロパティシートで構成されています。

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[印刷設定]ダイアログボックスのみです。

- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く方法**

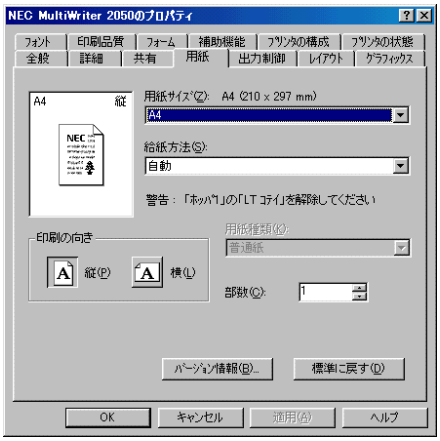
  ダイアログボックスの設定は、[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

Windows 98/95の場合

Windows 98/95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。このプロパティダイアログボックスは次のプロパティシートで構成されています。
各シートの詳細については添付のCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル（プリンターソフトウエアの詳細）またはヘルプをご覧ください。

＜MultiWriter 2650/2650E/2250の場合＞

＜MultiWriter 2050の場合＞



プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。
- **［プリンタ］フォルダーのメニューから開く方法**
  ダイアログボックスの設定は、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。
各シートの詳細については添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル(プリンターソフトウエアの詳細)またはヘルプをご覧ください。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。左図の7枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

[ドキュメントの既定値]ダイアログボックス
<MultiWriter 2650/2650E/2250の場合>

このダイアログボックスは印刷の詳細設定を行うものです。左図の9枚のプロパティシートで構成されています。

＜MultiWriter 2050の場合＞

このダイアログボックスは印刷の詳細設定を行うものです。左図の8枚のプロパティシートで構成されています。

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスのみです。

- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く方法**

  ダイアログボックスの設定は、[デバイスプロパティ]、[ドキュメントの既定値]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

Windows NT 3.51の場合

Windows NT 3.51では以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。
各シートの詳細については添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル(プリンターソフトウエアの詳細)またはヘルプをご覧ください。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。左図の2枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

[標準設定]ダイアログボックス
<MultiWriter 2650/2650E/2250の場合>

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。左図の9枚のプロパティシートで構成されています。

＜MultiWriter 2050の場合＞

このダイアログボックスは印刷の詳細設定を行うものです。左図の8枚のプロパティシートで構成されています。

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

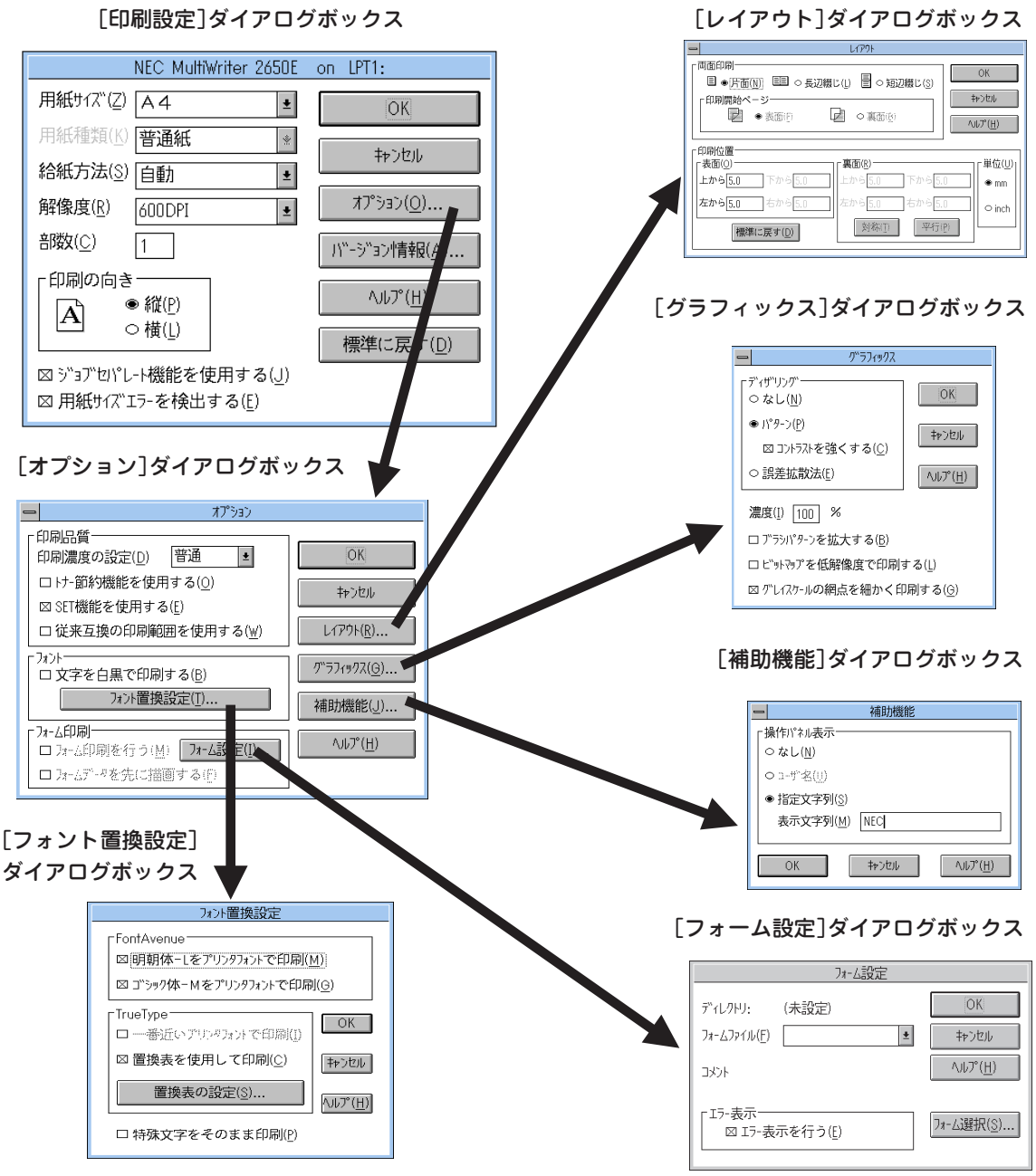
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定項目などが表示されないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスのみです。

- **[プリントマネージャ]を使って開く方法**

  ダイアログボックスの設定は[デバイスプロパティ]、[ドキュメントプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

Windows 3.1の場合

Windows 3.1では、次のような[印刷設定]ダイアログボックスで印刷に関する詳細設定を行うことができます。



[印刷設定]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。
- **Windows付属の[コントロールパネル]を使って開く方法**
  ダイアログボックスの設定は、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

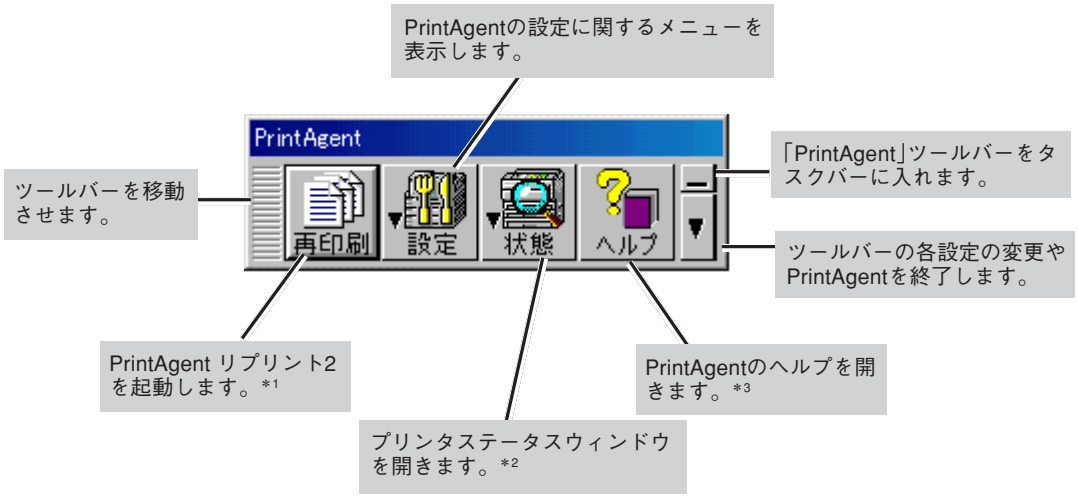
「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能を呼び出すことができます。このツールバーはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールすれば、お使いになれます（MultiWriter 2650E/2050でご利用になれます）。

「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左または右クリックし、[ツールバーを表示]をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。
  前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、プリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル（プリンターソフトウエアの詳細）または「PrintAgent」ツールバーのヘルプをご覧ください。



*1　PrintAgent リプリント2がインストールされていない場合は、[再印刷]ボタンはご利用になれません。
*2　PrintAgent対応プリンターがない場合、[状態]ボタンはご利用になれません。
*3　ヘルプがインストールされていない場合、[ヘルプ]ボタンとツールバー設定ボタンメニューの[ヘルプ]はご利用になれません。

設定方法

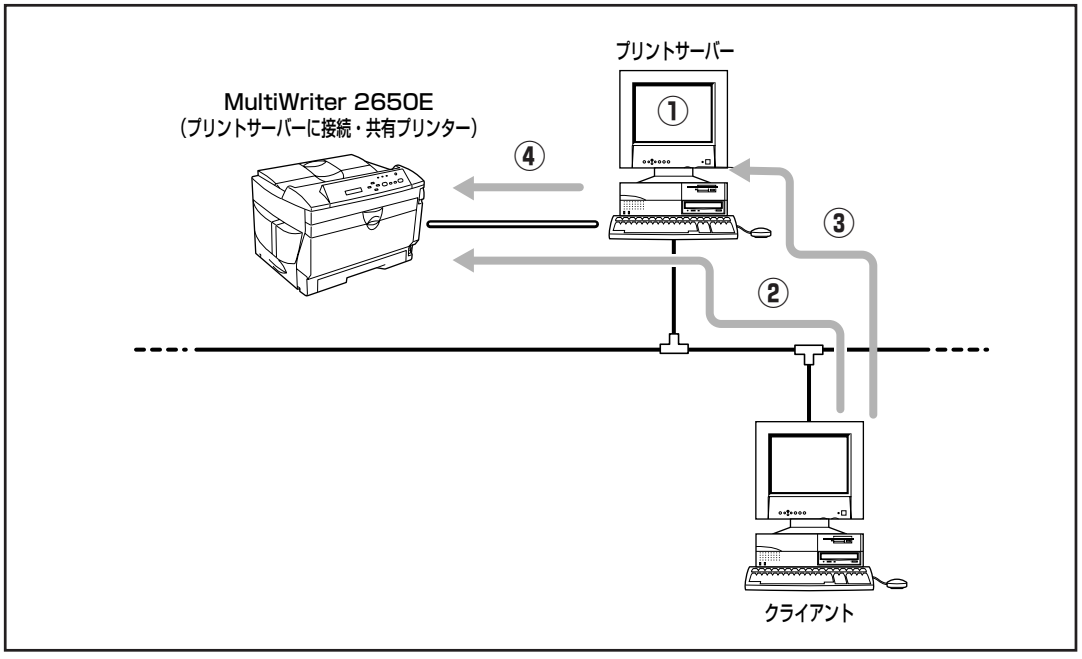
ここでは、それぞれの機能の設定方法について説明します。

リプリント機能

リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

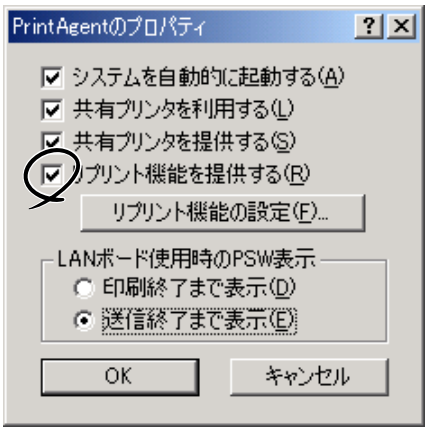
Step 1　リプリント機能を設定する（リプリント機能の提供）
Step 2　印刷する（リプリント用ファイルのスプール）
Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ（スプールファイルの選択）
Step 4　リプリントする（スプールファイルの出力）

このイラストはクライアントからリプリントを実行する場合のステップを説明したものです。



Step 1　リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいはPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、[リプリント機能を提供する]をチェックする。



重要

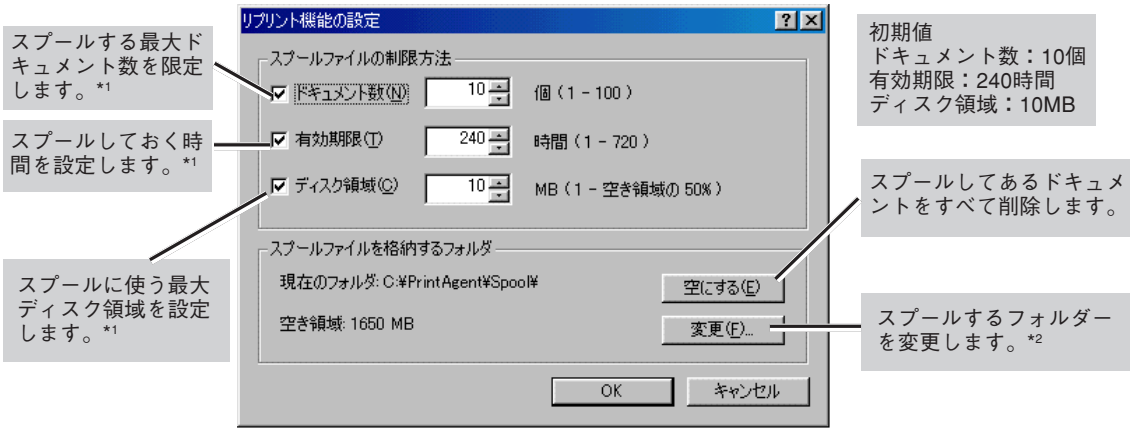
プリントサーバーがWindows 2000/NT 4.0/NT 3.51の場合、Administratorsの権限がないと、この設定はできません。

[リプリント機能を提供する]

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには[リプリント機能の設定]ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

[リプリント機能の設定]ボタン

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。



*1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

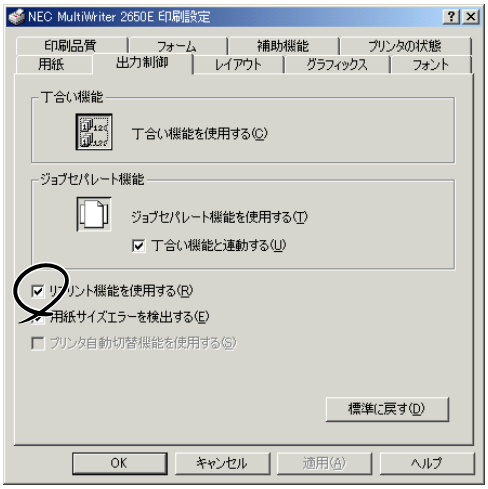
*2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

Step 2　印刷する

❶ **リプリント機能を利用するコンピューターでプリンターのプロパティの[出力制御]シートを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックする。**

リプリント機能は標準で有効になっています。

＜Windows 2000の場合＞
[印刷設定]ダイアログボックスの[出力制御]シート



＜Windows 98/95の場合＞
[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シート

＜Windows NT 4.0の場合＞
[ドキュメントの既定値]の[出力制御]シート

＜Windows NT 3.51の場合＞
[プリンタ情報]―[詳細]―[標準設定]
ダイアログボックスの[出力制御]シート

❷ **アプリケーションでドキュメントを印刷する。**

Step 3　リプリントしたい文書を選びリプリントする

Windows 2000/98/95/NT 4.0でMultiWriter 2650E/2050を使用する場合

❶「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。

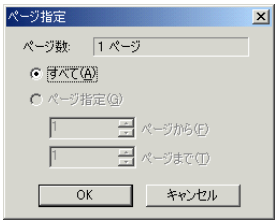
❷ PrintAgent リプリント2でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。

Windows NT 3.51の場合は、「PrintAgent」ツールバーおよびPrintAgent リプリント2はご利用になれません。プリンタステータスウィンドウの[リプリント]ボタンから選んでください。

チェック

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは137ページを参照してください。

❸ [ページ指定]をクリックし、再印刷するドキュメントの印刷範囲を設定する。



❹ 再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合いを設定し、印刷する。

140ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。

Windows 2000/98/95/NT 4.0/NT 3.51でMultiWriter 2650/2250を使用する場合*

＊ Windows NT 3.51でMultiWriter 2650E/2050を使用する場合を含みます。

❶ プリンタステータスウィンドウの[リプリント]ボタンをクリックする。

[リプリント機能]ダイアログボックスが表示されます。

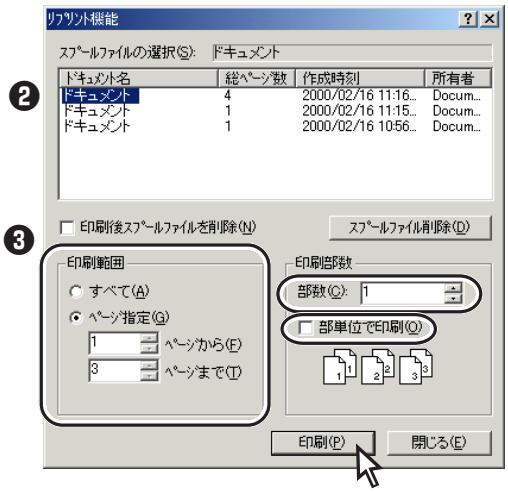
❷ 再印刷したいドキュメントを選択する。

チェック

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは137ページを参照してください。

❸ 再印刷するドキュメントの印刷範囲、印刷部数、部単位で印刷を設定し、[印刷]をクリックする。

140ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。



リプリント機能を使用するときの注意事項

リプリント機能を利用するにあたって以下の内容を参考にしてください。

- **リプリントされるページは最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。**

  たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。ただし部数、丁合いの設定はクリアされますので、リプリントするときに再設定することになります。

＜Windows 2000の場合＞

リプリント出力時は無効

＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞

＜Windows NT 3.51の場合＞

- **リプリント機能で印刷できるページは最初にアプリケーションで実際に印刷したページのみです。**

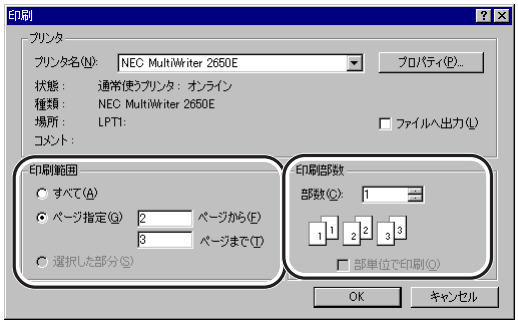
  たとえば10ページある文書の中から下の[印刷]ダイアログボックスのように2～3ページを印刷した場合、1、4～10ページをリプリントすることはできません。

＜Windows 2000の場合＞

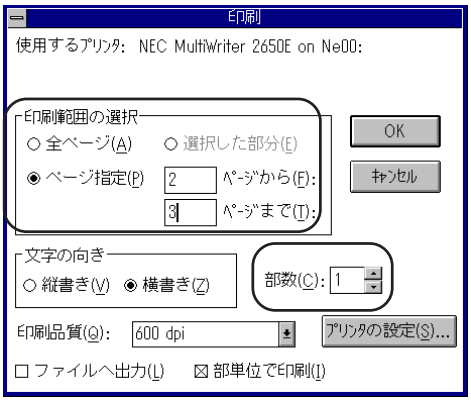
リプリントに有効なページは2～3ページです。

リプリント出力時は無効

<Windows 98/95/NT 4.0の場合>



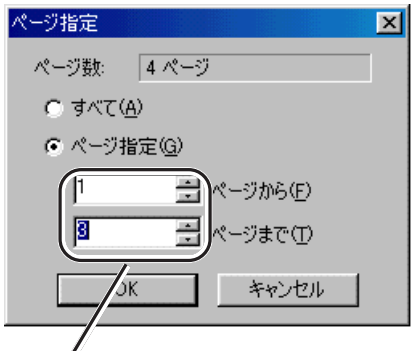
<Windows NT 3.51の場合>



- **リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。**

  たとえばアプリケーションで文書の3〜6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

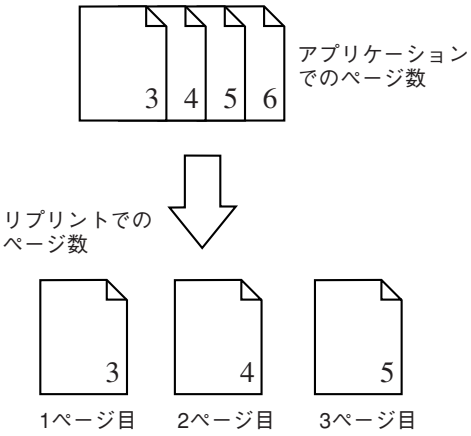
PrintAgent リプリント2の場合



リプリント機能での印刷：[1]ページから
[3]ページまで

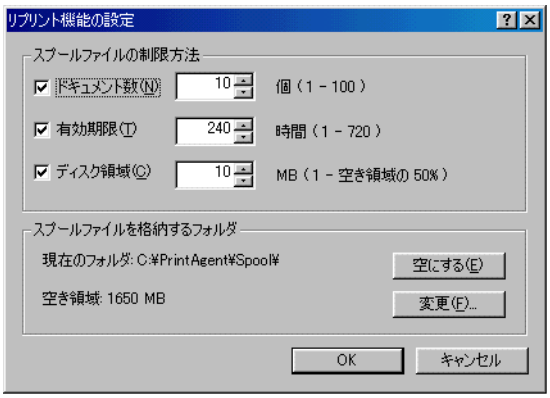
プリンタステータスウィンドウの[リプリント]ボタンの場合

リプリント機能での印刷：[1]ページから
[3]ページまで



- **ネットワーク環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。**

  スプールされたファイルは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。



仕分け印刷の設定

以下の2つの機能を設定して、仕分け印刷を行います。この機能はWindows 2000/98/95/3.1/NT 4.0/NT 3.51で動作しているコンピューターで利用できます。

- ジョブセパレート機能 142ページ
- 丁合い機能 145ページ

ジョブセパレート機能

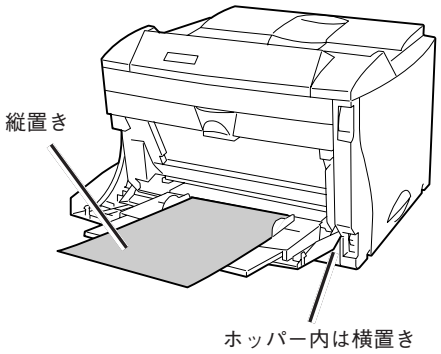
チェック

- ジョブセパレート機能による印刷は、A4用紙を縦置き、横置きに2か所以上セットしたときに機能します。A4用紙以外の用紙サイズでは利用できません。
- トレーにA4用紙をセットした場合は、用紙サイズを[A4ヨコ]もしくは[A4タテ]、用紙種類を[普通紙]に設定してください。設定されていないと、ジョブセパレートが正しく機能しません。
- ネットワーク環境で複数のクライアントが1台のプリンターを共有して使用している場合にジョブセパレート機能を利用するためには、すべてのクライアントにおいて、[ジョブセパレート機能を使用する]および[給紙方法]の項目が[自動]に設定されている必要があります。

❶ トレーまたは任意のホッパー(増設ホッパーを含む)にA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットする。

チェック

トレーにA4用紙をセットする場合、トレーの用紙サイズ設定を確認してください。

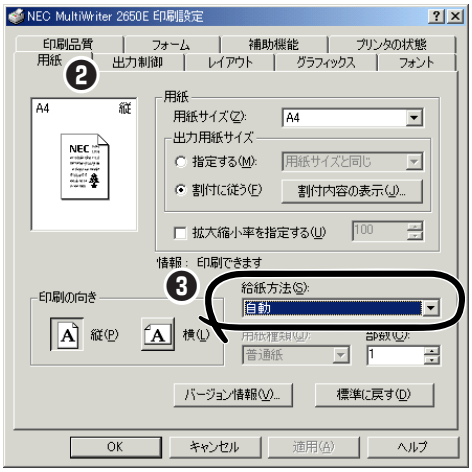


❷ プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

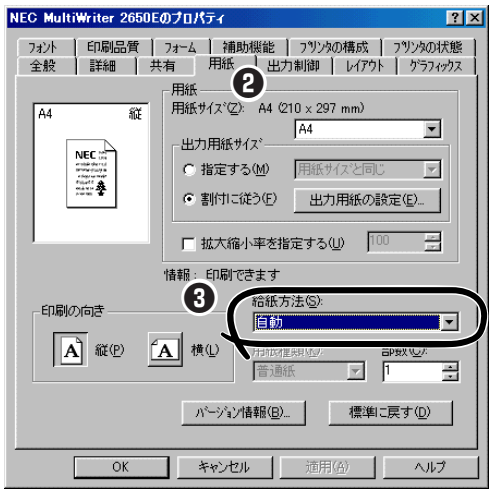
❸ ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シート、Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シート、Windows NT 4.0/3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シート、Windows 3.1では[印刷設定]ダイアログボックスで確認してください。

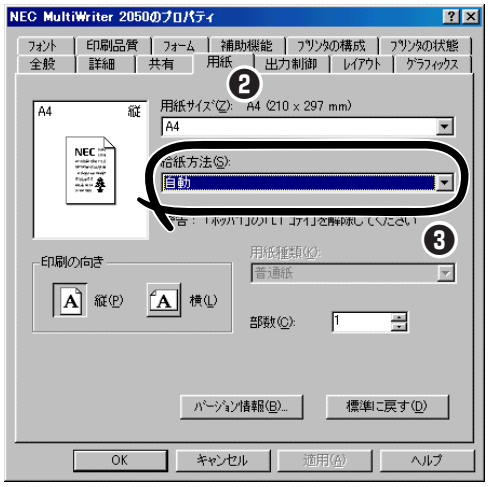
＜Windows 2000の場合＞



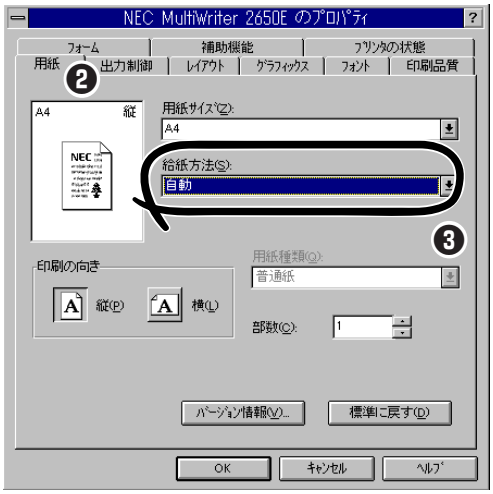
＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞
（MultiWriter 2650/2650E/2250で使用する場合）



＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞
（MultiWriter 2050で使用する場合）



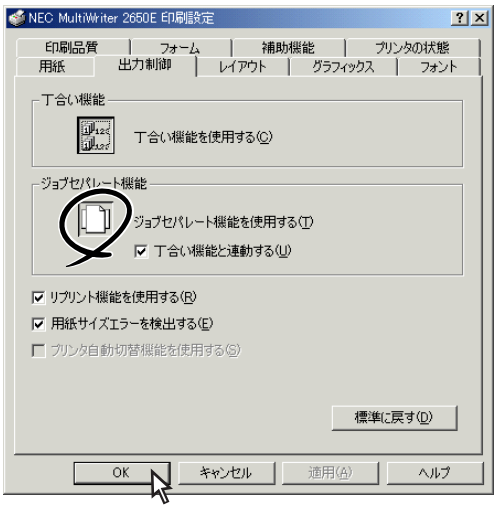
＜Windows NT 3.51の場合＞



❹ ジョブセパレート機能を有効にする。

ジョブセパレート機能の[ジョブセパレート機能を使用する]ボタンをクリックします。

＜Windows 2000の場合＞



＜Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合＞

＜Windows 3.1またはMS-DOSの場合＞

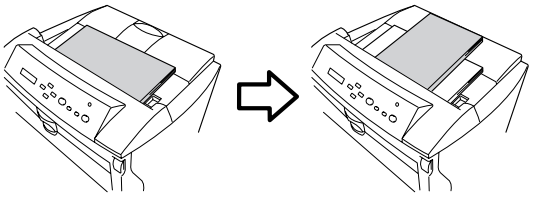
- Windows 3.1では、[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[ジョブセパレート機能を使用する]をチェックします。また、丁合い機能は対応していません。
- MS-DOS環境で印刷する場合は操作パネルにより、メニューモードで設定してください。

❺ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

印刷が始まり、給紙設定されている(プリンターのディスプレイに表示されている)給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

❻ 次の文書の印刷範囲、印刷部数を指定して印刷する。

前に印刷された用紙の置き方と別の向きにセットされている給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。



丁合い機能

丁合い機能とは、部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ)に印刷する機能です。さらに丁合い機能とジョブセパレート機能を組み合わせて使用すると、あるドキュメントを複数の部数印刷(コピー印刷)するような場合、部単位ごとに用紙を縦置き、横置きと交互にスタッカー上に仕分けて排出します。
丁合い機能はWindows 2000/98/95/NT 4.0/NT 3.51で動作しているコンピューターで利用できます(双方向通信を有効で設定していない場合は、本機能はご使用になれません)。

チェック

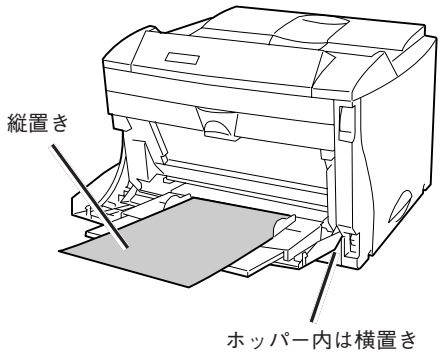
丁合い機能の選択はプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションの丁合いは指定しないでください。

* アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

❶ トレーまたは任意のホッパー(増設ホッパー)にA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットする。

チェック

トレーにA4用紙をセットする場合、トレーの用紙サイズ設定を確認してください。

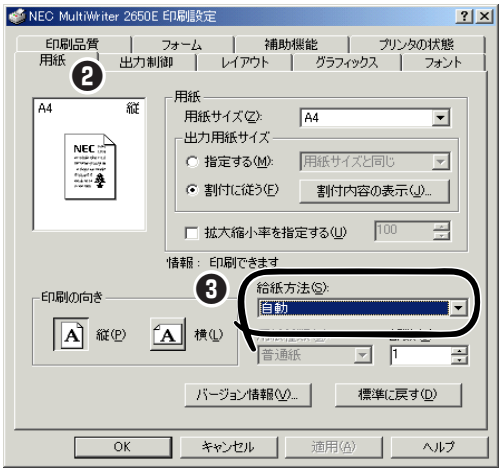


❷ プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

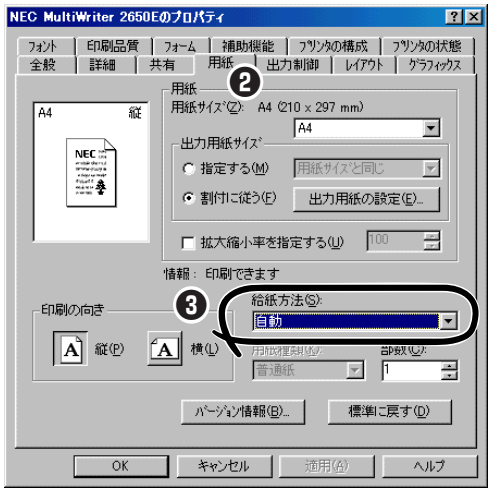
❸ ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シート、Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シート、Windows NT 4.0/3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートで確認してください。

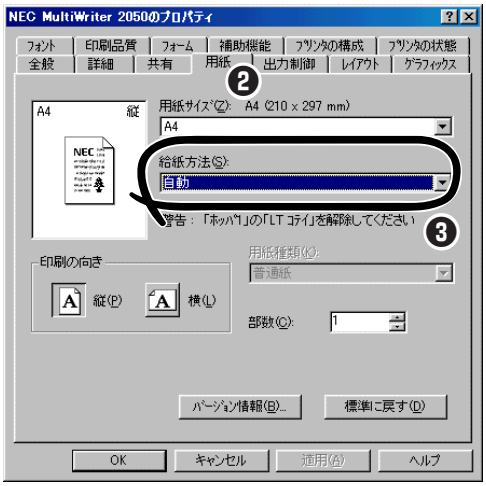
<Windows 2000の場合>



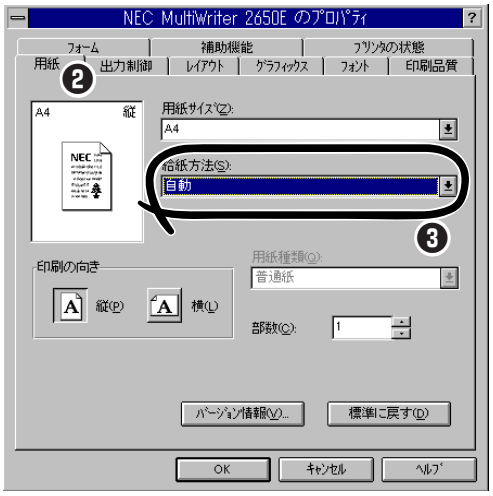
＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞
（MultiWriter 2650/2650E/2250で使用する場合）



＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞
（MultiWriter 2050で使用する場合）



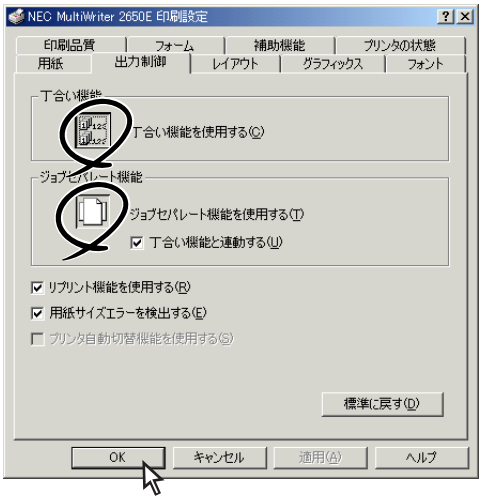
＜Windows NT 3.51の場合＞



❹ 丁合い機能を有効にする。

[出力制御]シートを開き、[丁合い機能]ボタンと[ジョブセパレート機能]ボタンをONにします。

＜Windows 2000の場合＞



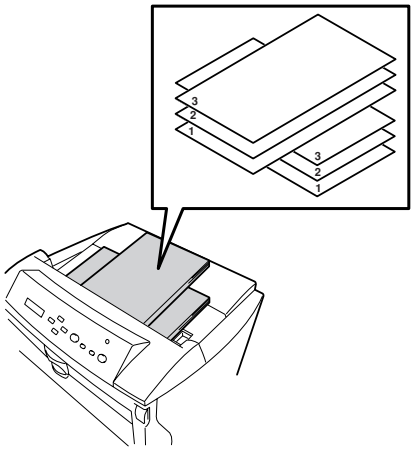
<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合>

[丁合い機能と連動する]ボタンについて

[丁合い機能と連動する]をチェックしておくと[丁合い機能]ボタンと[ジョブセパレート機能]ボタンが連動してON/OFFできるようになります。

❺ 指定範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

部単位ごとに用紙が縦置き、横置きに仕分けされながらスタッカー上に排出されます。



両面印刷の設定

MultiWriter 2650は標準で、MultiWriter 2650E/2250/2050はオプションの両面印刷ユニット（型番 PR-L2000X2-DL）を装着することにより、両面印刷が可能になります。この機能はA3、B4、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です（用紙に関しては「付録　用紙の規格の両面印刷時」参照）。両面印刷の設定はWindows 2000/98/95/3.1/NT 4.0/NT 3.51で動作しているコンピューターで利用できます。
ただし、解像度、印刷データ量の条件によっては両面印刷できない場合があります。この場合は、メモリーの増設をお勧めします。詳細はプリンターソフトウエアCD-ROMに収録しているオンラインマニュアル（プリンターの設定と技術情報）および「増設RAMボード」（259ページ）をご覧ください。

重要

指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

Windows環境での両面印刷設定

❶ 両面印刷機能を有効にする。

＜Windows 2000の場合＞
[印刷設定]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞
Windows 98/95の場合は[プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。
Windows NT 4.0の場合は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

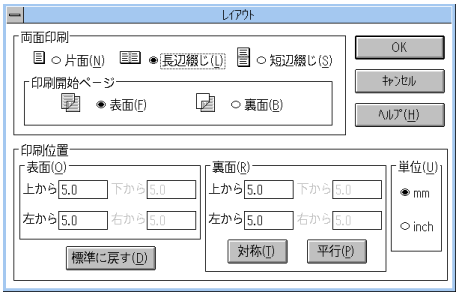
＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞
（MultiWriter 2050で使用する場合）

＜Windows NT 3.51の場合＞

Windows NT 3.51の場合は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

＜Windows 3.1の場合＞

Windows 3.1の場合はプリンターのプロパティの[レイアウト]ダイアログボックスを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。



❷ 綴じ方向、印刷開始ページを設定する。

❸ 必要に応じて、印刷位置を設定する。

[詳細設定]ダイアログボックスを開いて設定します。印刷位置の調整については、156ページをご覧ください。

❹ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

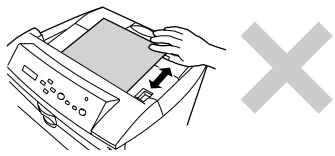
プリンターの両面ランプが点灯して両面印刷を始めます。

重要

両面印刷中のプリンターの動作について

両面印刷中は、片面印刷を終了した用紙が、いったんスタッカー上に現れますが、再びプリンター内部に吸い込まれていきます。これは用紙を反転させるための動作です。

片面印刷終了後にスタッカー上に現れた用紙を引き抜いたり、さわったりしないでください。印刷範囲がずれたり、正しく印刷できなくなるばかりでなく、紙づまりやプリンターの故障の原因となることがあります。



リレー給紙の設定

リレー給紙の設定はWindows 2000/98/95/3.1/NT 4.0/NT 3.51で動作しているコンピューターで利用できます。リレー給紙機能を使うには次のステップが必要です。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

リレー給紙の設定は「メニューモード設定項目一覧」(100ページ)およびリモートパネル(185ページ)からできます。詳しくはそれぞれのページを参照してください。ここではメニューモードでの設定方法について説明します。

Step 1　リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ 操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチ、[▼]スイッチを押して、“リレーキュウシ”をONにする。

詳しくは、「メニューツリー」(104ページ)をご覧ください。

チェック

リレーさせるホッパーまたはトレーの全てを“リレーキュウシ”ONにしてください。

```
リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ1　リレー　　ON　＊
```

❸ [メニュー終了]スイッチを押す。

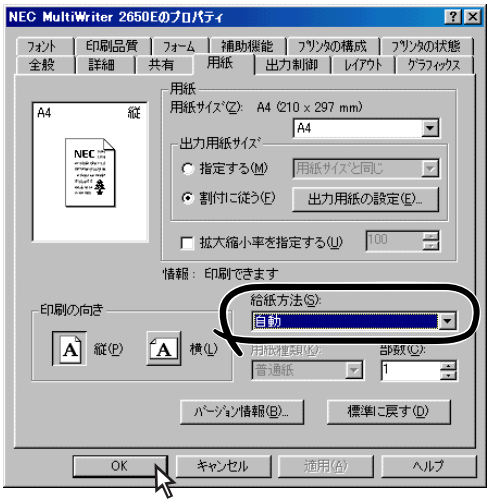
❹ 設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはトレーの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。

Step 2　給紙方法を設定する

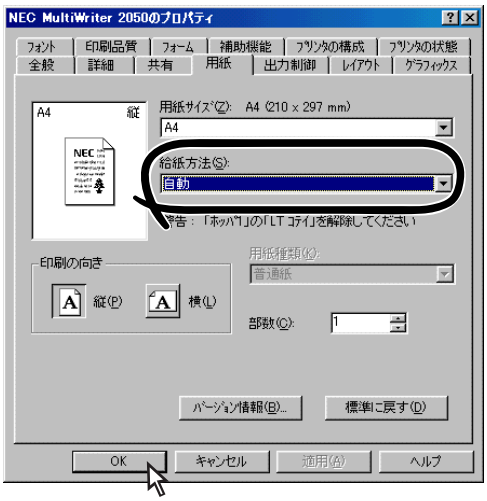
印刷を開始するときに[給紙方法]で[自動]を選択します。

❶ [用紙]シートで、[給紙方法]から[自動]を選び、[OK]をクリックする。

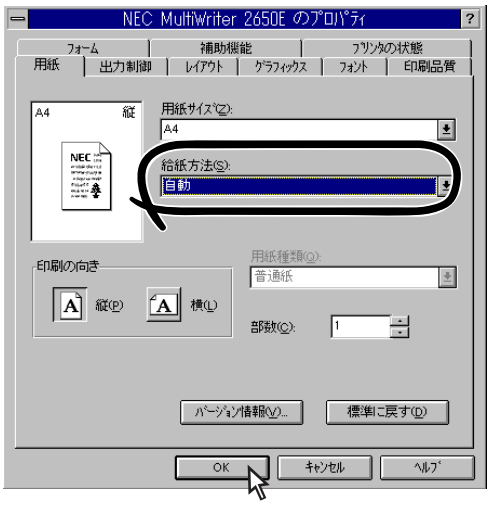
＜Windows 2000/98/95/NT 4.0の場合＞
(MultiWriter 2650/2650E/2250で使用する場合)



＜Windows 2000/98/95/NT 4.0の場合＞
（MultiWriter 2050で使用する場合）



＜Windows NT 3.51の場合＞



＜Windows 3.1の場合＞

拡大・縮小印刷

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050では、印刷データを任意のサイズに拡大・縮小して印刷することができます。

出力用紙サイズを指定する*

Windows 3.1/NT 3.51では出力サイズを指定する拡大・縮小印刷の機能は使用できません。
*MultiWriter 2650/2650E/2250でご利用になれます。

❶ [印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

❷ [用紙サイズ]のボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。

ユーザ定義を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズの設定」(158ページ)を参照してください。

❸ [出力用紙サイズ]に任意の出力用紙サイズを設定する。

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→❸-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→❸-(b)

❸-(a)[指定する]をクリックし、ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。

手順❻に進んでください。

[用紙サイズ]と[出力用紙サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小のイメージが表示されます。

❸-(b)[割付に従う]をクリックする。

現在[用紙サイズ]に選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。割り付けの設定を変更したい場合は手順❹に進んでください。
変更しない場合は手順❻に進んでください。

❹ [出力用紙の設定]をクリックする。

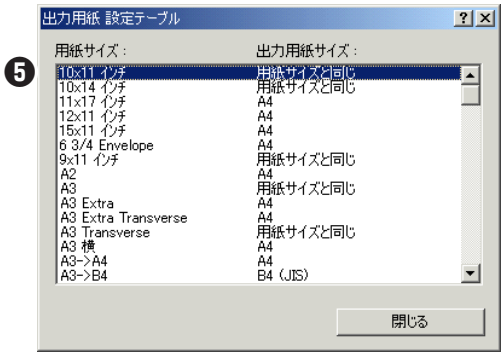
<Windows 2000の場合>
[割付内容の表示]ボタンとなります。

<Windows 98/95の場合>
[出力用紙の設定]ボタンとなります。

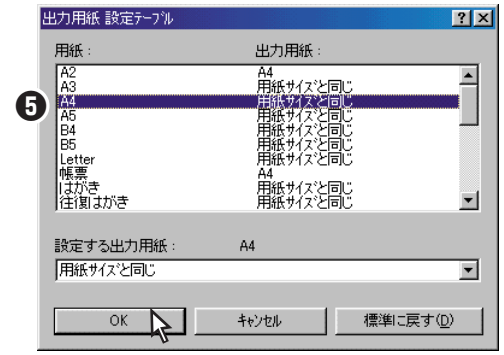
<Windows NT 4.0の場合>
[割付内容の表示]をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。[プリンタの設定]シートの[出力用紙の設定]で[指定した出力用紙を使用する]を選び、[出力する用紙の設定]ボタンをクリックして変更してください。

❺ 設定したい出力用紙サイズを選択し、[OK]をクリックする。

＜Windows 2000/NT 4.0の場合＞



＜Windows 98/95の場合＞



❻ [用紙]シートの[OK]をクリックする。

チェック

- 以下の用紙サイズを指定した場合は[出力用紙サイズ]が固定となり、[出力用紙サイズ]で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

  A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

- [給紙方法]に増設ホッパ(500)が設定されている場合はA5、B5、Letterは指定できません。

拡大・縮小率を指定する*

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

*MultiWriter 2650/2650E/2250でご利用になれます。

- [レイアウト]シートで複数ページ印刷を設定している
- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙]シートで以下の用紙サイズを設定している

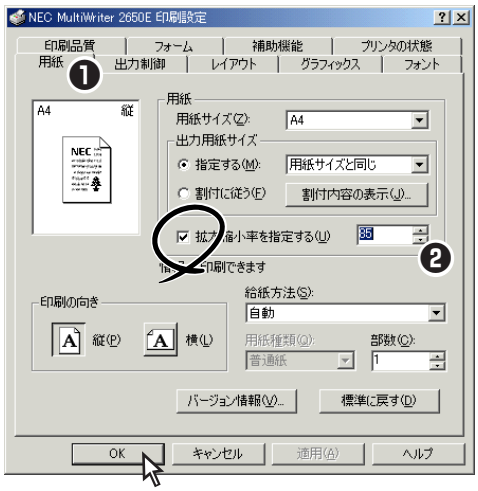
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

❶ [印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

❷ [拡大縮小率を指定する]をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。

❸ [OK]をクリックする。



拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する*

プリンターの拡大・縮小モードを設定します。設定は印刷時のみ有効になります。

*MultiWriter 2650/2650E/2250/2050でご利用になれます。

❶ [印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

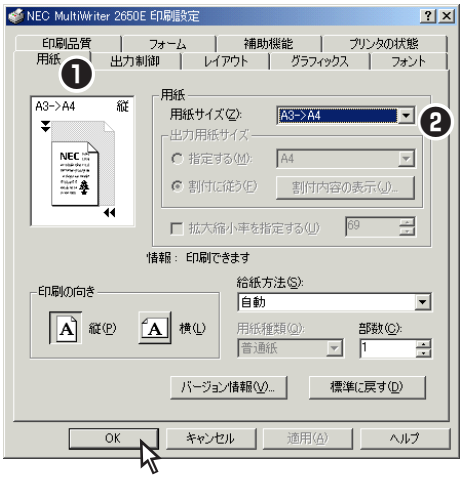
- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0/3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows 3.1は[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。

❷ [用紙サイズ]のボックスから用紙サイズ(下記の拡大・縮小率)を選び設定する。

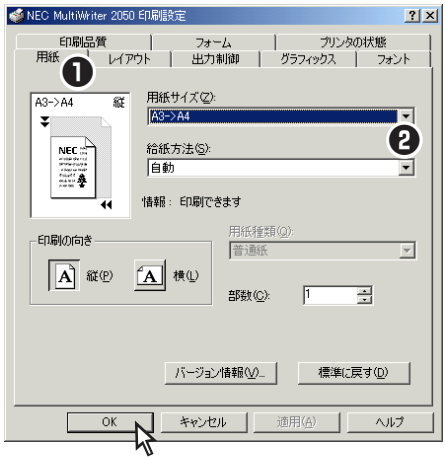
A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4
A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

❸ [OK]をクリックする。

＜Windows 2000/98/95/NT 4.0の場合＞
(MultiWriter 2650/2650E/2250で使用する場合)

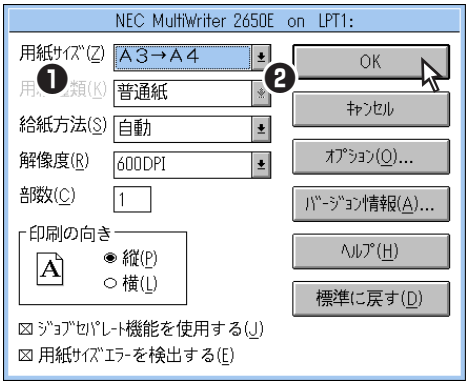


＜Windows 2000/98/95/NT 4.0の場合＞
(MultiWriter 2050で使用する場合)



＜Windows NT 3.51の場合＞

＜Windows 3.1の場合＞



複数ページ印刷

MultiWriter 2650/2650E/2250では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。この機能はWindows 2000/98/95/NT 4.0でご利用になれます(MultiWriter 2050では、ご利用になれません)。
なお、複数ページ印刷では縮小されて印刷されるため、ドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

❶ [印刷設定]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開く。

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開きます。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開きます。

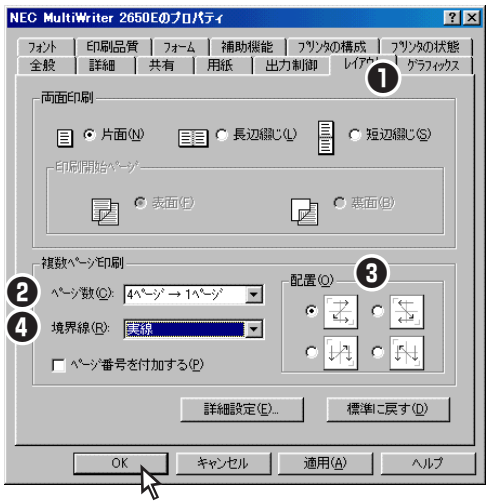
❷ [複数ページ印刷]の[ページ数]ボックスから縮小配置するページ数を選択する。

❸ [複数ページ印刷]の[配置]から配置方法を選択する。

❹ 必要に応じて、[境界線]および[ページ番号を付加する]を選択する。

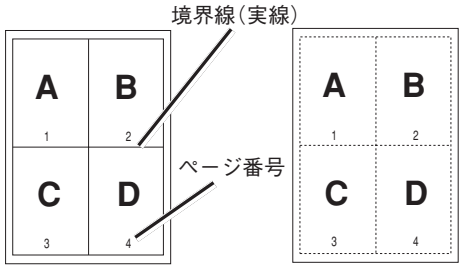
＜Windows 2000/NT 4.0の場合＞

＜Windows 98/95の場合＞



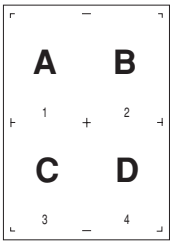
❺ [OK]をクリックする。

境界線のイメージ(ページ数"4ページ→1ページ"、配置Zに設定の場合)

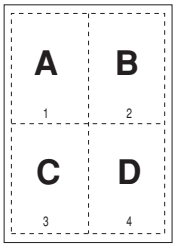


境界線(実線)、ページ番号付加の場合

境界線(点線)、ページ番号付加の場合



境界線(カットマーク)、ページ番号付加の場合

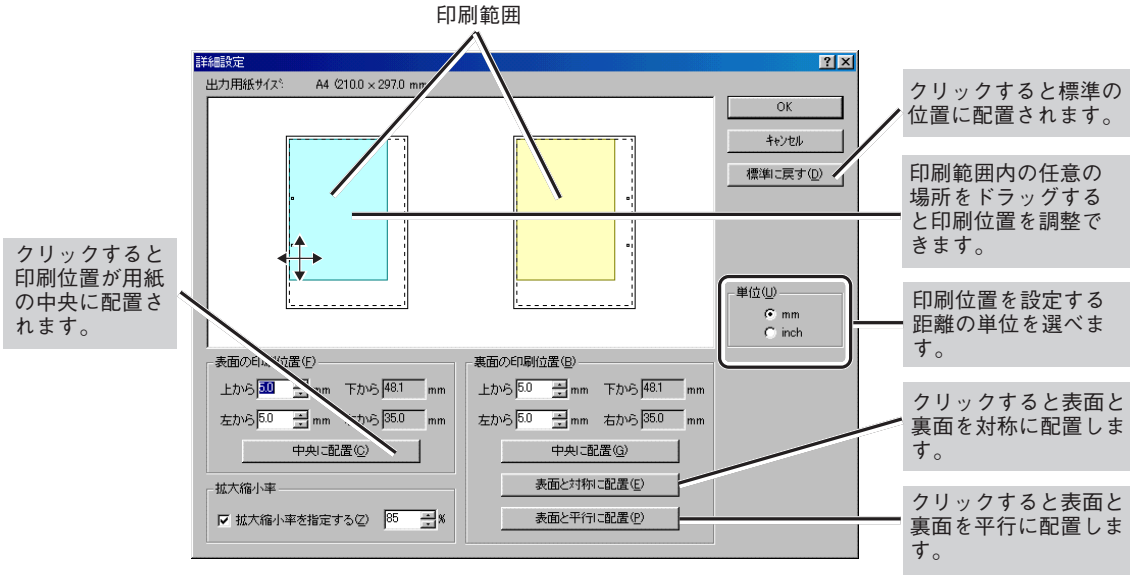


境界線(破線)、ページ番号付加の場合

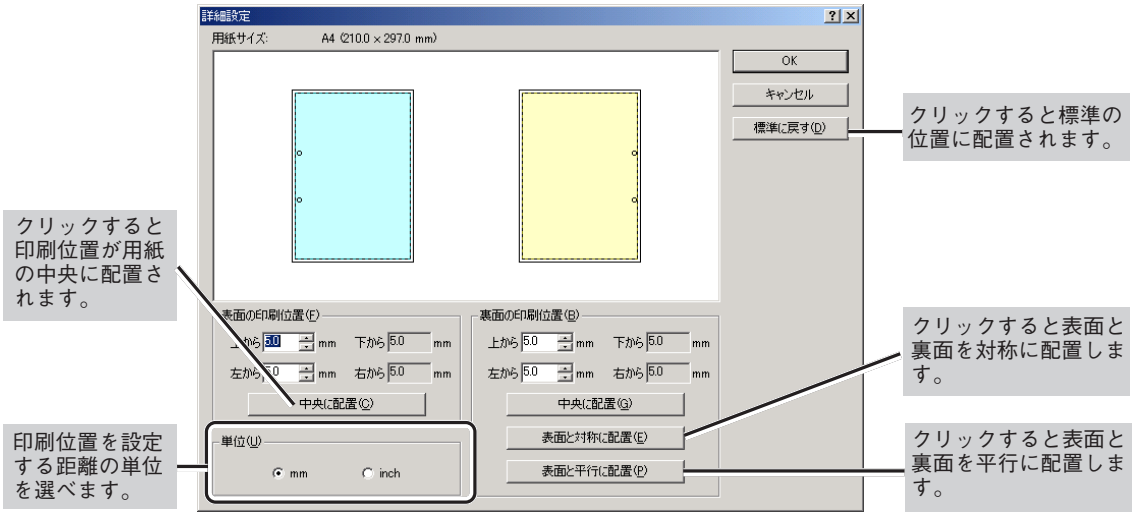
印刷位置の調整

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050では、[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックス(Windows 2000/98/95/NT 4.0/NT 3.51)または[レイアウト]ダイアログボックス(Windows 3.1)を使うと印刷位置を細かく調整して印刷することができます。以下は印刷するときのダイアログボックスの例です。

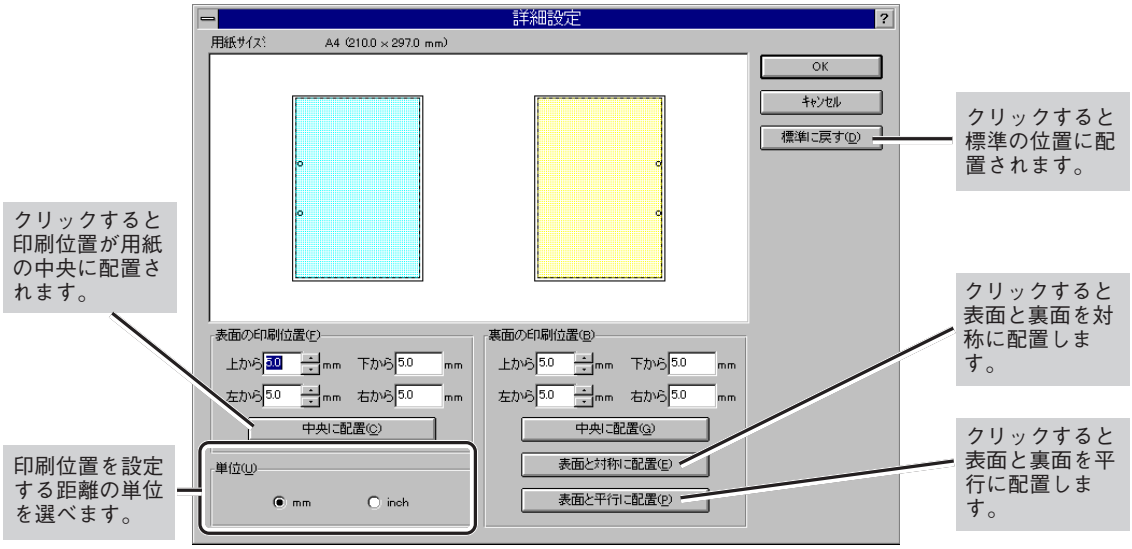
印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します(ボックスに入力はできません)。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます(Windows 3.1は除く)。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。



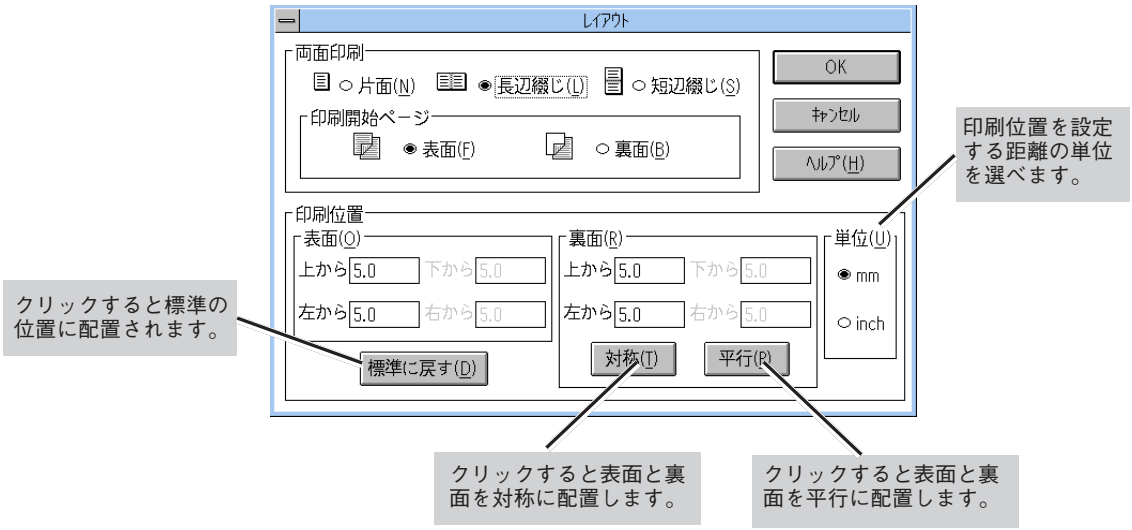
MultiWriter 2650/2650E/2250の[詳細設定]ダイアログボックス
(Windows 2000/98/95/NT 4.0)



MultiWriter 2050の[詳細設定]ダイアログボックス
(Windows 2000/98/95/NT 4.0)



[詳細設定]ダイアログボックス(Windows NT 3.51)



[レイアウト]ダイアログボックス(Windows 3.1)

定形外用紙サイズの設定

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050では、定形外用紙サイズの用紙に出力するにはユーザー定義サイズを設定してから印刷します。

トレーに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙、サイズを確認しておいてください。設定できる用紙サイズは、幅100～297mm、長さ148～420mmです。（用紙については「付録　技術情報」を参照してください。）

設定の方法は各OSごとに説明します。

Windows 2000/NT 4.0の場合 158ページ
Windows 98/95/3.1の場合 159ページ
Windows NT 3.51の場合 160ページ

Windows 2000/NT 4.0の場合

次の手順で定形外用紙に印刷します。

❶ **コントロールパネルの［プリンタ］フォルダーを開く。**

❷ **［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックする。**

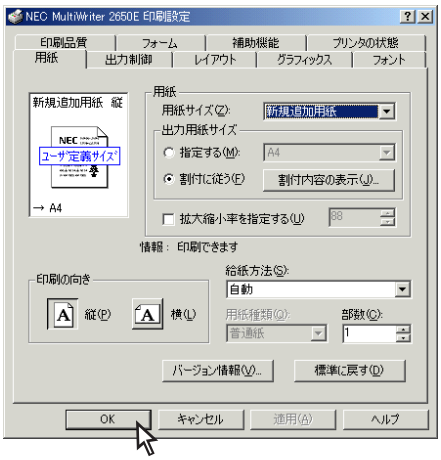
❸ **［用紙］シートを開く。**

❹ **［新しい用紙を作成する］をチェックして、［用紙の説明］に任意の用紙名、［寸法］にサイズを入力し、［用紙の保存］をクリックする。**

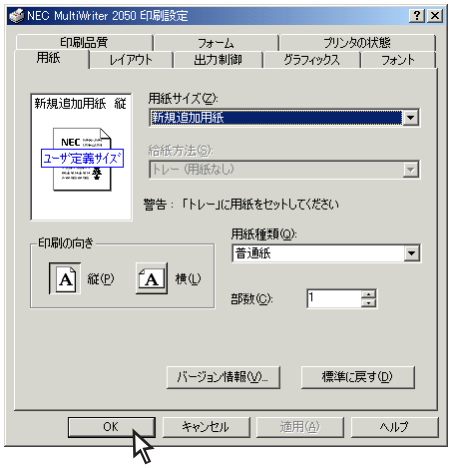
❺ **ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して［OK］をクリックする。**

❻ **Windows 2000の場合は［印刷設定］ダイアログボックス（Windows NT 4.0の場合は［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス）の［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから作成した用紙を選択する。**

＜MultiWriter 2650/2650E/2250の場合＞



＜MultiWriter 2050の場合＞



❼ [OK]をクリックする。

❽ アプリケーションから、[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

Windows 98/95/3.1の場合

次の手順で定形外用紙に印刷します。

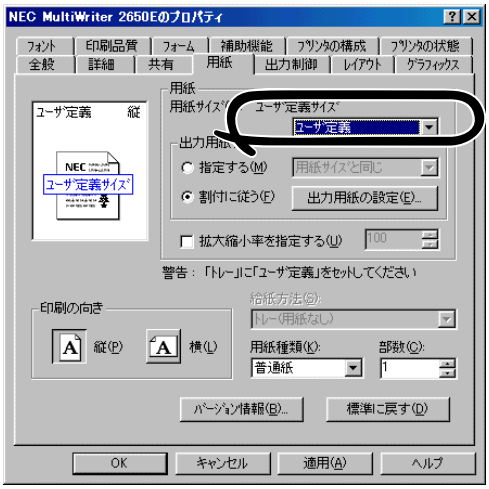
❶ **プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。**

Windows 3.1では[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙サイズ]コンボボックスで選択してください。

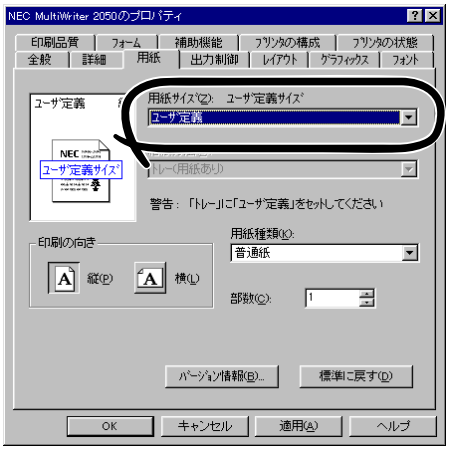
チェック

- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法はトレーに固定されます。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を越える用紙の場合[用紙の種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

＜MultiWriter 2650/2650E/2250の場合＞



＜MultiWriter 2050の場合＞



❷ 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。

❸ アプリケーションから、[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

Windows NT 3.51 の場合

次の手順で定形外用紙に印刷します。

❶ [プリントマネージャ]を開く。

❷ [プリンタ]メニューの[フォーム]をクリックして[フォーム]ダイアログボックスを開く。

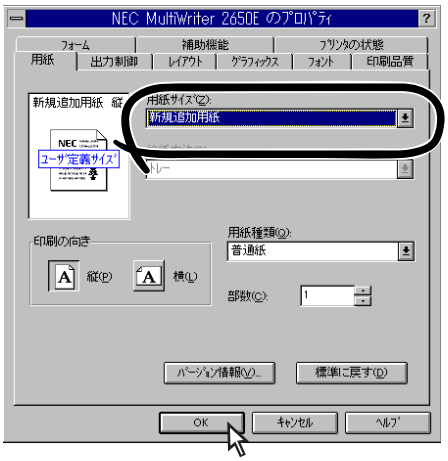
❸ [フォームの詳細]グループの[名前]ボックスに任意の用紙名、用紙サイズを入力してから[追加]をクリックする。

❹ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[OK]をクリックする。

❺ [ドキュメントプロパティ]ボックスの[用紙]シートを開く。

❻ [用紙サイズ]ボックスから作成した用紙を選択する。

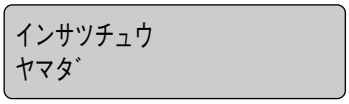
❼ [OK]をクリックする。



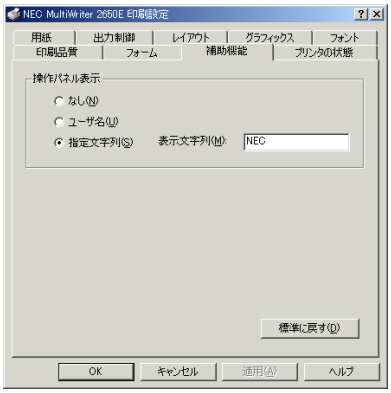
❽ アプリケーションから、[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

ユーザー名の表示

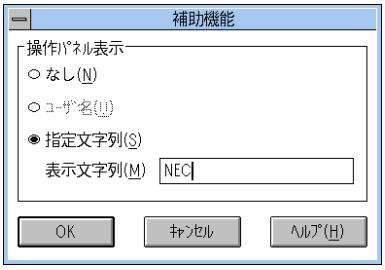
プリンターがデータを受信中、処理中、印刷中に操作パネルのディスプレイ（下段）にユーザー名または任意の文字を表示する機能です。Windows 2000/98/95/3.1/NT 4.0/NT 3.51でご利用になれます（MultiWriter 2050はWindows 98/95/3.1でのみご利用になれます）。



設定はWindows 2000/98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合は［補助機能］シートで、またWindows 3.1の場合は［補助機能］ダイアログボックスで行います。



［補助機能］シート



［補助機能］ダイアログボックス

- なし　ディスプレイには何も表示されません。
- ユーザ名　ネットワーク上にログインしたときのユーザー名がディスプレイに表示されます。［ユーザ名］を選ぶと［表示文字列］テキストボックスでユーザー名が確認できます。
- 指定文字列　［表示文字列］テキストボックスに入力された文字列（最高半角で16文字）が表示されます。入力できる文字は次の英数カナ文字です。

ディスプレイに表示可能な文字

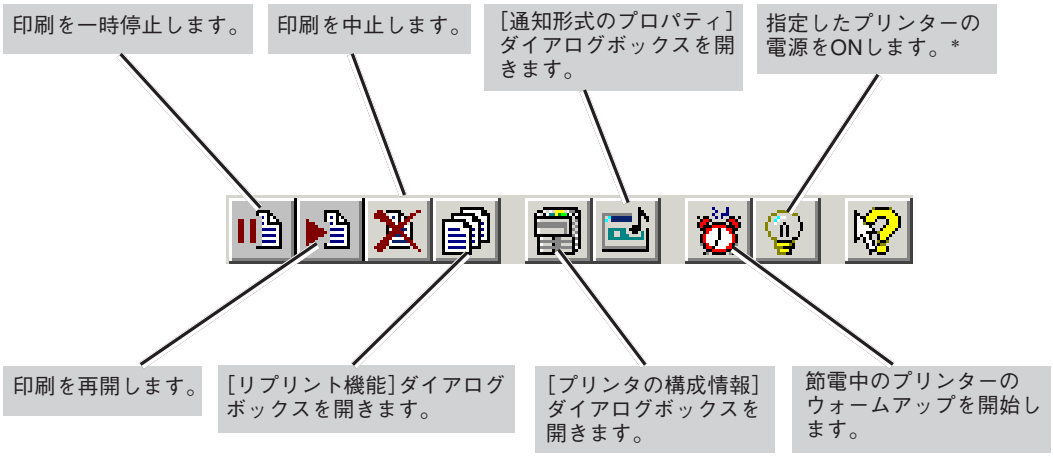
スペース	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	|	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ
ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	-	「	」	、
。	・								

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。

使用条件

プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。

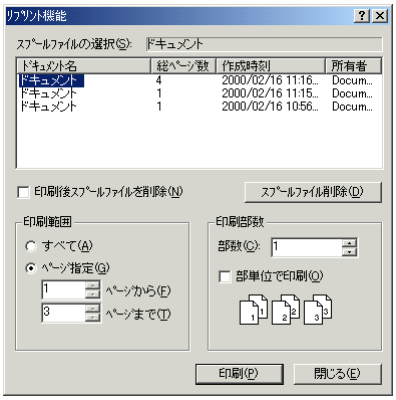


*MultiWriter 2050ではご利用になれません。

送信中のドキュメントの印刷を中止する

「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントを中止する機能です。
[印刷中止]ボタンをクリックします。

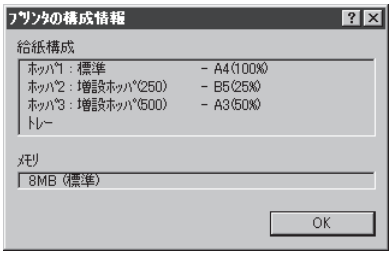
リプリント機能を使う



リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷(リプリント)できるようになります。リプリント機能の使用の方法については、「リプリント機能」(136ページ)をご覧ください。

リプリントは左の[リプリント機能]ダイアログボックスを使って行います。このダイアログボックスは[リプリント]ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[リプリント機能]を選択すると表示されます。
詳細についてはプリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル(プリンターソフトウエアの詳細)をご覧ください。

プリンターの構成情報を見る



MultiWriter 2650のとき

プリンターの構成情報（給紙構成、オプション、メモリー）を確認するダイアログボックスです。MultiWriter 2650E/2250/2050の場合は、両面印刷ユニットはオプションとして表示されます。

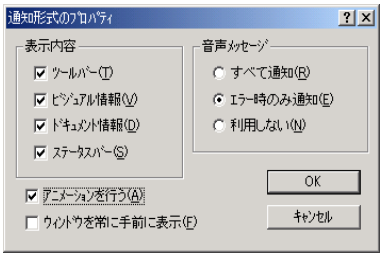
このダイアログボックスを表示させるには［構成情報］ボタンをクリックするか［オプション］メニューの［プリンタの構成情報］を選択します。

チェック

プリンターとコンピューターで双方向通信が行われていないときは［プロパティ］ダイアログボックス（Windows 2000/98/95の場合）、または［デバイスプロパティ］ダイアログボックス（Windows NT 4.0/3.51の場合）の「プリンタの構成」の内容が表示されます。

通知形式を変更する

表示内容を必要とする項目だけを選択することにより、ウィンドウをコンパクトにすることができます。



通知形式は［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスで変更します。このダイアログボックスを表示するためには、［通知形式］ボタンをクリックするか［オプション］メニューの［通知形式］を選択します。

ウォームアップを行う

［ウォームアップ］ボタンをクリックするか［オプション］メニューの［ウォームアップ開始］を選択すると節電状態のプリンターのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが、印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。
なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

プリンターの電源をONにする

[電源をONにする]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択すると指定したプリンターの電源をONにすることができます。リモート電源制御機能を有効にするためには次ページの「リモート電源制御」をご覧ください。

チェック

- プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ(型番 PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ有効な機能です。
- MultiWriter 2050では、ご利用になれません。

リモート電源制御

MultiWriter 2650/2650E/2250では、プリンタステータスウィンドウからプリンターの電源をONすることができます。この機能はWindows 2000/98/95/NT 4.0でご利用になれます（MultiWriter 2050のプリンタステータスウィンドウではご利用になれません）。
また、プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合に利用できる機能です。
この機能を利用するためには次のステップが必要です。

Step 1　電源制御の設定をする
Step 2　プリンターの電源をONにする

Step 1　電源制御の設定をする

次の手順で設定します。

チェック

LANアダプターの設定が正しく行われていることを確認してください。（設定方法はLANアダプター添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。）

Windows 2000/NT 4.0の場合

チェック

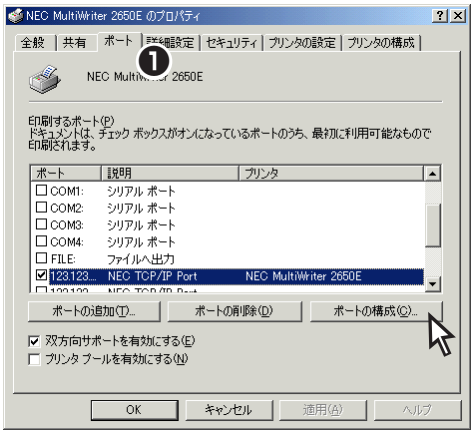
Administrators権限のユーザーが設定してください。

❶ Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートを開く。

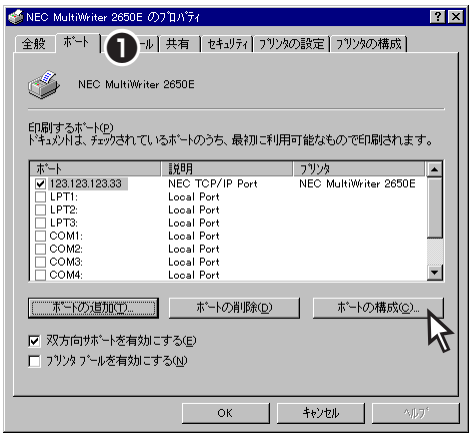
❷ [ポートの構成]をクリックする。

[NEC Network Port]ダイアログを表示します。

＜Windows 2000の場合＞



＜Windows NT 4.0の場合＞



❸ [電源制御する]をチェックする。

❹ [MACアドレス]の欄にLANアダプターのMACアドレスを入力し[OK]をクリックする。

プリンター、LANアダプターの電源がONの場合は、[検索]をクリックすると自動的にMACアドレスを検索することができます。

❺ [OK]をクリックして、プロパティを閉じる。

Windows 98/95の場合

❶ プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]シートを開く。

❷ [ポートの設定]をクリックする。

[NEC TCP/IP Printing System]ダイアログが表示されます。

❸ [電源制御する]をチェックする。

❹ [MACアドレス]の欄にLANアダプターのMACアドレスを入力し[OK]をクリックする。

プリンター、LANアダプターの電源がONの場合は、[検索]をクリックすると自動的にMACアドレスを検索することができます。

❺ [OK]をクリックして、プロパティを閉じる。

Step 2　プリンターの電源をONにする

プリンタステータスウィンドウの[電源をONにする]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択します。

チェック

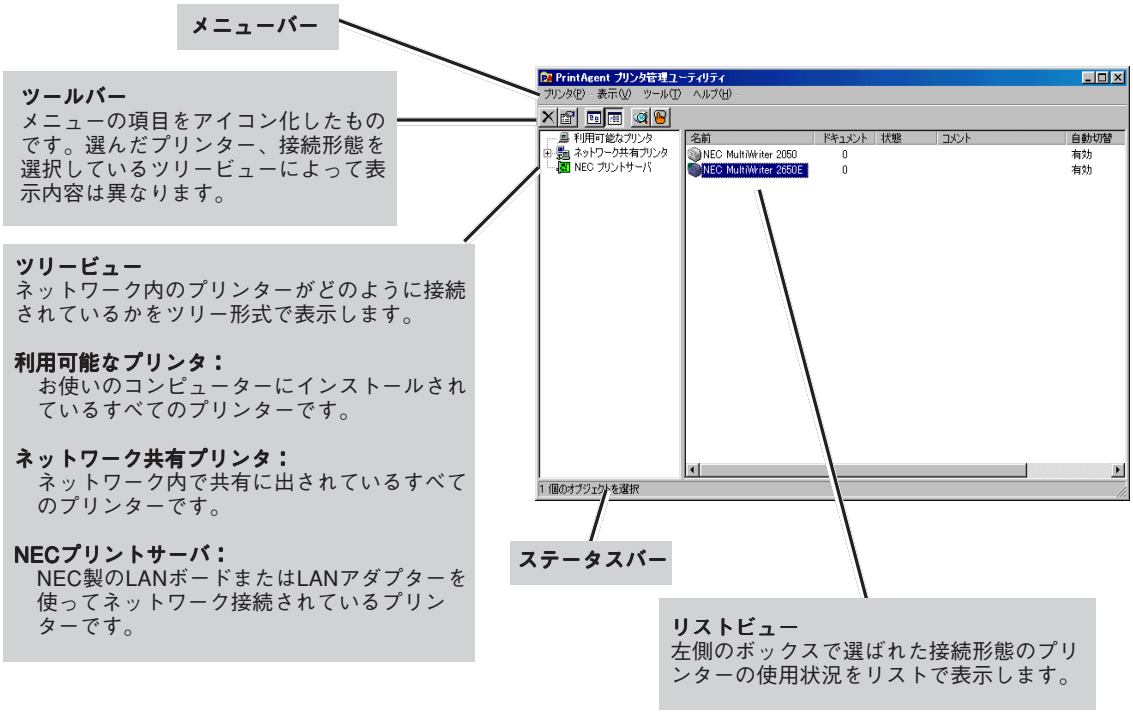
プリンタステータスウィンドウからプリンターの電源をOFFすることはできません。プリンターの電源OFFはプリンター管理者のみがプリンタ管理ユーティリティを利用して行える機能です。詳しくはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

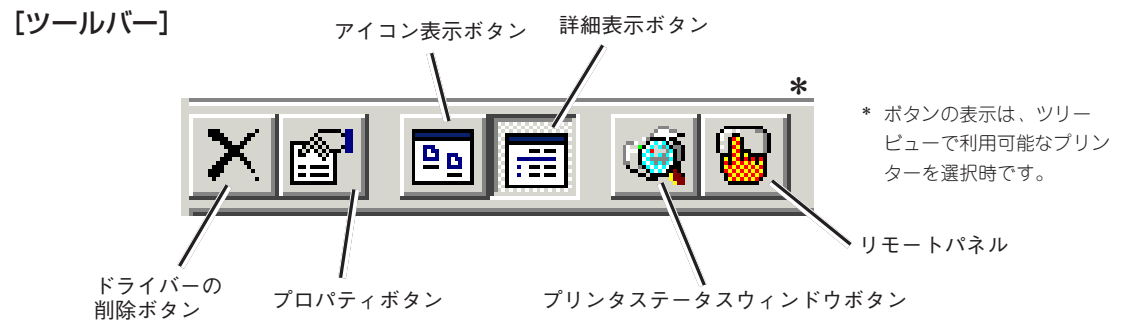
プリンタ管理ユーティリティ

「プリンタ管理ユーティリティ」は管理者用としてソフトウエアをインストールした方のみご利用になれるユーティリティーです。このユーティリティーは、ローカル接続も含めネットワーク内に接続されているプリンターであれば管理者ご自身が実際に使用している、いないにかかわらず以下の機能を使ってプリンターを設定・管理することができます。なお、Windows NT 3.51ではプリンタ管理ユーティリティは利用できません。

- プリンターの使用状況の確認
- 印刷ジョブの制御
- 保守情報のメール通知(NEC e-mailメンテナンス)の設定
- プリンターの自動切替機能の設定
- LANボード/LANアダプターの設定(NEC製のみ)→詳しくはLANボードおよびLANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください(またはLANボードおよびLANアダプターに添付されているCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください)。

プリンタ管理ユーティリティは以下のウィンドウを使って設定・管理します。





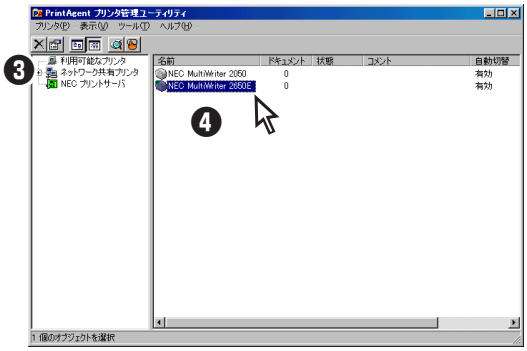
次の手順でプリンターを設定・管理します。

❶ プリンタ管理ユーティリティを起動する。

❷ パスワードを入力する。

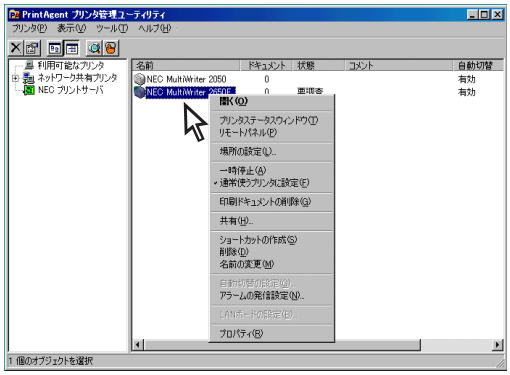
❸ 対象のプリンターの接続形態を選ぶ。

❹ 対象のプリンターを選ぶ。



❺ 設定・管理項目を選んで実行する。

対象のプリンターを右クリックするかウィンドウ上部のメニューバーをクリックしてメニューを表示させ、希望の項目をクリックします。



チェック

- 「NECプリントサーバ」の設定に関してはLANボードまたはLANアダプターに添付の「PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。
- メール通知の設定とグループプリンタの作成は、ご利用のコンピューターで「利用可能なプリンタ」としてインストールされたプリンターに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターには設定できません。

プリンタ自動切替

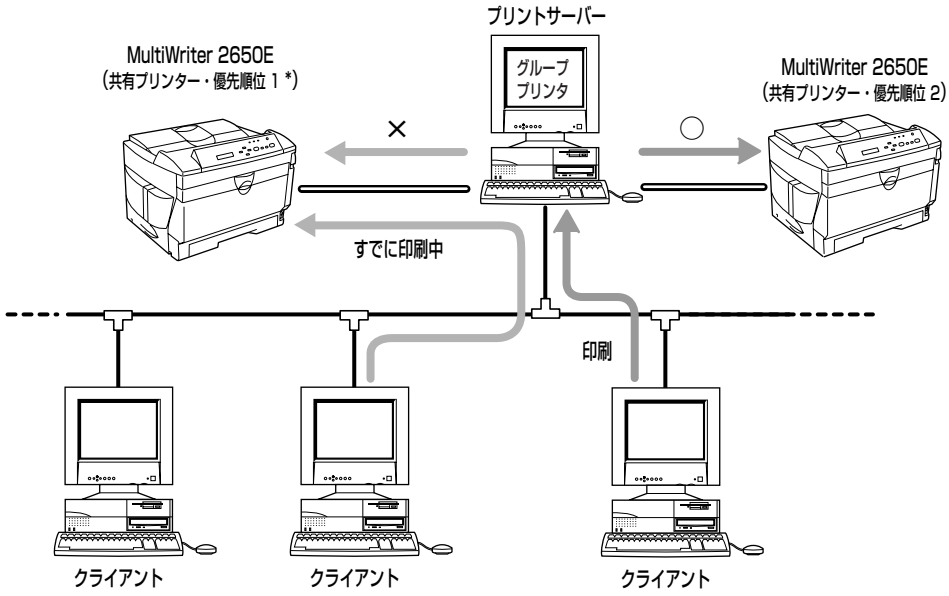
プリンター管理者は、プリントサーバーで管理する複数台のMultiWriter 2650/2650E/2250/2050をグループプリンタとして設定し、共有プリンターとしてネットワーク内のユーザーに「プリンタ自動切替」機能が利用できるようにすることができます。（プリントサーバーのOSがWindows NT 3.51の場合はプリンタ自動切替は利用できません。）

プリンターの切替は、プリンターの状態（印刷中など）、用紙サイズ、両面印刷機能の有無、優先順位（プリンター管理者が設定します）の要素から決定し印刷を行います。以下の図はプリンタ自動切替機能を利用した構成例を表したものです。

また、設定は次のステップで行ってください。

Step 1　グループプリンタの設定
Step 2　グループプリンタへ出力する

プリンタ自動切替機能を利用した構成例（MultiWriter 2650E）



*　優先順位1のプリンターがすぐに印刷できないときは優先順位2のプリンターで印刷されます。

Step 1　グループプリンタの設定

ここではグループプリンタの作成・編集方法を説明します。グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについては163ページをご覧ください。
グループプリンタを作成するには、次の手順が必要です。

1 グループプリンタを作成する前に確認する 171ページ
2 場所を設定する 173ページ
3 グループプリンタを作成する 173ページ
4 グループプリンタを編集する 174ページ

1　グループプリンタを作成する前に確認する

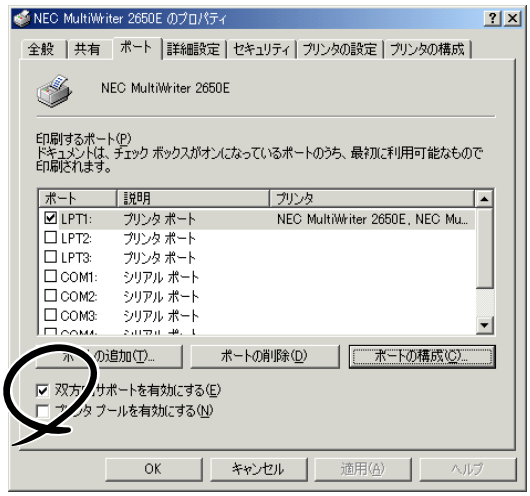
グループプリンタを作成する前に以下の点を確認してください。

- **グループを構成できるプリンターについて**

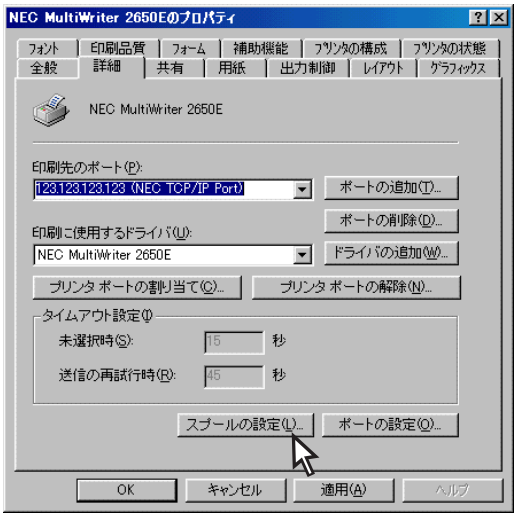
  グループを構成できるプリンターは次の条件をすべて満たしているプリンターです。

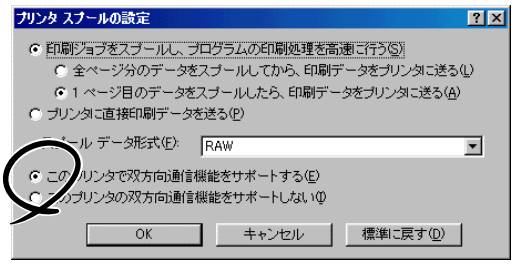
  — **双方向通信していること**

  Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス、NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]設定がチェックされていることを確認します。



Windows 98/95の場合、プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]シートで[スプールの設定]ダイアログボックスを表示させ、[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]設定になっていることを確認します。





— **双方向のポートに接続していること**

それぞれの接続形態において双方向が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

注)　接続先がプリントサーバーの共有プリンターの場合はグループを構成できません。

OS	プリンター ケーブル接続	LANプリンター接続	USBケーブル接続
Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	LPTUSBxxx：
Windows 98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	LPTUSBxxx：
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	－－－

- **[設置場所]の表示について**

グループプリンタの印刷が終了すると利用者には、印刷の終了を通知するダイアログボックスが表示されます。もしこのダイアログボックスに[設置場所]が表示されないと、どのプリンターで印刷されたかわからず利用者が困ることになります。

Windows 98/95の場合[プリンタ管理ユーティリティ]を使って[利用可能なプリンタ]に[設置場所]を設定することができます。入力方法については次ページをご覧ください。Windows 2000/NT 4.0の場合Administratorsの権限で[設置場所]を設定することができます。詳しくはそれぞれのOSのヘルプをご覧ください。

2 場所を設定する

プリンターの設置場所を設定しておくとPrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できて便利です。
Windows 98/95の場合、以下の手順でプリンターの場所を設定します。

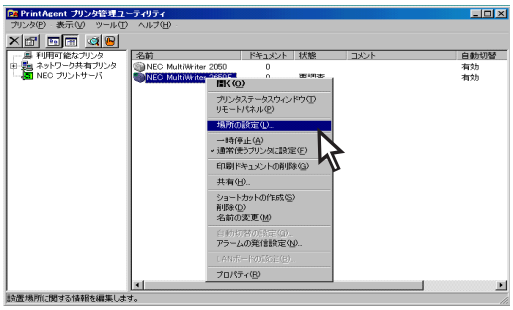
❶ プリンタ管理ユーティリティを起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ [利用可能なプリンタ]を選ぶ。

❹ 対象のプリンターを右クリックし[場所の設定]を選ぶ。

[場所の設定]ダイアログボックスが表示されます。



❺ 場所を設定する。

> Windows 2000/NT 4.0の場合は、プリンタプロパティで設定することができます。詳しくはそれぞれのOSのヘルプをご覧ください。

3 グループプリンタを作成する

以下の手順でグループプリンタを作成します。

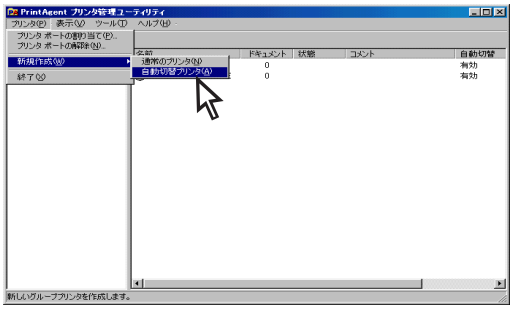
❶ [プリンタ管理ユーティリティ]を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ 左側のボックスから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

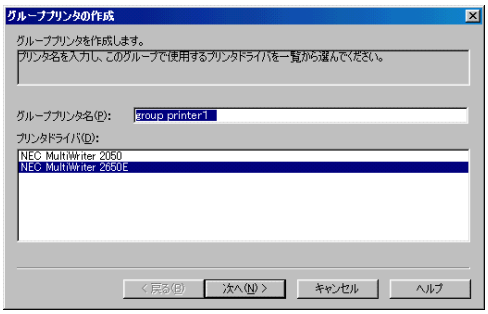
❹ [自動切替プリンタの作成]ウィザードを起動する。

[プリンタ]メニューの[新規作成]をポイントし、[自動切替プリンタ]をクリックします。



❺ グループプリンタの名前を入力する。

基本となるプリンタードライバーも選択します。

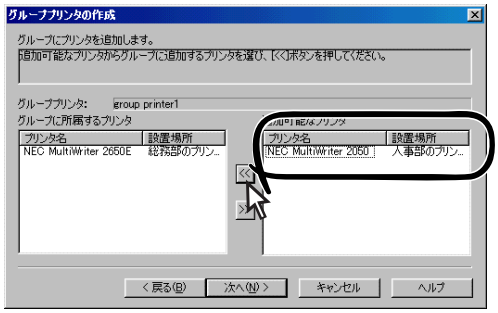


❻ グループを構成するプリンターを選ぶ。

[追加可能なプリンタ]ボックスから希望のプリンターを選び[<<]をクリックします。

チェック

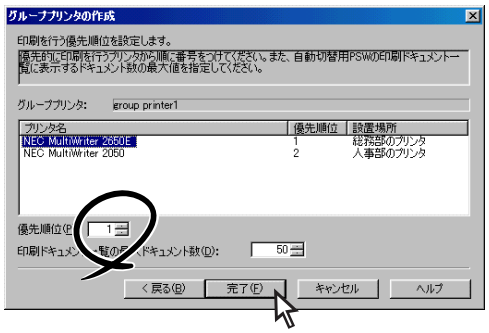
- Windows 98/95をプリントサーバーのOSとしてご使用になる場合、追加可能なプリンターは2台までです。
- 自動切替オプションがインストールされている必要があります。



❼ 印刷の優先順位を設定する。

希望のプリンター名を選び、[▲]か[▼]をクリックして順位を変更します。

また、ここでグループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。(設定可能範囲は1～100)



4 グループプリンタを編集する

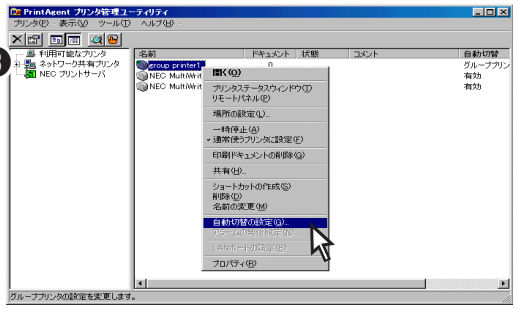
以下の手順でグループプリンタを編集します。

❶ [プリンタ管理ユーティリティ]を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ 左側のツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

❹ 右側のリストビューから希望のグループプリンタを右クリックし、[自動切替の設定]をクリックする。



❺ 必要に応じてプリンターを追加・削除する。

[次へ]をクリックすると[グループプリンタの編集]ダイアログボックスが表示されます。

❻ 必要に応じて印刷の優先順位を変更する。

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。(設定可能範囲は1～100)

Step 2　グループプリンタへ出力する

ここではグループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについて説明します。

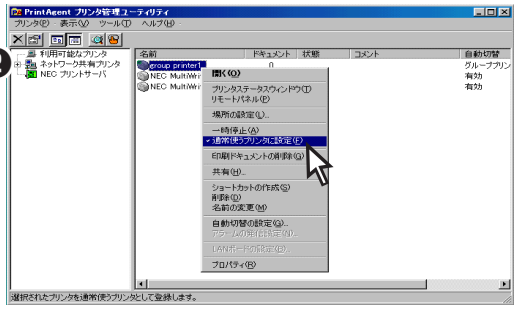
印刷方法

❶ [プリンタ管理ユーティリティ]または[プリンター覧]を起動する。

[プリンター覧]を起動した場合は手順❸に進んでください。

❷ 左側のボックスから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

❸ リストの中から希望のグループプリンタを右クリックし、[通常使うプリンタに設定]をクリックする。



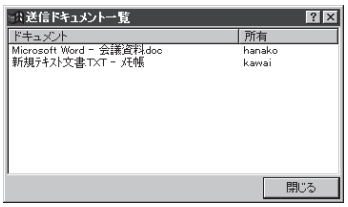
❹ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

印刷が終了するとこのような「印刷終了通知」が表示されます。

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ

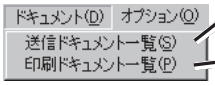
グループプリンタ使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、通常のプリンター用のウィンドウを簡略したものが表示されます。このプリンタステータスウィンドウは複数台のプリンターステータスを扱うので印刷ジョブの削除などプリンター個別の処理は[プリンタ管理ユーティリティ]か[プリンター覧]で行うことになります。

送信ドキュメント一覧



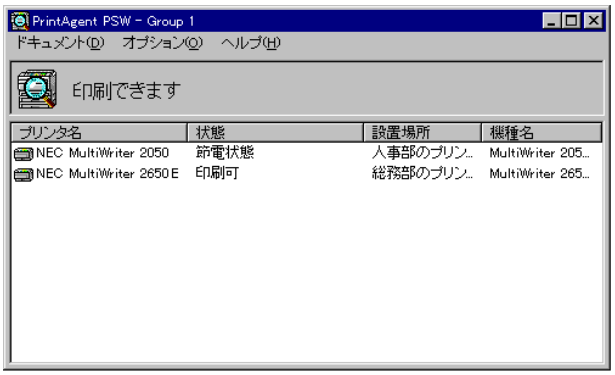
送信中のドキュメントをリスト表示します。

ドキュメント

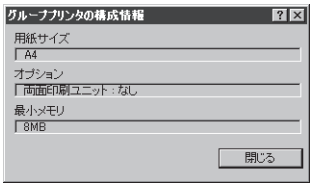


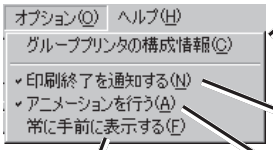
印刷中および印刷済のドキュメントをリスト表示します。記録は100件まで表示することができ、OSが再起動するまで保持されます。

印刷ドキュメント一覧



グループプリンタに実際に入っているすべての用紙サイズ、オプションの有無、グループを構成するプリンターのうち最小のメモリーの容量を表示します。





印刷終了とともに通知を出すかどうかを設定します。設定されているとタイトルの前に[✔]が表示されます。

プリンターのアイコンのアニメーションを行う設定をします。

プリンタステータスウィンドウを常に手前に表示するか設定します。

保守情報のメール通知

メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで[利用可能なプリンタ]としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターとグループプリンタには設定できません。

To：xxxx, ####
From：日電太郎<nichitaro>
Reply-To：日電太郎<nichitaro>
Cc：yyyy, zzzz
Subject：[PA Report]保守情報の自動通知

NEC MultiWriter PrintAgent　メール通知

通知概要：　EPカートリッジ交換
プリンター名：　NEC MultiWriter 2650E
通知アラーム：　76 トナーナシ
通知アラーム検出：　2000/04/10

入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。

****

NEC　☆※部
日電太郎
東京都○×区△1丁目2番3号
□■ビル　1F
03-XXXX-XXXX

****

保守情報の通知例

以下の手順で保守情報の自動通知を設定します。

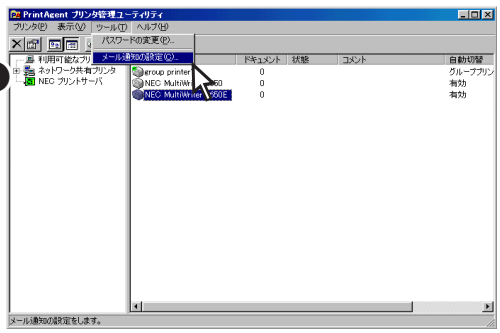
❶ [プリンタ管理ユーティリティ]を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ 左側のツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

❹ [ツール]メニューの[メール通知の設定]をクリックする。

[メール通知の設定]ダイアログボックスが表示されます。

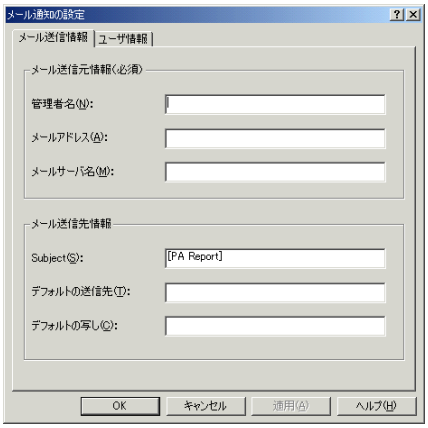


❺ メール送信情報とユーザー情報を入力する。

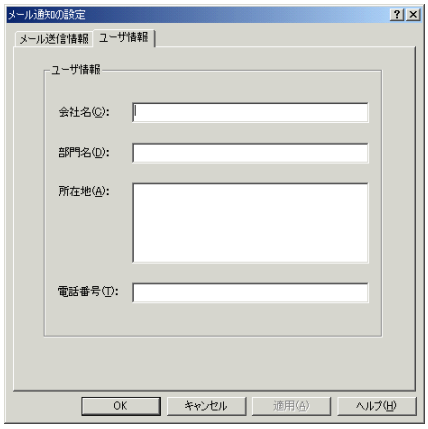
チェック

メール送信元情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のいずれかが入力されていないと設定が終了できません。

このダイアログボックスの設定は共通の設定となります。一度入力してしまえば他のプリンターでメール通知の設定をする場合、ここの項目は改めて入力する必要はありません。



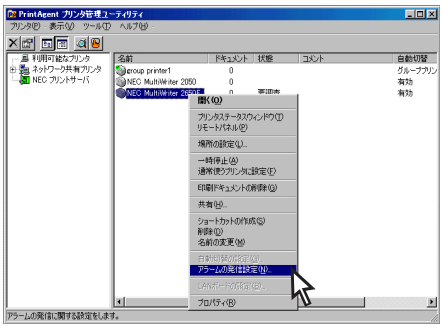
[メール送信情報]シート



[ユーザ情報]シート

❻ 右側のリストビューから希望のプリンターを右クリックし、メニューの[アラームの発信設定]をクリックする。

[アラームの発信設定]ダイアログボックスが表示されます。



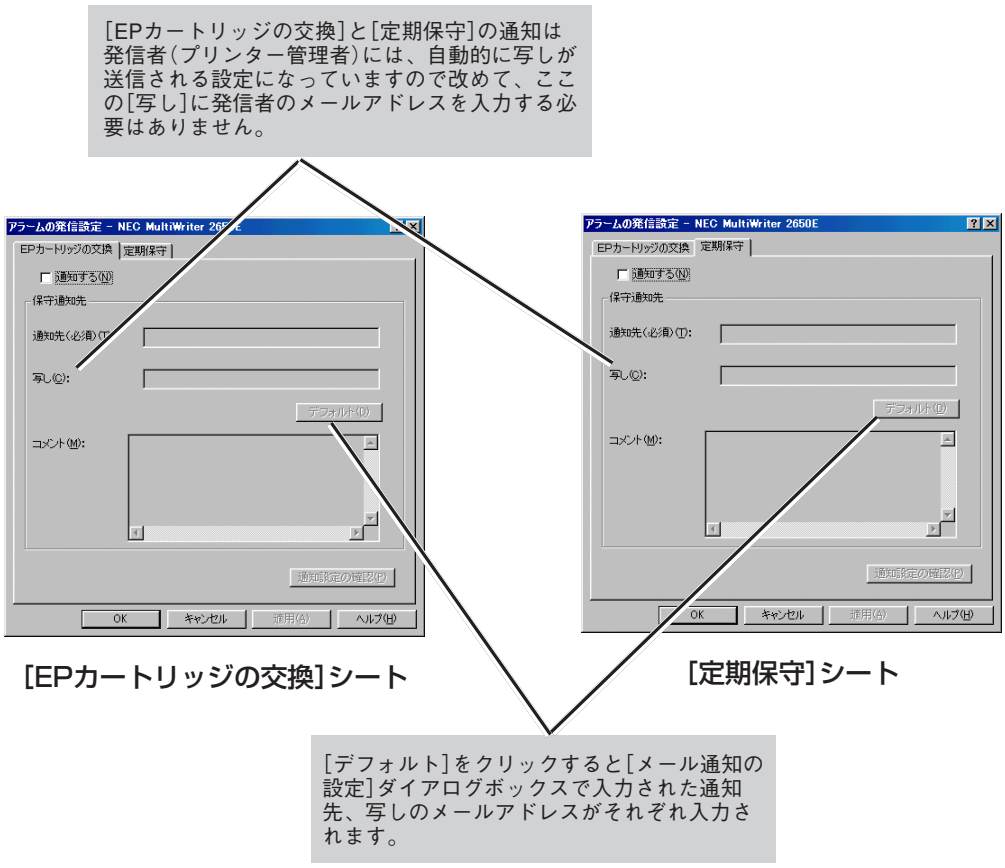
❼ 必要に応じてEPカートリッジの交換と定期保守の通知先情報を入力する。

通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。

[通知内容の確認]ボタンをクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。

チェック

「定期保守」通知は印刷枚数が、15万ページに達したら一度だけ発信されます。



メール通知ログファイルの出力

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050には保守情報のメール通知(NEC e-mailメンテナンス)で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの[PrintAgent]フォルダーに出力し記録させることができます。

メール通知が行われるとPrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成されます。また、そのサブフォルダー内に「PAMail.log」というログファイルが作成され、メール通知履歴情報が記録されます。

Cドライブ上にPrintAgentをインストールしメール通知を行ったときログファイルは以下のフォルダーに作成されます。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時 ：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報

Web PrintAgent

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。
（プリントサーバーのOSがWindows NT 3.51の場合はWeb PrintAgentはご利用できません）。

❶ プリントサーバーのコンピューターにWebサーバーをインストールする。

Webサーバーはマイクロソフト社のホームページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。

❷ クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。

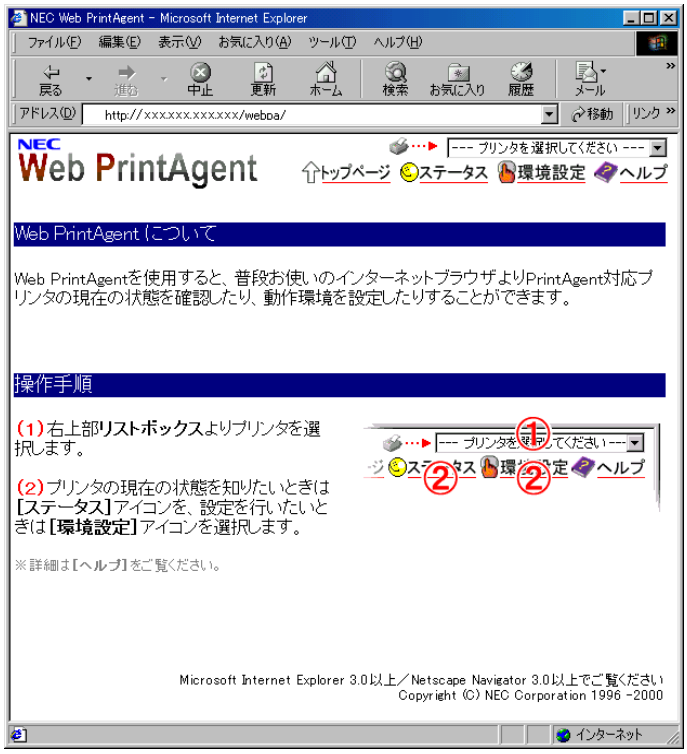
❸ プリントサーバーのコンピューターにWeb PrintAgentをインストールする。

プリンターソフトウエアを管理者としてインストールします。（47ページ参照）

お使いのブラウザーで次の場所を指定して開くと以下のトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはWeb PrintAgentの「ヘルプ」を参照ください。

http://xxx.xxx.xxx.xxx/webpa/

（下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。）



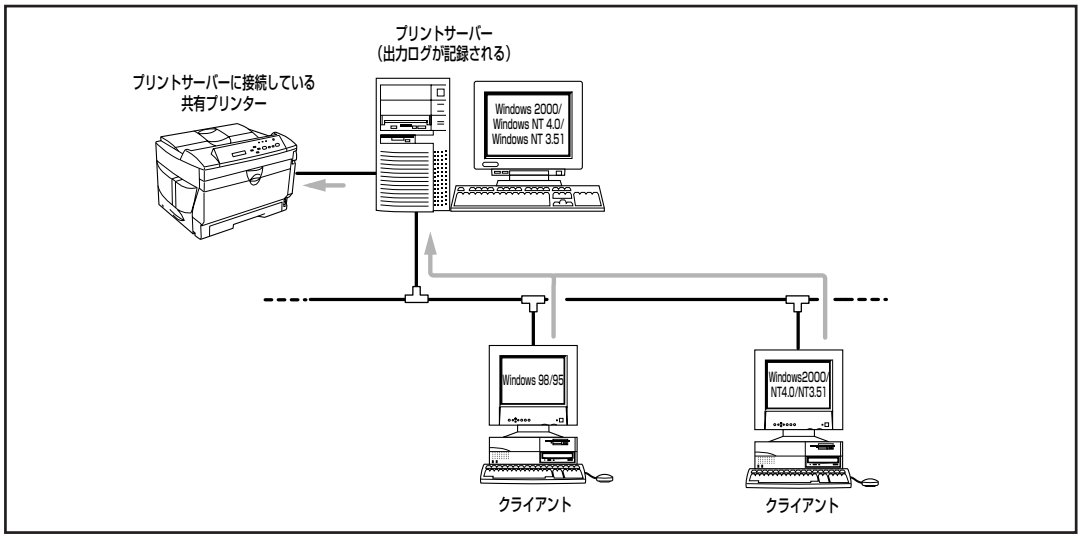
上記の画面はMicrosoft Internet Explorer 5.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また画面のデザインはソフトウエアの改版によって変更されることがあります。

印刷ログの出力

この機能を利用するにはプリントサーバー(Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51)とMultiWriter 2650/2650E/2250/2050が以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

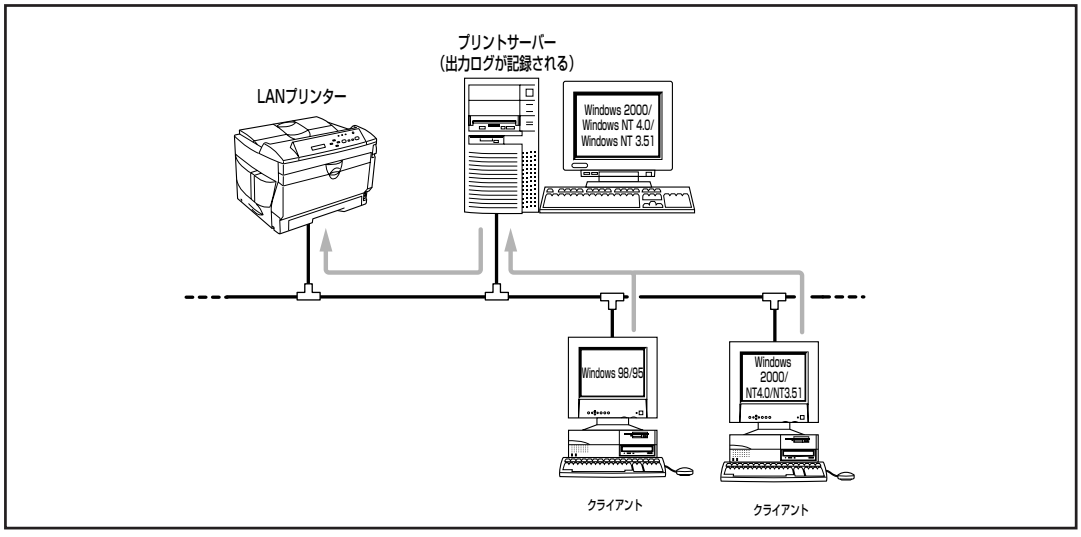
プリントサーバーが直接接続されているMultiWriter 2650/2650E/2250/2050を共有プリンターに設定している形態です。



ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーがLANボードまたはLANアダプターを使ってネットワークに接続されているMultiWriter 2650/2650E/2250/2050を共有プリンターに設定している形態です。



LANボード/LANアダプターで接続されたプリンターの共有

印刷ログ出力機能を利用するためには、プリントサーバーで次のステップを行う必要があります。
各設定を行うにはAdministratorsの権限が必要です。

Step 1　印刷ログ出力機能を設定する
Step 2　印刷ログファイルを出力する

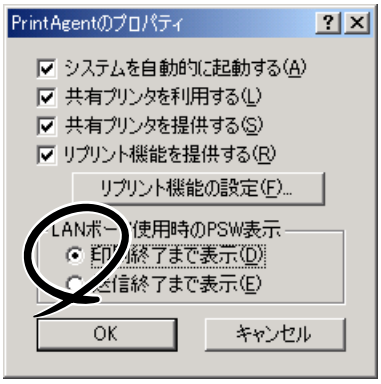
Step1　印刷ログ出力機能を設定する

❶「PrintAgent」ツールバー*の設定ボタンメニューから、または[MultiWriter 2650E]の[PrintAgentシステムメニュー]からPrintAgentのプロパティを開く。

*　Windows NT 3.51の場合は、「PrintAgent」ツールバーはご利用になれません。

❷ [LANボード使用時のPSW表示]を[印刷終了まで表示]を選び、[OK]をクリックする。

LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスで設定してください。

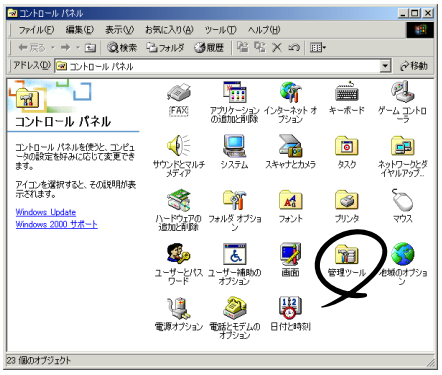


この後の手順❸以降はOSごとに説明します。

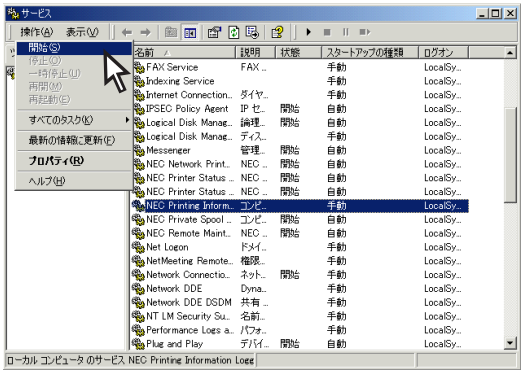
<Windows 2000の場合>

❸ [コントロールパネル]の[管理ツール]アイコンをダブルクリックする。

❹ [管理ツール]ダイアログボックスの[サービス]アイコンをダブルクリックする。



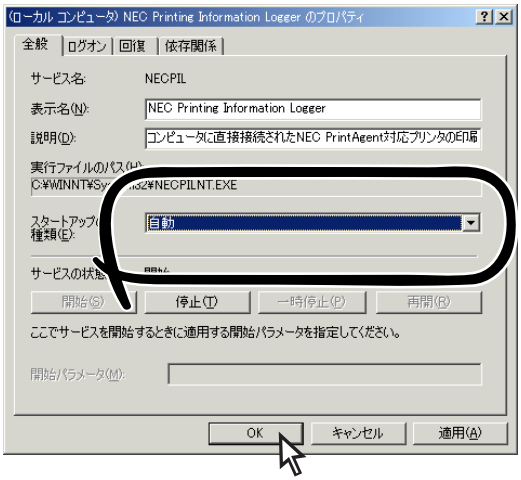
❺ リストビューから[NEC Printing Information Logger]を選んで、「操作」メニューの[開始]をクリックする。



❻ **次回起動時も自動的にサービスを起動する場合は、[スタートアップ]をクリックする。**

[操作]メニューから[プロパティ]を開き、[スタートアップ]をクリックします。

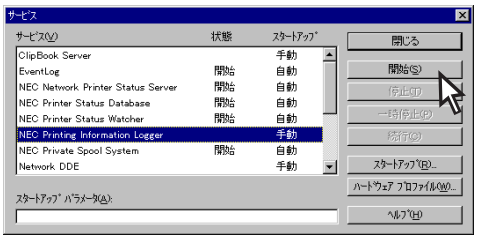
❼ **スタートアップの種類から[自動]を選び、[OK]をクリックする。**



<Windows NT 4.0/3.51の場合>

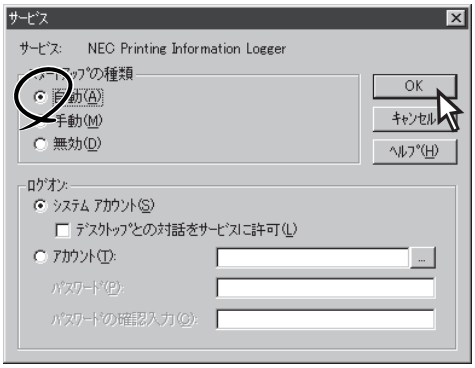
❸ **[コントロールパネル]の[サービス]アイコンをダブルクリックする。**

❹ **リストボックスから[NEC Printing Information Logger]を選んで、[開始]をクリックする。**



❺ **次回起動時も自動的にサービスを起動する場合は、[スタートアップ]をクリックする。**

❻ **[サービス]ダイアログボックスの[スタートアップの種類]で[自動]を選び、[OK]をクリックする。**



Step 2　印刷ログファイルを出力する

印刷ログ出力機能を有効にする設定をして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というフォルダーが作成されます。

また印刷が行われると、そのフォルダー内に「NEC MultiWriter 2650E.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

CドライブにPrintAgentをインストールし、NEC MultiWriter 2650Eで印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。
なお、ログファイルのファイルネームは[プリンタ]フォルダーまたはプリントマネージャに登録した名前になります。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 2650E.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”,“ドキュメント名”,“ドキュメント所有者名”,印刷開始日,印刷開始時刻,印刷終了日,印刷終了時刻,印刷枚数,

（例）　ログファイルの内容

"NEC MultiWriter 2650E", "お読みください - メモ帳", "井口", 2000/04/10,13:12:46, 2000/04/10, 13:28:58, 2,
"NEC MultiWriter 2650E", "海辺の思い出", "小川", 2000/04/10, 13:29:11, 2000/04/10, 13:29:15, 1,
"NEC MultiWriter 2650E", "華道部名簿", "土橋", 2000/04/10, 13:30:09, 2000/04/10, 13:30:18, 1,
"NEC MultiWriter 2650E", "network", "川村", 2000/04/10, 13:30:38, 2000/04/10, 13:30:54 16,

ログファイルについて

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".001", ".002"...のようになります。
- OSによっては、日付け、時間の記録形式が上記の列と異なる場合があります。

リモートパネル

節電モード、リレー給紙などプリンターの動作についてWindows環境より設定を行うソフトウエアです。通常MS-DOSアプリケーションの印刷に対してプリンターの設定を変更したい場合はメニューモードを使いますが、Windows環境から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合、リモートパネルを使えばそのままWindowsの画面上で以下の項目の設定ができます。

リモートパネル設定項目一覧(1/3)

設定項目	設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
自動縮小	**有効にする**／無効にする	○	○
節電モード	5／**10**／30／60／90分／無効	○	○
ブザー	**鳴らす**／鳴らさない	○	○
トレーのリレー給紙	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパー1のリレー給紙	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパー2のリレー給紙*2	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパー3のリレー給紙*2	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパー2の種類*2	**増設ホッパ(250)**/増設ホッパ(500)	○	○
ホッパー3の種類*2	**増設ホッパ(250)**/増設ホッパ(500)	○	○
トレーの用紙サイズ	● レター ● B4 ● A3 ● B5 ● **A4縦** ● はがき ● A4横 ● 封筒 ● A5 ● 往復はがき	○	○
トレーの用紙の種類	● **普通紙** ● OHP ● 厚紙	○	○
ホッパー1の用紙サイズ	**自動認識**／レター固定	○	○
ホッパー2の用紙サイズ*2	**自動認識**／レター固定	○	○
ホッパー3の用紙サイズ*2	**自動認識**／レター固定	○	○
半角ゼロのスラッシュ	付ける／**付けない**	○	○
全角ゼロのスラッシュ	付ける／**付けない**	○	○
国別文字セット	● **日本** ● ドイツ ● アメリカ ● スウェーデン ● イギリス	○	○
B4→A4縮小率	● **4/5** ● 2/3	○	○
ページプロテクト*3	有効にする／**無効にする**	○	○
メモリ割り当て*3	● **標準** ● 受信バッファ優先 ● 文字キャッシュ優先 ● フォームエリア優先	○	○
給紙方法	● **ホッパー1** ● ホッパー3*2 ● トレー ● ホッパー2*2	○	×

*1 太字で書かれている設定が初期設定です。

*2 オプションの増設ホッパ(250)もしくは増設ホッパ(500)を装着したときのみ設定が可能です。

*3 オプションの増設RAMサブボードを装着したときのみ設定が可能です。

リモートパネル設定項目一覧(2/3)

設定項目	設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
ジョブセパレート	有効にする／**無効にする**	○	×
印刷部数	**1** ～ 99枚	○	×
印刷方向	● **ポートレート** ● ランドスケープ	○	×
エミュレーションの設定	● ページプリンタ（NPDL） ● **201PLエミュレーション**	○	×
201PLエミュレーション時の設定 DC1, DC3コード *2 グラフィックモード *2 8/7ビットデータ *2	 **有効**／無効 **ネイティブ**／コピー **8ビット**／7ビット	○	×
印刷位置調整	● **レフトマージン初期設定** ● 136桁モード	○	×
レフトマージン初期設定 レフトマージン量	 **0** ～ 15/10インチ	○	×
136桁モード*2 印刷位置基準 印刷位置調整方向 印刷位置調整量	 **左端合わせ**／中央合わせ **左へ移動**／右へ移動 **0** ～ 15/10インチ	○	×
A4ポートレート桁数	● **78桁** ● 80桁	○	×
用紙サイズエラー	**検出する**/しない	○	×
半角フォント	● **標準** ● イタリック ● クーリエ ● ゴシック	○	×
全角フォント	● **明朝** ● ゴシック	○	×
文字セット	● **JIS1978** ● JIS1983 ● JIS1990	○	×
解像度指定	● **600dpi/400dpi切り替え** ● 400dpi固定	○	×
印刷濃度	（淡）1 ～ **3** ～ 5（濃）	○	×
SET機能	**使用する**／使用しない	○	×
トナー節約モード	使用する／**使用しない**	○	×
グレースケールの網点を細かく印刷する	**使用する**／使用しない	○	×
リアポートのエミュレーション	● **NPDL** ● ESC/P ● HPGL*3 自動切り換え： する／しない	○	×
フロントポートのエミュレーション	● **NPDL** ● ESC/P ● HPGL*3 自動切り換え： する／しない	○	×
RS-232Cのエミュレーション*3	● **NPDL** ● ESC/P ● HPGL*3 自動切り換え： する／しない	○	×
ジョブタイムアウト	● 5秒 ● 15秒 ● **30秒**	○	×
メモリオーバ時の動作	● **印刷停止** ● 解像度を落として印刷	○	×

*1 太字で書かれている設定が初期設定です。

*2 201PLエミュレーションが設定されているときのみ設定が可能です。

*3 オプションのプロッターエミュレーションボードが装着されているときのみ設定が可能です。ただしMultiWriter 2650Eではご使用になれません。

リモートパネル設定項目一覧(3/3)

設定項目	設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
自動排出時間	● **無効** ● 5秒 ● 15秒 ● 30秒	○	×
両面印刷*2	する／**しない**	○	×
とじしろ	● **長辺とじ1** ● 長辺とじ2 ● 短辺とじ1 ● 短辺とじ2	○	×
とじしろ付加サイズ	**0** ～ 20ミリ		
クリップ機能	**利用する**／利用しない		
ESC c 1（リセット）コードで登録データを消す	**消す**／消さない	○	×
FFコードでの白紙出力	**出力する**／出力しない	○	×
自動復帰改行	● **復帰改行** ● 復帰のみ	○	×
印刷開始コード	● **CRコードのみ** ● CRコードやその他のコード	○	×
CRコードの機能	● **復帰のみ** ● 復帰改行	○	×

*1　太字で書かれている設定が初期設定です。
*2　MultiWriter 2650E/2250/2050ではオプションの両面印刷ユニットが装着されているときのみ設定が可能です。

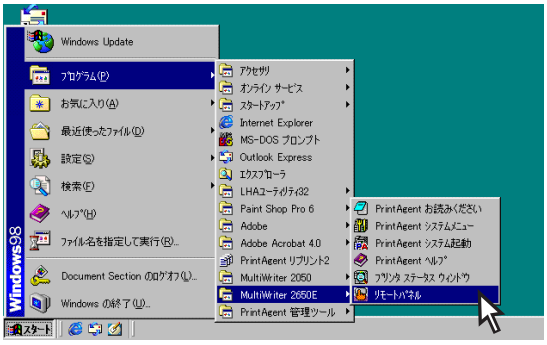
リモートパネルの起動

リモートパネルには次の起動方法があります。

Windows 2000/98/95/NT 4.0の場合

[スタート]ボタンから起動する

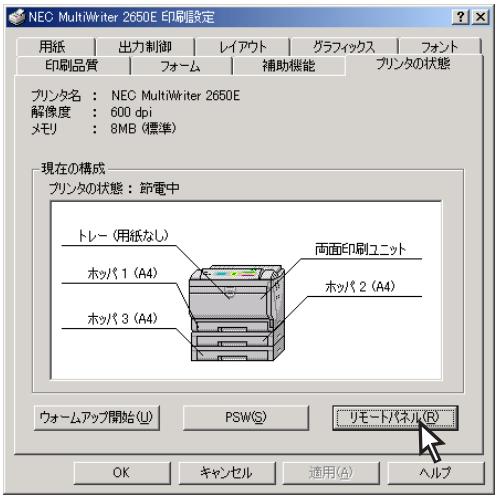
[スタート]ボタン ― [プログラム]から[MultiWriter 2650E]フォルダーの[リモートパネル]を開きます。



Windows 2000/98/95/NT 4.0

プリンタの[プロパティ]ダイアログボックスから起動する

プリンターのプロパティダイアログボックス内の[プリンタの状態]シートにある[リモートパネル]ボタンから起動します。



[スタート]ボタンを使って[プリンタ管理ユーティリティ]から起動する

次の手順で[プリンタ管理ユーティリティ]からリモートパネルを起動します。

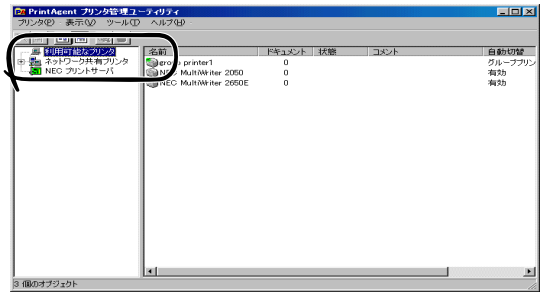
❶ プリンタ管理ユーティリティを起動する。

[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。

❷ パスワードを入力する。

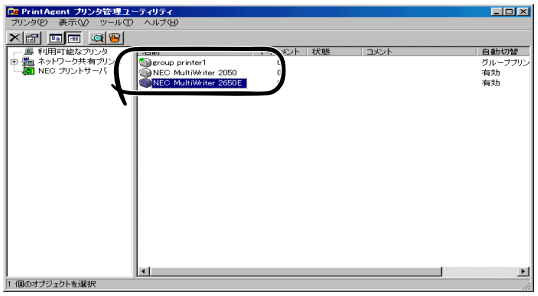
管理者用インストールで設定したパスワードを入力します。設定しなかった場合はこのダイアログボックスは表示されません。パスワードの変更は[ツール]メニューで行えます。

❸ 左側のボックスから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。



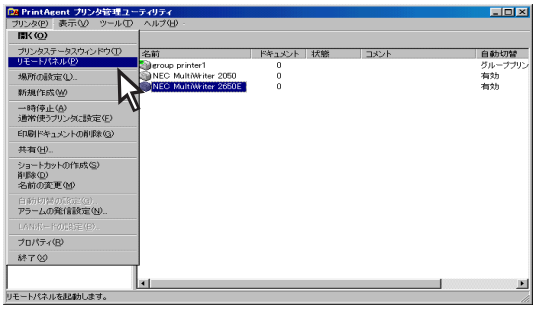
❹ 対象のプリンターを選ぶ。

ウィンドウの右側のボックスに表示されるリストの中から選びます。



❺ リモートパネルを起動する。

[プリンタ]メニューの[リモートパネル]をクリックするとリモートパネルが起動します。
ツールバーの[リモートパネル]ボタンからも起動できます。



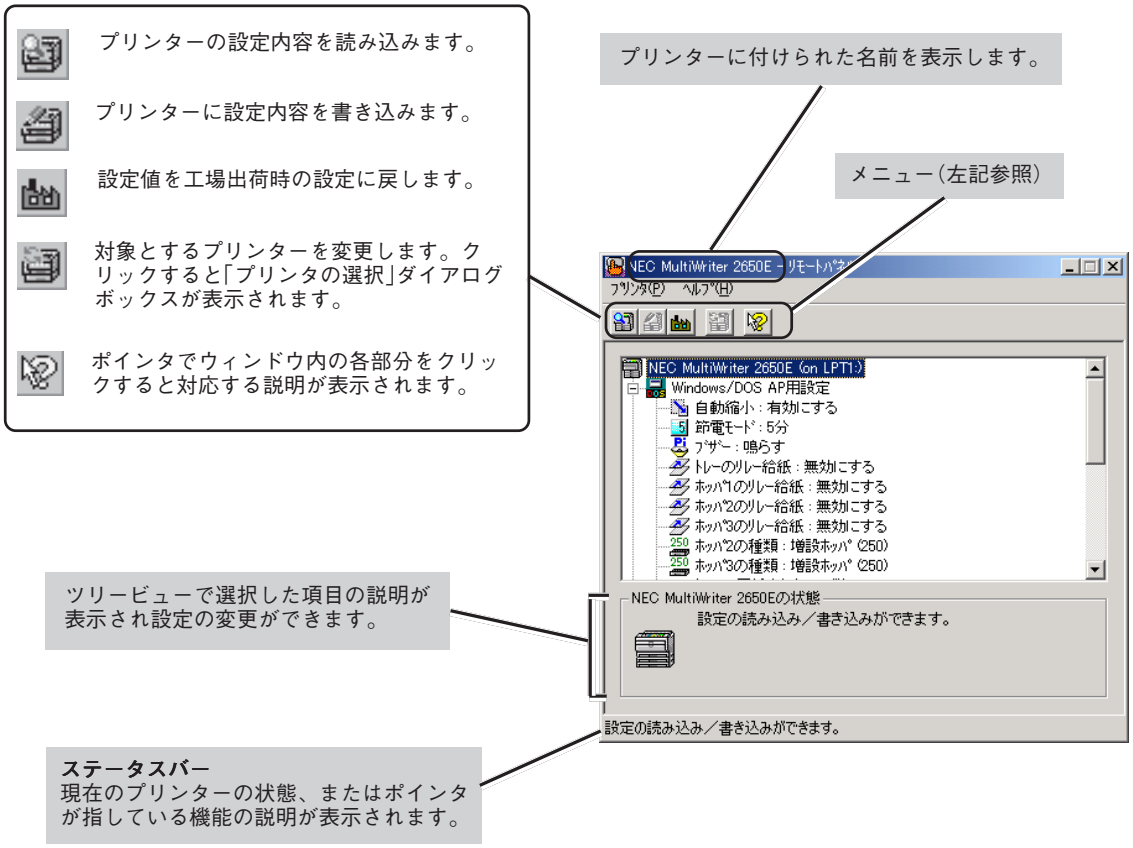
Windows NT 3.51の場合

[プログラムマネージャ]から[MultiWriter 2650E共通]フォルダーの[リモートパネル]を開きます。

Windows NT 3.51

リモートパネルの使い方

リモートパネルで共通に使うボタン類の機能について説明します。



リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

❶ 設定を変えたいプリンターかどうか確認する。

タイトルバーのプリンター名で確認してください。もし希望のプリンターでない場合は[プリンタの変更]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[プリンタの変更]を選んで変更します。

チェック

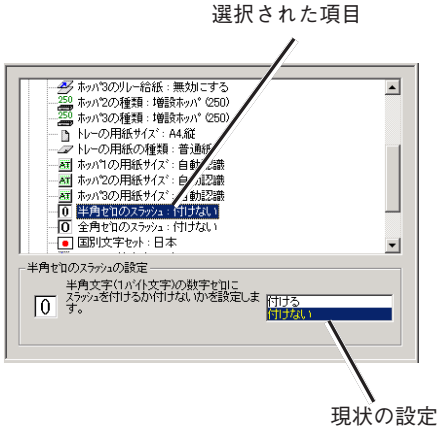
[プリンタの変更]はプリンターが複数ある場合のみ可能です。

❷ ツリービューから希望の設定項目を選ぶ。

ツリービューから希望の設定項目をクリックしてください。選択されると反転表示になります。

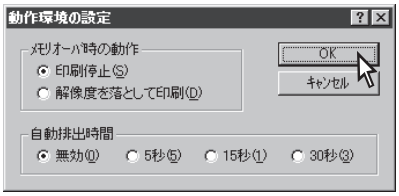
チェック

もし設定項目が表示されない、見つからない場合は[設定読み込み]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[設定の読み込み]を選びます。それでも表示されない場合はプリンターとコンピューターが双方向通信をしていない可能性があります。171、172ページの「グループプリンタを作成する前に確認する」の「双方向通信をしていること」を参照して設定を確認してください。



❸ 設定ウィンドウで目的を変更する。

ダイアログボックスで設定を変えた場合、必ず最後に[OK]をクリックします。



❹ 変更した設定内容をプリンターに書き込む。

[設定書き込み]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[設定の書き込み]を選びます。

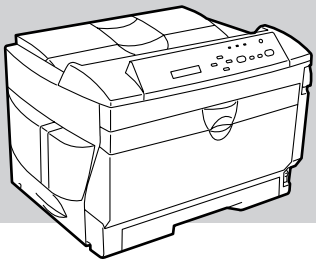
❺ [プリンタ]メニューから[終了]を選びリモートパネルを終了する。

これでリモートパネルの設定変更は終了です。

チェック

もし変更した設定内容が書き込まれていないと次のようなダイアログボックスが表示されますので該当するボタンをクリックしてください。

5章
日常の保守



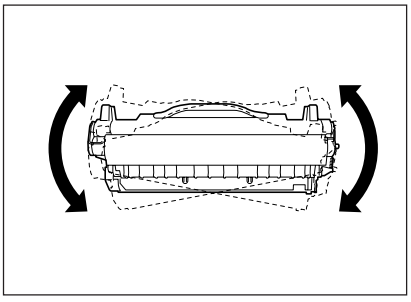
この章では、消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。

EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。

交換する前に

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。



チェック

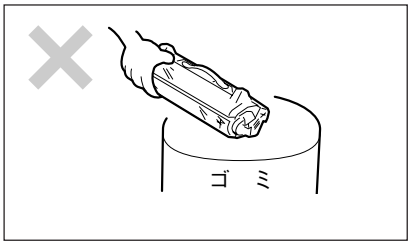
EPカートリッジは取っ手を持って振らないでください。

もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。
トナーランプ点灯前でも、印刷が薄くなったときは、トナーランプ点灯時と同様に、EPカートリッジをゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

NECのEPカートリッジは、地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。ご使用後は、古いEPカートリッジをそのまま捨てずにお買い上げの販売店、または添付の「サービス網一覧表」に記載されているサービスステーションまでお持ち寄りください。



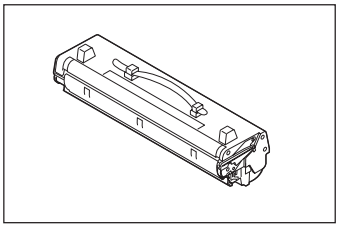
購入について

新しいEPカートリッジは、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050をお買い求めになった販売店、または添付のサービス網一覧表に記載されているサービスステーションなどでお求めになれます。

重要

プリンターによって、使用できるEPカートリッジが異なります。他のモデルに対応したEPカートリッジでは代用できません。お買い求めの際には下のEPカートリッジ対応表をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジをお選びください。

EPカートリッジの種類



EPカートリッジ対応表

EPカートリッジの種類	印刷可能ページ数	MultiWriter 2650/2650E	MultiWriter 2250/2050
EPカートリッジ (PR-L2650-11)	約6,000	○	×
EPカートリッジ (PR-L2650-12)	約14,000	○	×
EPカートリッジ (PR2200X-11)	約6,000	×	○
EPカートリッジ (PR2200X-12)	約12,000	×	○

○　使用可能　　×　使用不可

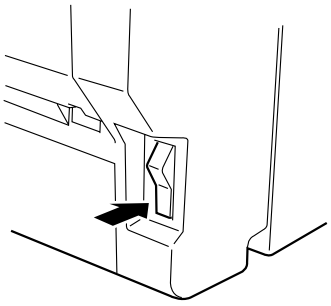
チェック

- 各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。（194ページ参照）
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定、OPC寿命などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は、異なります。

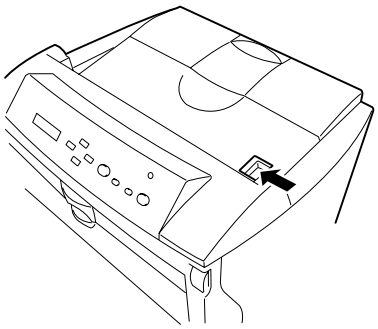
EPカートリッジの交換手順

❶ 電源スイッチをOFFにする。

電源ランプが消灯します。

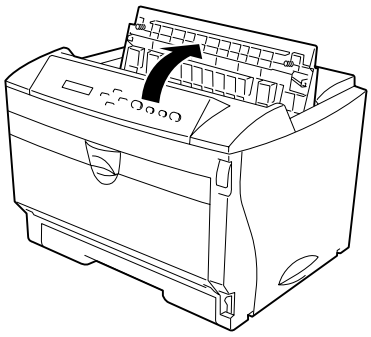


❷ スタッカー開閉レバーを左側に押してロックを解除する。



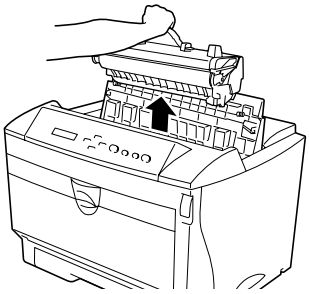
❸ スタッカーをゆっくりと開ける。

スタッカー開閉レバー付近のくぼみに指を引っ掛けてスタッカーを開けてください。



❹ 取っ手を持ち、使い終わったEPカートリッジを取り出す。

EPカートリッジは真上に持ち上げれば簡単に取り出せます。



チェック

このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。ご使用後お買い上げの販売店または、または添付の「サービス網一覧表」に記載されているサービスステーションまでお持ち寄りください。

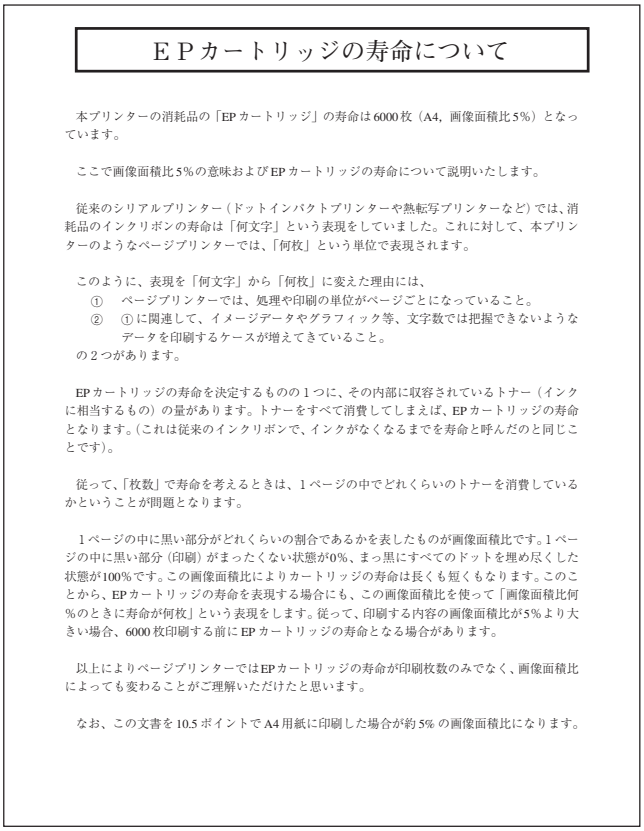
❺ 新しいEPカートリッジを、「EPカートリッジを取り付ける」(17ページ)に従って取り付ける。

❻ テスト印刷を実行する。

「テスト印刷をする」(22ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

プリンターに添付されているEPカートリッジの寿命は、A4用紙で画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積と用紙全体の面積との比率）5%のとき約6000枚（PR2200X-11またはPR-L2650-11使用時）になります（画像面積比による印刷枚数はあくまでも目安です。画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によっては異なります）



ＥＰカートリッジの寿命について

本プリンターの消耗品の「EP カートリッジ」の寿命は 6000 枚（A4，画像面積比 5%）となっています。

ここで画像面積比 5%の意味および EP カートリッジの寿命について説明いたします。

従来のシリアルプリンター（ドットインパクトプリンターや熱転写プリンターなど）では、消耗品のインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対して、本プリンターのようなページプリンターでは、「何枚」という単位で表現されます。

このように、表現を「何文字」から「何枚」に変えた理由には、
① ページプリンターでは、処理や印刷の単位がページごとになっていること。
② ①に関連して、イメージデータやグラフィック等、文字数では把握できないようなデータを印刷するケースが増えてきていること。
の 2 つがあります。

EP カートリッジの寿命を決定するものの 1 つに、その内部に収容されているトナー（インクに相当するもの）の量があります。トナーをすべて消費してしまえば、EP カートリッジの寿命となります。（これは従来のインクリボンで、インクがなくなるまでを寿命と呼んだのと同じことです）。

従って、「枚数」で寿命を考えるときは、1 ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

1 ページの中に黒い部分がどれくらいの割合であるかを表したものが画像面積比です。1 ページの中に黒い部分（印刷）がまったくない状態が 0%、まっ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が 100%です。この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから、EP カートリッジの寿命を表現する場合にも、この画像面積比を使って「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が 5%より大きい場合、6000 枚印刷する前に EP カートリッジの寿命となる場合があります。

以上によりページプリンターでは EP カートリッジの寿命が印刷枚数のみでなく、画像面積比によっても変わることがご理解いただけたと思います。

なお、この文書を 10.5 ポイントで A4 用紙に印刷した場合が約 5% の画像面積比になります。

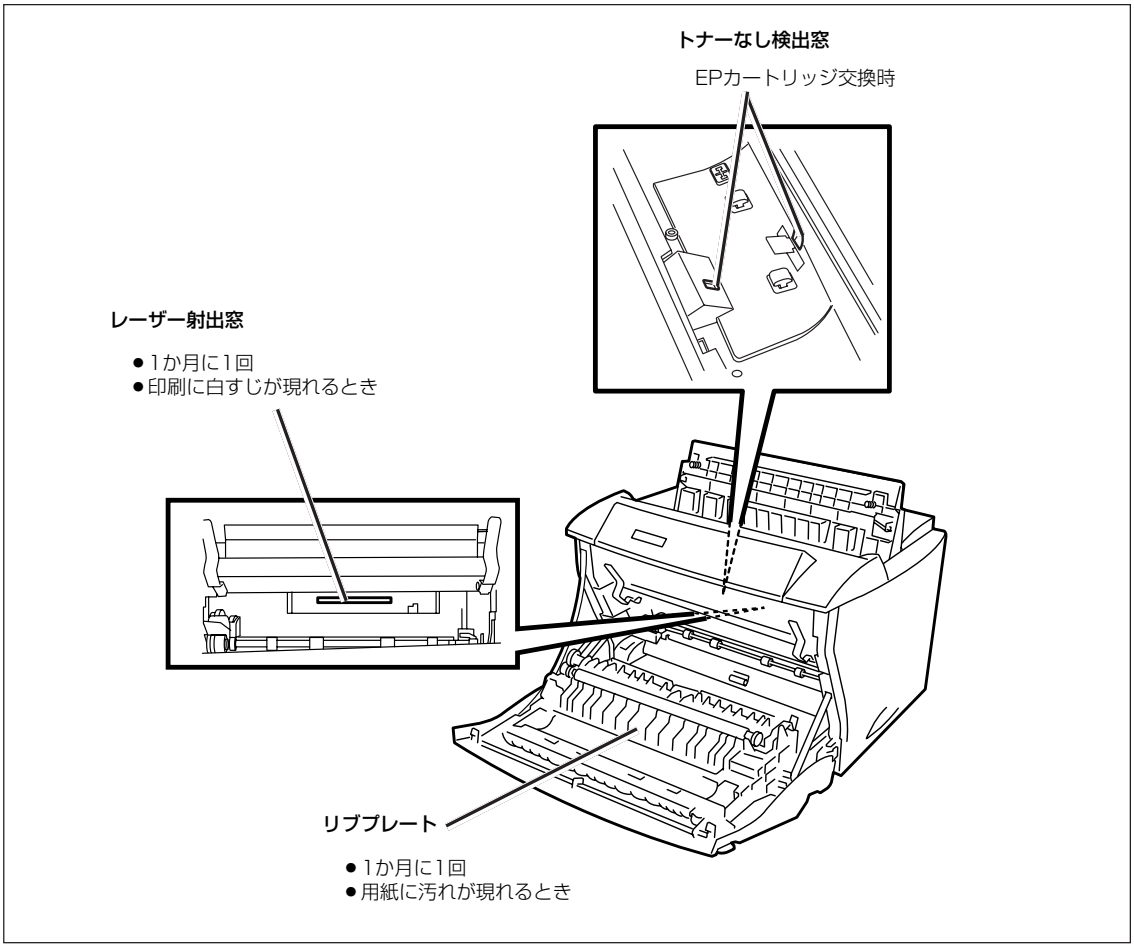
画像面積比5%の印刷例

清　掃

本プリンターを正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをおすすめします。

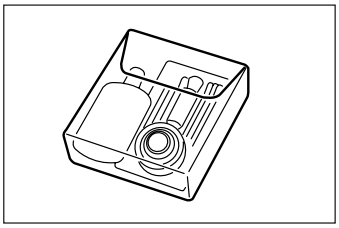
清掃箇所と清掃時期

次に清掃する箇所とそれぞれの清掃時期について示します。



清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています。

クリーニングキット（PC-PR601-14）



プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃手順

ここでは、プリンターの清掃について説明します。

⚠ 注意

清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

レーザー射出窓、トナーなし検出窓、リブプレートの清掃

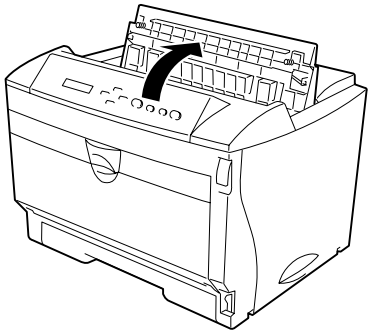
給紙方向に縦にかすれる、白いスジが入る、文字や黒い部分の輪郭がにじむときにおこないます。

❶ プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。

❷ スタッカー開閉レバーを左側に押してロックを解除する。

❸ スタッカーをゆっくりと開ける。

スタッカー開閉レバー付近のくぼみに指を引っ掛けてスタッカーを開けてください。

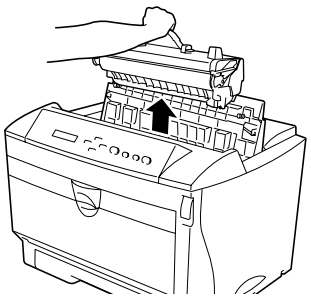


❹ 取っ手を持ち、EPカートリッジを取り出す。

EPカートリッジは真上に持ち上げれば簡単に取り出せます。

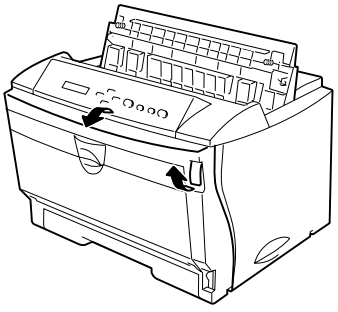
✔チェック

清掃時に取り外したEPカートリッジは、立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光の当たる場所やほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

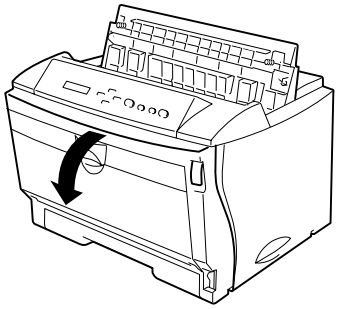


❺ フロント開閉レバーを引いてロックを外す。

フロントカバーが少し開いて止まります。

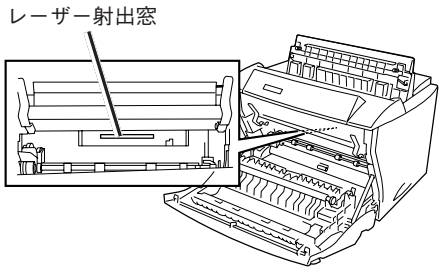


❻ **フロントカバーの中央部を持ち、ゆっくりと開ける。**



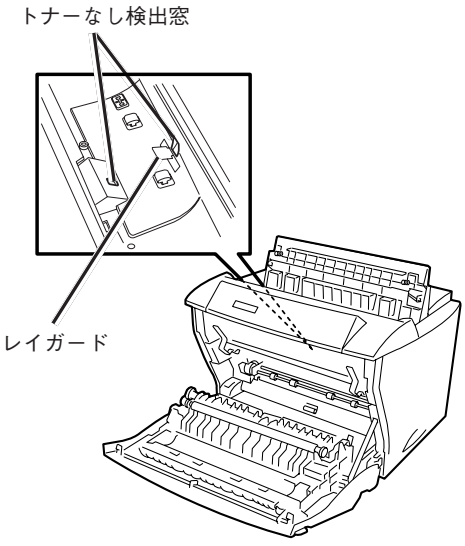
❼ **レーザー射出窓のガラスの汚れを柔らかい布または綿棒でふき取る。**

レーザー射出窓は特に汚れやすい箇所です。こまめに清掃してください。



❽ **トナーなし検出窓の汚れを乾いた柔らかい布で軽くふき取る。**

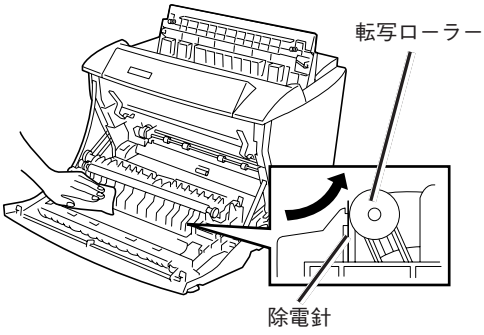
トナーなし検出窓は2か所あります。



重要

レイガードには触れないようにしてください。

❾ **リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取る。**

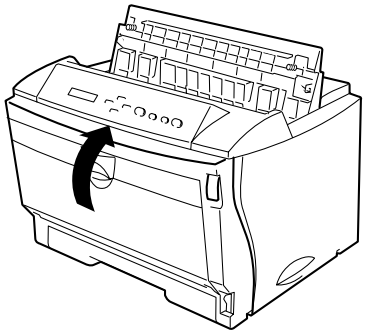


重要

転写ローラー、除電針には触らないようにしてください。

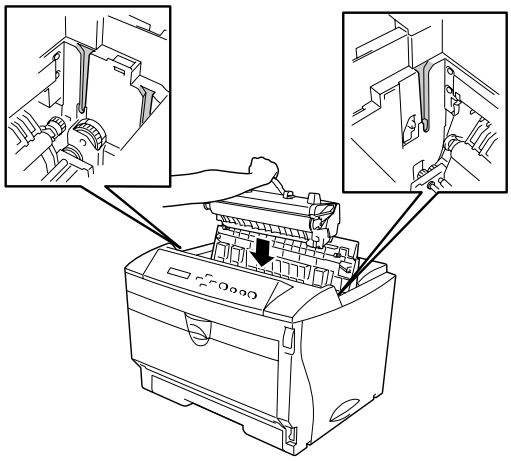
❿ **フロントカバーを閉める。**

カチッと音がするまでゆっくりとフロントカバーを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。



⓫ EPカートリッジをプリンター本体に再びセットする。

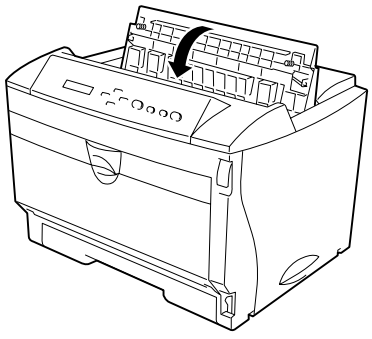
EPカートリッジ上部に書いている矢印の方向をプリンター正面に向けて、図のようにEPカートリッジの取っ手を持ち、カートリッジの両側（銀色、3か所）をプリンターの内部の溝に合わせてセットします。
EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせずに確実に下までセットされていることを確認してください。



⓬ スタッカーを閉じる。

チェック

カチッと音がするまでしっかり押し下げます。スタッカーが確実に閉まったことを確認してください。



⓭ プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込む。

⓮ テスト印刷を実行する。

「テスト印刷をする」（22ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

プリンターの表面の清掃

プリンターの表面が汚れているときに清掃します。

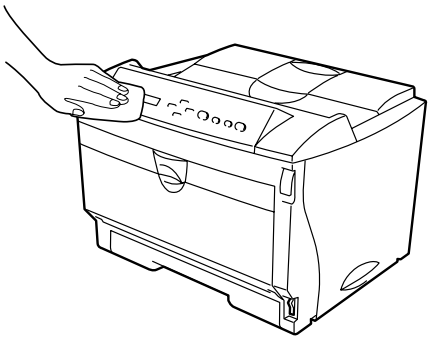
❶ 外観の汚れは柔らかい清潔な布でふき取る。

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませてた布で拭き取ります。

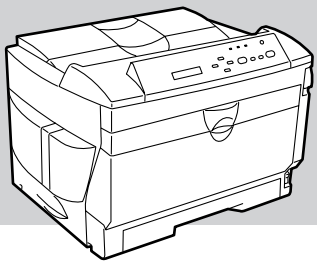
❷ 乾いた布で拭く。

重要

アルコール、シンナー等はプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。



6章
故障かな？と思ったら



この章では「故障かな？」と思ったときの原因と処置方法を説明します。「故障かな？」と思わせる症状を「印刷がおかしいときは」、「アラーム表示が出ているときは」、「PrintAgentがおかしいときは」、「紙づまりのときは」に分けて説明しています。またユーザーサポートについても説明しています。

印刷がおかしいときは

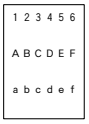
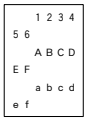
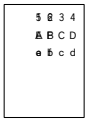
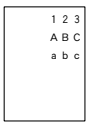
プリンターの動作がおかしかったり、印刷結果が思うように出なかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

思うように印刷できないとき

思うように印刷ができないとき、次にあげるような症状なら、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** → プリンタードライバーによっては利用先のポート（LPT1:、COM1:など）に対し常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのマニュアルを参照して、他のプリンターのポートを本プリンターと違うポートに変更するか他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONで、セントロ設定が「ECP」になっている。** → お使いのプリンターをWindowsから印刷する場合は、メモリースイッチ5-1をONのままセントロ設定のメニュー「ドウサ　ソウホウコウ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのセントロ設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要となります。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのセントロ設定が異なる。** → お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのセントロ設定の動作モードを同じ設定にしてください。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書を併せてご覧ください。

症　状	原因と処理方法
斜線の太さが均一でない(線の角度によって線の太さが違っている) 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「使用する」になっている。** → リモートパネル、プリンタードライバーまたはメニューモードでSETの設定を「使用しない」にしてください。SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** → リモートパネル、プリンタードライバーまたはメニューモードでトナー節約機能をOFFにしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** → アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。ソフトウエアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれるものがあります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** → メニューモードまたはリモートパネルでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(273ページ)を参照して、確認してください。MultiWriterのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターとMultiWriter 2650/2650E/2250/2050との間に印刷位置の互換性がない。** → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL (Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。プリンタードライバーの「従来互換の印刷範囲を使用する」(Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]の[プリンタの設定]、Windows 98/95の場合は[プロパティ]の[印刷品質]、Windows 3.1の場合は[オプション]ダイアログボックス、Windows NT 4.0/3.51の場合は[デバイスのプロパティ]の[プリンタの設定])をチェックしてください。
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがない。** → [印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。

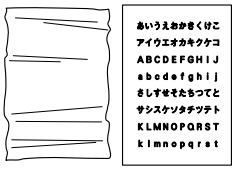
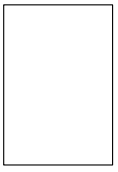
症　状	原因と処理方法
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない（続き）	**アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷･排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷･排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 **綴じしろが合っていない。** →　印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードまたはリモートパネルで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量（行の間隔）が2倍になる  1行が2行にわたる  各行の文字が重なって印刷されてしまう  用紙の途中から印刷が始まってしまう  	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なってる。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードまたはリモートパネルを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください 。A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードまたはリモートパネルを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください 。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。

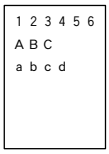
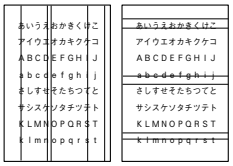
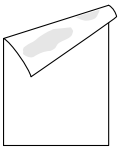
症　状	原因と処理方法
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　「2章　プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** →　「メニューモード」(99ページ) を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定で正しいエミュレーションを選択し直してください。途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切替器を使用している。** →　プリンターバッファーや切替器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードまたはメモリースイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	**ページプロテクトがOFFになっている。** →　用紙サイズによっては、片面印刷になることがあります。ページプロテクトをONにしてください。 **メニューモード、メモリースイッチが合っていない。** →　設定し直してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** →　両面印刷は普通紙のA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。 **トレーの用紙種類を普通紙以外に設定している。** →　トレーから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 **トレーの定形外用紙がONになっている。** →　メニューモードで定形外用紙をOFFにしてください。 **メモリーが足りない。** →　A3、B4サイズの用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要です。7章オプションの「増設RAMサブボード」(259ページ) をご覧になり、メモリーを増設してください。 **両面印刷ユニットが正しく取り付けられていない。** →　両面印刷ユニット（オプション）の取り付けが正しく行われているか確認してください。 **メモリースイッチ5-1がONになっている。** →　メモリースイッチ5-1をOFFにしてください。PC-PTOS等の環境下で同期コードを有効にし、アプリケーションがページごとに同期を取っている場合には、正しく機能しないことがあります。

症　状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	**プリンターとコンピューターが双方向通信に設定されていない。** → プリンターのプロパティダイアログボックスの「ポート」シートで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 → ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 **[リプリント機能を使用する]がチェックされていない。** → Windows 2000の場合は[印刷設定]の[出力制御]、Windows 98/95の場合は[プロパティ]の[出力制御]、Windows NT 4.0/3.51の場合は[ドキュメントプロパティ]の[出力制御]シートを開き、確認してください。 **[リプリント機能を提供する]がチェックされていない。** → PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。)
TrueTypeフォントおよびFAフォントをプリンターフォントに置換する設定で、一部の文字が印刷されない、またデザインの異なる文字が印刷される	**プリンターフォントとしてインストールされていない文字が使用されている、または画面の書体と異なるデザインでインストールされている文字が使用されている可能性がある。** → Windows 98/95/3.1の場合、プロパティダイアログボックスの[フォント]を開き、[特殊文字をそのまま印刷]をチェックしてください。
ジョブセパレート機能が使用できない	**A4サイズが縦置き、横置きでセットされていない。** → プリンターにセットされている用紙を確認してください。 **トレーの用紙サイズが設定されていない。** → トレーの用紙サイズを設定してください。 → メニューモードのヨウシメニューで[トレーテイケイガイヨウシ]をOFFに設定してください。 **トレーの用紙種類を普通紙以外に設定している。** → トレーから印刷する場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 **用紙給紙が自動に設定されていない。** → プロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開き、自動に設定してください。 **[ジョブセパレート機能を使用する]がチェックされていない。** → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタードライバーで[ジョブセパレート機能を使用する]にしてください。
ジョブセパレート機能がうまく働かない	**丁合い機能が正しく選択されていない。** → アプリケーションの印刷機能から丁合機能を指定している場合は正しく機能しません。指定を外してください。 **印刷部数(コピー印刷)が指定されていない。** → 印刷部数の指定を確認してください。 **すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用するように設定されていない。** → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが[ジョブセパレート機能を使用する]に設定していることを確認してください。

印刷に異常が見られるとき

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき 	**用紙が規格に合っていない。** →「用紙の規格」(273ページ)を参照して、確認してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** →「ホッパーに用紙をセットする」(110ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **トレー給紙の「用紙種類」がセットされている用紙に対して、正しく設定されていない。** → リモートパネル、プロパティダイアログボックス、メニューで設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** → メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき 	**プリンターの内部が汚れている。** →「清掃」(195ページ)を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき 	**トナーがない(トナーランプ点灯)。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **トナー節約機能を使用している。** → メニューモード、プリンタードライバー、またはリモートパネルでトナー節約機能を解除してください。 **設定濃度が淡すぎる。** → メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **EPカートリッジのビニールシールが引き抜かれていない。** →「EPカートリッジを取り付ける」(17ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。 **トレー給紙の「用紙種類」がセットされている用紙に対して、正しく設定されていない。** → リモートパネル、プロパティダイアログボックス、メニューで設定し直してください。
何も印刷されない 	**トナーがない(トナーランプ点灯)。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジのビニールシールが引き抜かれていない。** →「EPカートリッジを取り付ける」(17ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。

症　状	原因と処理方法
真っ黒に印刷されたとき 	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 **EPカートリッジに問題がある。** →「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
文字のグレー印刷ができない 	**[文字を白黒で印刷する]がチェックされている。** → プロパティダイアログボックスを開き、[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。
印刷に縦線や横線が入るとき 	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき 	**転写ローラが汚れている。** → 数枚テスト印刷をしてください。 **転写ローラガイドプレートかリブプレートが汚れている。** →「清掃」(195ページ)を参照して、プリンターの内部を清掃してください。
部分的に白く抜けるとき 	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →「ホッパーに用紙をセットする」(110ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →「用紙の規格」(273ページ)を参照して、確認してください。 **冬期はプリンター内部が結露している可能性がある。** → 電源をONにしたまま30分～1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** →「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき 	**レーザー射出窓にゴミがついている。** →「清掃」(195ページ)を参照して、レーザー射出窓を清掃してください。 **EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →「EPカートリッジの交換」(191ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** → 切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。 → LANボード接続に変更してください。

印刷できないとき

次の表に、印刷できないときの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症 状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** → 電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** → 配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** → [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルが正しく選択されていない、または正しく接続されていない(データランプ消灯)。** → 265ページを参照して、プリンターケーブルを確認、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない(データランプ点灯)。** → [シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなった、または指定されたサイズの用紙がない(印刷可ランプ(赤)点灯)。プリンターの規格に合っていない。** →「ホッパーに用紙をセットする」(110ページ)を参照して、用紙を補給してください。 **印刷可ランプ(赤)が点灯している。** →「アラーム表示が出ているときは」(207ページ)をご覧ください。 **データ送信中** → プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。もう少しお待ちください。 **MultiWriterのプリンタードライバーが「通常使うプリンタ」として選択されていない。** → MultiWriterのプリンタードライバーを「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** → コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙のセットのしかたが悪い。** →「ホッパーに用紙をセット」(110ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。 **レターサイズの用紙をセットしている。** → レターサイズの用紙をセットした場合、自動検出できませんのでメニューモードの「ヨウシメニュー」で用紙サイズを設定してください。
トレーから印刷ができない	**給紙方法が自動またはホッパになっている。** → プリンタードライバーの給紙方法をトレーに設定し直してください。 **トレーにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** → [トレー]スイッチで用紙サイズを設定してください。(95ページ参照) **トレーに用紙が正しくセットされてない。** →「トレーに用紙をセットする」(113ページ)を参照して用紙をセットし直してください。
給紙方法をトレーとし、印刷したのに「トレー　XX　セット」が表示される	**トレーにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** → [トレー]スイッチで用紙サイズを設定してください。(95ページ参照)

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示(アラーム表示)されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。

チェック

リモートパネルで[ブザー]を[鳴らさない]に設定しているとき、またはメモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ゛ 1　　A4　ホキュウ ホッパが増設されているときは、この位置にホッパ番号（1、2、または3）が表示されます。 トレー　　A4タテ　　セット フツウ	**用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。** → 表示されているサイズの用紙を用紙カセットまたはトレーに補給してください。
72　カバ゛ーオープ゛ン ホンタイ 72　カバ゛ーオープ゛ン リョウメン	**スタッカー、フロントカバー、両面印刷カバーが開いています。** → スタッカー、フロントカバー、両面印刷カバーをきちんと閉じてください。
73　EPカートリッジ゛ナシ	**EPカートリッジが取り付けられていません。** → EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けたあと、スタッカーをきちんと閉じてください。 → EPカートリッジのタイプが違います。正しいEPカートリッジを取り付けてください。
74　カミヅ゛マリ ホンタイ　リョウメン　キュウシ	**紙づまりが発生しています。** → この後の「紙づまりの処理」に従って、つまった用紙を取り除いてください。
75　ヨウシサイズエラー　　1 増設ホッパが選択されているときは、ホッパ番号（1、2、または3）が右端に表示されます。	**指定サイズと異なる用紙がセットされています。** → 指定サイズの用紙をホッパーにセットして、[印刷可]スイッチを押してください。
76　トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期です。** → 「EPカートリッジの交換」に従ってEPカートリッジを交換後、スタッカーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76　トナーナシ”アラームは解除できません。（191ページ参照）

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
77 テイキホシュ	**定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。** → 販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
82 メモリオーバー	**印刷データを蓄えるメモリーが不足しています(メモリースイッチ6-2　OFFの場合のみ表示します)。** → [印刷可]スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83　インサツフカ”のアラーム表示をします。 メモリーを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「ページプロテクト」をONにすれば正しい印刷が可能になります。 増設RAMサブボードPR-MW-M001の増設をお勧めします。
83 インサツフカ	**メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしましたが、それでもメモリーが不足しています。** → [印刷可]スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行おうとしたページのデータを廃棄します。 メモリーを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「ページプロテクト」をONにすれば正しい印刷が可能になります。
84 フォーム オーバーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。** → [印刷可]スイッチを押してください。アラームの対象となった番号(×××)のフォームデータが読み捨てられます。 メモリーを増設し、メニューモード「メモリ セッテイ」の「メモリワリアテ」を「フォームトウロクユウセン」とすることでフォーム登録用メモリーを増加させることができます。
88 EPタイプチガイ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違います。** → 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。
XX コールXXX	**障害が発生しています。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
上記以外の表示	**障害が発生しています。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 → ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンタードライバーの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウよりジョブキャンセル機能を使って印刷を中止するようにしてください。

PrintAgentがおかしいときは

PrintAgentが思うように使えなかったり、動作がおかしかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の究明と処置を行ってください。

PrintAgentを正しく動作させるために

お使いのコンピューターのOSをWindows 2000にアップグレードする場合

Windows 98*/95、Windows NT 4.0/3.51用のプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）はWindows 2000では使用できません。プリンターソフトウエアをインストールしているWindows 98/95、Windows NT 4.0/3.51からWindows 2000にアップグレードする場合は、各OSごとに以下の指示に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentをアンインストールしてからWindows 2000へのアップグレードを行ってください。アップグレート後にご利用になるWindows 2000に対応したプリンターソフトウエアを再インストールしてください。

*以下、Windows 98 Second Editionを含みます。

＜Windows 98/95、Windows NT 4.0の場合＞

Windows 2000にアップグレードする前に、PrintAgentをアンインストールしてください。（手順は79ページ参照）

チェック

すでにOSをWindows 2000にアップグレードしてしまった場合には

プリンターソフトウエアをアンインストールせずにWindows 2000をインストールしてしまった場合は、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してプリンターソフトウエアを削除してください。手順については、ヘルプファイル（Paers.chm）、または添付のCD-ROMに収録されている「PrintAgent Eraser」のReadme.txtおよびオンラインマニュアルを参照してください。

＜Windows NT 3.51 の場合＞

Windows NT 3.51の場合、［PrintAgentセットアップ］を使ってPrintAgentのアンインストールを行っても、お使いの環境によってはWindows 2000にアップグレードできないことがあります。Windows NT 3.51上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentおよびプリンタードライバーを削除してください。（詳細は手順については218ページの「Windows 2000にアップグレードする際の注意事項」を参照してください。）

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項をネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

■ 共有プリンターの利用／提供について

本項目は、Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51では、Administratorsの権限のある方のみ設定を変更できます。[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- **課金されるネットワークを使っている**

  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合にも、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

  — ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  — プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  — ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合。

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

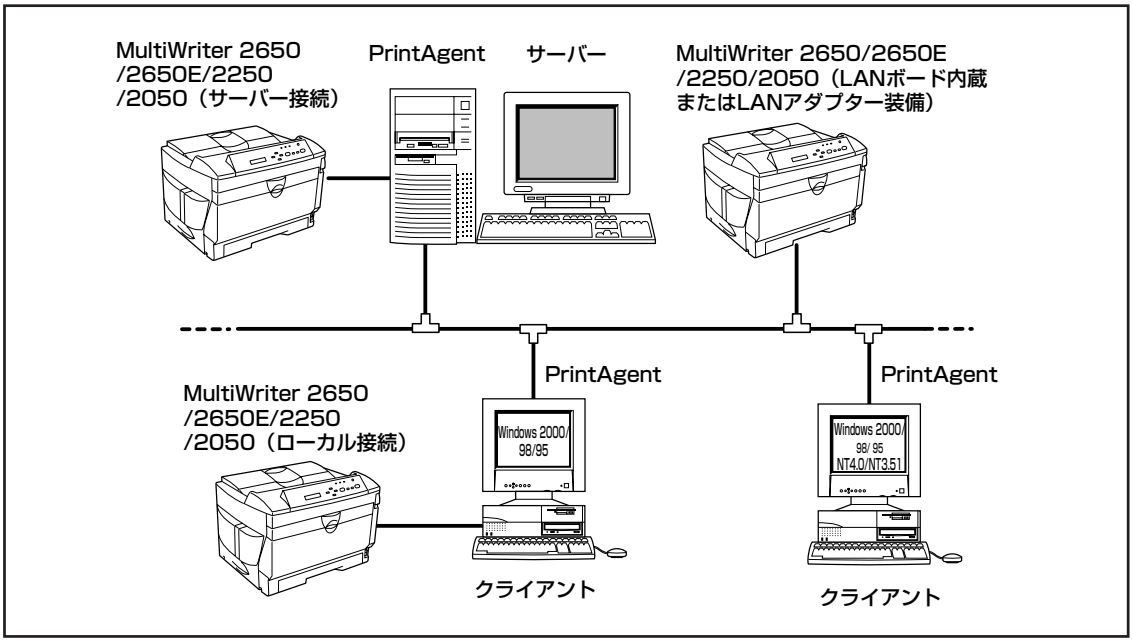
- **コンピューターの処理能力が充分でない**

  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

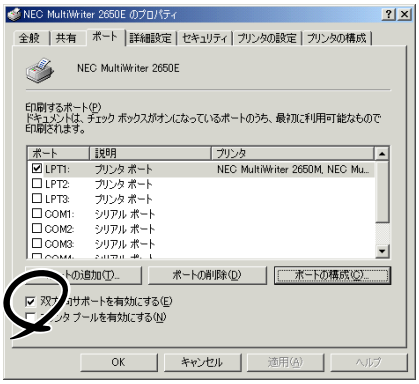
従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows 98/95の場合はプリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows NT 3.51の場合はプリンターの印刷先をLPR Port(TCP/IPネットワーク印刷サポート)に変更してご利用ください。

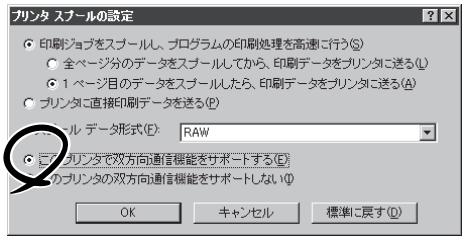
- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバー、クライアント両者にインストールされている必要があります。



- Windows 2000の場合、PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックしておく必要があります。



- Windows 98/95の場合、PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、プリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選択しておく必要があります。



- Windows NT 4.0の場合、PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、[デバイスプロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックしておく必要があります。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows 2000/NT 4.0の場合のプリンタプールはサポートしていません。サーバーコンピューターのプリンタプールを無効にするにはサーバーコンピューター上ですべてのプリンターの[プリンタのプロパティ](Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ])ー[ポート]シートの[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合はネットワーク管理者に連絡してください。

- Windows NT 3.51でローカルプリンターをお使いになる場合、印刷先を「LPTNx」に設定しておく必要があります。正しく設定されていないとPrintAgentが正常に機能しません。

- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPのみです。

- PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでご使用の場合、1台のサーバーに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバーの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業、またネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

- PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでご利用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上のメモリーを搭載し運用されることを推奨します。(Windows 2000 日本語版をプリントサーバーとしてご利用の場合は256Mバイト以上を推奨します。)

PrintAgentの動作中は

一つのコンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウまたはリモートパネルを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。Windows NT 3.51の場合、[プリンタの選択]ダイアログボックスは[システムアイコン]をクリックしたときのメニューから表示させることができます。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。

- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート(パラレルポート)の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照しプリンターポート(パラレルポート)の設定を変更していただくか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「メニューモード」(99〜106ページ)を参照してください。

重要

Windows 95で赤外線通信インタフェースアダプタを使ってMultiWriter 2650/2650E/2250/2050に接続している場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。

正しく動作しないときは

次の表にPrintAgentが正しく動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。なお、Windows NT 3.51をお使いの方は216ページの注意事項を、Windows NT 3.51からWindows 2000へアップグレードする方は218ページを参照してください。

PrintAgentが正しく動作しない(1/3)

症　状	原因と処理方法
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	**「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスで、「システムを自動的に起動する」をチェックしていない。** →チェックしてください。Windows 98/95の場合、次回起動時から、Windows 2000/NT4.0/NT 3.51の場合、次回ログオン時から自動的に表示されます。
	PrintAgentを終了している。 →Windows 2000/98/95/NT 4.0: [スタート]-[プログラム]-[MultiWriter 2650/2650E/2250/2050]-[PrintAgentシステム起動]を実行してください。 →Windows NT 3.51: [プログラムマネージャ]-[MultiWriter 2650/2650E/2250/2050]-[PrintAgentシステム起動]を実行してください。
プリンタステータスウィンドウが［スタート］メニューまたは［プログラムマネージャ］に登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →システムの管理者にご相談ください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	**プリンターフォルダーまたはプリントマネージャに「NEC MultiWriter 2650/2650E/2250/2050」のプリンターが登録されていない。** →PrintAgentおよびプリンタードライバーをインストールしてください。
	プリンタードライバーが変更されている。 →プリンタードライバーを変更すると誤動作の原因となります。プリンタードライバーを削除し、再インストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →権限を確認してください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
	コンピューターのメモリー不足。 →必要のないアプリケーションを終了してください。
	プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。 →コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
	パラレルポートの設定が正しくない。 →コンピューターのパラレルポートの設定を変更してください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。
	[通知形式のプロパティ]の設定が変更されている。 →設定内容を確認してください。

PrintAgentが正しく動作しない(2/3)

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →このインターフェースではプリンターの情報を取得することができずプリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。
	プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。 →Windows 98/95: プリンターのプロパティの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 →Windows 2000/NT 4.0: プリンターのプロパティの[ポート]-[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。 →Windows NT 3.51: ［印刷先］をLPT1（LPT2、LPT3）からLPTN1（LPTN2、LPTN3）に変更してください。
	プリンターが直接つながっているコンピューターがWindows 2000/NT 4.0でプリンタープールを使用している。 →Windows 2000上のすべてのプリンターの[プリンタのプロパティ]-[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。 →Windows NT 4.0上のすべてのプリンターの[デバイスプロパティ]-[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。
	お使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定とプリンターのセントロ設定が異なっている。 →双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」（212ページ）を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声を通知しない設定となっている。** →[通知形式のプロパティ]の設定を確認してください。
	[PSWのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が自動起動するになっていない。 →自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。
	ボリューム、Windowsのサウンドの設定が変更されている。 →設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対して、削除はできません。
	プリンターのアクセス権がない。 →ネットワーク管理者に権限を確認してください。
	印刷先がネットワーク共有プリンターである。 →ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがNTの場合は、クライアントでプリンターのインストール（作成）した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSをログオフ→ログオンしてください。

PrintAgentが正しく動作しない(3/3)

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない／自動起動してしまう	**[PSWのプロパティ]の設定が変更されている。** →設定を確認してください。
	LANボードまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。 →LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は[PSWのプロパティ]で[自分のドキュメントを印刷していないとき]の起動条件として[印刷中にアイコンで自動起動する]を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただしこの場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示が実際の構成と食い違っている	**プリンターが、双方向通信できないインターフェースで接続されている。またはプリンターがバッファー等を経由して接続されている。** →プリンターの現在の設定は読み込むことができません。双方向通信できないときは、初期状態として、最大構成が入っています。この場合の構成は、プリンタードライバーから設定が可能です。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。
	プリンターの情報をうまく取得できていない。 →ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により正しくプリンターの情報がとれなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。自動的に情報の再取得が行われます。

Windows NT 3.51 日本語版に関する注意事項

Windows NT 3.51 日本語版をお使いのお客様で、すでに他のプリンターのPrintAgentをインストールし、LANプリンターとして接続(NEC Network Portを利用)してご使用の場合、新しいプリンターソフトウエアをインストールする前に接続ポートの更新が必要な場合があります。対象となるポートは“xxx.xxx.xxx.xxx”と表示されているポートです。以下の「接続ポートの更新」で接続ポートの更新を行ってください。

1 ポートの削除

すでにインストールしてあるNEC Network Portを利用して、印刷先を設定してあるプリンタードライバーからポートの削除を行います。いくつかプリンターが登録されている場合は、LANプリンターとして登録されているすべてのプリンターに対して、下記の手順❶～❹を行い接続後、変更(仮設定)してからポートの削除を行ってください。

チェック

- この後、再設定を行いますので、プリンタードライバーとIPアドレスの関係をメモしておいてください。
- 削除するポートは“xxx.xxx.xxx.xxx (NEC TCP/IP Port)”または“xxx.xxx.xxx.xxx”です。

❶ プログラムマネージャーの[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

[プリントマネージャ]が表示されます。

❷ ポートを削除するためのプリンターを選択する。

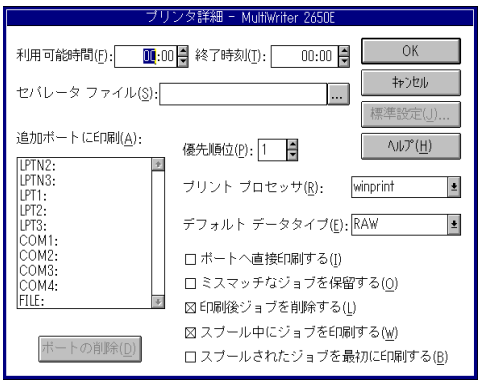
❸ [プリントマネージャ]の[プリンタ]メニューから[プリンタ情報]を選択する。

❹ [接続先]の仮設定として、「LPT1:」を選択する。

❺ 再び[プリントマネージャ]の[プリンタ]メニューから[プリンタ情報]を選択する。

❻ [プリンタ情報]ダイアログボックスの[詳細]をクリックする。

❼ [プリンタ詳細]ダイアログボックスの[追加ポートに印刷]リストボックスから削除するポートを選択し、[ポートの削除]をクリックしてポートを削除する。



❽ 再起動する。

2 プリンターソフトウエアのインストール

すべてのポートの削除を終えたら、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(27ページ)を参照して、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050プリンターソフトウエアをインストールしてください。

3 ポートの再設定

削除したポートは以下の手順で再設定を行います。

チェック

この時、ポートの削除時にメモしておいた内容に従って、削除した他のプリンタードライバーの印刷先を再設定します。

❶ プログラムマネージャの中の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

❷ 先にポートを削除したプリンターを選択する。

❸ [プリンタ]メニューから[プリンタ情報]を選択する。

❹ [プリンタ情報]ダイアログボックスの[印刷先]コンボボックスで[その他...]を選択する。

❺ [印刷先]ダイアログボックスの[利用可能な印刷モニタ]リストボックスで[NEC Network Port]を選択し、[OK]をクリックする。

❻ [NEC Network Port]ダイアログボックスの[IPアドレス入力]テキストボックスに先ほどメモしておいたIPアドレスを入力し、[OK]をクリックして、ポートを追加する。

❼ 再起動する。

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の印刷先が、共有プリンターやLANプリンターへの接続が必要な場合は、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(27ページ)を参照して変更を行います。

Windows 2000にアップグレードする際の注意事項

Windows NT 3.51 日本語版からWindows 2000 日本語版にアップグレードするお客様で、PrintAgentをお使いになっている場合は、「PrintAgent Eraser」で既存のプリンタードライバーとPrintAgentをアンインストールしてからWindows 2000対応のプリンターソフトウエアを再インストールする必要があります。以下の手順を行ってください。

「PrintAgent Eraser」はプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。「PrintAgent Eraser」については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「PrintAgent Eraser」のReadme.txtを参照してください。

❶ プリンターの設定をメモする。

チェック

「PrintAgent Eraser」による処理は、以下の設定もクリアされます。必要に応じて設定をメモしておいてください。

- プリンタードライバーの接続先
  —インターネットアドレス(IPアドレス)
  —ネットワークパス
- 印刷ログの設定
- リプリント機能の各種設定
- プリンタステータスウィンドウの各種設定

❷ 「PrintAgent Eraser」でPrintAgentとプリンタードライバーを削除する。

「PrintAgent Eraser」の使い方については、「PrintAgent Eraser」に添付の「Readme.txt」、またはヘルプファイル(「Paers.hlp」)を参照してください。

❸ OSをWindows 2000にアップグレードする。

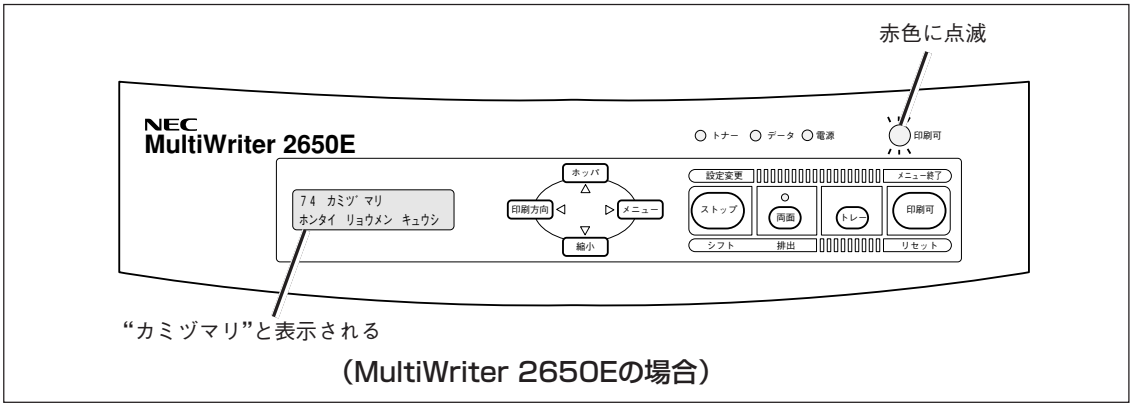
OS添付のマニュアルを参照してください。

❹ Windows 2000用のご利用になるプリンタードライバーおよびPrintAgentをインストールする。

インストール手順については、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(27ページ)を参照してください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、印刷可(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ　ホンタイ　リョウメン　キュウシ”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが赤色に点滅)になります。



(MultiWriter 2650Eの場合)

紙づまりの処理

ディスプレイ下段の表示は、紙づまりが発生している箇所を表しています。

“キュウシ” ..... Ⓐ給紙部
“ホンタイ” ..... Ⓑプリンター内部またはⒸ排出部
“リョウメン” ..... Ⓓ両面印刷ユニット(オプションの両面印刷ユニット取り付け時のみ表示)

これら3種類の表示のうち、紙づまりが発生している箇所だけがディスプレイに表示されます。

次ページの図を参考にしてⒶ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓのいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、221ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

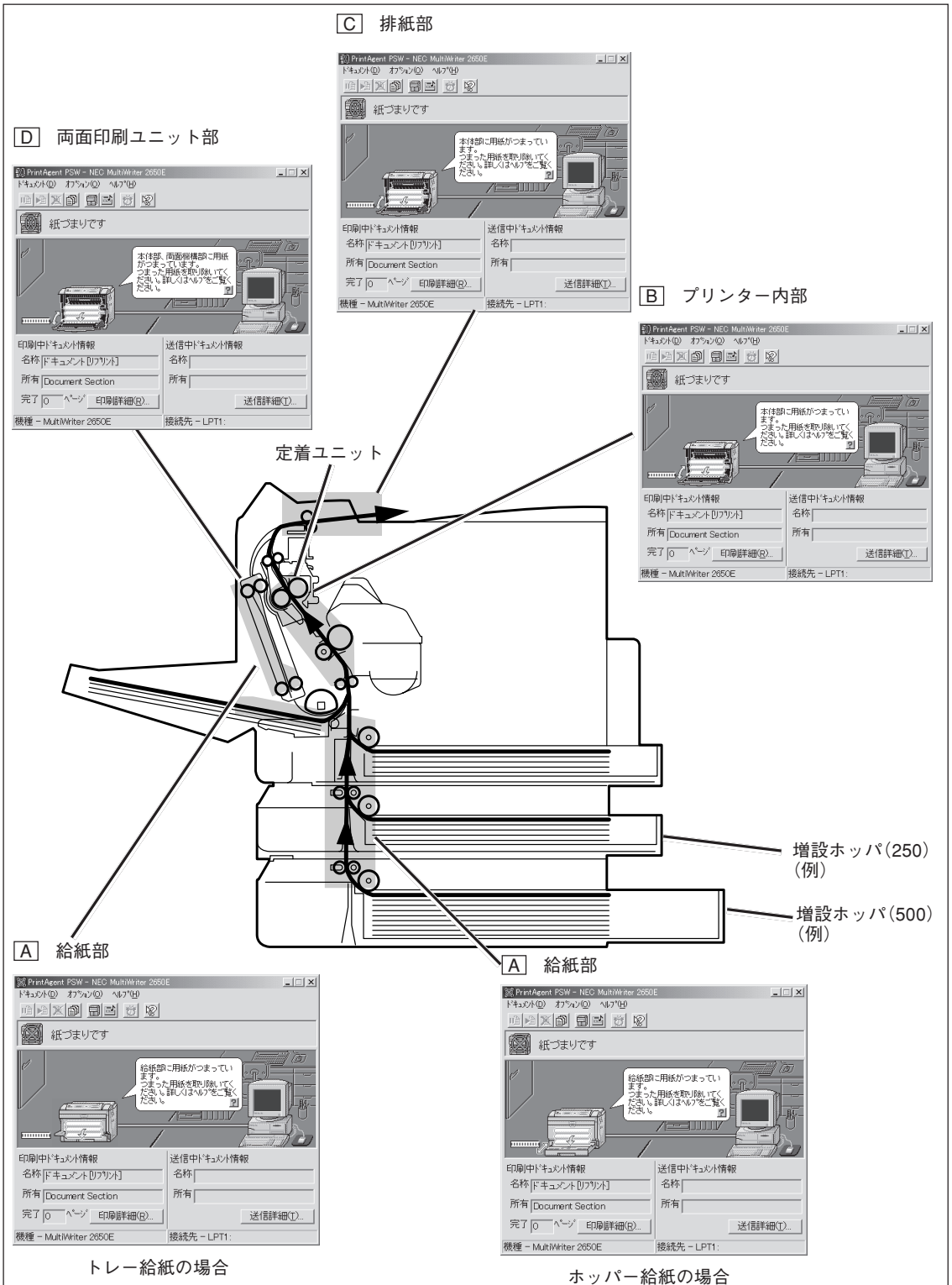
つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷が再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり処理後の確認」(224ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

チェック

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050では、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

Ⓐ～Ⓓが紙づまり発生個所です。詳細については次ページ以降を参照してください。



トレー給紙の場合

ホッパー給紙の場合

⚠注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

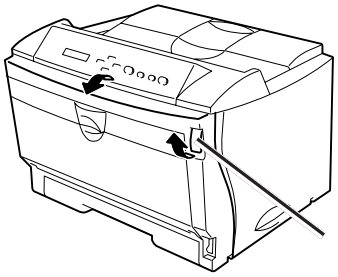
紙づまりの発生箇所

A 給紙部の紙づまり

＜ホッパー給紙で紙づまりが発生した場合＞

❶ プリンターの電源をONにしたままフロント開閉レバーを手前に引いてロックを外し、フロントカバーをゆっくりと開ける。

フロントカバーが少し開いて止まります。

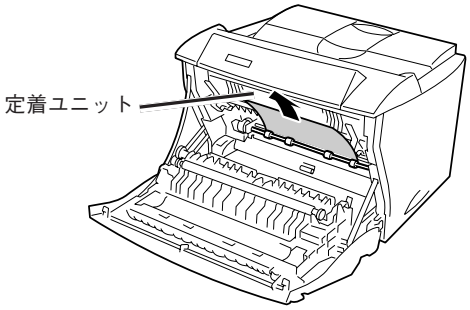


❷ つまった用紙をゆっくり引き抜く。

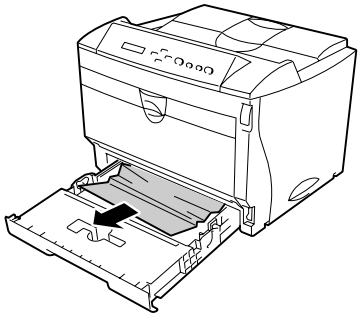
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

⚠注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

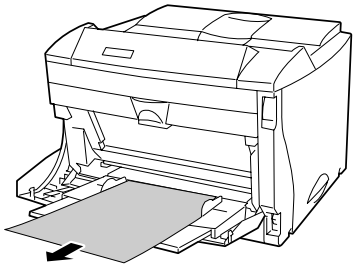


❸ 用紙カセット内でつまっている場合は、用紙カセットを静かに引き出し、つまった用紙を取り除く。



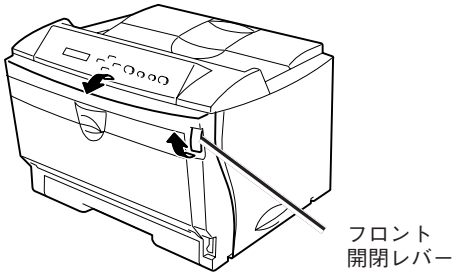
＜トレー給紙で紙づまりが発生した場合＞

❶ プリンターの電源をONにしたままトレーにセットしてある用紙を取り除く。



❷ トレーを閉じて、フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外し、フロントカバーをゆっくりと開ける。

フロントカバーが少し開いて止まります。

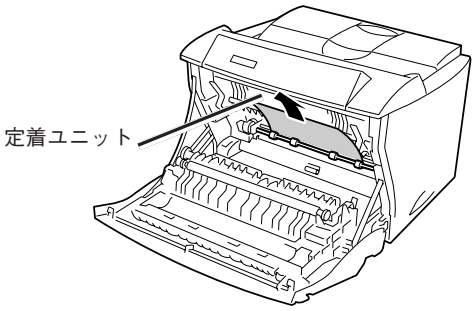


❸ つまった用紙をゆっくり引き抜く。

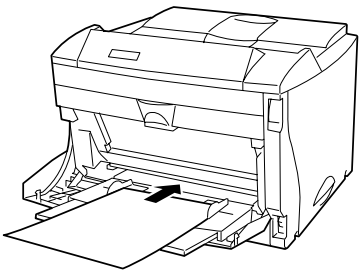
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

⚠注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。



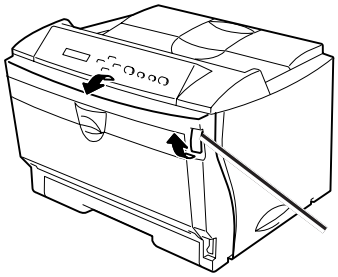
❹ **フロントカバーを閉じて、トレーを開き、用紙をセットし直す。**



B プリンター内部の紙づまり

❶ **プリンターの電源をONにしたままフロント開閉レバーを手前に引いてロックを外し、フロントカバーをゆっくりと開ける。**

フロントカバーが少し開いて止まります。

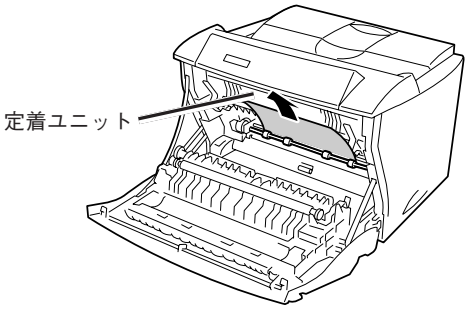


❷ **つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引き抜く。**

用紙がローラーにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜きます。

⚠ 注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。



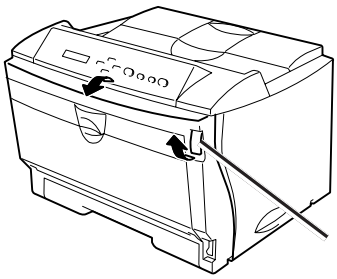
C 排出部の紙づまり

❶ プリンターの電源をONにしたままフロント開閉レバーを手前に引いてロックを外し、フロントカバーをゆっくりと開ける。

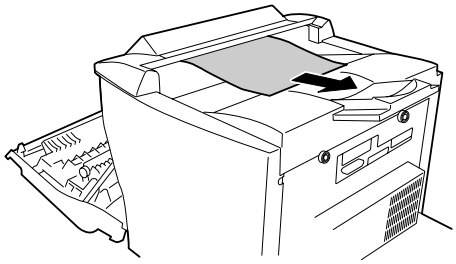
フロントカバーが少し開いて止まります。

重要

フロントカバーを開けてからつまった用紙を取り除いてください。フロントカバーを開けないで引き抜こうとしても引き抜けない場合があります。無理に引き抜くとプリンターの故障の原因となります。



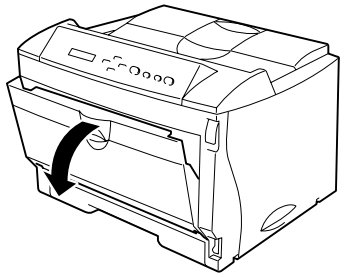
❷ 排出口から用紙をゆっくりと引き抜く。



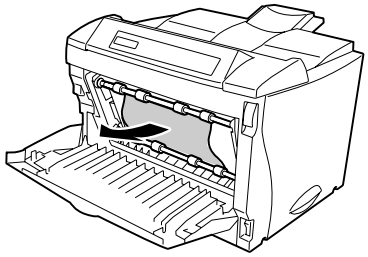
D 両面印刷ユニット部の紙づまり

❶ プリンターの電源をONにしたまま両面印刷カバーを開く。

両面印刷カバーのくぼみ部を持ち、手前に引きます。



❷ つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引き抜く。



紙づまり処理後の確認

つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために、次の事項を確認してください。

- □ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □ スタッカー、フロントカバー、両面カバーは確実に閉じられていますか。
- □ 用紙カセットは奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □ 用紙カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- □ 用紙は正しくセットされていますか。
- □ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」(273ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
- □ 用紙の量が多すぎませんか。エンドガイドの積載量制限マーク(▼)以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で、標準ホッパーの容量は約250枚です。)
- □ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- □ プレ印刷用紙(すでに罫線など印刷されている用紙)を使用していませんか。

上記の確認後、「テスト印刷をする」(22ページ)に従って、印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後は、ローラー等に付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

ユーザーサポートについて

NECはMultiWriter 2650/2650E/2250/2050の「お客様登録」された方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

お客様登録申込書について

添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、ご記入の上、投函してください。

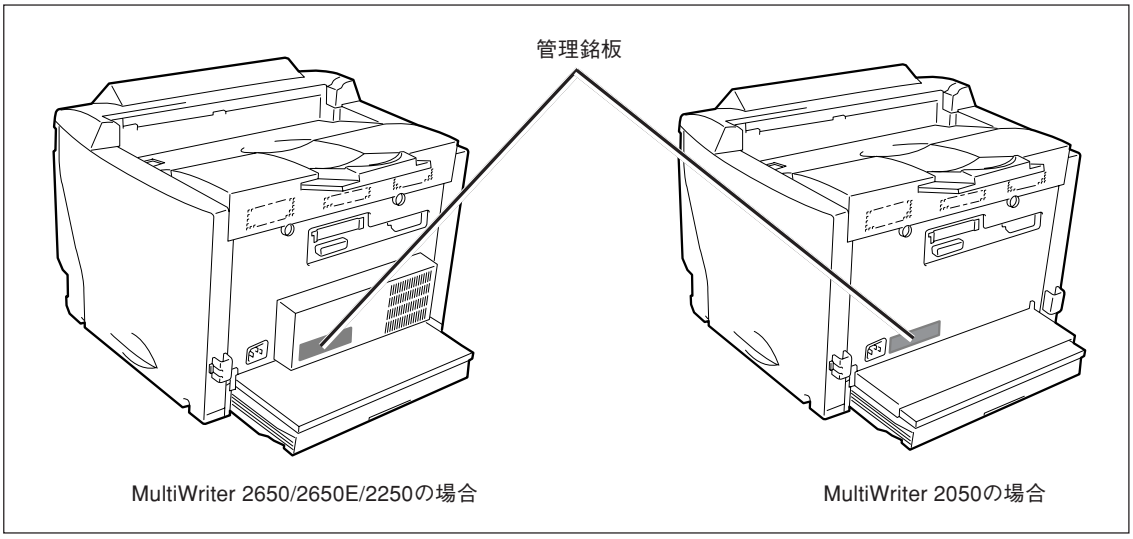
保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については「保証書」および本書「保守サービスについて」(227ページ)をご覧ください。

保守サービスについては、次ページの「保守サービスについて」をご覧の上、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(下図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

❶ 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
❷ 定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認してください。
❸ 「故障かな？と思ったら」（199～224ページ）をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、『保証書』を添えてお申し込みください。

またプリンターをお持ち込みいただくときは本書や梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンターを梱包してください。

重要

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、NECは直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスは以下のような種類があります。

- 契約保守 ..... 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 ..... サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- 持込修理 ..... お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。
- 引取修理 ..... 修理品を引き取りにうかがい、修理後お届けするシステムです。

<table>
<tr><th rowspan="2">種　類</th><th rowspan="2">概　要</th><th colspan="2">修理料金</th><th rowspan="2">お支払い方法</th><th rowspan="2">受付窓口*1</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td>契約保守</td><td>ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。</td><td colspan="2">機器構成、契約期間に応じた一定料金</td><td>契約期間に応じて一括払い</td><td rowspan="2">NECフィールディング(株)</td></tr>
<tr><td>出張修理</td><td>修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。</td><td>無料*2</td><td>修理料
＋
出張料</td><td rowspan="2">そのつど清算</td></tr>
<tr><td>持ち込み修理</td><td>修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。</td><td>無料</td><td>修理料のみ</td><td>NECフィールディング(株)
NEC Bit-INN</td></tr>
<tr><td>引き取り修理</td><td>お客様のご都合で修理品をお持ち込みいただけない場合は、もよりのサービス拠点より修理品を引き取りに参ります。修理完了後お届けいたします。</td><td colspan="4">本製品は引き取り修理いたしません。</td></tr>
</table>

*1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」か、インターネットのホームページアドレス http://www.fielding.co.jp/per/index.htmをご覧ください。

*2　本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の製品寿命は印刷枚数30万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。また、15万枚ごとに定期保守が必要です。継続使用される場合や定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用部品について

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル（コピー版）を実費で再度購入することができます。

- 品名　　MultiWriter 2650/2650E/2250/2050　ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

PCマニュアルセンター
URL：http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/
電話：03-5476-1900
受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
（土曜、日曜、祭日は、ご利用になれません）
FAX：03-5476-1967
受付時間　24時間（いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります）

情報サービスについて

プリンター製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネット「121ware.com」アドレス　http://121ware.com

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談は下記で電話にて承ります。

NECパソコンインフォメーションセンター
（電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品およびオプションを取り外してから行ってください。

❶ **付属品および消耗品(EPカートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンターケーブル、ケーブルクランプ)を取り付けたときと逆の手順で取り外す。(「1章　プリンターの設置」を参照してください。)**

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

❷ **オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、本マニュアルの7章を参照して取り外す。**

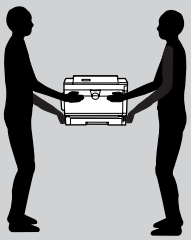
❸ **購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。**

⚠ 注 意

プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです。(EPカートリッジ含まず)。

- MultiWriter 2650：約20kg
- MultiWriter 2650E：約19kg
- MultiWriter 2250、MultiWriter 2050：約18kg

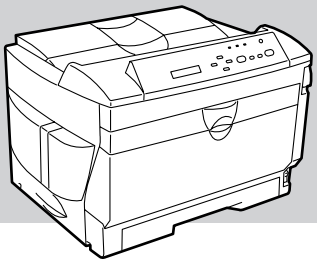
装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて二人以上で運んでください。装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。



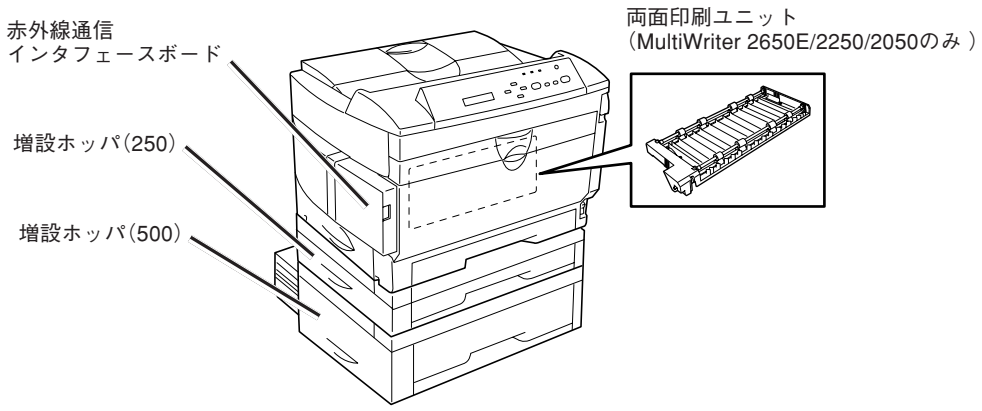
プリンター・消耗品を廃棄するときは

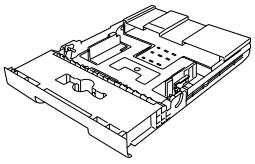
- NECは使用済みのEPカートリッジの回収を行っています。EPカートリッジはそのまま捨てずに、お求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。
- 装置の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。

7章
オプション

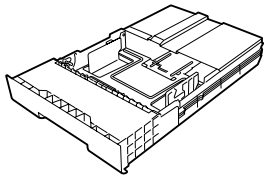


この章では、MultiWriter 2650/2650E/2250/2050用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、およびテスト印刷の方法などについて説明します。



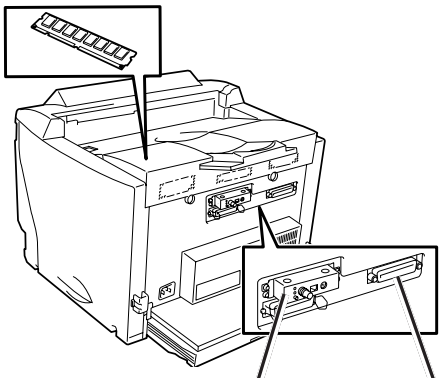


増設カセット(250)

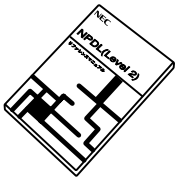


増設カセット(500)

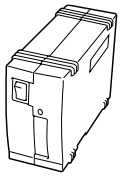
増設RAMサブボード



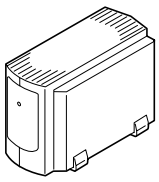
USBプリンターケーブル



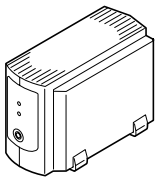
日本語ページプリンタ言語
NPDL(Level 2)
リファレンスマニュアル



赤外線通信インタフェース
アダプタ



LANアダプタ(TCP/IP)



LANアダプタ(TCP/IP)
(リモート電源制御対応)

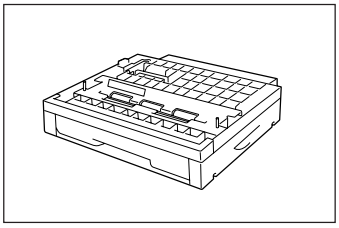
オプション一覧

オプション品の紹介

オプション品のご購入にあたりましては、お買い求めの販売店、または添付の「サービス網一覧表」に記載されているサービスステーションなどにお問い合わせください。

ホッパー、カセット

増設ホッパ(250)

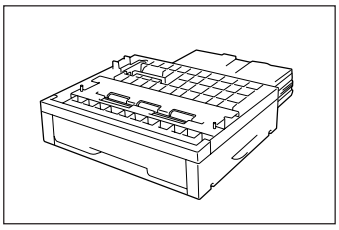


A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズの用紙(普通紙)を250枚までセットすることができます。

PR2000/4R-02は使用できません。お買い求めの際はご注意ください。PR-L2200X-02はプリンター本体と外観色が異なりますが、MultiWriter 2250/2050では問題なく使用できます。

項目	MultiWriter 2650/2650E 型番 PR-L2650-02	MultiWriter 2250/2050 型番 PR-L2200X2-02
サイズ	460(W)×566(D)×95(H) mm (A3、B4サイズセット時、最大) 460(W)×495(D)×95(H) mm (A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)	460(W)×566(D)×95(H) mm (A3、B4サイズセット時、最大) 460(W)×495(D)×95(H) mm (A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)
質量	約5.3kg	約5.3kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、A5、B5、レターサイズ	普通紙　A3、B4、A4、A5、B5、レターサイズ
備考	●2段目、3段目に増設可能 ●MultiWriter 2250/2050では使用できません。	●2段目、3段目に増設可能 ●MultiWriter 2650/2650Eでは使用できません。

増設ホッパ(500)



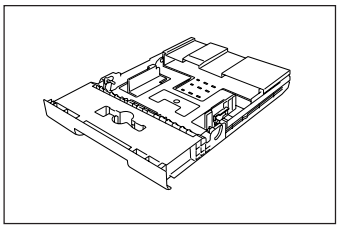
A3、A4、B4の用紙(普通紙)を500枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03は使用できません。お買い求めの際はご注意ください。PR-L2200X-03はプリンター本体と外観色が異なりますが、MultiWriter 2250/2050では問題なく使用できます。

項目	MultiWriter 2650/2650E 型番 PR-L2650-03	MultiWriter 2250/2050 型番 PR-L2200X2-03
サイズ	460(W)×590(D) ×120(H) mm	460(W)×590(D)×120(H) mm
質量	約6kg	約6kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4	普通紙　A3、B4、A4
備考	●2段目、3段目に増設可能 ●MultiWriter 2250/2050では使用できません。	●2段目、3段目に増設可能 ●MultiWriter 2650/2650Eでは使用できません。

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050それぞれが対応しているホッパーは以下のとおりです。

ホッパ型名	MultiWriter 2650/2650E	MultiWriter 2250/2050
PR-L2200X2-02	×	○
PR-L2200X2-03	×	○
PR-L2650-02	○	×
PR-L2650-03	○	×

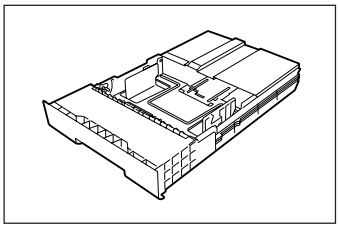
増設カセット(250) (型番 PR-L2200X2-04)



MultiWriter 2650/2650E/2250/2050のホッパ、増設ホッパ(250)用の増設カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意して、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換して使用する場合に便利です。PR2200X-04はプリンター本体、増設ホッパ(250)と外観色が異なりますが、問題なく使用できます。

サイズ　：　387(W)×566(D)×54(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
387(W)×495(D)×54(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)
質量　：　約1.8kg

増設カセット(500) (型番 PR-L2200X2-05)



増設ホッパ(500)用の増設カセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。PR2200X-05はプリンター本体、増設ホッパ(500)と外観色が異なりますが、問題なく使用できます。

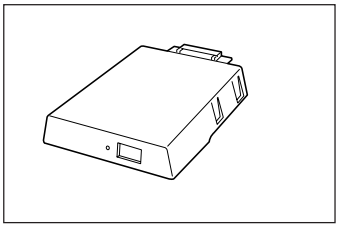
サイズ　：　387(W)×590(D)×79(H)mm
質量　：　約2.1kg

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050それぞれが対応しているカセットは以下のとおりです。

	増設ホッパ (250)	増設ホッパ (500)	MultiWriter 2650/2650E/2250/2050
カセット名	PR-L2200X2-02 PR-L2650-02	PR-L2200X2-03 PR-L2650-03	標準ホッパー
PR-L2200X2-04	○	×	○
PR-L2200X2-05	×	○	×

インターフェースオプション

赤外線通信インタフェースボード (型番 PC-PR-R01)

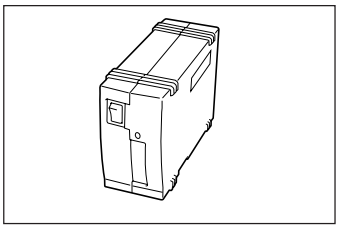


プリンターケーブルを使用せずに赤外線通信で印刷をすることができます。

PC-PR-R01は、プリンターのフロントインターフェースコネクターに接続するプラグインタイプのインターフェースボードです。IrDA規格に準拠した赤外線通信機能を装備し、コンピューターとプリンターをプリンターケーブルを使用しないで接続することができます。Windows 95環境のみ対応。

ただし、PrintAgentのように双方向通信が必要な機能は使用できません。

赤外線通信インタフェースアダプタ (型番 PC-CA291)

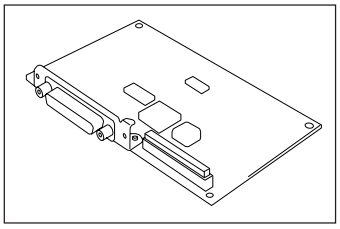


PC-CA291は、インターフェースケーブルを使ってプリンターに接続する外付けタイプのインターフェースアダプタです。IrDA規格に準拠した赤外線通信機能を装備し、コンピューターとプリンターをプリンターケーブルを使用しないで接続することができます。Windows 95環境のみ対応。

ただし、PrintAgentのように双方向通信が必要な機能は使用できません。

プロッターエミュレーションボード (型番 PR-L2650M-06)

(MultiWriter 2650/2250対応)



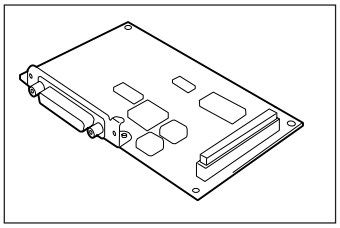
プロッタHP 7550対応のアプリケーションから印刷することができます。

日本ヒューレット・パッカード社のプロッタHP 7550のアプリケーションから印刷することができるプリンター内蔵型のプロッターエミュレーションボードです。RS-232Cインターフェースとしても利用できます。

MultiWriter 2650/2250ではPR-L2650M-06以外のプロッターエミュレーションボードは使用できません。お買い求めの際はご注意ください。

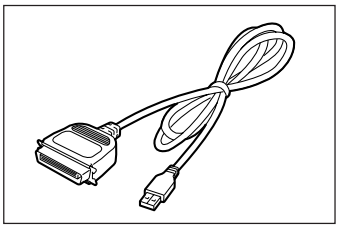
プロッターエミュレーションボード (型番 PR-L2050-06)

(MultiWriter 2050対応)



MultiWriter 2050ではPR-L2050-06以外のプロッターエミュレーションボードは使用できません。お買い求めの際はご注意ください。

USBプリンタケーブル(型番 PR-CA-U01/PR-CA-U02)



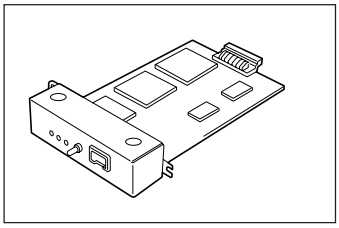
このUSBプリンターケーブルは、PC98-NXシリーズでご使用いただけます。

USBプリンターケーブルをご使用になる場合、コンピューターにUSBプリンターケーブルドライバーをインストールする必要があります。すでにコンピューターにケーブルドライバーがインストールされている場合、ケーブルドライバーのアップデートが必要になる場合があります。

USBプリンターケーブルに関する最新情報は情報サービス窓口(228ページ参照)より提供していますので、ご利用ください。(情報サービスの問い合わせ先は、USBプリンターケーブルのマニュアルを参照してください。)

ネットワークオプション

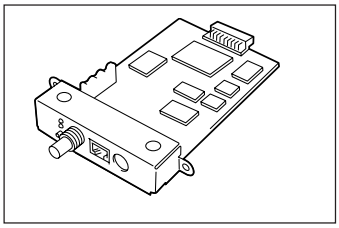
LANボード(型番 PR-NP-01T2)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している内蔵型LANボードです。さらに、MultiWriter 2650/2650E/2250と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

MultiWriter 2650/2650E/2250で、Printer-MIBを有効にする、操作パネルによるIPアドレス設定、サブネットマスクの設定機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。プリンターの動作双方向をECPモードにし、操作パネルからIPアドレス、サブネットマスクを設定するには、「メニューツリー」(106ページ)[セントロセッテイメニュー]と[LANセッテイメニュー]の設定を行ってください。LANボードの取り付けは、256ページを参照してください。

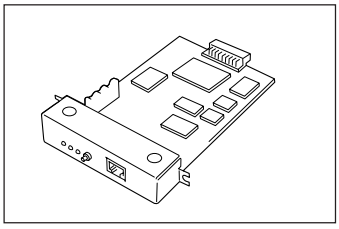
マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)



10BASE-T、10BASE2、LocalTalkにインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

また別売の拡張プリンタドライバ(PR2200NW2-21)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)

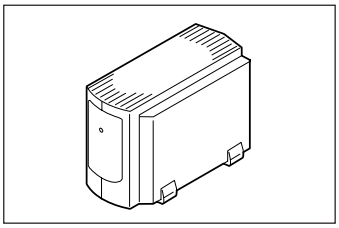


100BASE-TX、10BASE-Tにインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

LANボードネットワーク環境

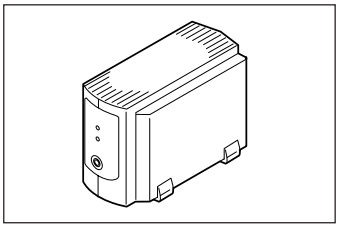
ネットワークOS		プロトコル	PR-NP-01T2	PC-PR-L01	PC-PR-L02
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J（NDS対応）	IPX/SPX	×	○	○
IntranetWare	4.11J（NDS対応）	IPX/SPX	×	○	○
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP	○	○	○
		DLC	×	○	○
LANマネージャ	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LAN ServerJ3.0	NetBEUI	×	○	×
Windows	2000	TCP/IP	○	○	○
		DLC	×	○	○
Windows	98/95（NEC TCP/IP Printing Systemにより対応）	TCP/IP	○	○	○
Macintosh	漢字Talk7.1.X、7.5.X、Mac OS 7.6.X、8.0、8.1、8.5、8.6（ただしQuickDraw GXには未対応）	AppleTalk EtherTalk	×	○	×
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)	×	○	○

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-02T2)



インターフェースケーブルを使ってプリンターに接続する外置き型のLANアダプターです。100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応したアダプターです。さらに、MultiWriter 2650/2650E/2250と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-03TR2)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応したアダプターです。さらに、MultiWriter 2650/2650E/2250と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。PrintAgent(プリンタ管理ユーティリティ)のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。

LANアダプターネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル	PR-NP-02T2	PR-NP-03TR2
Windows	2000	TCP/IP	○	○
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP	○	○*1
Windows	98/95(NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP	○	○
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)	○	○

*1 Windows NT 3.1には対応していません。

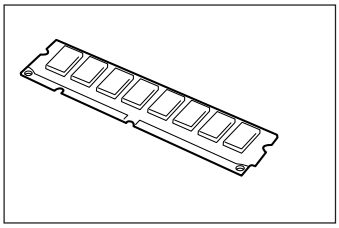
MultiWriter 2650/2650E/2250で、Printer-MIBを有効にする、操作パネルによるIPアドレス設定、サブネットマスクの設定機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。プリンターの動作双方向をECPモードにし、操作パネルからIPアドレス、サブネットマスクを設定するには、「メニューツリー」(106ページ)[セントロセッテイメニュー]と[LANセッテイメニュー]の設定を行ってください。LANアダプターの取り付けは、257ページを参照してください。

LANボード/LANアダプターが対応している環境は以下のとおりです。

タイプ/ネットワーク環境		PR-NP-01T2	PC-PR-L01	PC-PR-L02	PR-NP-02T2	PR-NP-03TR2
内蔵型/外置き型		内蔵	内蔵	内蔵	外置き	外置き
マルチプロトコル対応		X	○	○	X	X
TCP/IPプロトコル対応		○	○	○	○	○
	リモート電源制御対応	X	X	X	X	○
100BASE-TX		○	X	○	○	○
10BASE-T		○	○	○	○	○
10BASE-2		X	○	X	X	X
LocalTalk		X	○	X	X	X

メモリー

増設RAMサブボード(型番 PR-MW-M001)



MultiWriter 2650/2650E/2250/2050には1枚だけ取り付けることができます。

取り付けることにより次の効果があります。

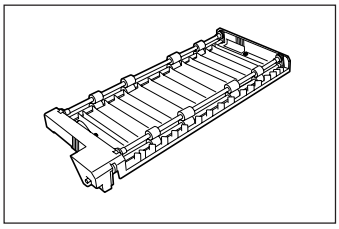
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない両面印刷などの解消
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050では、PR-MW-M001以外の増設RAMサブボードは使用できませんのでお買い求めの際は注意してください。

両面印刷ユニット

両面印刷ユニット(型番 PR-L2000X2-DL)

(MultiWriter 2650E/2250/2050に対応)



MultiWriter 2650は標準装備です。

MultiWriter 2650E/2250/2050に取り付けることで両面印刷を行うことができます。

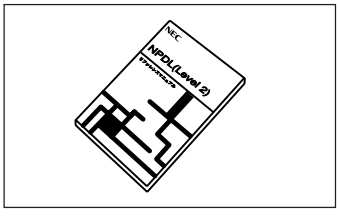
印刷できる用紙については、付録「両面印刷時」(274 ページ)をご覧ください。

両面印刷時のメモリー不足を解消するため、メモリーの増設をおすすめします。

リファレンスマニュアル

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル

(型番 PC-PRNPDL2-RM)



ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

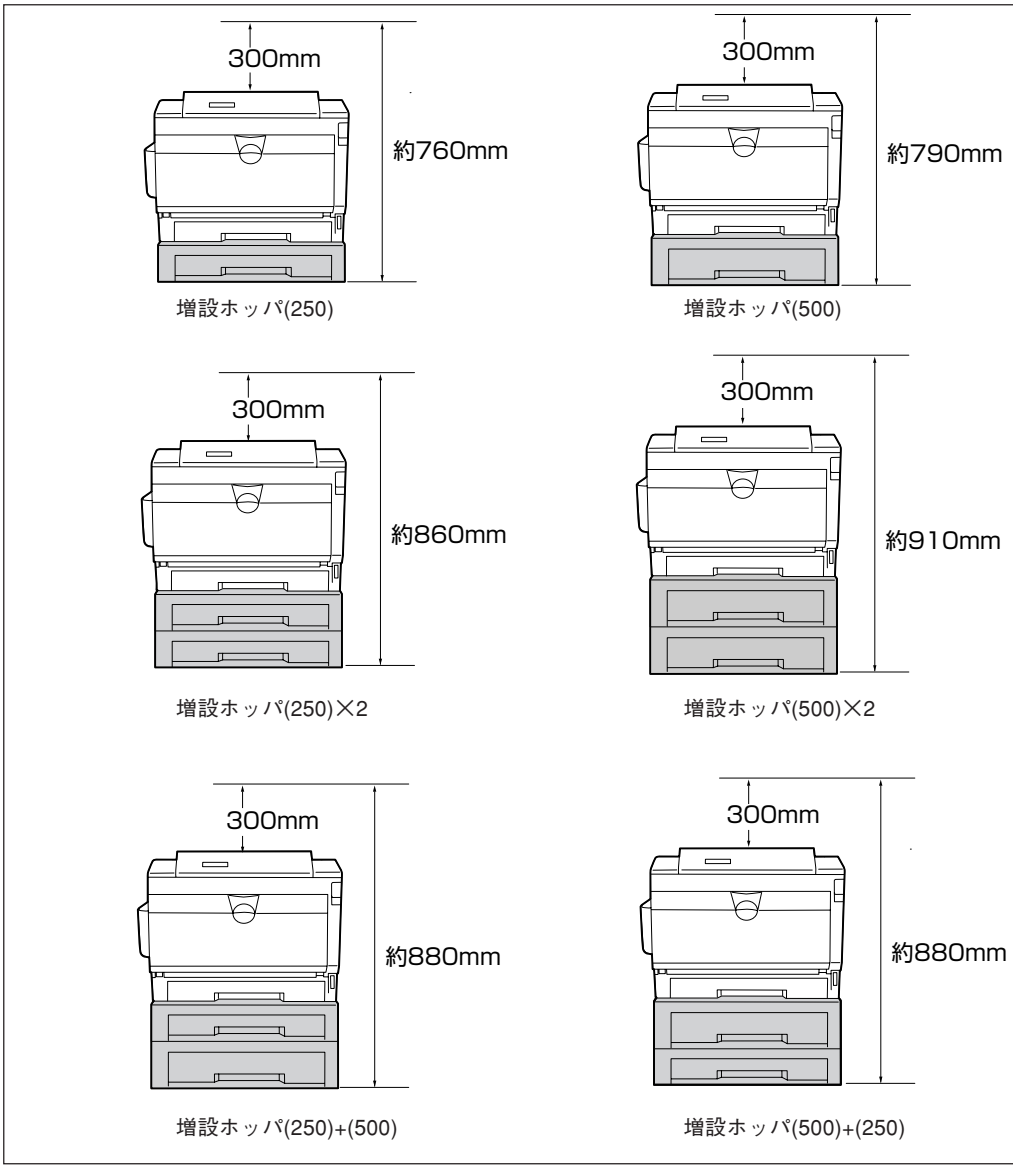
増設ホッパー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 2650/2650EにはPR-L2650-02増設ホッパ(250)とPR-L2650-03増設ホッパ(500)の2種類の増設ホッパーを組み合わせて3段まで増設できます。MultiWriter 2250/2050にはPR-L2200X2-02増設ホッパ(250)とPR-L2200X2-03増設ホッパ(500)の2種類の増設ホッパーがそれぞれ用意され、3段まで増設可能です。

PR2200X-02とPR2200X-03はプリンター本体と外観色が異なりますが、MultiWriter 2250/2050では問題なく使用できます。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

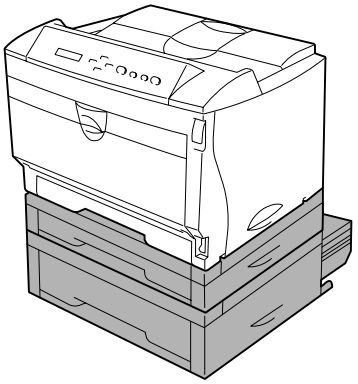
増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについては12ページをご覧ください。



設置に必要な高さ

増設ホッパーの取り付け

増設ホッパ(250)/(500)は、上から2段目(ホッパー2)、3段目(ホッパー3)どちらにでも取り付けることができます。
2段目と3段目に取り付ける方法は同じです。ここでは2段目に取り付ける方法を示します。



⚠ 注意

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050はそれぞれ標準で約20kg/19kg/18kg/18kgの質量があります。取り付けは2名以上で行ってください。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードとインターフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンターから取り外す。

重要

電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

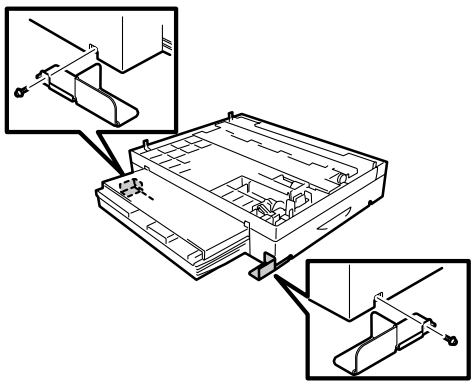
❷ プリンターを一時的に移動する。

プリンターの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

❸ 増設ホッパーにステーを取り付ける。

重要

ステーは設置するとき一番下になる増設ホッパー後方の左右切り欠き部に取り付けてください。



❹ プリンターのあった場所に増設ホッパーを置く。

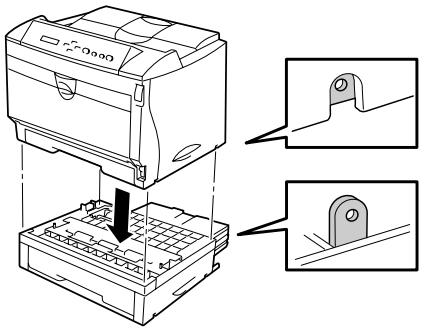
増設ホッパーの向きに注意してください。

❺ 増設ホッパーの上にプリンターを取り付ける。

取り付けピンに合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。
このとき、プリンターの切り欠き部と増設ホッパー側の取り付け金具が合っていることを確認します。

チェック

増設ホッパーを3段目にも取り付ける場合は、3段目の増設ホッパーを設置した後、2段目の増設ホッパー、プリンターの順でひとつずつ乗せてください。

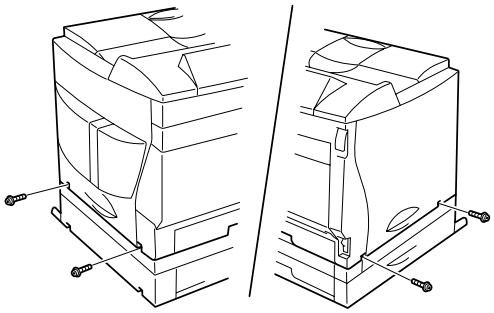


❻ プリンターと増設ホッパーをネジで固定する。

ネジを固定する部分は、プリンター左側面に2か所、右側面に2か所あります。4か所ともしっかりと固定してください。

チェック

増設ホッパーを3段目にも取り付ける場合は、さらに4か所をネジで固定してください。



❼ 電源コードとインターフェースケーブルをプリンターに取り付ける。

チェック

増設ホッパーの用紙カセットにはカセット内にセットされている用紙サイズを外見から確認するための用紙ラベルセットが添付されています。カセット前面の見やすい場所に貼り付けてお使いください。

増設ホッパーへの用紙のセット

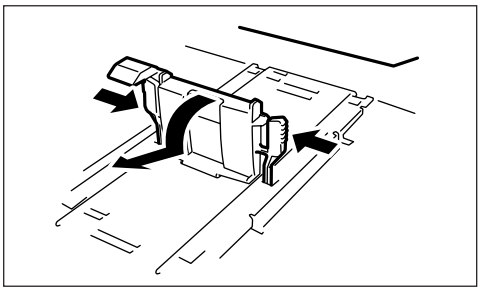
増設ホッパーへの用紙のセット方法は標準のホッパーと同じです。「用紙をセットする」(19ページ)をご覧ください。

チェック

- ただし、増設ホッパ(500)にセットできる用紙の種類、量は異なります。増設ホッパ(500)にはA3、B4、A4サイズを500枚までセットできます。また、増設ホッパ(500)の用紙カセットは縮ませることはできません。

- 増設ホッパ(500)のエンドガイドは、標準のホッパー、増設ホッパ(250)のエンドガイドと形状が異なります。

  増設ホッパ(500)のエンドガイドの取り外し/取り付けは右図のように左右のつまみを押しながら行ってください。エンドガイドはA3サイズの用紙をセットするときも使用します。



プリンターの設定

次の場合はプリンターのメモリースイッチ(MSW)の設定を変更する必要があります。設定の変更はリモートパネルを使うことができます。詳しくは「リモートパネル」(185ページ)をご覧ください。

- 増設ホッパ(500)を取り付けたとき
- 増設ホッパ(500)から増設ホッパ(250)に取り換えたとき
- 増設ホッパ(250)から増設ホッパ(500)に取り換えたとき

増設ホッパ(250)を初めてご使用になるときは、プリンターの設定を行う必要はありません。次の「ホッパーの切り替え」へ進んでください。

ホッパー	変更前 → 変更後	MSWの設定
2段目	増設ホッパ（250） → （変更なし）	MSW7-4 0
	増設ホッパ（250） → 増設ホッパ（500）	MSW7-4 1
	増設ホッパ（500） → 増設ホッパ（250）	MSW7-4 0
3段目	増設ホッパ（250） → （変更なし）	MSW7-5 0
	増設ホッパ（250） → 増設ホッパ（500）	MSW7-5 1
	増設ホッパ（500） → 増設ホッパ（250）	MSW7-5 0

次の手順は2段目に増設ホッパ(500)を取り付けたときの操作パネルによる設定の変更方法です。3段目に取り付ける場合も同様の手順で行います。

❶ プリンターの電源をONにし、[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。

```
テストメニュー                →
```

❸ [▲]スイッチを1回押す。

“メモリスイッチメニュー →”と表示されます。

```
メモリスイッチメニュー        →
```

❹ [▶]スイッチを1回押す。

MSW1が表示されます。

```
          12345678
MSW1      00000000*
```

❺ [▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押して、MSW7を表示させる。

```
          12345678
MSW7      00000000*
```

❻ [▶]スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動させる。

```
          12345678
MSW7      00000000*
```

❼ [設定変更]スイッチを押して、MSW7-4を1に変更する。

```
          12345678
MSW7      00010000*
```

❽ [印刷可]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。

ホッパーの切り替え

取り付けた増設ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ2」または「ホッパ3」にします。
ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

■ プリンターが初期化されるまで維持する方法 .....[ホッパ]スイッチによる切り替え
■ プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法..... メニューモードによる切り替え

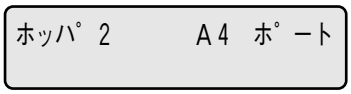
次にそれぞれの選び方について説明します。

■ プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの[ホッパ]スイッチを使って増設ホッパーを選択します。

❶ [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

❷ [ホッパ]スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ2”、“ホッパ3”にする。



❸ [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

❹ コンピューターからデータを送る。

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- トレー給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更
- プリンターを初期化する

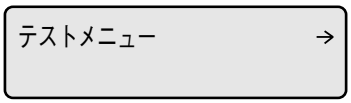
■ プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

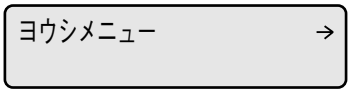
❷ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。



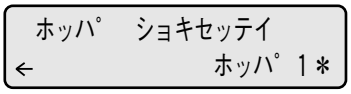
❸ [▼]スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー　→”と表示されます。

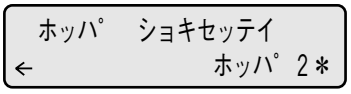


❹ [▶]スイッチを2回押す。

ホッパー初期設定の表示になります。

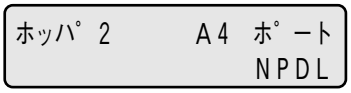


❺ **[設定変更]スイッチを押して、ディスプレイ下段を “← ホッパ2＊”または、“← ホッパ3＊”に変更する。**



❻ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

ディスプレイ上段に“ホッパ2 ×× ×××”、または“ホッパ3 ×× ×××”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。



この状態は以下の方法で変更しないかぎり維持されます。

- コンピューターからの変更
- 同じ方法でホッパーの選択を変更

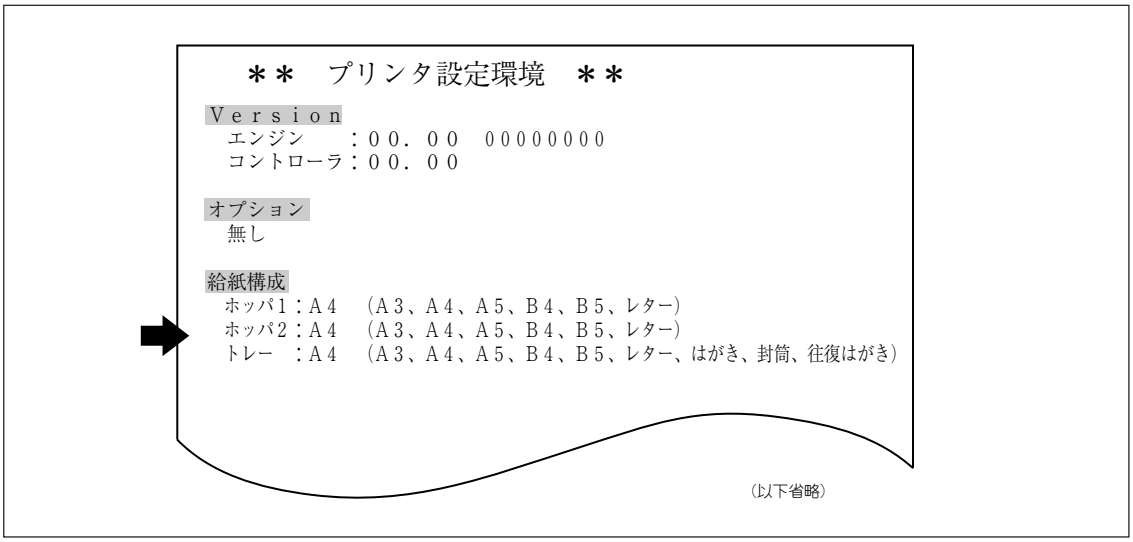
リレー給紙について

印刷しているホッパーの用紙がなくなったときに、自動的に別のホッパーから用紙を吸入し印刷を続ける機能です。オプションの増設ホッパーを装着し、同じ用紙サイズの用紙をセットした場合のみ実現できます。
設定方法は、メニューモードのリレー給紙設定を使って設定します。詳しくは「4章 より進んだ使い方」(117ページ)を参照してください。

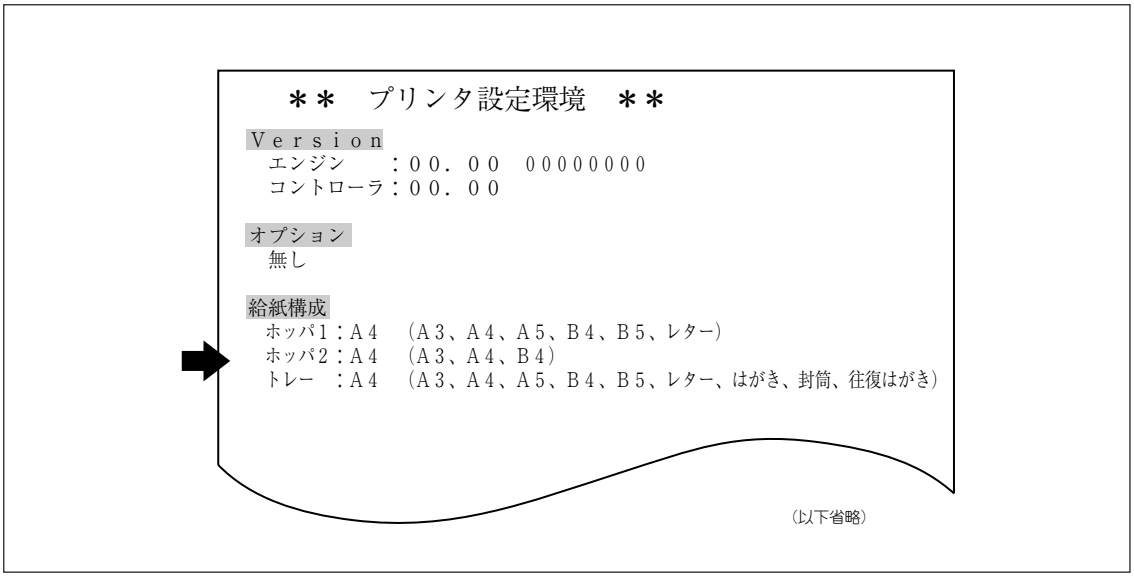
テスト印刷

増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。詳しくは本書、「テスト印刷をする」(22ページ)を参照してください。

2段目に増設ホッパーが取り付けられ、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホッパ2」と印刷されます。3段目に取り付けた場合は「ホッパ3」と印刷されます。



増設ホッパ(250)のステータス印刷



増設ホッパ(500)のステータス印刷

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外す場合は次の手順で行ってください。2段目と3段目の取り外し方法は同じです。ここでは2段目を取り外す方法を示します。

⚠注意

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050はそれぞれ標準で約20kg/19kg/18kg/18kgの質量があります。取り外しは2名以上で行ってください。

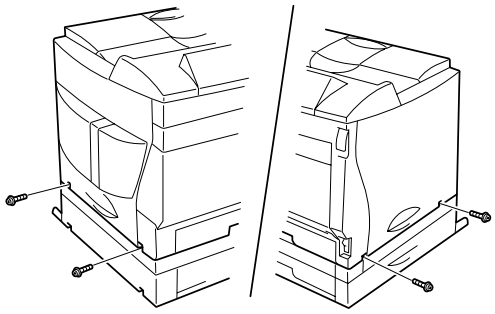
❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コード、インターフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンターから取り外す。

❷ プリンターと増設ホッパーを固定しているネジを取り外す。

ネジはプリンター右側面に2か所、左側面に2か所あります。4か所とも取り外してください。

✔チェック

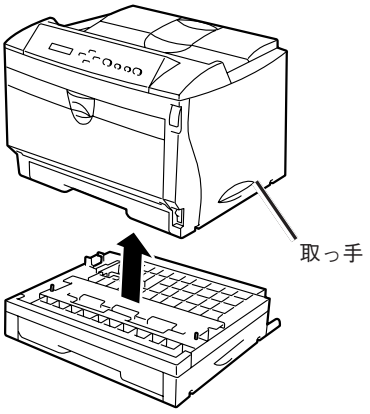
3段目の増設ホッパーが取り付けられている場合は、さらに4か所のネジを取り外します。



❸ プリンターを増設ホッパーから取り外し、一時的に台や机の上に置く。

重要

プリンターを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンターが破損することがあります。



❹ 増設ホッパーを台の上から外す。

✔チェック

3段目の増設ホッパーが取り付けられている場合は、2段目の増設ホッパーを一時的に台や机の上に置いてから3段目を移動させてください。

❺ プリンターを元の位置に置く。

✔チェック

- 増設ホッパーが3段目にも取り付けられていた場合は、プリンターと増設ホッパーを4か所のネジで固定してください。
- ステーの付いているホッパーを取り外したときは新たに一番下に来るホッパーに付け替えてください。

❻ 電源コードとインターフェースケーブルを取り付ける。

増設カセット

印刷する用紙サイズを変更する場合、用紙カセット内の用紙を交換することなく、用紙カセットごと交換できるようにMultiWriter 2650/2650E/2250/2050では2種類の増設カセットが用意されています。
詳しくは234ページをご覧ください。

増設カセットにはカセット内にセットされている用紙サイズを外見から確認するための用紙ラベルセットが添付されています。カセット前面の見やすい場所に貼り付けてお使いください。

増設カセットの取り付け

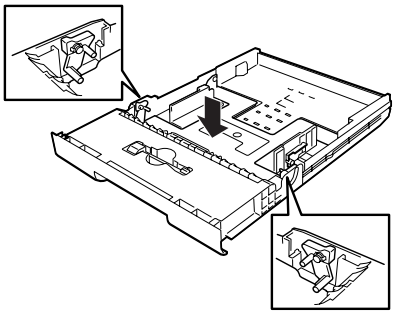
増設カセット(250)と増設カセット(500)の取り付ける方法は同じです。
取り付け手順については、「固定用部材を取り外す」(15ページ)を参照してください。

なお、用紙セットについては、「増設ホッパーへの用紙のセット」(241ページ)を参照してください。増設カセット(250)に比べて増設カセット(500)にセットできる用紙サイズは限定されています。セットできる用紙サイズを確認の上、正しい用紙サイズをセットしてください。

チェック

増設カセット内のリフトプレートを押し、確実に下がっている事を確認してください。

リフトプレートが押し下がっていないと、増設カセットをホッパーに取り付けることができません。



増設カセットの取り外し

増設カセットを取り外すときは上記手順を逆に行ってください。

赤外線通信インタフェースボード(型番 PC-PR-R01)

動作環境などの詳細については、赤外線通信インタフェースボードに添付のマニュアルで確認してください。概要については本書235ページを参照してください。

重要

赤外線通信インタフェースボードは片方向(コンピューター → プリンター)でのみ通信が可能です。PrintAgentのように双方向通信(コンピューター ←→ プリンター)が必要な機能は使用できません。

チェック

- 赤外線通信インタフェースボードのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。
- 赤外線通信インタフェースボードの赤外線受光部には手を触れないでください。手を触れると、受光部が汚れ、コンピューターとの通信状態が不良となることがあります。

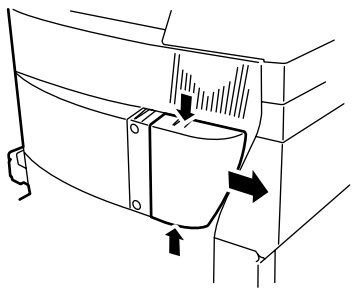
インターフェースボードの取り付け

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コード、インターフェースケーブル(前面、背面とも)をプリンターから取り外す。

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

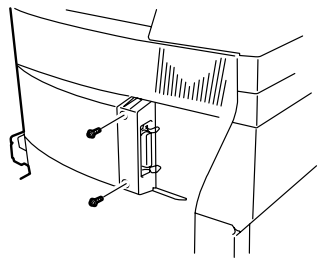
❷ プリンター側面のフロントコネクターカバーの上下を押しながら手前に取り外す。

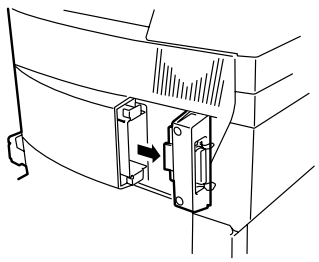


❸ フロントのインターフェースコネクターのネジ2本を外し、インターフェースコネクターを手前に引き抜く。

チェック

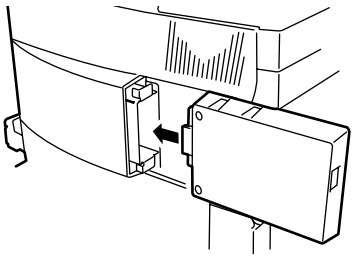
取り外したフロントのコネクターカバーおよびフロントのインターフェースコネクターは大切に保管しておいてください。



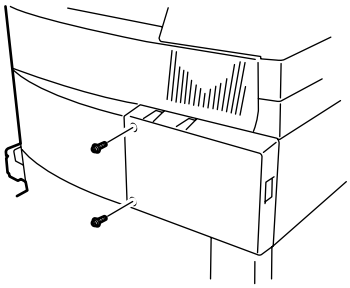


❹ **受光部を手前にし、インターフェースボードを前面のコネクターのガイド部に沿って差し込む。**

カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。



❺ **インターフェースボードを添付のネジ2本で固定する。**



❻ **電源コードを取り付け、プリンターの電源をONにする。**

❼ **インターフェースボード前面のLEDが点灯することを確認する。**

❽ **プリンターをコンピューターから1m以内に設置する。**

✔チェック

PC-PR-R01の赤外線受光部とコンピューターの赤外線ポートとの間の距離を1m以内とし、この間に障害物を置かないようにしてください。

❾ **赤外線通信インターフェース取扱説明書に従い、TranXit 3をインストールし、赤外線通信を行うためのソフトウエアの設定を行う。**

TranXit 3をインストールする前にあらかじめプリンターソフトウエアをインストールしておいてください。プリンターソフトウエアのインストール方法は「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(27ページ)をご覧ください。

インターフェースボードの取り外し

インターフェースボードを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、上記の手順❺から逆に行ってください。

赤外線通信インタフェースアダプタ (型番 PC-CA291)

動作環境などの詳細については、赤外線通信インタフェースアダプタに添付のマニュアルで確認してください。概要については本書「オプション品の紹介」(235ページ)を参照してください。

重要

赤外線通信インタフェースアダプタは片方向(コンピューター → プリンター)でのみ通信が可能です。PrintAgentのように双方向通信(コンピューター ←→ プリンター)が必要な機能は使用できません。

チェック

- アダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。
- アダプターの赤外線受光部には手を触れないでください。手を触れると、受光部が汚れ、コンピューターとの通信状態が不良となることがあります。

インターフェースアダプターの取り付け

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コード、インターフェースケーブル(前面、背面とも)をプリンターから取り外す。

重要

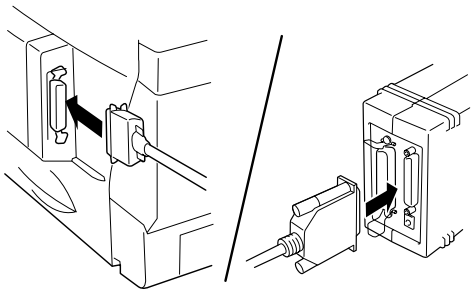
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ 赤外線通信インタフェースアダプタ(型番 PC-CA291)とプリンターを添付のインターフェースケーブルで接続する。

前面のインターフェースコネクター、背面のインターフェースコネクターどちらにも付けられます。

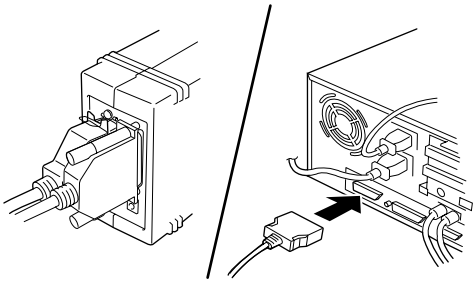
チェック

LANボードが取り付けられている場合は前面のインターフェースコネクターをお使いください。

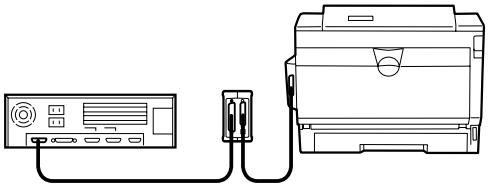


❸ 同時に他のコンピューターからもデータを受信したい場合は以下のように接続する。

お使いになれるケーブルは直接プリンターに接続するときの当社指定のプリンターケーブルと同じです（詳細は「使用できるコンピューターとプリンターケーブル」（265ページ）をご覧ください）。

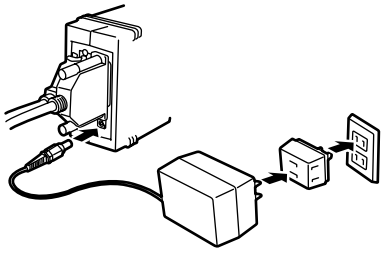


赤外線通信とインターフェースケーブルによる通信を可能にした接続は下のようになります。



❹ ACアダプターのコネクターをPC-CA291に接続し、ACアダプター本体を壁付きコンセントに差し込む。

ACアダプターを差し込むことによって他の差し込みがふさがってしまう場合は添付のACタップをご利用ください。



重要

ACアダプターはテーブルタップなどでタコ足配線されたコンセントには差し込まないでください。またこのACタップには1500W以上の容量のACコンセントを差し込まないでください。過熱し、火災や感電の原因となることがあります。

❺ PC-CA291前面のLEDが赤色に点灯することを確認する。

もし緑色点灯している場合はアダプター前面の通信切り替えスイッチで赤外線通信モードに切り替えてください。

❻ プリンター、コンピューターの順に電源をONにする。

❼ 赤外線通信インタフェース取扱説明書に従いTranXit 3をインストールし、赤外線通信を行うためのソフトウエアの設定を行う。

TranXit 3をインストールする前にあらかじめプリンターソフトウエアをインストールしておいてください。インストール方法は「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（27ページ）をご覧ください。

インターフェースアダプターの取り外し

赤外線通信インタフェースアダプタを取り外すときは、上記の手順❻から逆に行ってください。

プロッターエミュレーションボード

MultiWriter 2650/2250/2050にプロッターエミュレーションボードを取り付けることにより、プロッタHP 7550の言語（HPGL）を使用できるようになるため、CADなどのアプリケーションからの印刷が可能になります。またRS-232Cインターフェースとして使用することも可能です。

プロッターエミュレーションボード上のRS-232Cインターフェースをご使用の場合は、次の表を参照して、使用するコンピューターに合うRS-232Cケーブルを別途お求めください。

使用しているコンピューター	RS-232Cケーブル
PC98-NXシリーズ	PC-CA602、PC-9896、PC-9897のいずれかと、シリアル変換アダプタPK-CA102を組み合わせてお使いください。
PC-9801 PC-9821シリーズ（下記以外）	PC-CA602 PC-9896 PC-9897
PC-H98	PC-H98-K02
PC-9801　NL/A、NS/A	PC-98HA-16
PC-9821　Nr166, Nr150, Nr15, Nr13, Nr12, Na13, Na12, Na9, Na7, Nb10, Nb7, Ls150, La13, Ls12, La10, La7, Nf, Np, Nx, Es, Ne2, Nd, Ld, Nm, Lt, Ne3, Nd2, Lt2, Ns	

ここでは、プロッターエミュレーションボードの取り付け手順を説明します。使い方や操作方法については、プロッターエミュレーションボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

プロッターエミュレーションボードの取り付け

重要

プロッターエミュレーションボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のセントロニクスインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品や端子、半田付け面には触れないようにしてください。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コード、インターフェースケーブル（前面・背面とも）をプリンターから取り外す。

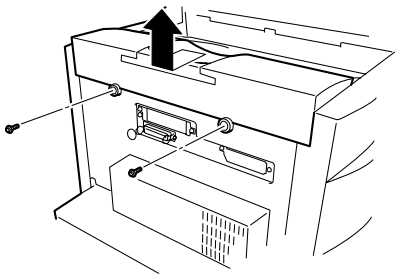
重要

電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因になることがあります。

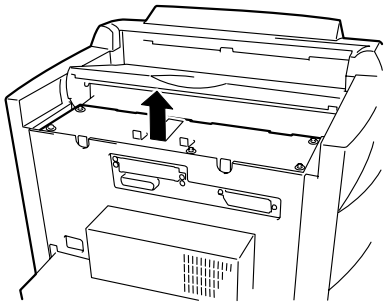
チェック

データ転送制御で「DTRコントロール」を行った場合、ご使用のソフトウエアによっては正常に動作しない場合があります。ご使用の際にはメニューモードで「XON/XOFFコントロール」または「ENQ/ACKコントロール」に設定してください。

❷ プリンター上部にあるリアカバーをネジ2本を回して取り外す。



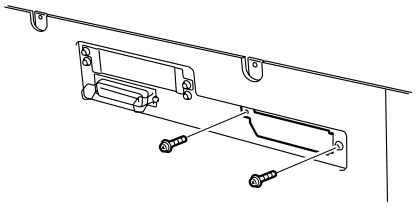
❸ コントロールカバーに矢印で指示された5か所のネジをゆるめ、コントロールカバーを取り外す。



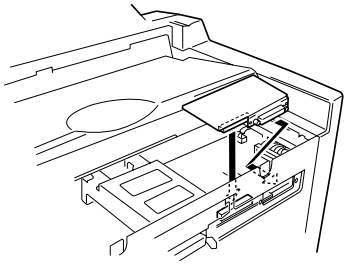
❹ 2か所のネジを外し、プロッターボード用スロットのプレートを取り外す。

チェック

プロッターボード用スロットのプレートはボードを取り外し、プリンターを元に戻すとき必要です。大切に保管しておいてください。

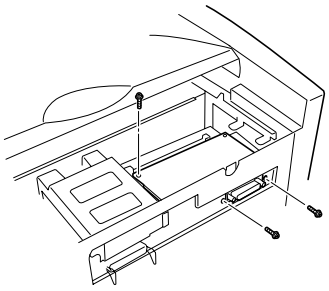


❺ RS-232Cコネクター側をプロッターボード用スロットに差し込み、プリンターのコネクターとボードのコネクターを接続する。

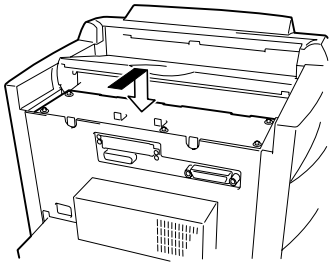


＊ MultiWriter 2050はコネクターの位置が異なります。

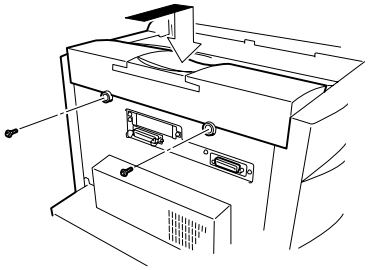
❻ プロッターエミュレーションボードに添付のネジ3本でプロッターエミュレーションボードを固定する。



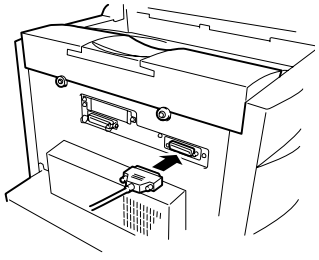
❼ コントロールカバーを取り付け、矢印で指示された5か所のネジで固定する。



❽ リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。



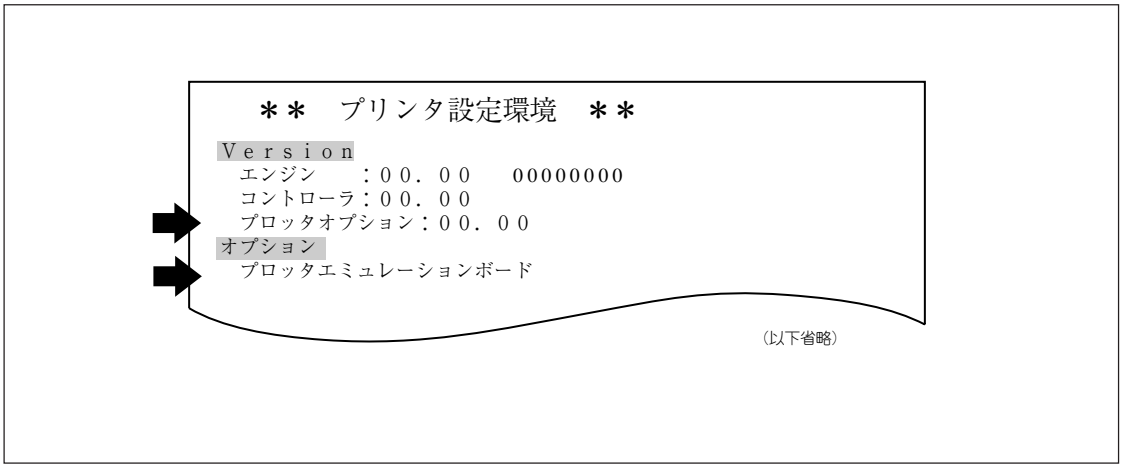
❾ RS-232C用インターフェースケーブルを取り付ける。



❿ 電源コードを取り付ける。

テスト印刷

プロッターエミュレーションボードが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。詳しくは本書、「テスト印刷をする」(22ページ)を参照してください。
次のように「プロッタエミュレーションボード」と印刷されていれば、プロッターエミュレーションボードは確実に取り付けられていることになります。



プロッターエミュレーションボードのステータス印刷例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。
これで、プロッターエミュレーションボードの取り付けは完了です。

プロッターエミュレーションボードの取り外し

プロッターエミュレーションボードを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

LANボード

各種のネットワークに接続するLANボードは3種類用意されています。詳しくは「オプション品の紹介」(236ページ)を参照してください。

重要

LANボードを取り付けた場合は、プリンター背面のセントロニクスインターフェースは使用できなくなります。セントロニクスインターフェースを使用する場合は、プリンター前面のインターフェースを使用してください。

ネットワーク用ケーブルの種類

LANボードをお使いになるには、ネットワーク用ケーブルが必要です。使用する環境に合わせて、以下に示すケーブルを別途お求めください。
MacintoshにLocalTalkで接続する場合は、Macintoshのマニュアルを参照して接続してください。

項　目	100BASE-TX	10BASE-T	10BASE-2
PR-NP-01T2	PC-9868-28 PC-9868-29	PC-9868-21 PC-9868-22 PC-9868-28 PC-9868-29	------
PC-PR-L01	-----	PC-9867-21 PC-9867-29	PC-9867-21 PC-9867-22 PC-9867-23
PC-PR-L02	PC-9868-28 PC-9868-29	PC-9868-21 PC-9868-22 PC-9868-28 PC-9868-29	-----

チェック

PC-PR-L01を使用し、Macintoshから印刷を行うには、別売のPR2200NW2-21 拡張プリンタドライバが必要です。また、Macintoshからの印刷においては、両面印刷、リプリント機能、ジョブセパレート機能などサポートしていない機能があります。

次に、LANボードの取り付け・取り外し手順について説明します。PC-PR-L01、PC-PR-L02、PR-NP-01T2の取り付け手順は同じです。ここでは、PR-NP-01T2 LANボード(TCP/IP)を取り付ける場合の手順を示します。使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

LANボードの取り付け

重要

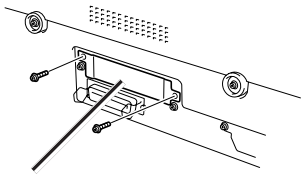
- LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。
- 電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードとインターフェースケーブル（前面・背面とも）をプリンターから取り外す。

❷ LANボード用スロットのプレートをネジ2本を回して取り外し、プレートを取り外す。

チェック

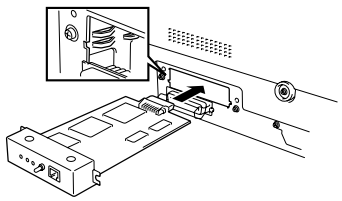
LANボード用スロットのプレートはボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。大切に保管しておいてください。



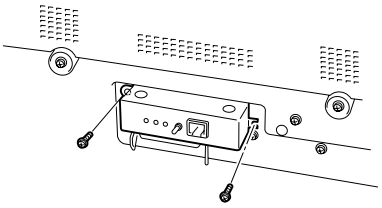
LANボード用スロットのプレート

❸ LANボードのネットワークコネクターを手前にして、ガイドレールに沿ってLANボードを差し込む。

カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。



❹ ネジ2本でボードを固定する。



❺ 接続用のケーブルを取り付ける。

❻ 電源コードを取り付け、プリンターの電源をONにする。

❼ LANボード取扱説明書に従いコンフィグレーションページ印刷をして、正しく動作することを確認する。

LANボードの取り外し

LANボードを取り外すときは、上記の手順❻から逆に行ってください。

LANアダプター

各種のネットワークに接続するLANアダプターが2種類用意されています。詳しくは、「オプション品の紹介」(237ページ)を参照してください。

チェック

- アダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。
- LANアダプターを取り付ける前にLANアダプターの取扱説明書をお読みください。

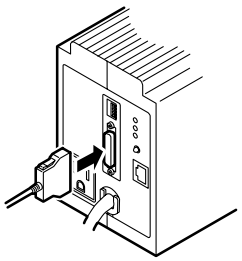
次にLANアダプターの取り付け・取り外し手順について説明します。LANアダプタ(型番 PR-NP-02T2)とLANアダプタ(型番 PR-NP-03TR2)の取り付け手順は異なります。

LANアダプターの取り付け

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コード、インターフェースケーブル(前面、背面とも)をプリンターから取り外す。

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

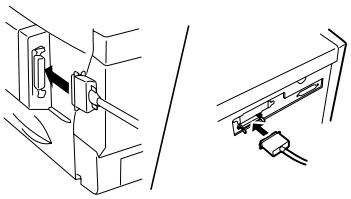


PR-NP-03TR2　LANアダプタ

❷ LANアダプターのインターフェース用コネクターとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のインターフェースケーブルで接続する。

チェック

LANボードが取り付けられている場合は、前面のインターフェースコネクターをお使いください。

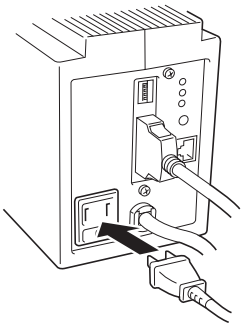


前面の
インターフェースコネクター

背面の
インターフェースコネクター

❸ **プリンターの電源コードのプラグをLANアダプター背面のACコンセントに差し込む。**

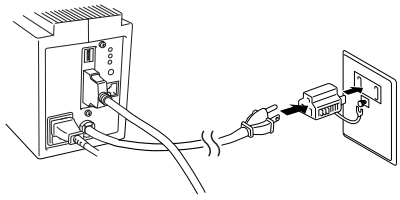
LANアダプタ(型番 PR-NP-02T2)の場合は、この手順を行う必要はありません。次の手順へ進んでください。



❹ **LANアダプターの電源コードをコンセントに差し込む。**

✔チェック

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント(AC100V、電源容量15A以上)に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。



❺ **LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。**

ご使用の際には、以下の手順で電源を入れてください。

PR-NP-03TR2：プリンターの電源を入れてから、LANアダプターの前面スイッチを押してください。

PR-NP-02T2：プリンターの電源を入れてください。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、取り付けの手順❹から逆に行ってください。

増設RAMサブボード

32メガバイト(MB)の増設RAMサブボードを取り付けることで、次のような効果があります。

- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- フォーム登録数の増加
- メモリー不足で印刷できない両面印刷などの解消
- 受信バッファーの拡大

重要

指定のDIMMタイプの増設RAMサブボードを使用してください。指定以外の増設RAMサブボードを使用すると、故障の原因となることがあります。

増設RAMサブボードの取り付け

重要

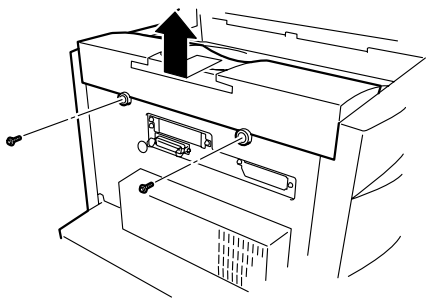
増設RAMサブボードは大変デリケートな電子部品です。サブボードを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードとインターフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンターから取り外す。

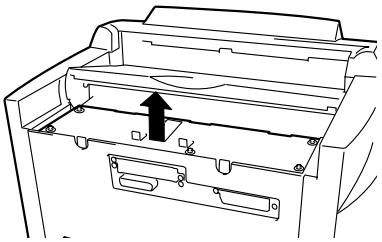
重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

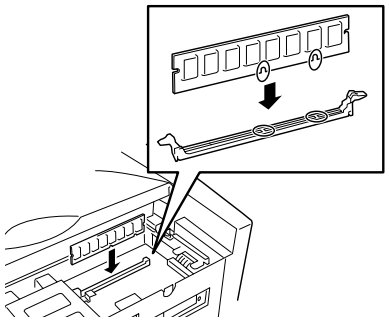
❷ プリンター上部にあるリアカバーをネジ2本を回して取り外す。



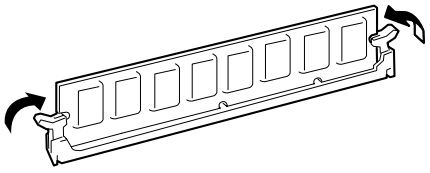
❸ コントロールカバーに矢印で指示された5か所のネジをゆるめ、コントロールカバーを取り外す。



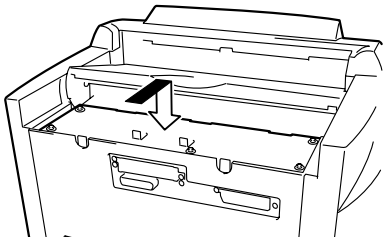
❹ 両端のイジェクターを開き、切り欠き部をそろえ、「ガチッ」という音がするまでソケットに押し込む。



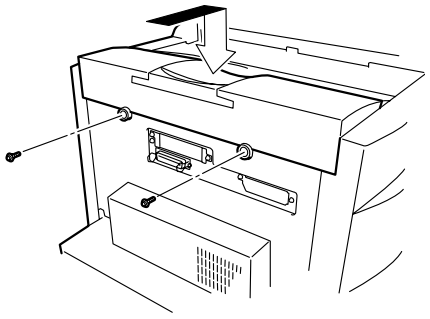
❺ イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。



❻ コントロールカバーを取り付け、矢印で指示された5か所のネジで固定する。



❼ リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。

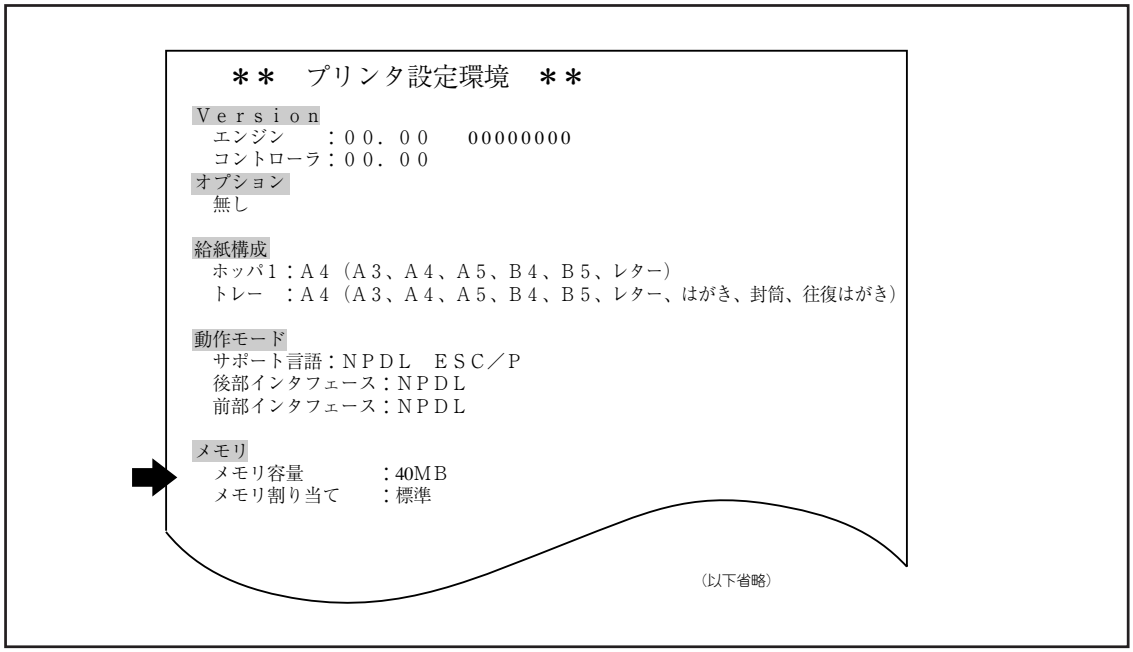


❽ 電源コードとインターフェースケーブルを取り付ける。

テスト印刷

増設RAMサブボードが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。詳しくは、「テスト印刷をする」(22ページ)を参照してください。

次のように印刷されていれば、増設RAMサブボードは正しく取り付けられたことになります。



増設RAMサブボードを増設したステータス印刷の例(32MBの場合)

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設RAMサブボードの取り付けは完了です。

増設RAMサブボードの取り外し

増設RAMサブボードを取り外す場合は、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順と逆に取り外してください。

両面印刷ユニット(MultiWriter 2650E/2250/2050のオプション)

両面印刷ユニットをMultiWriter 2650E/2250/2050に装着すると、用紙の両面に印刷することができます。使用できる用紙については「両面印刷時」(274ページ)をご覧ください。

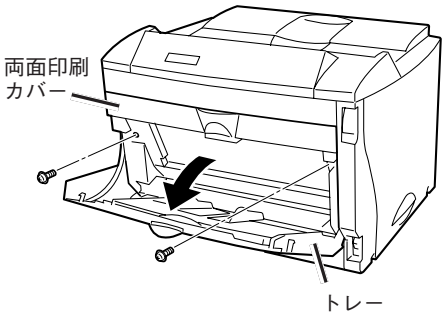
⚠注意

両面ユニットを取り付ける前に電源をOFFにしてください。感電もしくはギアに巻き込まれてケガをするおそれがあります。

両面印刷ユニットの取り付け

❶ **プリンターの電源をOFFにする。**

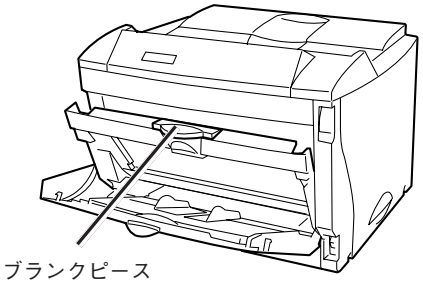
❷ **トレーを開いて、両面印刷カバーを固定しているネジ2本を外す。**



❸ **両手で、両面印刷カバーを開けて、両面印刷カバーに取り付いているブランクピースを取り外す。**

✔チェック

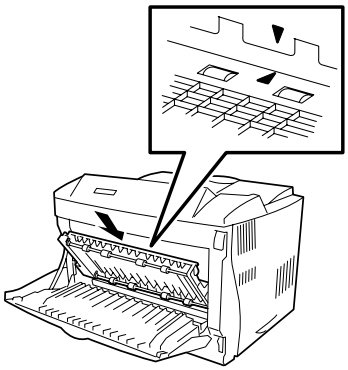
ブランクピースと手順2で外したネジは、両面印刷ユニットを取り付けた後、使用しませんが大切に保管してください。

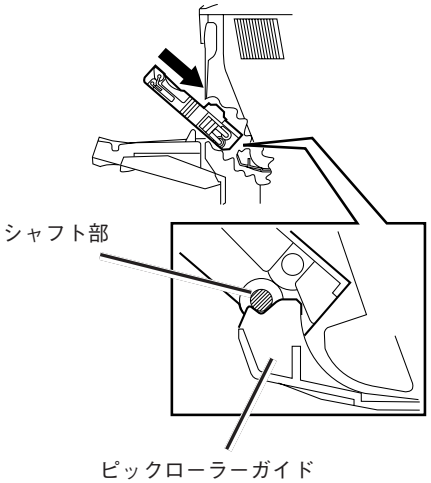


❹ **両面印刷ユニットとプリンターの位置決め(▲印)を合わせるようにして、両面印刷ユニットを斜めに入れながら、ピックローラーガイドにシャフト部を載せる。**

⚠注意

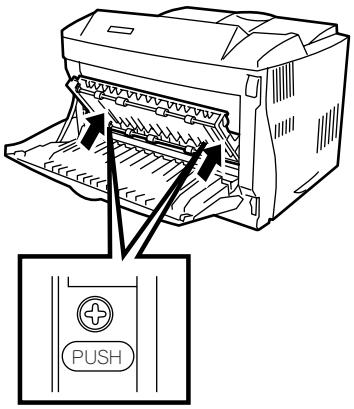
両面印刷ユニット右側面の金属プレートの端は鋭利になっています。





❺ **両面印刷ユニットが固定されるまで、PUSH部2か所を押し込む。**

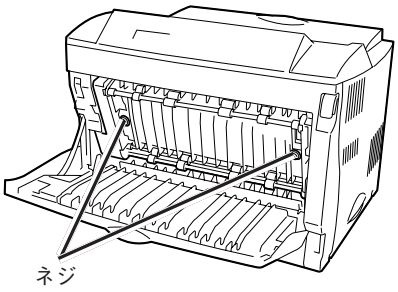
固定されるときに、カチッとロックされる音がします。



❻ **両面印刷ユニットに取り付いているネジ2本で固定する。**

チェック

両面印刷ユニット固定ネジ(2か所)は確実にしっかりとしめ付けてください。

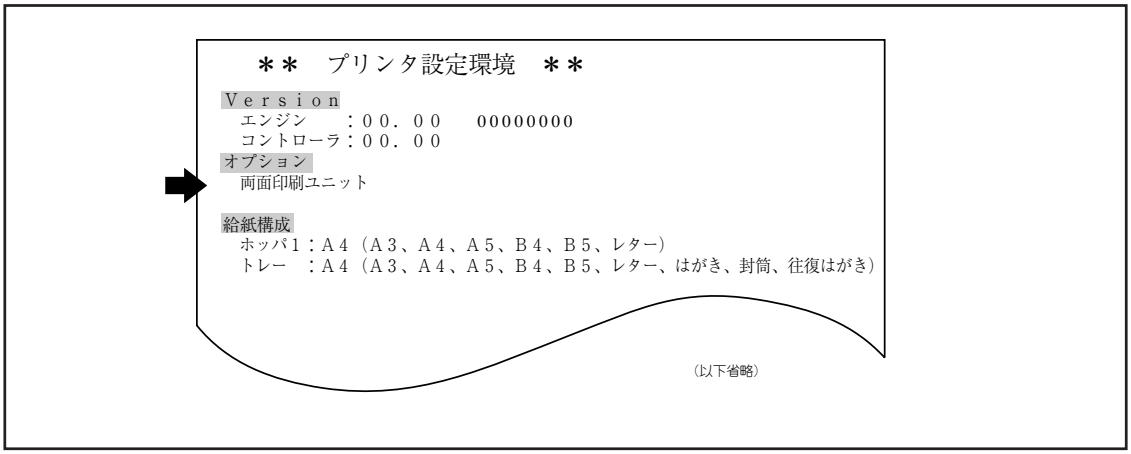


❼ **両面印刷カバーを閉める。**

テスト印刷

両面印刷ユニットが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。詳しくは本書、「テスト印刷をする」(22ページ)を参照してください。

次のように印刷されていれば、両面印刷ユニットは正しく取り付けられたことになります。



両面印刷ユニットを増設した場合

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで両面印刷ユニットの取り付けは完了です。

両面印刷ユニットの取り外し

両面印刷ユニットを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

使用できるコンピューターとプリンターケーブル

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。

コンピューター		プリンターケーブル*1
PC98-NXシリーズ		PC-PRCA-01 PC-CA205*6 PR-CA-U01*7 PR-CA-U02*7
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *4	PC-CA202*2 PC-CA204*6
	PC-98XA・XL・XL^2・RL*4	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA201R*3 PC-CA203*6
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *4 SV-98シリーズ	PC-CA202*2 PC-CA204*6
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*2 PC-CA204*6
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*2 PC-CA204*6
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*2 PC-CA204*6
DOS/V対応機 *5	IBM、富士通、東芝、Compaq、DELL、その他各社	PC-PRCA-01

*1 他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。

*2 PC-H98-K05と同等。長さ1.5m。

*3 PC-CA201と同等。長さ1.5m。

*4 ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

*5 MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS J5.0/V以上が動作するIBM PC/AT 100%互換機。

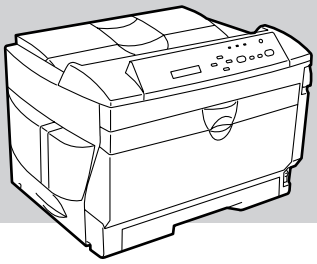
*6 PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。

*7 USBプリンターケーブルに関する最新情報は、情報サービス窓口（228ページ）より提供していますので、ご利用ください。

チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

付録
技術情報



仕　様

MultiWriter 2650/2650E

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式		
印刷速度*	約26ページ/分（A4用紙横置き、ホッパー給紙片面印刷時） * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。		
ウォームアップの待ち時間	電源投入時：約80秒以内（室温20℃）		
ファーストプリントタイム（600dpi時）	片面印刷時	A3サイズ	約11.5秒（ホッパー給紙）
		B4サイズ	約11.0秒（ホッパー給紙）
		A4サイズ	約 9.5秒（A4用紙横置き、ホッパー給紙）
	両面印刷時	A3サイズ	約19.5秒（ホッパー給紙）
		B4サイズ	約18.5秒（ホッパー給紙）
		A4サイズ	約16.0秒（A4用紙横置き、ホッパー給紙）
用紙容量	標準ホッパー：　250枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 トレー：　100枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合		
スタック容量	250枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合		
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）または 0.0635×0.0635mm（1/400×1/400インチ）		

CPU	RV4640（133MHz）
メモリー	標準8MB、最大40MB（オプション増設時）
オプションRAMソケット	1ソケット（DIMM用）
インターフェース	セントロニクス仕様に準拠*（前面、背面に1つずつ装備） * IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース
言語	NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）、ESC/Pエミュレーション
環境	動作温度： 10～32.5℃　　動作湿度： 20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度： 0～32.5℃　　保管湿度： 10～80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量： 一般事務室程度　　ガス成分： 一般事務室程度 気圧： 1.013×10^5 ～ 0.7524×10^5 Pa（海抜0～2500m）
騒音（音圧レベル、A補正）	動作時： 53dB 待機時： 38dB
電源	電圧： AC 100V±10% 周波数： 50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時最大（プリンター単体時） ：830 W（900 VA） 動作時最大（フルオプション時）* ：950 W（1030 VA） 動作時平均（プリンター単体時） ：540 W 節電モード時 ：30W以下 * 最大値は瞬間的ピーク値を除いた値です。
寸法	520（幅）×566（奥行き）×373mm（高さ）：カセット伸長時、最大 520（幅）×495（奥行き）×373mm（高さ）：カセット縮小時、最小
質量	MultiWriter 2650:約20kg（消耗品、オプション含まず） MultiWriter 2650E:約19kg（消耗品、オプション含まず）
製品寿命*	印刷枚数30万枚または使用年数5年のいずれか早い方 * 定期交換部品の交換が必要です。
消耗品寿命	EPカートリッジ（本体添付）： 約6,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）
内蔵フォント	アウトラインフォント 2種類（明朝体、ゴシック体）
対応OS	● Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版 ● PC-PTOS Ver. 1.0以上 PC-PTOS Ver. 1.0～2.3でお使いの場合は、「PTOS IVプリンターOS支援パッケージPS」が必要です。 ● 日本語MS-DOS（ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） ● Macintosh 漢字Talk 7.1.x、7.5.x、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0～8.6（PC-PR-L01使用時）、ただし、漢字Talk 7.5.x以降のQuickDraw GXには未対応

MultiWriter 2250

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度*	約20ページ/分（A4用紙横置き、ホッパー給紙片面印刷時）：600dpi時（23.6ドット/mm） * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。
ウォームアップの待ち時間	電源投入時 ：約60秒以内（室温20℃）
ファーストプリントタイム（600dpi時）	片面印刷時 A3サイズ 約14.0秒（ホッパー給紙） B4サイズ 約13.5秒（ホッパー給紙） A4サイズ 約11.5秒（A4用紙横置き、ホッパー給紙） 両面印刷時 A3サイズ 約25.0秒（ホッパー給紙） B4サイズ 約23.5秒（ホッパー給紙） A4サイズ 約20.0秒（A4用紙横置き、ホッパー給紙）
用紙容量	標準ホッパー： 250枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 トレー： 100枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合
スタック容量	250枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ） 0.0635×0.0635mm（1/400×1/400インチ）
CPU	RV4640（150MHz）
RAMメモリー	標準8MB、最大40MB（オプション増設時）
オプションRAMソケット	1ソケット（DIMM用）
インターフェース	セントロニクス仕様に準拠*（前面、背面に1つずつ装備） * IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース
言語	NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）、ESC/Pエミュレーション
環境	動作温度： 10～32.5℃ 動作湿度： 20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度： 0～32.5℃ 保管湿度： 10～80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量： 一般事務室程度 ガス成分： 一般事務室程度 気圧： 1.013×10^5 ～ 0.7524×10^5 Pa（海抜0～2500m）
騒音（音圧レベル、A補正）	動作時： 53dB 待機時： 36.3dB
電源	電圧： AC 100V±10% 周波数： 50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時最大（プリンター単体時） ：650W（680VA） 動作時最大（フルオプション時）* ：760W（800VA） 動作時平均（プリンター単体時） ：430W 節電モード時 ：25W以下 * 最大値は瞬間的ピーク値を除いた値です。

寸法	520(幅)×566(奥行き)×373mm(高さ):カセット伸長時、最大 520(幅)×495(奥行き)×373mm(高さ):カセット縮小時、最小
質量	約19kg(消耗品、オプション含まず)
製品寿命*	印刷枚数30万枚または使用年数5年のいずれか早い方 * 定期交換部品の交換が必要です。
消耗品寿命	EPカートリッジ(本体添付):　約6,000枚(印刷枚数) (ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)
内蔵フォント	アウトラインフォント　2種類(明朝体、ゴシック体)
対応OS	● Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版 ● PC-PTOS Ver. 1.0以上 PC-PTOS Ver. 1.0～2.3でお使いの場合は、「PTOS IVプリンターOS支援パッケージPS」が必要です。 ● 日本語MS-DOS(ver 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上(DOS/V) ● Macintosh 漢字Talk 7.1.x、7.5.x、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0～8.6(PC-PR-L01使用時)、ただし、漢字Talk 7.5.x以降のQuickDraw GXには未対応

MultiWriter 2050

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度*	約12ページ/分（A4用紙横置き、ホッパー給紙片面印刷時）：600dpi時（23.6ドット/mm） * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。
ウォームアップの待ち時間	電源投入時 ：約60秒以内（室温20℃）
ファーストプリントタイム（600dpi時）	片面印刷時 A3サイズ 約19秒（ホッパー給紙） B4サイズ 約18秒（ホッパー給紙） A4サイズ 約15秒（A4用紙横置き、ホッパー給紙） 両面印刷時 A3サイズ 約42秒（ホッパー給紙） B4サイズ 約40秒（ホッパー給紙） A4サイズ 約35秒（A4用紙横置き、ホッパー給紙）
用紙容量	標準ホッパー： 250枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 トレー： 100枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合
スタック容量	250枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ） 0.0635×0.0635mm（1/400×1/400インチ）
CPU	RV4640（150MHz）
RAMメモリー	標準8MB、最大40MB（オプション増設時）
オプションRAMソケット	1ソケット（DIMM用）
インターフェース	セントロニクス仕様に準拠*（前面、背面に1つずつ装備） * IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース
言語	NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）、ESC/Pエミュレーション
環境	動作温度： 10～32.5℃ 動作湿度： 20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度： 0～32.5℃ 保管湿度： 10～80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量： 一般事務室程度 ガス成分： 一般事務室程度 気圧： 1.013×10^5 ～ 0.7524×10^5 Pa（海抜0～2500m）
騒音（音圧レベル、A補正）	動作時： 50dB 待機時： 38dB
電源	電圧： AC 100V±10% 周波数： 50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時最大（プリンター単体時） ：630W（660VA） 動作時最大（フルオプション時）* ：720W（750VA） 動作時平均（プリンター単体時） ：310W 節電モード時 ：25W以下 * 最大値は瞬間的ピーク値を除いた値です。

寸法	520(幅)×566(奥行き)×373mm(高さ):カセット伸長時、最大 520(幅)×495(奥行き)×373mm(高さ):カセット縮小時、最小
質量	約18kg(消耗品、オプション含まず)
製品寿命*	印刷枚数30万枚または使用年数5年のいずれか早い方 * 定期交換部品の交換が必要です。
消耗品寿命	EPカートリッジ(本体添付):　約6,000枚(印刷枚数) (ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)
内蔵フォント	アウトラインフォント　2種類(明朝体、ゴシック体)
対応OS	● Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版 ● PC-PTOS Ver. 1.0以上 PC-PTOS Ver. 1.0〜2.3でお使いの場合は、「PTOS IVプリンターOS支援パッケージPS」が必要です。 ● 日本語MS-DOS(ver 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上(DOS/V) ● Macintosh 漢字Talk 7.1.x、7.5.x、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0〜8.6(PC-PR-L01使用時)、ただし、漢字Talk 7.5.x以降のQuickDraw GXには未対応

用紙の規格

通常印刷(片面印刷)時

■ 普通紙（乾式 PPC 用紙）

寸法　A3 判（297 × 420mm）、A4 判（210 × 297mm）、A5 判（148 × 210mm）、B4 判（257 × 364mm）、B5 判（182 × 257mm）、レターサイズ（約 216 × 約 280mm）、定形外用紙（100 ～ 297 × 148 ～ 420mm）（定形外用紙はトレーのみ）

坪量　ホッパー給紙：64 ～ 81.4g/m^2（連量 55 ～ 70kg）
トレー給紙：　64 ～ 128g/m^2（連量 55 ～ 110kg）
（連量とは、用紙 788 × 1091mm（四六判）のサイズの用紙 1000 枚あたりの重さを示します。）
（坪量とは、用紙 1000 × 1000mm（1m^2）のサイズの用紙 1 枚あたりの重さを示します。）

表面電気抵抗　1 × 10^9 ～ 1 × 10^{12} Ω

■ はがき

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。
ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。

寸法　官製はがき（100 × 148mm） 官製往復はがき（200 × 148mm）
坪量　157g/m^2 相当（連量 135kg 相当）

■ OHP フィルム

寸法　A4 判（210 × 297mm）
厚さ　0.1mm ± 0.025mm（100 μ m ± 25 μ m）
乾式 PPC 用、表面処理されているものを使用してください。

■ ラベル紙

寸法　A4 判（210 × 297mm）、B4 判（257 × 364mm）
乾式 PPC 用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。

■ 封筒

洋形 4 号（LIFE 洋封筒 E506 ライフ（株）製）のものに限ります。
寸法　105 × 235mm

両面印刷時*

* MultiWriter 2650E/2250/2050はオプション装着時

■ **普通紙（乾式 PPC 用紙）**

寸法	A3 判（297 × 420mm）、A4 判（210 × 297mm）、A5 判（148 × 210mm）、B4 判（257 × 364mm）、B5 判（182 × 257mm）、レターサイズ（約 216 × 約 280mm）
坪量	ホッパー給紙：64 ～ 81.4g/m^2（連量 55 ～ 70kg） トレー給紙： 64 ～ 81.4g/m^2（連量 55 ～ 70kg）
表面電気抵抗	1 × 10^9 ～ 1 × 10^{12} Ω

チェック

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。
用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値をご参照ください。

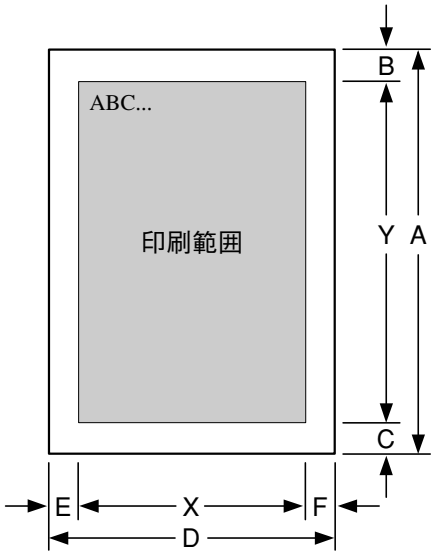
坪量	64～67g/m^2	（JIS P8124）
紙厚	0.085～0.092mm	（JIS P8118）
平滑度	25～50sec	（JIS P8119）
剛度	60cm^3/100以上	（クラーク式：JIS P8143）
表面電気抵抗	1×10^9～1×10^{12} Ω	

印刷範囲

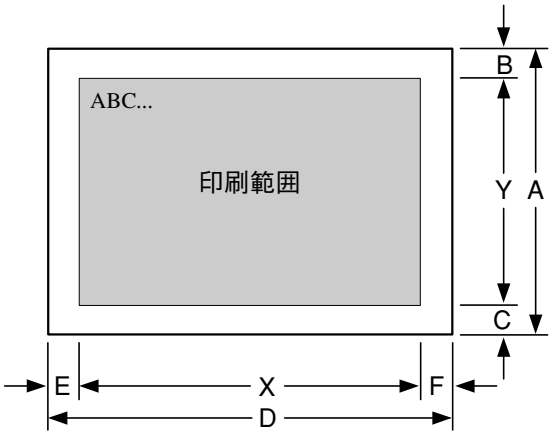
定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。添付ドライバーを使用した場合、ドライバーの機能により余白量をすべて約 5mm にできます。

- ポートレート



- ランドスケープ



- Windows環境*1
  （添付プリンタードライバーのプロパティ上で「従来互換の印刷範囲を使用する」にチェックした場合）
- MS-DOS環境

ポートレート

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*5	行*2	mm	mm	mm	ドット*5	文字*3	文字*4
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	80	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	80	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
A4×2（80）	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	280	5.00	5.00	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1 添付ドライバーの初期設定の余白量はすべて約5mmです。
*2 改行ピッチが6LPIの場合
*3 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）
*4 10.8ポイントのフォント使用時
*5 解像度が240dpiの場合

- Windows環境*1
  （添付プリンタードライバーのプロパティ上で「従来互換の印刷範囲を使用する」にチェックした場合）
- MS-DOS環境

ランドスケープ

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*5	行*2	mm	mm	mm	ドット*5	文字*3	文字*4
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2（80）	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*1 添付ドライバーの初期設定の余白量はすべて約5mmです。
*2 改行ピッチが6LPIの場合
*3 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）
*4 10.8ポイントのフォント使用時
*5 解像度が240dpiの場合

● PC-PTOS（Ver 1.0以上）

ポートレート

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*4	行*1	mm	mm	mm	ドット*4	文字*2	文字*3
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	15.58	7.63	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	16.01	8.37	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	8.07	3320	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	7.63	3320	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	31.86	3320	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	7.54	8.37	3320	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	12.18	3320	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	17.91	2680	67	297	5.00	14.61	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	5.00	7.52	1920	80	53
	B4	364	8.60	15.04	2680	67	257	10.54	8.65	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.00	5.16	1920	80	53
	A4	297	5.00	8.37	2680	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	11.97	2680	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
A4×2（80）	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
B5	B4	364	11.35	8.90	2320	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	7.10	2320	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	6.47	2320	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	6.68	3272	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	3.10	840	35	23
レター	レター	280	5.00	5.76	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1 改行ピッチが6LPIの場合
*2 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）
*3 10.8ポイントのフォント使用時
*4 解像度が240dpiの場合

● PC-PTOS（Ver 1.0以上）

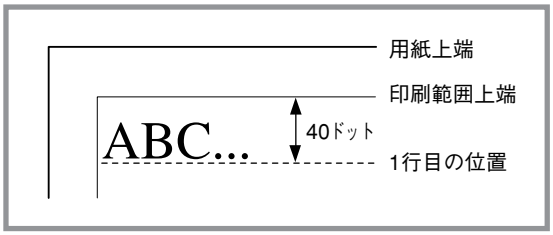
ランドスケープ

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*4	行*1	mm	mm	mm	ドット*4	文字*2	文字*3
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	7.27	11.39	2712	67	297	16.85	7.52	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	6.17	3336	139	92
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	5.94	3336	139	92
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	30.80	3336	139	92
	A4(4/5)	210	5.57	11.39	2280	57	297	7.01	7.52	3336	139	92
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	8.58	3336	139	92
A4	A3	297	14.61	9.76	1840	46	420	5.00	16.64	2688	112	74
	A3(80)	297	14.61	9.76	1840	46	420	5.00	16.64	2688	112	74
	B4	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	B4(80)	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	A4	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	A4(80)	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	B5	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
	B5(80)	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
A4×2	A4	210	9.49	11.39	2680	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2（80）	A4	210	7.27	11.39	2712	-	297	12.62	7.52	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	9.27	1600	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.95	1600	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.85	1600	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.43	8.85	2320	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	45.63	3336	139	92
	A4	210	12.35	11.39	2640	66	297	30.82	30.80	3336	139	92
ハガキ	ハガキ	100	5.64	5.46	840	21	148	5.00	3.30	1320	55	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*1 改行ピッチが6LPIの場合
*2 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）
*3 10.8ポイントのフォント使用時
*4 解像度が240dpiの場合

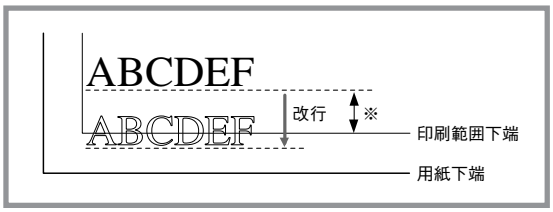
補足説明

- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて9.45ドット/mm(240dpi)の解像度で規定されています。23.6ドット/mm(600dpi)での印刷可能ドット数は9.45ドット/mmのドット数を5/2倍にした値になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は9.45ドット/mm(240dpi)相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。 したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。



  - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39)(9.45ドット/mm) を指定したのと同じ位置に印刷されます。
  - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。



  最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。計算に用いる値は右のとおりです。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
		12ポイント(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

  - 値はすべて9.45ドット/mm(240dpi)でのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて9.45ドット/mmで行います。
  - 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
  - 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

文字コード表

MultiWriter 2650/2650E/2250/2050は、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00										HT	LF	VT	FF	CR		
10										EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	−	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	▇	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	+
90	┴	┬	┤	├	━	─	┃	┃	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
B0	−	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	°
E0	＝	├	╪	┤	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	／	＼
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

注15　注17　注16　注13　注14　注13

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00										HT	LF	VT	FF	CR		
10										EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	−	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	▇	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	+
90	┴	┬	┤	├	━	─	┃	┃	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
B0	−	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	っ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	°
E0	＝	├	╪	┤	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	／	＼
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

注15　注17　注16　注13　注14　注13

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注1～12　各国特殊文字が入ります（メモリースイッチ1-1～1-3で切り替えます。）
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A～D行はひらがなモード（ESC &で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC $ で指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「Ø」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	¯	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。（本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。）ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120				、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	゜	´	`	¨
2130	^	￣	_	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
2170	$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇		
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓		
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O
2630	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頸	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靱	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
4570	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820			函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
4830	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	槍	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槇	幕	膜	枕	鮪	柾
4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒	
4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	萊	頼	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4E60	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	椀	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020			弋	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乗	亂	亅	豫	事
5030	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	侮	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	偐	偈	做	俸	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競
5140	兩	兪	兮	冀	冂	冏	冊	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
5150	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5160	凰	凵	函	刃	刋	刎	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劒	劔	劔	劈	劑	辨	
5220		辦	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
5230	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5240	卆	卅	卌	卉	卍	準	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
5250	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5260	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	哂	咤	唄	咼	唏	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
5330	唹	哇	唬	唾	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	唯	喙	喀	喇	喊
5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5360	噫	噤	噸	噬	噪	噺	噻	噛	噴	嘯	嘰	嚊	嚠	嚔	囂	嚥
5370	囹	囁	囃	囀	囈	囑	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	圈
5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圻	址	坎	圻	址	坏
5430	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
5440	埓	埜	埴	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堲	塹
5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壘	壙	壜
5460	壛	壤	壟	壯	壷	壹	壻	壺	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奩	奧	奬	奩	
5520		奸	妁	妝	佞	佚	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
5550	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孱	孵	學	孜	孺	宀
5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5570	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5620		屐	屏	孱	屬	屮	山	岑	屹	峩	岑	岔	妛	岫	岻	岶
5630	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崛	崗	崙
5640	崟	崘	嵜	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶸	嵺	嶼	嶷	巍	巓	巒	巖	巛
5660	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5670	幟	幢	幣	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
5730	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弍	弓	弩	弭	弸	弼	彁	彎	彑	
5740	彖	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5760	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怵	恚	恁	恪	恷	恟
5770	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恪	恤	悁	悍	悏	悖	悩

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	俊	悖	悦	悃	悩	悋	惡	悸	惠	悴	悴	悽	惆	
5830	悵	惘	慍	愕	慇	惶	憊	愀	惴	惺	愃	惚	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	慥	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慥	慱	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	傷	愷	慱	慟	慝	慄	慵	慦	慼	憇	憬	憔	憚
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	攝	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	挙	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	挺	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	搶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	攫	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	擶	擴	擲	擺	擥	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旆	旋	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	昇	昉	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	暹	曉	暾	暼		
5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曳	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	杳	杼	杪	杤	枋	枦	枡	枅	柮	柯	柆	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	桁	桍	柧	桧	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梪	條	梛	梃	棇	棊	棹
5B70	梵	梧	桻	梴	桾	椁	棹	棊	椛	棘	椢	棒	椁	棟	棔	棍
5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	椀	椁	楡	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
5C50	榻	槃	榧	榠	榑	榠	榜	榕	榴	槞	樂	樛	槿	權	槹	
5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫨	槶	樣	樓	橇	樌
5C70	橲	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫼	櫑	櫟	櫟	櫚	櫪	櫻
5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5D40	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	渐	淺	淙	淤	淥	淪	淮	渭
5E50	湮	渟	湲	渙	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	漕	滬	滔	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澱	濔	濤	濳	濬	濟	濮	濞	濠
5F30	濡	濤	濂	濘	澳	濬	澡	澤	濫	濆	濄	濟	濕	濬	濶	濡
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		爨	爐	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	琿	琲	琺	瑕	瑾	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		凱	瓣	瓩	甽	瓮	甌	瓰	甌	甎	甄	甕	甑	甓	攴	旉
6130	畚	甕	甓	甞	甦	甬	甲	畄	畋	畔	畉	畛	畤	畧	畭	畤
6140	畧	畫	畛	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	瘏	瘐	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癘	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盼	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	矽	砠	砺	硅	硎	硇	硲	硼
6270	碪	碌	碣	碵	碪	磯	磆	硝	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礫	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祇	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禍	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6360	竇	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竚	竝	竚	竍	竝	竡	竢	竓	竰
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	箆	箙	箘	箕	箴
6430	圏	箝	箘	箟	箍	箐	箔	箏	箸	箪	箭	箙	篋	篁	篌	篏
6440	箽	篩	篆	篋	篥	篭	篳	篦	篠	篝	篩	篭	篥	篷	篠	篶
6450	篋	篝	簟	簷	簫	簽	簀	籃	籔	簇	籀	籘	籟	籠	籟	籤
6460	籌	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粨	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糘	糘	糒	糜	糢	糲	糯	糲	糲	糲	糺	紆	
6520		紂	紜	紕	紊	絅	紘	絮	紲	紿	紵	絆	絳	統	絎	絲
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	條	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
6550	縕	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繩	繖	縵	縹	繃	縷
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	繿	纈
6570	纉	纒	纈	纉	纉	纏	纈	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罸	罰
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	腸	膩	膰	膵	膾	膸	膵	膕	膚	膤
6740	膿	膵	膵	膕	臈	膜	臚	臟	臺	臧	臺	臻	與	舁	舂	舅
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艨	艩	艫	艪	舮	艱	艶	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	荐	荜	苞	茆	苜	茉	苙	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	苣	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	荔	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	莓	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	荸	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	萩	萃	萩	萋	菁	萻	萇	萠	菲	萍	菟	萠	莽
6850	萸	蔆	萩	葭	葎	粤	粤	葭	葷	葫	蒡	葭	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒁	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蕪	蔘	蔬	蔟	蕃	蔔	蔘	蕨	蘞	蓼	蕈	
6920		蕁	蕊	蒭	蘂	薀	薙	薈	薗	薊	薨	薫	薔	薛	藪	薇
6930	薜	蘋	蕾	藐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	龍	蘚	蘰	蘿	虎	虒	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蛎	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	蟲	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠑	蠣	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	袒	袮	袰	袵	袂	袗	袒	袮	袒	袢	袍	袤	袰	袿
6A60	袷	袴	桁	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褪	褫	襄	褻	褶	褸	褌	褥	褊	襃	
6B20		襦	襤	襖	襪	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦
6B30	覦	覩	覿	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諞	諧	諫
6B60	諤	諱	謌	謇	謌	謐	諛	謗	謖	謚	謦	謔	譁	譌	譎	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譖	譟	譫	讃	讒	讌	
6C20		讐	讙	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讃	岼	豁
6C30	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貍	貎	
6C40	貔	貘	貊	貶	貭	貪	貽	貲	貳	貳	貶	買	貢	賎	賣	賚
6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贇	贄	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	賑	赬
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹙	蹩	躔
6D30	躋	躊	躓	躑	躔	躕	躡	躙	躪	躅	躌	躰	躬	躰	躾	軀
6D40	軅	軆	軋	軛	軣	軻	軫	軾	較	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6D60	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迩	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酮	酲	酤	酔	酳	酩
6E50	醫	醨	醪	醵	醴	醸	醸	釁	釉	釋	釐	釖	釰	釜	釗	釵
6E60	釵	釶	鈎	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錙	鋺	鍋		
6F20		錙	錢	錚	錣	錻	鍜	鍖	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭		
6F30	鎔	鎹	鑢	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑞	鑢	鑞	鑪	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閏	閑	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隸	佳	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靭	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頚	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顦	顯	顰	
7120		顱	顳	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飜	飩	飫	飮	飼	飴
7130	餔	餘	餡	餉	餞	餤	餅	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饗	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駆	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駸	駻	駾	騏	騅	騒	騙	騫	騒	騙	騨	驀	驃
7160	驟	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髭	髣	髴	髯	髱	髪	髷	髻	鬆	
7220		鬟	鬣	鬘	鬢	鬮	鬚	鬻	鬥	鬧	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	鬼
7230	魄	魅	魏	魍	魎	魑	魔	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱
7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
7260	鰰	鱇	鰲	鱚	鱒	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鳩	鳪	鳫	鳶
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鵇	鴪	鶺	鶻	
7320		鵞	鵞	鵙	鶲	鶸	鶺	鶯	鷄	鷁	鶻	鶸	鵺	鷆	鷂	鷙
7330	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鷆	鸇	鸇	鷏	鷲	鷹	鷆	鷽	鷯	鷸	鷺
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黝	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黼	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼠	鼬	鼯	鼱	鼻
7370	齠	齣	齟	齠	齢	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

用語解説

英数字

[?] ボタン

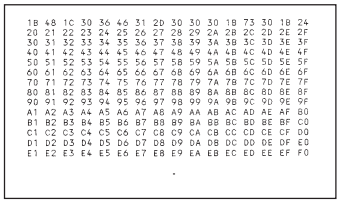
Windows 2000/98/95/NT 4.0/NT 3.51で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-2/10BASE-T/100BASE-TX

LANの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-2/Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。MultiWriter 2650/2650E/2250/2050でこれらの規格のケーブルを使ってLAN接続するにはLANボードまたはLANアダプターが必要(詳細は「7章オプション」参照)。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)



201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。本プリンターの場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタードライバー「PR2200NW2-21」が必要。

CR

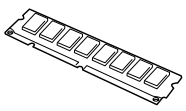
Carriage Return キャリッジリターンの略。キャリッジを左端に戻すこと。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有をはかることができる。

DIMM

Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

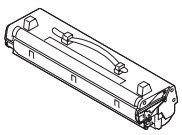


DPI

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする(→OPC)。消耗品のため「76　トナーナシ　EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる(詳細は「5章日常の保守」参照)。



ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization：国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

用語解説(続き)

LAN
Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager
マイクロソフト社が開発したネットワークＯＳ。NetBEUIプロトコルを用いる。 MultiWriter 2650/2650E/2250/2050の場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」を装着することで対応可能。

Macintosh
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Ｍａｃ ＯＳには、あらかじめＡｐｐｌｅＴａｌｋソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。本プリンターと接続する場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタードライバー「PR2200NW2-21」が必要。

Mac OS
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem（日本語では漢字Talk）であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB
Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING
Multi Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

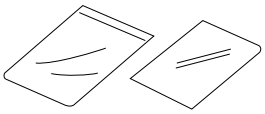
NetBEUI
ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN Managerをネットワークにしたときに用いられる。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。本プリンターの場合LANボード「PC-PR-L01」、「PC-PR-L02」を装着することで対応可能。

NMPS
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHP フィルム
OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、手差しトレーを用いる。



OPC
Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS
Operating Systemの略。オペレーティングシステム。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PrintAgent
双方向通信により、印刷状況の確認、プリンターの設定をコンピューター画面上から実現したソフトウエア。
NEC MultiWriterシリーズに搭載。

RGB ガンマ
Red Green Blueガンマの略。
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET
Sharp Edge Technologyの略。NECのMultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

用語解説(続き)

SNMP
Simple Network Management Protocolの略。ネットワーク管理プロトコルの一種。事実上TCP/IPを使ったネットワーク管理の標準。コンピューター間はMIBで定義された管理情報がやり取りされる(→MIB)

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめ、Windows 2000/98/95/NT 4.0/NT3.51、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType
アップルコンピュータ社とマイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX
AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバーシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB
Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。本プリンターではUSBコネクターを装備しないがUSBプリンターケーブルを使ってプリンター装備のセントロニクス仕様準拠コネクターとコンピューターのUSBコネクターを結ぶことができる。

WAN
Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOSである。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows NT
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windows アプリケーション
Windows専用のソフトウエアプログラムの総称。

WWW
World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アドミニストレーター(Administrators)
管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

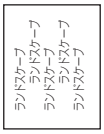
用語解説(続き)

アンインストール
インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き
用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長(ランドスケープ)と縦長(ポートレート)がある。



印刷範囲
プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール
一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース
2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。本プリンターの場合、標準のコネクターでセントロニクスの仕様に準拠したインターフェースが利用できる。

ウィンドウ
アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ
プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。「節電モード」状態になっている場合、ヒーターをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともプリンタステータスウィンドウの[ウォームアップ]ボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能
他の装置(プリンター)のために開発されたソフトウエアの制御コードをこのプリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字
1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度
プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1mmまたは、1インチ当たりのドット数で表す。

拡張子
MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード
制御コードのうち、ESC (1BH)、FS (1CH)、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。(↔基本制御コード)

紙づまり
用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

輝度
モニターなどの画面の明るさ。

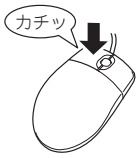
基本制御コード
制御コードのうち、CR (0DH)、LF(0AH)のように単独で機能を表すコード。(↔拡張制御コード)

用語解説(続き)

クライアント
ネットワークを介して他のコンピューター(またはサーバー)にアクセスしている利用者または、利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー(システム)
中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター(サーバー)が共有の資源(ハードディスクやプリンター)を管理し、接続を許されたコンピューター(クライアント)が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

クリック
マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。



グレースケールイメージ
それぞれのドットを、白黒ではなくグレーの濃淡として保存しているビットマップイメージ。

現像ユニット
OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド
コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字
1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト
グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル
Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能
データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

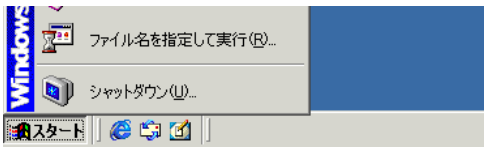
システム管理者
コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙
カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出
コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター
文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

[スタート]ボタン
Windows 2000/98/95/NT 4.0でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。



ステータス印刷
テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール
ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード
プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR(改行コード)やFF(改ページ)など。

用語解説(続き)

セントロニクスインターフェース
旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

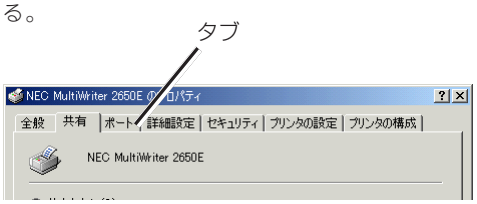
双方向通信
コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信にはセントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。

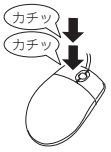
ダイアログボックス
設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー
ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

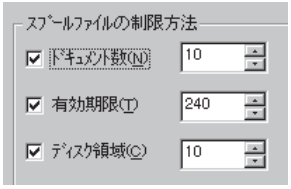
タブ
Windows 2000/98/95/NT 4.0/NT3.51では、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。
ワープロなどでカーソルの移動機能を指すこともある。



ダブルクリック
マウスのポインタ(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。



チェックボックス
ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン/オフの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。



通常使うプリンタ
アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量
用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m^{2}単位の重さをいう。(本マニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m^2)。

ツールバー
ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

用語解説(続き)

定着ユニット
用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷
プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

ドライバー
周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名
ハードディスク内の領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ
マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク
複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したりや機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

ハードウエア
コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウエア)

バッファーフル
ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハーフトーン
グレースケールイメージを、元のイメージのグレーの濃淡に似せて、白と黒のドットに変換する処理。

ピア・ツー・ピア
小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(→クライアント・サーバー)

ヒートローラー
定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル
Pixel(Picture elementからの合成語)。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ
画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷
見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント
同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー
電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー
インターネット上のWebページを閲覧(ブラウズ)するためのソフトウエア、WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン
図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル
コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

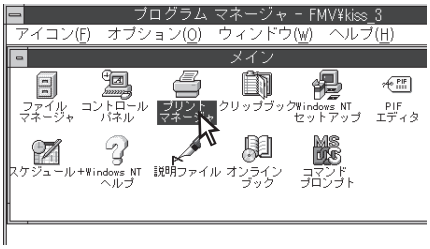
プリンタードライバー
コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

用語解説(続き)

プリンターバッファー
一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタプール
複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プリントマネージャ
Windows 3.1、Windows NT 3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。



プログラムマネージャ
Windows 3.1、Windows NT 3.51の操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。

プロトコル
コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ
ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字
印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語
1ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター
ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開(作成)して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント(マウスの)
マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント(文字の)
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート
コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート
用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。(↔ランドスケープ)

ボタン
ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

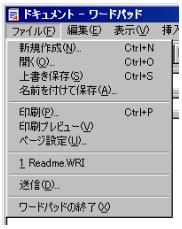
マウスポインター
マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

丸め誤差
四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

用語解説(続き)

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。



メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ（MSW）

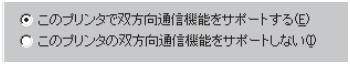
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン／オフを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。

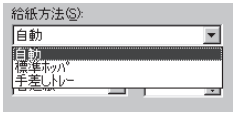


ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。（↔ポートレート）

リストボックス

ユーザーに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。



リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷した文書をスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。

Windows 2000/98/95/NT 4.0の場合、PrintAgent リプリント2*のウィンドウを使って実現し、その際に丁合いの設定も可能。Windows NT 3.51の場合、PSWの[リプリント]ボタンをクリックしてから設定する。

*PrintAgent リプリント2はMultiWriter 2650E/2050のみに対応しています。

PrintAgent リプリント２のウィンドウ

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう（本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg）。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンタケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

100BASE-TX 237
10BASE-T 237
136桁モード有効/無効 102
1バイト系ゼロ 101
1バイトコード系 102
2バイト系ゼロ 101
7ビット/8ビットデータの切り替え 102

A

A4ポートレート
　～印刷桁数 102
　～桁数 101
ANK 101

C

CD-ROMからのインストール 32
CPU 268, 269, 271
CR機能の切り替え 102

D

DC1、DC3の有効/無効 102
DocuWorks E 10, 28, 122
DOS互換ボックス 185

E

EPカートリッジ 14
　～の回収と購入 192
　～の交換 191, 193
　～の寿命 194
　～の種類 192
　～を取り付ける 17
ESC/Pエミュレーション
　～モード 92
　～でプリンターを選択する 89
　メニューの機能 107

F

FD作成 53

I

IBM DOS J5.0/Vでの設定 90
IPアドレス 236

L

LANアダプター
　LANアダプタ（TCP/IP） 232
　PR-NP-02T2 LANアダプタ（TCP/IP） 237
　PR-NP-03TR2 LANアダプタ（TCP/IP） 237
　～の取り付け 257
　～の取り外し 258
LAN設定メニュー 101
LANボード 232
　PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボード 236
　PC-PR-L02 マルチプロトコルLANボード 236
　PR-NP-01T2 LANボード 236
　～の取り付け 256
　～の取り外し 256
　～用スロット 16

M

MOPYING 6
MS-DOS 84
　環境での両面印刷設定 85
　プリンターを選択する 84
　プロンプト 185
　両面印刷のために必要な設定項目 85

N

NEC TCP/IP Port 33
NECサービス網一覧表 14
NPDL 92
NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル 232, 238

O

OHPフィルム 92, 113, 273
OS 268, 270, 272

P

PC-PR201 85
PC-PTOS環境
　～でプリンターを選択する 87
PrintAgent
　～がおかしいときは 209
　～の追加・削除 79
　システムアイコン 35

PrintAgent Eraser 218
PrintAgent リプリント2 ..... 35, 120
「PrintAgent」ツールバー 135
Printer-MIB 236, 237

R

RAM 268, 269, 271
RS-232C設定メニュー 101

T

TCP/IP Printing System 66, 67

U

USBプリンターケーブル 232, 235, 265

W

Web PrintAgent 47
　〜の設定 180
Windows 2000 日本語版 27, 32
　〜にアップグレードする際の注意事項 218
Windows 3.1 日本語版 78, 90
Windows 95 日本語版 32, 45, 48, 71, 76
Windows 98 日本語版 48, 59, 71, 76
Windows NT 3.5 日本語版 84
Windows NT 3.51 日本語版 63, 69, 73, 77
　〜に関する注意事項 216
Windows NT 4.0 日本語版 68, 73, 77

ア

厚紙 113
アラーム表示 207
安全上のご注意 2

イ

異常
　印刷に〜が見られるとき 204
印刷
　〜が薄い 204
　〜がおかしいときは 199
　〜がにじむ 204
　グレー〜ができない 205
　〜されない 204
　〜速度 267, 269, 271
　〜中にユーザー名を表示させる 119
　〜できない 206
　〜に縦線や横線が入る 205
　〜部分が白く抜ける 205
　　縦線の形状 205
　〜方向 92
　〜方式 267, 269
　〜を中止する 163
印刷位置
　〜の調整 156
　〜をずらす 118
印刷先の変更 66
印刷ジョブ 168
印刷指令の切り替え 102
印刷範囲 275
印刷ログ 47, 181
　出力機能を設定 182
　〜の出力 184
インストール方法の選択 30
インターフェース 268, 269, 271
インターフェースアダプター
　PC-CA291 赤外線通信インタフェースアダプタ 235
　赤外線通信インタフェースアダプタ 232
　〜の取り付け 250
　〜の取り外し 251
インターフェースボード
　〜の取り外し 249
　〜の取り付け 248
　PC-PR-R01 赤外線通信インタフェースボード .. 235

ウ

ウォームアップ 164
運搬 12, 229

エ

エミュレーション 101
　〜モード 102
エンドガイド 19

オ

お客様登録申込書 14, 225
オプション 231
重さ（質量） 268, 270, 272
オンラインマニュアル 28

カ

海外でのご使用 226
解像度の選択 102
各国文字の切り替え 102

拡大・縮小印刷 124
〜の設定 154
〜用紙サイズを指定する 154
〜する 118
〜の設定 151
拡大・縮小率 153
各部の名称 16
カセット(→用紙カセット) 14, 247
カバー 15
増設カセット(250) 232, 234
増設カセット(500) 232, 234
〜の取り付け 247
〜の取り外し 247
画像面積比 194
紙づまり
給紙部の〜 221
〜処理後の確認 224
排出部の〜 223
〜発生箇所 220
プリンター内部の〜 222
両面印刷ユニット部の〜 223
環境 268, 269, 271
漢字 101
管理者 47
管理銘板 225

キ

キャノピー 14, 16
給紙方法 150
共有プリンター 70

ク

国別 101
クライアント 210
クライアント・サーバーシステム 212
グラフィックモード 102
クリーニングキット 195
クリッピング機能 86
グループプリンター 126
〜の作成 173
〜の編集 174
〜へ出力する 175
〜用プリンタステータスウィンドウ 176
グレースケールの網点を細かく印刷 102

ケ

ケーブル 265
使用できるコンピューターとプリンター〜 265
ケーブルクランプ 14, 16, 21
警告ラベル 1
契約保守 227

コ

固定用部材 15
コンピューター
使用できる〜とプリンターケーブル 265
〜に接続する 24

サ

サーバー 210
サイドガイド 19
サブネットマスク 236

シ

システムアイコン 213
自動排出 101
自動復帰改行の切り替え 102
修理 226
縮小／拡大モード 92
出張修理 227
出力用紙サイズ 152
寿命
消耗品〜 268, 270, 272
製品〜 268, 270, 272
仕様 267
消費電力 268, 269, 271
情報サービス 228
除電針 197
ジョブセパレート 123
〜を使った丁合い印刷 123
ジョブセパレート機能
〜の設定 142
仕分け印刷 123
〜する 118
〜の設定 142

ス

スイッチ 94
印刷可スイッチ 94
印刷方向スイッチ 96
▲スイッチ 97
▼スイッチ 97
▶スイッチ 97
◀スイッチ 97
シフトスイッチ 98
縮小スイッチ 96
ストップスイッチ 95
トレースイッチ 95
排出スイッチ 98
ホッパスイッチ 96
メニュー終了スイッチ 97
メニュースイッチ 95

リセットスイッチ 98
両面スイッチ 95
スタッカー 16
～開閉レバー 16
スタック容量 267, 269, 271
ステータス印刷 100
増設RAMサブボード 261
増設ホッパー
増設ホッパ(250) 245
増設ホッパ(500) 245
プロッターエミュレーションボード 254
両面印刷ユニット 264
寸法 268, 270, 272

セ

清掃 195
～箇所と時期 195
～手順 196
トナーなし検出窓 196
プリンターの表面 198
リブプレート 196
レーザー射出窓 196
設置 11
～してはいけない場所 13
～に必要なスペース 12
設置場所の表示 172
設定初期化メニュー 101
設定変更スイッチ 97
節電機能 101
セントロ設定 101

ソ

騒音 268, 269, 271
操作パネル 16, 91
双方向 172
～サポート 211
～通信 164, 171, 214, 215
～通信機能 211
ソフトウエア
～のインストール 27
～のご使用条件 14
～の追加・削除 75

チ

丁合い 123
丁合い機能
～の設定 145

ツ

ツールバー 125
通信モード 251
「通知形式のプロパティ」ダイアログボックス 164

テ

データストローブ 88
定期保守 178
定形
～外サイズの用紙に印刷する 119
定形用紙 275
ディジタル署名 43, 58
ディスプレイ 92
テスト印刷
～をする 22
電源 268, 269, 271
電源コード
～を接続する 21
電源コネクター 16
電源スイッチ 16
電源制御 165, 166, 237
転写ローラー 197

ト

動作エミュレーション 101
動作自動切替 101
ドット間隔 267, 269, 271
トナーなし検出窓 197
ドラム 17
ドラム保護シャッター 17, 19
トレー 16
～に用紙をセットする 113

ニ

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル 238

ネ

ネットワーク共有プリンタ 33, 38, 49
ネットワーク接続 181

ハ

ハードディスク容量について 29
廃棄するときは 229
媒体作成(→FD作成) 53
はがき 113, 273
箱の中身 14
パスワード 47, 52

ヒ

引取修理 227

フ

封筒 273
フォーム登録 208
フォント 268, 270, 272
複数ページ印刷
　～の設定 155
　～する 118
ブザー機能の有効/無効 102
普通紙 273, 274
プラグ・アンド・プレイ 30, 42, 56
プリンター
　～の構成情報 164
　～の自動切替 168
　～の寿命 228
　～の使用状況 168
　～の設置 11
プリンター一覧 35
プリンター管理者 170
プリンターケーブル 265
プリンターソフトウエア
　～のインストール 27
　　Windows 2000/98/95/NT 4.0 32
　　Windows NT 3.51 36
　ハードディスク容量について 29
プリンターソフトウエアCD-ROM 14
　～について 28
プリンタードライバー
　～の削除 75
　～のみのインストール 56
プリンタ管理ユーティリティ 119, 168
プリンタ自動切替
　～の設定 170
プリンタステータスウィンドウ 119, 125, 163
　グループプリンタ用～ 176
プリントサーバー 137
プロッターエミュレーションボード 92, 232
　～の取り付け 252
　～の取り外し 254
　～用スロット 16
　PR-L2050-06 プッターエミュレーションボード 235
　PR-L2050-06 プロッターエミュレーションボード 235
プロッタ設定 101
プロパティダイアログボックス 127
　Windows 2000 127
　Windows 3.1 134
　Windows 98/95 129
　Windows NT 3.51 132
　Windows NT 4.0 130
フロントインターフェースコネクター 16
　～カバー 16
フロント開閉レバー 16
フロントカバー 16
フロントコネクターカバー 248
文書結合 118
文書統合(→DocuWorks) 122

ヘ

ページーサポート 16

ホ

ポート 172, 213, 214
　～の削除 216
　～の追加 66, 67, 68
ポートレート 92, 275
保守 191
　～サービス 227
保守情報 177
　～のメール通知 168
補修用部品 228
保証 225
保証書 14
ホッパー 16, 238
　増設ホッパ(250) 232, 233
　増設ホッパ(500) 232, 233
　～に用紙をセットする 110
　～の設置に必要な高さ 239
　～の設定 242
　～の選択 243
　～の取り付け 240
　～の取り外し 246
　～への用紙のセット 241

メ

メール送信情報 178
メール通知 177
メール通知履歴情報 179
メニュー&ツールバー 168
メニューツリー 104
メニューモード
　～設定項目一覧 100
　～の設定変更のしかた 99
メモリー 213
　～設定 101
　～の取り付け 259
　～の取り外し 261
　PR-MW-M001 増設RAMサブボード 238
　増設RAMサブボード 232
メモリースイッチメニュー 101

モ

文字セット 101
持込修理 227

ユ

ユーザー情報 178
ユーザーズマニュアル
　～の再購入 228
優先順位 174

ヨ

用紙
　～カセット 16
　～が汚れている 204
　～のセット方向 110
　～にしわが入る 204
　～の裏が汚れる 205
　～の保管方法 112
　～容量 267, 269, 271
　～をセットする 19, 109
　　縦置き 110, 142, 145
　　横置き 110, 142, 145
用紙位置
　～の設定 102
　～微調整方向 102
用紙サイズ 92

ラ

ラッチタイミング 88
ラベル 113
ラベル紙 273
ランド 92
ランドスケープ 275
ランドスケープ方向の切り替え 102
ランプ 93
　印刷可～ 93
　データ～ 93
　電源～ 93
　トナー 93
　両面～ 93

リ

リアインターフェースコネクター 16
リアカバー 16
リプリント機能 8, 120, 163
　～の設定 136
リモート電源 119
　～制御 165, 166
リモートパネル 185
　設定項目 185
　～の起動 187
両面印刷 85
　Windows環境での～ 148
　～カバー 16
　～する 118
　設定
　　MS-DOS環境 85
両面印刷ユニット 232, 262
　～の取り付け 262
　～の取り外し 264
リレー給紙
　～する 118
　～の設定 150

レ

レーザー射出窓 197
レイガード 197
レフトマージン量の設定 102

ロ

ローカル接続 181
ローカルポート 33
ログファイル 179
　印刷ログの～ 184
　メール通知の～ 179
ロックスプリング 25

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

NEC　MultiWriter 2650/2650E/2250/2050
ユーザーズマニュアル

2000年　4月　　初版
2000年　8月　第2版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL（03）3454-1111（代表）